

令和 6 年 度

主要施策の成果に関する報告書

射 水 市

令和 6 年度における主要施策の成果に関する報告について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 3 3 条第 5 項の規定により、令和 6 年度一般会計及び特別会計における主要施策の成果に関する報告書を次のとおり提出します。

令和 7 年 8 月 2 9 日

射水市長 夏 野 元 志

目 次

1 令和6年度決算の概要

(1) 会計別決算収支の状況	9
(2) 財政収支（一般会計）及び財政健全化指標等の推移	10
(3) 会計別決算の概要（対予算比、対前年度比）	11

2 主要事業の執行状況

(1) 一般会計	15
歳入	15
歳出	20
議会費	25
総務費	26
民生費	83
衛生費	130
労働費	164
農林水産業費	166
商工費	181
土木費	197
消防費	226
教育費	233
災害復旧費	289
公債費	297
予備費	298

(2) 国民健康保険事業特別会計	300
(3) 後期高齢者医療事業特別会計	314
(4) 介護保険事業特別会計	319

3 財産の状況

4 市債の状況

参考 令和6年度物価高騰対応地方創生臨時交付金を活用した 事業一覧（一般会計）	349
--	-----

1 令和6年度決算の概要

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合计数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

1 令和6年度決算の概要
(1) 会計別決算収支の状況

(単位：千円)

区 分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 (形式収支額) C (A－B)	翌年度へ 繰り越すべき財源 D	実質収支額 (C－D)
一般会計	47,464,028	45,923,293	1,540,735	※ 605,518	935,217
特別会計	19,612,114	19,463,314	148,800	0	148,800
国民健康保険事業特別会計	7,326,350	7,194,954	131,396	0	131,396
後期高齢者医療事業特別会計	2,651,120	2,647,779	3,341	0	3,341
介護保険事業特別会計	9,634,644	9,620,581	14,063	0	14,063
合 計	67,076,142	65,386,607	1,689,535	605,518	1,084,017

※ 翌年度へ繰り越すべき財源は、継続費通次繰越、繰越明許費繰越及び事故繰越しに係る財源である。

① 一般会計決算収支の状況

歳入総額47,464,028千円に対し、歳出総額は45,923,293千円である。歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支額は1,540,735千円であり、この額から翌年度へ繰り越すべき財源605,518千円を差し引いた実質収支額は、935,217千円の黒字となった。

② 特別会計決算収支の状況

(ア) 国民健康保険事業

歳入総額は7,326,350千円、歳出総額は7,194,954千円であり、実質収支額は、131,396千円の黒字となった。

(イ) 後期高齢者医療事業

歳入総額は2,651,120千円、歳出総額は2,647,779千円であり、実質収支額は、3,341千円の黒字となった。

(ウ) 介護保険事業

歳入総額は9,634,644千円、歳出総額は9,620,581千円であり、実質収支額は、14,063千円の黒字となった。

(2) 財政収支（一般会計）及び財政健全化指標等の推移

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
形式収支 (歳入総額－歳出総額)	1,628,245	2,315,207	1,823,825	2,357,389	1,540,735
実質収支 (形式収支－翌年度に繰り越すべき財源)	1,330,652	1,791,436	1,536,673	1,715,705	935,217
単年度収支 (当該年度実質収支額－前年度実質収支額)	167,550	460,784	▲ 254,763	179,032	▲ 780,488
実質単年度収支 (単年度収支＋財調積立金＋市債繰上償還額－財調取崩額)	765,902	476,014	910,519	1,230,542	321,060
(財調積立額)	788,352	15,230	16,255	19,539	21,645
(市債繰上償還額) ※	0	0	1,149,027	1,031,971	1,079,903
(財調取崩額)	190,000	0	0	0	0

※当年度の市債繰上償還額の内訳

- ・ 財政融資資金9件 133,315千円を繰上償還
(借入年度 平成10年度～平成29年度、当初借入額547,200千円、最大利率2.0%)
- ・ 地方公共団体金融機構資金24件 946,588千円を繰上償還
(借入年度 平成12年度～令和4年度、借入額2,700,800千円、最大利率1.85%)

〔参考〕

減債基金積立額	428	974,519	394	1,289	164,497
---------	-----	---------	-----	-------	---------

〔財政健全化指標等〕

実質公債費比率 (%)	8.8	8.8	9.2	9.3	8.5
将来負担比率 (%)	88.8	78.7	67.0	61.7	58.9
財政力指数	0.66	0.66	0.65	0.64	0.64

(3) 会計別決算の概要（対予算比、対前年度比）

① 歳入

（単位：千円、％）

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)
一般会計	50,489,919	71.6	47,464,028	70.8	▲ 3,025,891	94.0
特別会計	20,071,183	28.4	19,612,114	29.2	▲ 459,069	97.7
国民健康保険事業特別会計	7,693,203	10.9	7,326,350	10.9	▲ 366,853	95.2
後期高齢者医療事業特別会計	2,650,358	3.8	2,651,120	4.0	762	100.0
介護保険事業特別会計	9,727,622	13.8	9,634,644	14.4	▲ 92,978	99.0
合 計	70,561,102	100.0	67,076,142	100.0	▲ 3,484,960	95.1

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
43,785,209	3,678,819
19,812,343	▲ 200,229
7,694,621	▲ 368,271
2,555,037	96,083
9,562,684	71,960
63,597,551	3,478,591

② 歳出

（単位：千円、％）

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (A－B)	執行率 (B／A)
一般会計	50,489,919	71.6	45,923,293	70.2	4,566,626	91.0
特別会計	20,071,183	28.4	19,463,314	29.8	607,869	97.0
国民健康保険事業特別会計	7,693,203	10.9	7,194,954	11.0	498,249	93.5
後期高齢者医療事業特別会計	2,650,358	3.8	2,647,779	4.0	2,579	99.9
介護保険事業特別会計	9,727,622	13.8	9,620,581	14.7	107,041	98.9
合 計	70,561,102	100.0	65,386,607	100.0	5,174,495	92.7

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
41,427,820	4,495,473
19,615,778	▲ 152,464
7,584,376	▲ 389,422
2,552,002	95,777
9,479,400	141,181
61,043,597	4,343,010

2 主要事業の執行状況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

【主な事業内容及び成果の記載に当たって】

「指標項目」は、射水市総合計画実施計画において、成果指標として挙げている主な項目を用いている。

【交付金】は全額、地方創生臨時交付金を充当した事業を表している。

【交付金※】は一部、地方創生臨時交付金を充当した事業を表している。

【大雨】は令和5年7月12日及び13日の大雨に伴う災害復旧事業を表している。

【地震】は令和6年能登半島地震に伴う災害復旧事業を表している。

【評価と今後の方向性（担当課意見）の記載に当たって】

各事業の今後の方向性については、担当課意見を下記の6分類で記載している。

完了：令和6年度をもって事業が完了した場合

拡充：事業、制度の対象範囲等を令和6年度と比較して拡充することを検討している場合

継続：令和6年度とほぼ同じ内容で実施する場合

見直し：現段階で方向性は示せないが、今後効果を高めるためなど取組方法の見直しを検討する場合

縮小：事業、制度の対象範囲等を令和6年度と比較して縮小することを検討している場合

廃止：令和6年度をもって事業、制度を廃止・中止した場合

2 主要事業の執行状況
 (1) 一般会計決算の概要
 歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1 市税	14,885,474	29.5	15,018,743	31.6	133,269	100.9
2 地方譲与税	396,500	0.8	377,871	0.8	▲ 18,629	95.3
3 利子割交付金	4,000	0.0	6,959	0.0	2,959	174.0
4 配当割交付金	79,000	0.2	122,064	0.3	43,064	154.5
5 株式等譲渡所得割交付金	80,000	0.2	157,019	0.3	77,019	196.3
6 法人事業税交付金	224,000	0.4	256,653	0.5	32,653	114.6
7 地方消費税交付金	2,315,000	4.6	2,397,517	5.1	82,517	103.6
8 ゴルフ場利用税交付金	47,000	0.1	49,001	0.1	2,001	104.3
9 環境性能割交付金	39,000	0.1	44,947	0.1	5,947	115.2
10 地方特例交付金	520,694	1.0	529,671	1.1	8,977	101.7
11 地方交付税	10,036,956	19.9	10,600,826	22.3	563,870	105.6
12 交通安全対策特別交付金	11,000	0.0	10,569	0.0	▲ 431	96.1
小 計	28,638,624	56.7	29,571,840	62.3	933,216	103.3
13 分担金及び負担金	176,535	0.3	153,461	0.3	▲ 23,074	86.9
14 使用料及び手数料	543,083	1.1	568,482	1.2	25,399	104.7
15 国庫支出金	7,828,978	15.5	6,997,699	14.7	▲ 831,279	89.4
16 県支出金	3,216,546	6.4	2,922,344	6.2	▲ 294,202	90.9
17 財産収入	160,082	0.3	161,221	0.3	1,139	100.7
18 寄附金	235,337	0.5	264,620	0.6	29,283	112.4
19 繰入金	1,001,218	2.0	398,883	0.8	▲ 602,335	39.8
20 繰越金	2,357,389	4.7	2,357,389	5.0	0	100.0
21 諸収入	1,107,227	2.2	1,048,890	2.2	▲ 58,337	94.7
22 市債	5,224,900	10.3	3,019,200	6.4	▲ 2,205,700	57.8
(自動車取得税交付金)	-	-	-	-	-	-
合 計	50,489,919	100.0	47,464,028	100.0	▲ 3,025,891	94.0

前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
15,382,302	▲ 363,559
385,617	▲ 7,746
4,717	2,242
88,689	33,375
96,770	60,249
234,421	22,232
2,353,694	43,823
49,174	▲ 173
40,139	4,808
116,840	412,831
9,525,278	1,075,548
12,167	▲ 1,598
28,289,807	1,282,033
155,657	▲ 2,196
596,074	▲ 27,592
6,250,028	747,671
2,652,783	269,561
282,934	▲ 121,713
506,875	▲ 242,255
318,344	80,539
1,823,825	533,564
905,449	143,441
1,999,600	1,019,600
3,831	▲ 3,831
43,785,209	3,678,819

市税収入の状況

(単位:千円、%)

区 分	予算額 A	調定額	収入済額 B	不 納 欠損額	還 付 未済額	収 入 未済額	対調定 収入率	対予算比較 (B-A)	対予算 収入率	前年度収入 済額 C	前年度比 (B-C)
1款 市税	14,885,474	15,340,888	15,018,743	12,564	691	310,272	97.9	133,269	100.9	15,382,302	▲ 363,559
1項 市民税	5,708,806	5,906,994	5,765,524	5,862	592	136,199	97.6	56,718	101.0	6,009,598	▲ 244,073
1目 個人	4,592,306	4,738,501	4,605,712	5,657	562	127,694	97.2	13,406	100.3	4,921,053	▲ 315,341
現年課税分	4,557,306	4,596,117	4,565,668	12	562	30,998	99.3	8,362	100.2	4,891,980	▲ 326,311
滞納繰越分	35,000	142,384	40,043	5,645	0	96,696	28.1	5,043	114.4	29,073	10,970
2目 法人	1,116,500	1,168,493	1,159,813	205	30	8,505	99.3	43,313	103.9	1,088,545	71,268
現年課税分	1,115,000	1,160,402	1,157,899	0	30	2,533	99.8	42,899	103.8	1,087,183	70,715
滞納繰越分	1,500	8,091	1,914	205	0	5,972	23.7	414	127.6	1,362	552
2項 固定資産税	8,184,567	8,429,721	8,257,691	6,101	92	166,021	98.0	73,124	100.9	8,384,475	▲ 126,784
1目 固定資産税	8,137,000	8,382,154	8,210,124	6,101	92	166,021	97.9	73,124	100.9	8,335,849	▲ 125,724
現年課税分	8,107,000	8,208,264	8,176,037	195	83	32,116	99.6	69,037	100.9	8,310,456	▲ 134,420
滞納繰越分	30,000	173,890	34,088	5,906	9	133,905	19.6	4,088	113.6	25,392	8,696
2目 国有資産等所在市町村交付金	47,567	47,567	47,567	0	0	0	100.0	0	100.0	48,627	▲ 1,060
現年課税分	47,567	47,567	47,567	0	0	0	100.0	0	100.0	48,627	▲ 1,060
3項 軽自動車税	348,810	361,766	353,120	601	7	8,052	97.6	4,310	101.2	339,728	13,391
1目 環境性能割	23,800	26,147	26,147	0	0	0	100.0	2,347	109.9	21,575	4,573
2目 種別割	325,010	335,618	326,972	601	7	8,052	97.4	1,962	100.6	318,154	8,819
現年課税分	323,110	327,783	324,601	0	7	3,190	99.0	1,491	100.5	316,146	8,455
滞納繰越分	1,900	7,835	2,372	601	0	4,863	30.3	472	124.8	2,008	364
4項 市たばこ税	617,000	615,272	615,272	0	0	0	100.0	▲ 1,728	99.7	619,534	▲ 4,262
1目 市たばこ税	617,000	615,272	615,272	0	0	0	100.0	▲ 1,728	99.7	619,534	▲ 4,262
現年課税分	617,000	615,272	615,272	0	0	0	100.0	▲ 1,728	99.7	619,534	▲ 4,262
5項 入湯税	26,291	27,136	27,136	0	0	0	100.0	845	103.2	28,967	▲ 1,831
1目 入湯税	26,291	27,136	27,136	0	0	0	100.0	845	103.2	28,967	▲ 1,831
現年課税分	26,291	27,136	27,136	0	0	0	100.0	845	103.2	28,967	▲ 1,831

市税以外の収入状況（主なもの）

（単位：千円、％）

区分・内容		予 算 額 A	決 算 額 B	差 引 額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
2款	地 方 譲 与 税	396,500	377,871	▲ 18,629	95.3	385,617	▲ 7,746	
	1項 地 方 揮 発 油 譲 与 税	83,000	82,521	▲ 479	99.4	83,790	▲ 1,269	
	2項 自 動 車 重 量 譲 与 税	270,000	252,539	▲ 17,461	93.5	252,607	▲ 68	
	3項 特 別 と ん 譲 与 税	30,000	30,076	76	100.3	37,828	▲ 7,752	
	4項 森 林 環 境 譲 与 税	13,500	12,735	▲ 765	94.3	11,392	1,343	
3款	利 子 割 交 付 金	4,000	6,959	2,959	174.0	4,717	2,242	
4款	配 当 割 交 付 金	79,000	122,064	43,064	154.5	88,689	33,375	
5款	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	80,000	157,019	77,019	196.3	96,770	60,249	
6款	法 人 事 業 税 交 付 金	224,000	256,653	32,653	114.6	234,421	22,232	
7款	地 方 消 費 税 交 付 金	2,315,000	2,397,517	82,517	103.6	2,353,694	43,823	
8款	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	47,000	49,001	2,001	104.3	49,174	▲ 173	
9款	環 境 性 能 割 交 付 金	39,000	44,947	5,947	115.2	40,139	4,808	
10款	地 方 特 例 交 付 金	520,694	529,671	8,977	101.7	116,840	412,831	住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金94,863、 定額減税減収補填特例交付金418,739、 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金16,069
11款	地 方 交 付 税	10,036,956	10,600,826	563,870	105.6	9,525,278	1,075,548	
	普 通 交 付 税	8,656,956	8,656,956	0	100.0	7,914,792	742,164	
	特 別 交 付 税	1,380,000	1,943,870	563,870	140.9	1,610,486	333,384	
12款	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	11,000	10,569	▲ 431	96.1	12,167	▲ 1,598	
13款	分 担 金 及 び 負 担 金	176,535	153,461	▲ 23,074	86.9	155,657	▲ 2,196	
	1項 分 担 金	10,242	6,065	▲ 4,177	59.2	0	6,065	農業用施設災害復旧事業費分担金4,575、農地災害復旧事業費分担金1,490
	2項 負 担 金	166,293	147,397	▲ 18,896	88.6	155,657	▲ 8,260	老人保護措置費負担金2,368、保育園保育料142,281 等
14款	使 用 料 及 び 手 数 料	543,083	568,482	25,399	104.7	596,074	▲ 27,592	
	1項 使 用 料	251,726	263,218	11,492	104.6	293,931	▲ 30,713	斎場使用料47,488、道路占用料46,589、公営住宅等使用料104,258 等
	2項 手 数 料	291,357	305,264	13,907	104.8	302,143	3,121	証明発行手数料28,894、清掃費手数料（ごみ処理、収集指定袋等）260,445 等
15款	国 庫 支 出 金	7,828,978	6,997,699	▲ 831,279	89.4	6,250,028	747,671	
	1項 国 庫 負 担 金	3,796,742	3,797,638	896	100.0	3,527,663	269,975	障害者自立支援給付費負担金1,167,615、 子どものための教育・保育給付費交付金1,111,874、 児童手当等国庫負担金1,087,003、 生活保護費負担金193,725 等

区分・内容		予 算 額 A	決 算 額 B	差 引 額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
	2項 国 庫 補 助 金	4,019,506	3,188,675	▲ 830,831	79.3	2,710,976	477,699	デジタル田園都市国家構想交付金78,918、 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1,431,307、 子ども・子育て支援交付金88,232、重層的支援体制整備事業交付金126,181、 循環型社会形成推進交付金206,937、臨時市町村道除雪事業費補助金106,000、 社会資本整備総合交付金275,375、学校施設環境改善交付金80,828、 廃棄物処理施設災害復旧事業費補助金42,674、 農業用施設災害復旧事業費補助金8,531、農地災害復旧事業費補助金2,785、 水産業施設災害復旧事業費補助金16,226、 土木災害復旧事業費補助金222,691、公営住宅復旧事業費補助金1,313、 災害等廃棄物処理事業費補助金170,000 等
	3項 国 庫 委 託 金	12,731	11,386	▲ 1,345	89.4	11,390	▲ 4	国民年金事務費委託金8,629、消防団の力向上モデル事業費委託金1,134 等
16款	県 支 出 金	3,216,546	2,922,344	▲ 294,202	90.9	2,652,783	269,561	
	1項 県 負 担 金	1,779,678	1,763,297	▲ 16,381	99.1	1,657,662	105,635	介護給付費負担金577,990、国民健康保険基盤安定負担金196,355、 後期高齢者医療基盤安定負担金210,003、 子どものための教育・保育給付費負担金498,959、 児童手当等県負担金186,258 等
	2項 県 補 助 金	1,151,464	894,718	▲ 256,746	77.7	778,413	116,305	重層的支援体制整備事業交付金67,006、 重度心身障害者等医療費補助金106,574、 放課後児童健全育成事業費等補助金42,806、 乳児、幼児及び妊産婦医療費補助金61,302、多面的機能支払交付金118,697、 水産業施設等災害復旧事業費補助金99,054、企業立地助成金100,005 等
	3項 県 委 託 金	285,404	264,329	▲ 21,075	92.6	216,709	47,620	県税徴収事務費委託金162,203、県知事選挙委託金19,243、 衆議院議員選挙委託金32,771、民生委員費委託金13,724、 地域クラブ活動推進事業委託金5,314 等
17款	財 産 収 入	160,082	161,221	1,139	100.7	282,934	▲ 121,713	
	1項 財 産 運 用 収 入	39,712	37,794	▲ 1,918	95.2	35,539	2,255	
	1目 財 産 貸 付 収 入	10,973	7,422	▲ 3,551	67.6	13,122	▲ 5,700	
	2目 利 子 及 び 配 当 金	28,739	30,372	1,633	105.7	22,417	7,955	
	2項 財 産 売 払 収 入	120,370	123,427	3,057	102.5	247,395	▲ 123,968	
	1目 不 動 産 売 払 収 入	103,861	105,946	2,085	102.0	230,590	▲ 124,644	
	2目 物 品 売 払 収 入	1	973	972	97,300.0	3,234	▲ 2,261	
	4目 出 資 金 返 還 金	16,508	16,508	0	100.0	13,572	2,936	
18款	寄 附 金	235,337	264,620	29,283	112.4	506,875	▲ 242,255	一般寄附金193,357（うち、ふるさと射水応援寄附金141,879）、 民生費寄附金3,900、教育費寄附金11,458、土木費寄附金1,000、 商工費寄附金829、総務費寄附金49,020、災害復旧費寄附金5,056
19款	繰 入 金	1,001,218	398,883	▲ 602,335	39.8	318,344	80,539	
	1項 基 金 繰 入 金	948,185	348,185	▲ 600,000	36.7	318,344	29,841	
	2目 小 杉 イン タ ー パ ー ク 管 理 基 金 繰 入 金	900	900	0	100.0	900	0	

区分・内容		予 算 額 A	決 算 額 B	差 引 額 (B - A)	収入率 (B/A)	前年度決算額 C	前年度比 B - C	決算額の主な内訳
	4目 ふるさと射水応援 基金繰入金	317,913	317,913	0	100.0	300,000	17,913	
	5目 森林環境保全基金繰入金	14,017	14,017	0	100.0	7,144	6,873	
	6目 新型コロナウイルス感染症対策 基金繰入金	15,355	15,355	0	100.0	10,300	5,055	
	7目 財政調整基金繰入金	600,000	0	▲ 600,000	0.0	0	0	
	2項 特別会計繰入金	53,033	50,698	▲ 2,335	95.6	-	50,698	重層的支援体制整備事業繰入金50,698
20款	繰越金	2,357,389	2,357,389	0	100.0	1,823,825	533,564	
21款	諸収入	1,107,227	1,048,890	▲ 58,337	94.7	905,449	143,441	
	1項 延滞金・加算金及び過料	12,800	16,225	3,425	126.8	14,350	1,875	
	2項 市預金利子	64	2,412	2,348	3,768.8	99	2,313	
	3項 貸付金元利収入	412,842	413,319	477	100.1	507,965	▲ 94,646	
	4項 受託事業収入	12,831	15,139	2,308	118.0	16,475	▲ 1,336	
	5項 雑入	668,690	601,796	▲ 66,894	90.0	366,559	235,237	
22款	市債	5,224,900	3,019,200	▲ 2,205,700	57.8	1,999,600	1,019,600	
	1項 市債	5,224,900	3,019,200	▲ 2,205,700	57.8	1,999,600	1,019,600	
	1目 総務債	122,800	114,900	▲ 7,900	93.6	316,700	▲ 201,800	コミュニティセンター整備事業債63,000、万葉線設備整備事業債43,300、防災施設整備事業債2,000、あいの風とやま鉄道設備整備事業債6,600
	2目 民生債	9,200	8,000	▲ 1,200	87.0	3,300	4,700	福祉施設整備事業債8,000
	3目 衛生債	814,000	801,100	▲ 12,900	98.4	41,700	759,400	一般廃棄物処理事業債758,200、一般会計出資債42,900
	4目 農林水産業債	134,000	107,700	▲ 26,300	80.4	136,400	▲ 28,700	農業農村整備事業債93,800、漁港修築事業債13,900
	5目 商工債	331,900	115,900	▲ 216,000	-	0	115,900	道の駅整備事業債115,900
	6目 土木債	631,900	319,500	▲ 312,400	50.6	622,200	▲ 302,700	高効率照明整備事業債11,100、道路整備事業債188,600、河川整備事業債5,900、都市計画街路整備事業債12,800、公園整備事業債35,500、公営住宅整備事業債45,500、重点密集市街地整備事業債20,100
	7目 消防債	160,000	130,300	▲ 29,700	81.4	117,700	12,600	消防施設整備事業債130,300
	8目 教育債	958,500	652,000	▲ 306,500	68.0	441,800	210,200	大門中学校整備事業債135,000、中学校整備事業債61,600、片口小学校整備事業債253,800、中太閤山小学校整備事業債182,500、保健体育施設整備事業債19,100
	9目 災害復旧債	1,936,900	644,200	▲ 1,292,700	33.3	162,000	482,200	廃棄物処理施設災害復旧事業債41,500、農林水産施設災害復旧事業債90,900、公共土木施設等災害復旧事業債289,600、公営住宅災害復旧事業債15,400、公共施設災害復旧事業債19,800、災害対策債185,200、文教施設災害復旧事業債1,800
	10目 臨時財政対策債	125,700	125,600	▲ 100	99.9	157,800	▲ 32,200	
(自動車取得税交付金)		-	-	-	-	3,831	▲ 3,831	
市税以外の収入合計		35,604,445	32,445,286	▲ 3,159,159	91.1	28,402,907	4,042,379	

歳出の状況（目的別）

（単位：千円、％）

区 分	予算額 A	構成比	決算額 B	構成比	差引額 (A - B)	執行率 (B / A)	前年度決算額 C	前年度比 (B - C)
1 議会費	279,993	0.6	272,263	0.6	7,730	97.2	269,707	2,556
2 総務費	6,760,223	13.4	6,438,507	14.0	321,716	95.2	5,130,495	1,308,012
3 民生費	15,180,472	30.1	14,662,824	31.9	517,648	96.6	14,287,058	375,766
4 衛生費	5,822,336	11.5	5,240,849	11.4	581,486	90.0	3,473,788	1,767,061
5 労働費	24,629	0.0	22,788	0.0	1,841	92.5	71,831	▲ 49,043
6 農林水産業費	1,237,625	2.5	1,055,038	2.3	182,587	85.2	983,748	71,290
7 商工費	1,758,040	3.5	1,443,818	3.1	314,222	82.1	1,300,707	143,111
8 土木費	5,817,004	11.5	4,920,084	10.7	896,920	84.6	5,464,278	▲ 544,194
9 消防費	1,506,013	3.0	1,363,976	3.0	142,037	90.6	1,220,409	143,567
10 教育費	4,095,438	8.1	3,543,968	7.7	551,470	86.5	3,047,958	496,010
11 災害復旧費	1,997,183	4.0	972,547	2.1	1,024,635	48.7	144,142	828,405
12 公債費	5,995,232	11.9	5,986,630	13.0	8,602	99.9	6,033,699	▲ 47,069
13 予備費	15,732	0.0	0	0.0	15,732	0.0	0	0
合 計	50,489,919	100.0	45,923,293	100.0	4,566,626	91.0	41,427,820	4,495,473

継続費通次繰越、繰越明許費繰越及び事故繰越しに係る翌年度繰越額（計3,161,667千円）の内訳

総 務 費	67,275千円	広報広聴費、財産管理費、庁舎等管理費、契約管理費、地方創生推進費、地域振興費、コミュニティセンター管理運営費、防犯対策費、防災対策費、戸籍住民基本台帳費
民 生 費	254,281千円	高齢者福祉施設費、非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費、保育園等管理運営費、保育園等整備事業費
衛 生 費	443,506千円	災害廃棄物処理事業費、被災家屋等解体費、衛生センター管理費
農 林 水 産 業 費	126,486千円	土地改良事業推進対策費、農地管理費、海面漁業振興費、新湊漁港建設費
商 工 費	260,977千円	道の駅維持管理費、道の駅整備事業費
土 木 費	685,785千円	市道新設改良費、地方道路交付金事業費、道路橋梁維持費、橋梁長寿命化・耐震化対策事業費、除雪対策費、河川管理費、港湾建設促進費、公園維持管理費、建築指導費、市営住宅維持管理費、重点密集市街地整備費
消 防 費	102,602千円	常備消防費、消防車両整備事業費、消防庁舎等整備事業費
教 育 費	413,071千円	学校給食センター管理費、学校管理費（小）、学校給食費（小）、放生津・新湊統合小学校整備費、学校管理費（中）、大門中学校整備費、小杉展示館・竹内源造記念館管理運営費、小杉文化ホール管理運営費、大門総合会館管理運営費、スポーツ施設維持管理費、学校体育施設開放事業費、海竜スポーツランド維持管理費
災 害 復 旧 費	807,686千円	農地災害復旧費、農業用施設災害復旧費、水産業施設災害復旧費、土木災害復旧費、体育施設災害復旧費、土木災害復旧費（繰越明許）

⑤ 歳出の主な内訳（目的別）

（単位：千円）

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A－B)	決算額の主な内訳
1 議会費	272,263	269,707	2,556	議員報酬184,923、議会運営費30,488 等
2 総務費	6,438,507	5,130,495	1,308,012	
総務管理費	4,907,710	4,400,245	507,465	職員管理費211,986、財政対策積立金186,143、その他目的基金積立金256,642、庁舎等管理費849,658、移住・定住促進事業費148,227、地方創生推進費110,297、電算管理費224,475、D X推進事業費299,896、協働のまちづくり推進費156,643、コミュニティセンター管理運営費216,991、コミュニティセンター整備事業費36,053、コミュニティバス運行費379,418、万葉線対策費171,003 等
徴税費	1,151,000	368,692	782,308	賦課事務費162,638、徴収事務費15,296、定額減税補足臨時給付金給付費741,596 等
戸籍住民基本台帳費	277,323	298,631	▲ 21,308	戸籍住民基本台帳費98,928 等
選挙費	53,149	17,265	35,884	県知事選挙費14,992、衆議院議員総選挙費20,546 等
統計調査費	13,733	11,016	2,717	農林業センサス費3,646、国勢調査（調査区設定）費438、全国家計構造調査1,370 等
監査委員費	35,593	34,646	947	監査委員費2,878 等
3 民生費	14,662,824	14,287,058	375,766	
社会福祉費	7,348,288	7,365,043	▲ 16,755	高齢者福祉施設費95,853、介護保険事業特別会計繰出金1,424,969、後期高齢者医療事業特別会計繰出金1,458,532、地域支援事業179,869、国民健康保険事業特別会計繰出金486,973、重度心身障害者等医療費助成費274,299、自立支援給付費2,309,800、低所得世帯物価高騰臨時給付金給付費200,186、非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費190,564 等
児童福祉費	6,968,610	6,569,215	399,395	放課後児童健全育成事業費134,617、児童手当等給付費1,478,139、児童扶養手当給付費219,523、子ども及び妊産婦医療助成費464,366、保育園等管理運営費755,132、保育園等運営委託等事業費2,557,239 等
生活保護費	322,141	337,059	▲ 14,918	セーフティネット支援対策費34,088、生活保護扶助費255,961 等
災害救助費	23,785	15,740	8,045	災害弔慰金1,782、災害見舞事業費22,003

(単位：千円)

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A－B)	決算額の主な内訳
4 衛生費	5,240,849	3,473,788	1,767,061	
保健衛生費	1,103,188	1,154,560	▲ 51,372	母子保健推進費83,375、がん対策推進費94,434、予防接種費445,730、 斎場管理費110,098、地球温暖化対策推進費13,138 等
清掃費	3,122,949	1,513,738	1,609,211	収集指定袋取扱費65,241、塵芥収集費357,375、クリーンピア射水管理費816,109、 粗大ごみ処理施設管理費70,864、処理棟管理費57,408、野手埋立処分所管理費192,170、 災害廃棄物処理事業費156,204、被災家屋等解体費200,528、 衛生センター整備費1,076,324 等
病院費	954,160	785,590	168,570	病院事業会計繰出金954,160
上水道費	60,553	19,900	40,653	水道事業会計繰出金60,553
5 労働費	22,788	71,831	▲ 49,043	勤労者福祉推進費16,617、雇用対策費6,171
6 農林水産業費	1,055,038	983,748	71,290	
農業費	805,166	852,914	▲ 47,748	農業振興推進費89,822、水田利活用推進対策費49,951、ふるさと特産品推進費66,528、 土地改良事業推進対策費327,061、農地管理費154,600 等
林業費	45,944	48,775	▲ 2,831	林業振興推進費27,951、緑化推進費11,441 等
水産業費	203,929	82,059	121,870	海面漁業振興費149,673、新湊漁港建設費19,254 等
7 商工費	1,443,818	1,300,707	143,111	商工業振興費118,960、企業誘致対策費316,406、中小企業振興対策費402,198、 観光推進費88,832、道の駅整備事業費167,468、観光交流センター管理運営費133,079 等
8 土木費	4,920,084	5,464,278	▲ 544,194	
道路橋梁費	1,990,683	1,763,909	226,774	市道新設改良費63,134、地方道路交付金事業費190,502、道路橋梁維持費221,073、 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費175,208、除雪対策費771,137、 消雪施設維持管理費226,575 等
海岸河川費	91,787	84,674	7,113	河川管理費40,932、海岸総務費10,388 等
港湾費	106,756	130,125	▲ 23,369	海王丸パーク活用推進費73,556 等
都市計画費	401,799	732,474	▲ 330,675	地籍調査費11,021、街路事業費19,450、公園維持管理費285,404 等
下水道費	1,937,966	2,267,248	▲ 329,282	下水道事業会計繰出金1,937,966
住宅費	391,093	485,848	▲ 94,755	市営住宅維持管理費163,153、重点密集市街地整備費55,544 等

(単位：千円)

区 分	決算額 A	前年度決算額 B	前年度比 (A－B)	決算額の主な内訳
9 消防費	1,363,976	1,220,409	143,567	常備消防費44,340、消防団運営費75,356、防火水槽整備事業費42,724、 通信施設整備事業費48,277、消防車両整備事業費67,737、 消防団拠点施設整備事業費86,985 等
10 教育費	3,543,968	3,047,958	496,010	
教育総務費	507,879	449,105	58,774	教育委員会事務局費141,072、学校図書館活動推進費46,473、 学校給食センター管理費117,205 等
小学校費	1,389,043	1,045,233	343,810	学校管理費（小）171,872、学校給食費（小）157,853、 スクールバス運行費（小）60,661、教育振興運営費（小）256,590、 片口小学校整備費305,224、中太閤山小学校整備費261,563、 放生津・新湊統合小学校整備費95,048 等
中学校費	580,088	516,959	63,129	学校管理費（中）155,628、学校給食費（中）71,375、教育振興運営費（中）107,361、 大門中学校整備費190,541 等
幼稚園費	19,128	22,452	▲ 3,324	幼稚園管理費5,509 等
社会教育費	655,245	656,628	▲ 1,383	図書館管理運営費91,070、新湊中央文化会館管理運営費94,057、 小杉文化ホール管理運営費83,941、大門総合会館管理運営費35,731、 大島絵本館管理運営費83,193 等
保健体育費	392,584	357,580	35,004	スポーツ推進事務管理費47,074、スポーツ施設維持管理費157,601、 海竜スポーツランド維持管理費76,624、フットボールセンター管理運営費36,532 等
11 災害復旧費	972,547	144,142	828,405	
廃棄物処理施設災害復旧費	84,293	28,600	55,693	廃棄物処理施設災害復旧費84,293
農林水産業施設災害復旧費	170,524	19,543	150,981	農業用施設災害復旧費108,264、農地災害復旧費29,808、水産業施設災害復旧費32,452
土木施設災害復旧費	501,635	95,999	405,636	土木災害復旧費501,635
文教施設災害復旧費	216,095	0	216,095	教育施設災害復旧費4,015、体育施設災害復旧費212,080
12 公債費	5,986,630	6,033,699	▲ 47,069	公債費元金償還費4,683,473、公的資金繰上1,079,903、公債費利子償還費217,427 等
合 計	45,923,293	41,427,820	4,495,473	

⑥ 歳出の状況（性質別）

（単位：千円、％）

区 分	決 算 額	構成比	前年度決算額	構成比	前年度比		主な変動要因分析
					増 減 額	増減率	
1 人件費	6,205,441	13.5	5,641,765	13.6	563,676	10.0	職員及び会計年度任用職員の給与改定等に伴う増
うち職員給	3,797,377	8.3	3,602,548	8.7	194,829	5.4	
2 扶助費	9,054,667	19.7	8,394,730	20.3	659,937	7.9	臨時給付金給付費、能登半島地震災害見舞金の増
3 公債費	5,980,804	13.0	6,017,823	14.5	▲ 37,019	▲ 0.6	起債償還の進捗による償還元金の減
義務的経費(1～3)	21,240,912	46.3	20,054,318	48.4	1,186,594	5.9	
4 普通建設事業費	4,252,053	9.3	3,419,391	8.3	832,662	24.4	衛生センター整備事業費、片口小学校整備事業費、中太閤山小学校整備費の増
うち補助事業費	1,862,778	4.1	1,726,917	4.2	135,861	7.9	
うち単独事業費	2,237,068	4.9	1,453,897	3.5	783,171	53.9	
うち県営事業負担金等	152,207	0.3	238,577	0.6	▲ 86,370	▲ 36.2	
5 災害復旧事業費	1,634,603	3.6	224,419	0.5	1,410,184	628.4	災害廃棄物処理事業費、土木災害復旧費、被災家屋等解体費、海面漁業振興費の増
うち補助事業費	944,209	2.1	44,753	0.1	899,456	2,009.8	
うち単独事業費	690,394	1.5	179,666	0.4	510,728	284.3	
投資的経費(4～5)	5,886,656	12.8	3,643,810	8.8	2,242,846	61.6	土木災害復旧費、農地災害復旧費、農業用施設災害復旧費、体育施設災害復旧費の増
6 物件費	7,236,485	15.8	6,429,870	15.5	806,615	12.5	物価高や人件費増加による委託料の増
7 維持補修費	1,203,421	2.6	865,452	2.1	337,969	39.1	除雪関連費用の増
8 補助費等	5,380,306	11.7	5,447,376	13.1	▲ 67,070	▲ 1.2	高齢者福祉施設費、下水道事業会計繰出金の減、病院事業会計繰出金、いみず住まい等応援事業の増
9 積立金	442,785	1.0	386,661	0.9	56,124	14.5	減債基金積立金の増
10 投資及び出資金	751,492	1.6	727,421	1.8	24,071	3.3	水道事業会計繰出金の増
11 貸付金	416,200	0.9	508,537	1.2	▲ 92,337	▲ 18.2	富山県小口事業資金、組織労働者等福利対策等貸付金の減
12 繰出金	3,365,036	7.3	3,364,375	8.1	661	0.0	
その他の経費(6～12)	18,795,725	40.9	17,729,692	42.8	1,066,033	6.0	
合 計	45,923,293	100.0	41,427,820	100.0	4,495,473	10.9	

1 款 議 会 費

事業名		議会運営費		(1款 議会費	1項 議会費	1目 議会費	) 決算書	65 ページ	担当部課	議会事務局議事調査課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		28,959 【38,248】		30,488 【37,552】		【42,588】				
財 源 内 訳	諸収入		346		346					
	一般財源		28,613		30,142					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 市議会（委員会）開催状況 (1) 市議会 ・ 4月臨時会 1日 ・ 6月定例会 21日 ・ 9月定例会 22日 ・ 11月臨時会 1日 ・ 12月定例会 21日 ・ 1月臨時会 1日 ・ 3月定例会 21日 (2) 委員会 ・ 議会運営委員会 31日 ・ 総務文教常任委員会 8日 ・ 民生病院常任委員会 6日 ・ 産業建設常任委員会 8日 ・ 予算特別委員会 12日 ・ 決算特別委員会 5日 ・ 港湾振興特別委員会 2日 ・ 議会改革特別委員会 4日 ・ 議会改革特別委員会専門部会 9日 ・ 広報委員会 10日										
2 付議事件の審議結果等 (1) 市長提案 136件（可決、承認等 125件 議決事項でないもの 11件） (2) 議員提案 5件 推薦、選挙 3件										
3 議会情報の発信等 (1) 議会だよりの発行 議会の活動状況を市民に発信するため、分かりやすく、読みやすい紙面づくりに努めた。 発行回数 年4回（定例会の翌々月の1日発行） 発行部数 約33,000部/回（全世帯へ配布） (2) 議会映像の配信 本会議及び予算特別委員会をケーブルテレビで放送したほか、市ホームページにてインターネット中継（録画）を行った。										
4 議会報告会の開催 議会をより身近なものに感じてもらえるよう、議会情報を議員が直接市民に報告・説明するとともに、市民の声を市政に反映するため、市内5会場で民生病院及び産業建設常任委員会、広報委員会並びに議会改革特別委員会が議会報告会を開催した。総務文教常任委員会はYouTube動画配信を行った。										

2 款 総 務 費

事業名		職員管理費		(2款 総務費		1項 総務管理費		2目 人事管理費		決算書		66 ページ	担当部課	企画管理部人事課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				130,497	【138,134】	211,986	【219,051】		【198,504】	令和6年度は中長期の災害職員派遣を実施したことによる。				
財 源 内 訳	諸収入		2,004		1,926									
	一般財源		128,493		210,060									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 能登半島地震における中長期の職員派遣【地震】 地方自治法第252条の17の規定に基づき、各市から職員を派遣いただき、復旧・復興業務に従事していただいた。 派遣費用の負担金 ・ 長野県千曲市（令和6年4月8日～令和7年3月31日、1名） 4,927千円 ・ 長野県長野市（令和6年4月8日～令和7年3月31日、1名） 8,498千円 ・ 愛知県稲沢市（令和6年4月8日～6月30日、令和6年7月8日～9月30日、令和6年10月1日～令和7年3月31日、令和6年4月8日～令和7年3月31日、各1名） 18,032千円 ・ 愛知県田原市（令和6年4月8日～令和7年3月31日、1名） 9,957千円 ・ 広島県三原市（令和6年10月1日～令和7年3月31日、1名） 3,316千円 ・ 宮城県塩竈市（令和7年1月1日～3月31日、1名） 1,820千円												継 続	地方自治法に基づく中長期の職員派遣を受け入れ、能登半島地震からの復旧・復興業務を進めることができた。 令和7年度も引き続き4名の派遣職員に従事していただき、復旧・復興業務を進める。	

事業名	職員表彰・研修費	(2款 総務費	1項 総務管理費	2目 人事管理費	) 決算書	66 ページ	担当部課	企画管理部人事課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		7,028	【7,273】	7,002	【8,481】		【4,481】	
財 源 内 訳	諸収入	142		213				
	一般財源	6,886		6,789				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 階層別研修及び専門研修の実施 新任職員研修や幹部職員研修等の階層別研修のほか、職務遂行に必要な知識や技能を習得する専門研修を実施した。 ・ 階層別研修 239人（令和5年度 211人） ・ 専門研修 669人（令和5年度 422人） 令和5年6月から令和7年2月までの期間、公民連携事業について学び、実践する都市経営プロフェッショナルスクールに2名参加した。								継続 研修の実施により、職員の職務遂行能力の向上を図ることができた。引き続き、オンライン研修の積極的な活用等、職員が研修を受講しやすい環境づくりを整えつつ、職場や職員のニーズを踏まえた研修を企画する。
2 派遣研修の実施 課題発見・解決能力や政策形成能力を養成するため、中央省庁（内閣府）、富山県及び自治大学校への派遣研修を実施した。 また、呉西圏域人事交流事業として、氷見市と職員1名（行政職）の人事交流を行った。								継続 職員の幅広い視野と高度な知識の習得に寄与した。中堅幹部職員の養成及び圏域の交流・連携を更に深めるため、引き続き、派遣研修を実施する。

事業名		広報広聴費		(2款 総務費		1項 総務管理費		3目 文書広報費		決算書		67 ページ		担当部課		企画管理部未来創造課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				43,588 【45,809】		40,241 【48,765】												【49,940】
財 源 内 訳	基金繰入金		2,000		2,000													
	諸収入		1,658		1,737													
	一般財源		39,930		36,504													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 広報事業 広報いみずやケーブルテレビのほか、市LINE公式アカウントや各種SNSなど多様な広報媒体を用いて情報発信力の強化に努め、市民に”伝わる”行政情報を提供し、市の魅力を発信した。 (1) 広報いみずの発行 市政情報をあらゆる年齢層の市民に分かりやすく、見やすく情報を伝えるため、内容やレイアウトを工夫した。 発行回数 年12回 発行部数 33,400部 / 月 委託料等 20,454千円 (2) 市LINE公式アカウントによる情報発信事業 子育てや健康・福祉に関する情報や各種イベント情報などの市政情報を、希望する市民等へ効果的に配信したほか、市民限定クーポンの継続配布を行い、友だち登録を促した。 友だち登録者数 29,083人（令和6年度末） 契約期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料等 2,772千円 (3) Vチューバーを活用した番組制作 市の地域おこし協力隊が案内人として出演し、本市の魅力を発信した。 隊員それぞれの担当分野の活動紹介や、テーマごとにスペシャリストの目線での魅力発信に努めた。 また、YouTubeでインストリーム広告を活用し、県内外での視聴機会を創出したことにより、視聴回数を伸ばした。 配信回数：年6回 委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 776千円 (4) ケーブルテレビ行政番組放送 「テレビ広報いみず」では、担当課職員等が出演し、業務や事業などを分かりやすく説明した。 また、新春対談では、「いみずの多様性～みんなでつくろう多文化共生社会～」と題して市長と市内在住の外国人や県内外で外国人支援・ダイバーシティの普及啓発に携わっている出演者が、本市の状況や取組を話し合い、多文化共生社会の実現に向けて、行政・地域・住民はどのように取り組んでいくべきかを市民に伝えた。 契約期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 10,149千円 継続 多様な広報媒体を効果的に活用することで、市民等へ必要な情報の迅速かつ的確な提供につなげた。 引き続き、情報発信力の強化に努めていく。																		

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）																
(5) 市政出前講座 担当課職員等が地域へ出向いて事業を詳しく、分かりやすく説明することで、市民に市の現況や考え方の理解を深めてもらい、情報共有を図った。 令和6年度実施件数 178件 <table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和6年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>ホームページのアクセス件数</td><td>846,122件</td><td>1,043,363件</td><td>911,000件</td></tr><tr><td>S N S (市公式X、零Instagram、市公式YouTube、零YouTube)のフォロワー・チャンネル登録者数</td><td>9,407人</td><td>11,148人</td><td>15,000人</td></tr></table>				指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	ホームページのアクセス件数	846,122件	1,043,363件	911,000件	S N S (市公式X、零Instagram、市公式YouTube、零YouTube)のフォロワー・チャンネル登録者数	9,407人	11,148人	15,000人		
指標項目	基準	実績	目標																	
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																	
ホームページのアクセス件数	846,122件	1,043,363件	911,000件																	
S N S (市公式X、零Instagram、市公式YouTube、零YouTube)のフォロワー・チャンネル登録者数	9,407人	11,148人	15,000人																	
2 広聴事業 みえる・わかる・わかり合えるミーティング等を実施し、市民と行政との対話の機会を設け、市民からの提案を市政に生かす取組を行うことで、市民と行政との協働のまちづくりを推進した。 (1) みえる・わかる・わかり合えるミーティングの実施 市長と市民が直接対話する場を設けることで、市民と行政との情報の共有化を進め、市民と行政のわかり合いを推進した。 ・ 市長とのコーヒートーク 市内県立高等学校生徒（11人） いみず女性ネットワーク（10人） 小杉ボランティア連絡協議会（11人） 母親クラブ連絡協議会（7人） ・ 市長のタウンミーティング（152人 計3回） テーマ 市長と語る「射水の未来」 令和6年9月7日 キッズポートいみず 「生まれる・育つ」 21日 クロスベイ新湊 「暮らす」 10月5日 救急薬品市民交流プラザ 「働く」 (2) 市長への手紙、市へのメール 市民からの意見・提案に対し、市の現状や考え方を丁寧に回答することで、市民と行政との信頼関係の構築に努めた。 ・ 市長への手紙受付件数 63件 ・ 市へのメール受付件数 146件																				
（繰越明許費 3,500 千円） ・ 事業名 市制20周年動画制作業務委託 ・ 完了時期 令和7年10月				継続 市民と直接意見交換することで、課題等の把握や市の取組を共有し、今後の施策の参考とした。 引き続き、市民からの意見等を直接伺う機会を設けることにより、市政に対する理解を高め、信頼される行政運営を目指していく。																

事業名	男女共同参画推進費		(2款 総務費		1項 総務管理費		3目 文書広報費		)		決算書	67 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
			3,561	【4,997】	3,531	【3,995】		【6,709】								
財 源 内 訳	国庫補助金		992		900											
	一般財源		2,569		2,631											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 男女共同参画推進事業 (1) 男女共同参画推進委員会活動補助 ア 男女共同参画啓発活動 ・ 啓発週間中における街頭啓発（男女共同参画週間・女性に対する暴力をなくす運動） 実施日：令和6年6月24日、11月16日 ・ あったか家族のひなまつり 実施日：令和7年2月16日 場所：櫛田コミュニティセンター ・ オレンジキャンペーンin射水～がんばる女性をみんなで応援～ 実施日：令和7年3月8日 場所：アルビス小杉総合体育センター イ 推進委員研修会の開催 ウ 広報誌「いみずのに拓く」の発刊 (2) 小杉駅北広告塔への啓発看板設置（令和6年6月3日～6月30日） (3) 男女共同参画推進委員会委員報償費（33人） (4) 男女共同参画審議会の開催 実施日：令和7年3月25日 場所：市庁舎												継続	啓発活動や広報誌の作成により、男女共同参画意識の向上や、男女が共に地域活動等に参画する機運の醸成に努めた。 今後も、街頭啓発や推進委員が実施する各地区での啓発活動を通じ、市民に男女共同参画への理解を深めてもらい、性別に関わらず一人ひとりが共に個性と能力を発揮できる社会の形成を目指していく。			
2 女性のための無料相談 年間18回（奇数月は2回、偶数月は1回）、女性無料相談を実施した。 ・ 年間相談人数 延べ55人												継続	配偶者からの暴力等、様々な問題を抱えている女性を対象とした無料相談を実施し、問題解決に向けた支援を行った。 今後もDV予防の啓発と併せて、継続して相談事業を実施していく。			
3 いみずキャリアステップ応援塾【国1/2】 リーダーの役割を担っていく女性のスキルアップと相互交流、業種・職種の枠を超えた企業間ネットワークの形成を図った。 ・ 開催回数5回 受講者数24人												継続	業種・職種の枠を超えたネットワーク形成を図った。 今後も女性のエンパワーメントを推進していくため、事業を継続していく。			

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）	
4 射水市女性のためのキャリアアップ補助金 出産・育児・介護等のために離職した女性や非正規雇用の形態で働いている女性が、就職や起業等に有効な資格を取得した場合に、その経費の一部を支援した。 ・ 補助件数2件			継続	出産・育児・介護等のために離職した女性や非正規雇用で働いている女性を対象に、資格取得に係る経費を補助することで、雇用安定及び就業促進を行った。 今後も事業の周知に努め、女性の就業支援を図っていく。
5 女性活躍推進セミナー 地域活動に女性が担い手として参画、活動することを後押しし、地域の活性化につなげるためのセミナーを実施した。 ・ 富女会inいみず 開催回数2回 受講者数 延べ65人				継続
開催日	開催テーマ	開催場所		
令和6年10月5日	自分カラーを見つけよう	陶房匠の里 研修室		
令和7年2月1日	選択をも楽しむ。そして一歩踏み出す。	市庁舎		
・ 女性活躍学び塾 開催回数1回 受講者数 37人				
開催日	開催テーマ	開催場所		
令和6年10月20日	能登半島地震の教訓から	救急薬品市民交流プラザ		

事業名	財政対策積立金			(2款 総務費	1項 総務管理費	4目 財政管理費	) 決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			20,829	【21,235】	186,143	【186,143】		【24,503】		
財 源 内 訳	財産運用収入		20,829		24,143				臨時財政対策債償還基金費積立金の増による。	
	一般財源		0		162,000					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
・ 財政調整基金 21,646千円 ・ 減債基金 164,497千円									継続	災害時の財源確保や社会経済情勢の変化等による財政需要に対応していくため、基金の適切な確保に努めていく。

事業名	その他目的基金			(2款 総務費	1項 総務管理費	4目 財政管理費	) 決算書	67 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			365,832	【384,587】	256,642	【256,643】		【19,207】		
財 源 内 訳	財産運用収入		147		4,593				ふるさと射水応援基金積立金の減による。	
	寄附金		266,810		152,849					
	一般財源		98,875		99,200					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
・ 公共施設建設等基金 23,474千円 ・ 小林與三次基金 53千円 ・ 福祉振興基金 8千円 ・ 小杉インターパーク管理基金 111千円 ・ 合併地域振興基金 2,510千円 ・ ふるさと射水応援基金 217,695千円 ・ 森林環境保全基金 12,773千円 ・ 新型コロナウイルス感染症対策基金 18千円									継続	各基金の設置目的に応じ、適切な管理・運用に努めていく。

事業名		会計管理費		(2款 総務費		1項 総務管理費		5目 会計管理費		) 決算書		68 ページ	担当部課	会計管理者会計課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			12,563	【13,382】	18,393	【19,200】		【25,523】							
財 源 内 訳	一般財源		12,563		18,393										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 出納事務 (1) 公金の出納に係る伝票審査の徹底と公金取扱状況検査を実施した。 ・現金出納員等 12か所実施（令和5年度 12か所） ・収納消込データ作成業務委託料 7,449千円（令和5年度 4,777千円） (2) 歳計・歳計外現金及び基金の安全かつ効率的な運用を行った。													継 続	公金の支出命令審査を厳正かつ迅速に行い、適正で確実な支払事務の執行に努めた。 公金等の取扱状況検査を継続して実施し、適正な会計事務と公金の取扱いに対する職員の意識向上を図っていく。	

事業名		検査費		(2款 総務費		1項 総務管理費		5目 会計管理費		決算書	68 ページ	担当部課	財務管理部検査監																																			
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																							
			8,324	【8,668】	8,810	【8,832】		【9,169】																																								
財 源 内 訳	一般財源		8,324		8,810																																											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）																																				
1 検査指導業務 市発注の工事や業務委託の品質の確保、施工技術水準の向上などを目的に完成検査や工事現場安全パトロールを実施した。 (1) 完成検査 設計図書に基づき検査を実施し、安全管理及び品質管理を中心とした確認を行うとともに、適時指導・助言を行うなど積極的な対応に努めた。 <table><tr><th>年度</th><th>区分</th><th>工事</th><th>業務委託</th><th>計</th></tr><tr><td rowspan="2">令和5年度</td><td>件数</td><td>169件</td><td>46件</td><td>215件</td></tr><tr><td>金額</td><td>3,666,563千円</td><td>279,522千円</td><td>3,946,085千円</td></tr><tr><td rowspan="2">令和6年度</td><td>件数</td><td>204件</td><td>50件</td><td>254件</td></tr><tr><td>金額</td><td>5,590,384千円</td><td>575,292千円</td><td>6,165,676千円</td></tr></table> 検査対象：工事1,300千円以上、委託500千円以上（随意契約・維持修繕工事を除く） (2) 工事監察、工事現場安全パトロール 工事の施工途中の現場について施工体制や安全対策の確認や指導を行った。 <table><tr><th>年度</th><th>工事監察</th><th>工事現場パトロール</th><th>計</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>8件</td><td>17件</td><td>25件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>3件</td><td>7件</td><td>10件</td></tr></table> 工事監察：低入札調査基準価格を下回る価格で落札した工事等の施工状況を評価するもの。												年度	区分	工事	業務委託	計	令和5年度	件数	169件	46件	215件	金額	3,666,563千円	279,522千円	3,946,085千円	令和6年度	件数	204件	50件	254件	金額	5,590,384千円	575,292千円	6,165,676千円	年度	工事監察	工事現場パトロール	計	令和5年度	8件	17件	25件	令和6年度	3件	7件	10件	継続	完成検査等の実施により、適正な成果物の引渡しを受けることができた。 今後も継続して工事等の品質確保に努めていく。
年度	区分	工事	業務委託	計																																												
令和5年度	件数	169件	46件	215件																																												
	金額	3,666,563千円	279,522千円	3,946,085千円																																												
令和6年度	件数	204件	50件	254件																																												
	金額	5,590,384千円	575,292千円	6,165,676千円																																												
年度	工事監察	工事現場パトロール	計																																													
令和5年度	8件	17件	25件																																													
令和6年度	3件	7件	10件																																													

事業名	財産管理費		(2款 総務費		1項 総務管理費		6目 財産管理費		決算書	68 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課 財務管理部公共施設マネジメント推進課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			38,687	【50,811】	34,808	【47,876】		【46,208】				
財 源 内 訳	財産売払収入		12,821		28,946							
	諸収入		798		5,862							
	一般財源		25,068		0							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 普通財産の管理及び処分 土地建物を維持管理するとともに、未利用財産の売却及び貸付、集会用施設用地の無償譲渡を行った。 また、未利用不動産の利活用を促進するため、売却等の条件を整備した。 売却条件整備等 ・ 不動産鑑定評価 221千円 土地売払収入 ・ 普通財産売払 4件 98,795千円 （防災・資産管理課、都市計画課） ・ 法定外公共物売払 15件 7,151千円 （用地課） 土地貸付収入 ・ 普通財産貸付 91件 6,284千円										継続	市有地（普通財産）を適正に管理するとともに、売却及び貸付を行った。また、未利用市有地の売却条件整備など必要な準備を進めた。 引き続き、売却条件の整備に努めるとともに、未利用市有地の活用に向けた庁内連携を強化し、積極的な情報発信により売却促進に努める。	
2 民間提案制度の実施 民間事業者から、公共施設及び未利用市有地等の利活用や維持管理について市民サービス向上、地域経済活性化及び財政負担の軽減などに資する提案を募集し、応募があった2提案全てを採択した。 ・ 民間提案事業者説明会 報償費、使用料及び賃借料 224千円 ・ 民間提案事業審査委員会（10月開催） 報償費 26千円										継続	公共施設の脱炭素化、未利用市有地の活用に関する提案を採択することができた。 提案者との協議が整った提案から事業化を図るとともに、引き続き、本制度を活用していく。	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
3 放生津小学校跡地利活用検討事業 令和9年度以降の利活用に向け「放生津小学校跡地施設の利活用に関する基本方針」を策定した。 ・ 市民ワークショップの開催 3回 報償費 240千円 ・ ニュースレターの発行 2回 印刷製本費 41千円	継続 市民ワークショップの開催により地域ニーズを把握するとともに公的な利活用について整理し、基本方針を策定した。 今後は地域内外の人をつなぐイベントの実施や民間事業者を対象としたサウンディング型市場調査の実施により参入条件等を整理していく。
（繰越明許費 6,895 千円） ・ 事業名 太閤山地域擁壁調査業務委託（4,235千円） ・ 完了時期 令和7年10月31日 ・ 事業名 旧新湊中学校跡地分筆登記業務委託（900千円） ・ 完了時期 令和7年8月29日 ・ 事業名 南太閤山地区擁壁修繕工事（1,760千円） ・ 完了時期 令和8年3月31日	

事業名		庁舎等管理費(繰越明許)				(2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費)		決算書	68 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課 財務管理部公共施設マネジメント推進課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
財 源 内 訳	市債				22,140	【23,375】					
	一般財源				1,350						
					20,790						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 射水市公共施設震災関連応急復旧及び修繕業務委託（事業費 1,350千円）【地震】 令和6年能登半島地震による公共施設の破損又は故障等不具合箇所の復旧・修繕を行った。 ・委 託 先 日本管財株式会社 ・契 約 期 間 令和6年1月15日～令和7年4月30日 ・委 託 料 13,500千円 ・令和6年度実績額 1,350千円										完了	地震被害に対して、点検結果に応じて優先度の高い箇所から迅速に応急復旧・修繕等を行うことができた。
2 大島分庁舎空調設備改修工事（事業費 22,025千円） 老朽化により空調運転に支障があった空調設備の改修工事を行った。 ・工 期 令和6年7月4日～令和7年3月24日 ・契 約 額 20,790千円										完了	空調設備の改修により、分庁舎の機能を向上することができた。

事業名	庁舎等管理費			(2款 総務費 1項 総務管理費 6目 財産管理費)			決算書	68 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課 財務管理部公共施設マネジメント推進課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			753,769	【798,549】	827,518	【860,094】		【470,571】	民間提案による省エネルギー化事業を実施したことによる。	
財 源 内 訳	使用料	市債	1,128	12,150	4,050	0				
	国庫補助金	一般財源	66,041	660,411	36,876	770,260				
	県補助金		3,628		151					
	基金繰入金		3,800		5,000					
	諸収入		6,611		11,181					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 公共施設包括管理業務委託の実施 維持管理業務の品質向上と業務効率化を図るとともに、巡回員による速やかな修繕対応や定期点検により、適切な施設の維持管理に努めた。（保守点検等業務の市内受注率：令和2年度まで 38.4% → 令和6年度末 46.0%） ・ 委 託 先 日本管財株式会社 ・ 契 約 期 間 令和4年4月1日～令和9年3月31日（60か月） ・ 対 象 施 設 市内公共施設 105施設 ・ 契 約 額 1,163,887千円 ・ 令和6年度実績額 238,931千円									継続	引き続き、適切なメンテナンスにより安全性の向上を図りつつ、保守点検等業務の市内受注率の向上や中期的な修繕計画の策定につなげていく。
2 公共施設の省エネルギー推進事業 民間提案により市に新たな財政負担を生じさせず、公共施設の省エネルギー化と財政負担の軽減を図った。 (1) 公共施設21か所に節水器具を設置 ・ 契約期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日 ・ 契約額 19,470千円 ・ 令和6年度賃借料 3,894千円 (2) 公共施設20施設の照明ＬＥＤ化と1施設の空調効率化 ・ 契約期間 令和6年4月1日～令和16年3月31日 ・ 契約額 282,480千円 ・ 令和6年度賃借料 28,248千円 (3) 公共施設7施設の照明ＬＥＤ化と2施設の空調設備更新 ・ 契約期間 令和6年4月1日～令和21年3月31日 ・ 契約額 369,270千円 ・ 令和6年度賃借料 24,618千円									継続	照明のＬＥＤ化や太陽光発電等省エネルギー事業を実施し、エネルギーコストの低減を図った。 今後も計画的に各施設のＬＥＤ化を図っていく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
(4) 市庁舎（立体駐車場）への太陽光発電設備の設置 ・ 契約期間 令和6年4月1日～令和26年3月31日 ・ 契約額 91,656千円 ・ 令和6年度賃借料 4,583千円 (5) 大島分庁舎へのEV充放電設備の設置 ・ 契約期間 令和6年10月1日～令和11年9月30日 ・ 契約額 10,200千円 ・ 令和6年度賃借料 2,040千円	
3 指定管理者支援金（物価高騰対策№1）【交付金】 電気料金等の高騰の影響を受けた指定管理者に対して経費の増嵩に対する支援を行った。 ・ 市内公共施設の指定管理者（42施設） ・ 支援金 46,707千円	完了 エネルギー価格高騰で施設運営経費が増嵩した指定管理者に対して、支援を行うことで、安定的な施設の運営につながった。
（繰越明許費 13,808 千円） ・ 事業名 大島分庁舎2階空調設備改修工事（13,698千円） ・ 完了時期 令和8年3月23日 ・ 事業名 庁舎外線電話保留音改修業務委託（110千円） ・ 完了時期 令和7年12月28日	

事業名		契約管理費		(2款 総務費		1項 総務管理費		6目 財産管理費		決算書		68 ページ		担当部課		財務管理部総務課																					
決算額【予算額】				令和5年度				令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）																					
				1,913		【1,951】		2,485		【7,932】				【2,210】																							
財源内訳	一般財源			1,913				2,485								電子契約サービスの導入により、初期導入費用及びサービス利用料が増加したことによる。																					
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）																							
1 電子入札の運用 令和4年8月から工事及び測量・建設コンサルタント等一部の委託案件について電子入札を導入し、令和5年6月から役務及び物品の入札についても電子入札の対象とし、全ての入札案件を電子入札とした。 電子入札システム 運用サービス利用料 1,735千円 電子入札実績 <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">令和5年度</td><td colspan="2">令和6年度</td></tr><tr><td>工事</td><td>157件</td><td>4,628,983千円</td><td>241件</td><td>5,250,852千円</td></tr><tr><td>委託</td><td>87件</td><td>1,872,973千円</td><td>110件</td><td>795,221千円</td></tr><tr><td>物品</td><td>21件</td><td>193,943千円</td><td>56件</td><td>392,931千円</td></tr></table>														項目	令和5年度		令和6年度		工事	157件	4,628,983千円	241件	5,250,852千円	委託	87件	1,872,973千円	110件	795,221千円	物品	21件	193,943千円	56件	392,931千円	継続		全ての入札において、パソコン上で開札や落札者への通知等が行えることで、更なる事務効率の向上につながっている。	
項目	令和5年度		令和6年度																																		
工事	157件	4,628,983千円	241件	5,250,852千円																																	
委託	87件	1,872,973千円	110件	795,221千円																																	
物品	21件	193,943千円	56件	392,931千円																																	
2 入札参加資格申請システムの導入 システムの導入により、入札参加資格申請（令和7～8年度入札分）について、電子申請で受付を行った。 入札参加資格審査申請システム使用料 99千円 電子申請実績 1,747件														継続		全ての入札参加資格申請を電子で受付し、事務効率の向上及びペーパーレスにつながった。 令和7年度以降は、入札参加資格の変更申請も電子申請で受付し、更なる効率化につなげる。																					
3 電子契約の導入 令和6年10月から電子契約を導入し、電子契約を導入している業者と電子契約を締結した。 電子契約サービス導入費用 544千円 電子契約サービス利用料 81千円 電子契約実績 175件 令和7年3月末までに契約締結したもの														継続		電子契約の導入業者とは、パソコン上で契約締結を行え、契約事務の効率化につながった。 今後も電子契約での契約締結を進めていく。																					

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
4 入札、契約事務の適正な執行					継続	公平・公正な制度の運用に努めるとともに、入札結果の公表等を行うことで透明性を図り、適正に入札契約事務を執行した。 「低入札価格調査制度」や「総合評価方式」の運用について、必要に応じ適切に見直しを図っていく。
(1) 低入札価格調査制度		工事入札 3件（工事入札全体241件のうち1.2％）				
(2) 総合評価方式（試行）		工事入札 27件（工事入札全体241件のうち11.2％）				
(3) 工事入札状況						
	項目	令和5年度		令和6年度		
	工事全体	157件	4,628,983千円	241件	5,250,852千円	
	うち一般競争入札	62件	4,040,039千円	105件	4,382,736千円	
(繰越明許費 5,441 千円)						
・事業名 契約管理システム連携項目改修業務、契約管理システム帳票改修業務						
・完了時期 令和7年10月末						

事業名	企画推進費						(2款 総務費	11項 総務管理費	7目 企画費	) 決算書	69 ページ	担当部課	企画管理部政策推進課																																																															
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																																			
			86,556	【87,999】	66,441	【67,944】		【75,375】																																																																				
財源内訳	国庫補助金		17,587		0				令和5年度をもって、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して射水市民の高校生世代及び射水市内高校に通う生徒にQUOカードを配布する事業が終了したことによる。																																																																			
	一般財源		68,969		66,441																																																																							
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																																																																	
1 市重点事業要望 本市の重点事業を推進するため、国・県に対し要望することにより、事業の進捗に寄与した。 <令和6年度実施（令和7年度分要望）> <table><tr><td>区分</td><td>新規</td><td>継続</td><td>再要望</td><td>新規・再要望</td><td>新規・継続</td><td>継続・再要望</td><td>合計</td></tr><tr><td>要望件数</td><td>5件</td><td>18件</td><td>8件</td><td>1件</td><td>1件</td><td>2件</td><td>35件</td></tr><tr><td>区分</td><td>採択</td><td>一部採択</td><td>未採択</td><td>合計</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>措置結果</td><td>14件</td><td>14件</td><td>7件</td><td>35件</td><td colspan="3"></td></tr></table> <令和5年度実施（令和6年度分要望）> <table><tr><td>区分</td><td>新規</td><td>継続</td><td>再要望</td><td>新規・継続・再要望</td><td>新規・継続</td><td>合計</td></tr><tr><td>要望件数</td><td>3件</td><td>22件</td><td>6件</td><td>1件</td><td>2件</td><td>34件</td></tr><tr><td>区分</td><td>採択</td><td>一部採択</td><td>未採択</td><td>合計</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>措置結果</td><td>13件</td><td>13件</td><td>8件</td><td>34件</td><td colspan="2"></td></tr></table>														区分	新規	継続	再要望	新規・再要望	新規・継続	継続・再要望	合計	要望件数	5件	18件	8件	1件	1件	2件	35件	区分	採択	一部採択	未採択	合計				措置結果	14件	14件	7件	35件				区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	新規・継続	合計	要望件数	3件	22件	6件	1件	2件	34件	区分	採択	一部採択	未採択	合計			措置結果	13件	13件	8件	34件			継続	35件の要望に対し、道の駅新湊の機能強化や新湊放生津小学校整備事業のほか、越中大門駅バリアフリー化の事業採択など、14件が採択され、一部採択が14件となるなど、本市の重点事業の推進に効果があった。 引き続き、国・県等関係機関に対し要望を実施していく。	
区分	新規	継続	再要望	新規・再要望	新規・継続	継続・再要望	合計																																																																					
要望件数	5件	18件	8件	1件	1件	2件	35件																																																																					
区分	採択	一部採択	未採択	合計																																																																								
措置結果	14件	14件	7件	35件																																																																								
区分	新規	継続	再要望	新規・継続・再要望	新規・継続	合計																																																																						
要望件数	3件	22件	6件	1件	2件	34件																																																																						
区分	採択	一部採択	未採択	合計																																																																								
措置結果	13件	13件	8件	34件																																																																								
2 とやま呉西圏域都市圏ビジョンの推進 第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョン（令和3年度～令和7年度）に基づき、呉西6市で連携を図りながら事業を推進した。 <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>呉西圏域連携事業のうち、目標を達成した事業の割合</td><td>50.0%</td><td>51.5%</td><td>80.0%</td></tr></table>														指標項目	基準	実績	目標	令和2年度	令和6年度	令和9年度	呉西圏域連携事業のうち、目標を達成した事業の割合	50.0%	51.5%	80.0%	継続	第2期とやま呉西圏域都市圏ビジョンを着実に推進するため、6市連携事業に取り組むとともに、第3期ビジョン（令和8年度～令和12年度）の策定に取り組む。																																																		
指標項目	基準	実績	目標																																																																									
	令和2年度	令和6年度	令和9年度																																																																									
呉西圏域連携事業のうち、目標を達成した事業の割合	50.0%	51.5%	80.0%																																																																									

3 高等教育機関と連携した学生が参画するまちづくりの推進

(1) 学生のまちづくり推進会議の開催

高等教育機関の学生で組織し、市の魅力を発信するための取組を企画・実施した。

・ 委員 9人（富山県立大学、富山情報ビジネス専門学校、富山高等専門学校、金沢星稜大学）

・ 「ツウインクルナイトin射水」との共同企画として、クリスマススタンプラリーやオリジナルしおり作り体験を開催

・ 小杉駅周辺グルメマップポスターの制作

・ 地域活動等にボランティアや運営スタッフとして参加

（六渡寺海岸清掃、まちなか台湾フェアin射水、LINK PARK、旧北陸道アートin小杉、ひばりふれあい食堂など）

(2) いみず学生アイデアコンテストの実施

学生の意見を生かしたまちづくりを推進するため、地域課題の解決に向けた提案を学生から募集し、提案発表を行った。

優秀賞3組については、実証実験補助金（上限10万円）を交付し事業の効果検証等を行い、参考とすべき提案や発想については、市の施策検討につなげた。

・ 応募総数 17件（うち8件の提案について、外部審査員を含めた審査会を開催、うち3件が実証実験）

(3) 市内県立高等学校との連携の推進

各高等学校の提案に基づく連携推進事業を実施し、連絡会議の中で成果発表と意見交換を行った。

<令和6年度の連携推進事業 8事業>

・ 新湊高等学校：新湊を照らそう、「地域の課題を解決!」、地域貢献プロジェクト～『地域のつながりを大切に』～

・ 小杉高等学校：郷土をテーマにした課題の発見と研究、探究活動（美術分野「アート・デザインで考える、新しい小杉駅構想」、化学分野の研究「せっけんづくり」、市政出前講座を受講し取り組む研究）

・ 大門高等学校：高校生DXプロジェクト（災害の可視化）、率先避難を意識した災害時の行動

<令和6年度の連携事業補助金 3校 218,440円>（1校あたりの補助金上限100千円）

・ 各校が実施する連携事業の取組を支援するため、必要な経費に対して連携推進事業補助金を交付した。

指標項目	基準	実績	目標
	令和4年度	令和6年度	令和9年度
まちづくりに参画した学生・生徒の数	437人	382人	600人
学生・生徒からの政策提案の数	17件	25件	20件
学びの地域拠点の設置数（累計）	-	0件	5件
指標項目	基準	実績	目標
	令和3年度	令和5-6年度	令和5-9年度
高等教育機関との連携事業数（累計）	1件	15件	25件

評価と今後の方向性（担当課意見）

継続

学生の目線による本市の魅力発信や地域課題の解決に学生のアイデアを生かすなど、学生との連携によるまちづくりを推進した。
引き続き、多くの学生が活動・交流する機会を創出し、学生によるまちづくりを推進していく。

事業名	交流推進費		(2款 総務費		1項 総務管理費		7目 企画費		)	決算書	69 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			17,124	【18,873】	21,413	【24,398】		【18,546】	士林区修学旅行受入及び友好提携5周年記念式典に係る費用の増による。						
財源内訳	国庫補助金		1,123		1,076										
	基金繰入金		500		500										
	諸収入		813		841										
	一般財源		14,688		18,996										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 国際交流業務委託 国際交流員を配置し、市内小学校での国際理解授業、英会話講座の開催、ケーブルテレビでの世界の文化の紹介、翻訳業務に対応した。 委 託 先 (株)インタラック関東北 委 託 期 間 令和6年5月1日～令和7年3月31日 委 託 料 5,062千円											継続	市民の国際理解の推進が図られており、引き続き事業を実施するとともに、事業内容の充実を図る。			
2 射水市民国際交流協会補助 (1) 語学講座や国際理解講座等の開催 ・ 語学講座の開催（英語初級30人、英語中級24人、英語上級22人） ・ 異文化体験交流会（サシェ作り体験 約160人、剪紙体験 約200人、己書体験 約90人） ・ 国際交流サロン ・ 台湾魅力発見講座 ・ 国際理解講座アメリカ編											継続	市民の国際理解の推進が図られており、日本人住民の国際感覚の醸成や外国人住民への理解の促進を図るだけでなく、外国人住民も参加できる事業の充実に努めるなど、国際交流協会と連携し、引き続き多文化共生のまちづくりを推進していく。			
指標項目		基準	実績	目標											
		令和4年度	令和6年度	令和9年度											
多様な価値観の理解に関する講座等の参加者数		142人	593人	200人											
(2) 多文化共生キーパーソンとの交流会 (3) (公財) とやま国際センターや富山情報ビジネス専門学校など関係団体との連携 (4) 太閤山日本語教室「ワイワイにほんごたいこうやま」への助成															

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）																
3 射水市外国人ヘルプデスクの設置【国1/2】 ・外国人住民の医療や福祉、子育て、教育等の生活に関する情報提供及び相談を多言語、ワンストップで受け付けた。 令和6年4月～令和7年3月 相談者256人、相談件数302件 委 託 先 射水市民国際交流協会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 2,153千円 <table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和6年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>外国人相談窓口利用件数</td><td>375件</td><td>302件</td><td>1,000件</td></tr><tr><td>多文化共生キーパーソン登録者数</td><td>20人</td><td>26人</td><td>50人</td></tr></table>				指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	外国人相談窓口利用件数	375件	302件	1,000件	多文化共生キーパーソン登録者数	20人	26人	50人	継続	外国人ヘルプデスク設置により相談窓口を充実させ、日本人住民も外国人住民も共に暮らしやすいまちづくりにつながった。 今後も交流会の実施や多文化共生推進プランの策定を検討するなど、多文化共生社会の実現に取り組んでいく。
指標項目	基準	実績	目標																	
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																	
外国人相談窓口利用件数	375件	302件	1,000件																	
多文化共生キーパーソン登録者数	20人	26人	50人																	
4 姉妹都市・友好都市との交流 (1)長野県千曲市、北海道剣淵町との交流 児童・生徒が宿泊体験やスポーツを通じて交流を深めたほか、互いに特産品の販売を行い、姉妹都市をPRした。 (2)台北市土林区との交流 ・友好提携5周年記念式典の開催 ・市内小中高校との対面交流（小杉南中学校及び小杉高等学校と士林国民中学校、大島小学校及び新湊小学校と士林国民小学校、放生津小学校と天母国民小学校、新湊高等学校と百齡高級中学校） ・地域おこし協力隊（国際交流コーディネーター）の任用 ・第4回台湾フェア及び日台小中学生絵画・提灯文化交流展の開催（会場：高周波文化ホール） ・市内中学校、高等学校とのオンライン交流（射北中学校と士林国民中学校、新湊高等学校と百齡高級中学校） <table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和6年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>交流事業参加者数</td><td>229人</td><td>2,610人</td><td>400人</td></tr></table>				指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	交流事業参加者数	229人	2,610人	400人	継続	姉妹都市及び友好都市との教育やスポーツ、文化交流を進めることができた。 また、新たに土林区及び本市小中高校との対面交流を行った。 引き続き、多方面での交流を促進していく。				
指標項目	基準	実績	目標																	
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																	
交流事業参加者数	229人	2,610人	400人																	
5 出会いの場の創出 射水市婚活サポーターズクラブ主催の婚活イベントや市補助金を活用した民間団体によるイベントの開催を支援し、結婚を望む方に出会いの場を提供した。 <table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和6年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>出会いイベント等参加者数</td><td>84人</td><td>66人</td><td>120人</td></tr></table>				指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	出会いイベント等参加者数	84人	66人	120人	継続	出会いイベントの内容を充実させ、より多くの出会いの場の提供に努めた。 引き続き、結婚を希望する方の成婚につながるよう取り組む。				
指標項目	基準	実績	目標																	
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																	
出会いイベント等参加者数	84人	66人	120人																	

事業名	移住・定住促進事業費		(2款 総務費		1項 総務管理費		7目 企画費		決算書		69 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課							
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）											
			101,393	【102,400】	148,227	【168,333】		【100,189】												
財 源 内 訳	県補助金		8,070		5,892				いみず住まい等応援事業補助金等の申請が増加したことによる。											
	寄附金		0		2,000															
	基金繰入金		7,100		5,500															
	諸収入		12,157		8,281															
	一般財源		74,066		126,554															
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）									
1 移住・定住促進事業 (1) セミナー・相談会等への参加 オンラインでの移住セミナーや東京での移住相談会に参加して本市の魅力をPRし、移住検討者からの相談を受けた。 <オンラインセミナー、東京での移住相談会> ・ とやま移住セミナー（オンライン開催。5月、11月、2月に参加） ・ 富山移住・しごとフェア（6月（6組相談）、8月（9組相談）、11月（10組相談）に東京で開催） ・ 北陸新幹線沿線5県移住フェア（1月（5組相談）に東京で開催） (2) 県西部6市連携による事業展開 移住・定住トータルサポート事業 <対面型移住相談イベントへの6市共同出展> ・ おいでや！いなか暮らしフェア2024（7月（8組相談）に大阪で開催） ・ ふるさと回帰フェア2024（9月に東京で開催（12組相談）） ・ JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024（12月に東京で開催（6組相談）） <とやま呉西圏域移住イベント> ・ 対面イベント 1月に東京で開催（17名参加） (3) 移住情報発信事業 移住促進、関係人口創出を図るためのマッチングサイト（SMOUT）を活用し、移住情報を発信した。 ・ 事業費 1,056千円 (4) 移住交流促進事業補助金 移住交流施設の管理・運営を行うNPO法人に対して助成した。 ・ 事業費 656千円 <施設利用者数> （令和6年4月1日～令和7年3月31日） <table><tr><td>施設名</td><td>宿泊日数</td><td>利用者数</td></tr><tr><td>ほうじょうづ</td><td>178日</td><td>217人</td></tr></table> (5) 空き家利活用の促進 固定資産税納税通知書に空き家利活用に関するチラシを同封し、射水市空き家等情報バンクへの登録を促した。											施設名	宿泊日数	利用者数	ほうじょうづ	178日	217人	継続	地方移住への関心が高まっている中、オンラインセミナーや東京・大阪での相談会に参加しながら、移住検討者からの相談対応や、いみず住まい等応援事業補助金等の支援制度を周知するなどの取組を行った結果、市外からの移住者数は前年度から135人増加し、341人となった。 令和6年10月には移住と空き家の相談窓口「#みらいシテン射水」を設置したところであり、移住や空き家利活用に関するサービスをワンストップで提供しながら、移住先として選んでもらえる施策により一層取り組んでいく。		
施設名	宿泊日数	利用者数																		
ほうじょうづ	178日	217人																		

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）																																	
2 移住・定住の促進を図る各種補助事業 (1) 若者世帯の定住促進を図る家賃等の補助 ア 結婚新生活支援事業補助金【県2/3】 これから夫婦として新生活をスタートさせようとする世帯を対象に結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用（住居費やリフォーム費用、引越費用）の支援を行った。（上限：29歳以下600千円、39歳以下300千円） ・ 20件 5,194千円（令和5年度 10件 1,340千円） 住居費は、敷金、礼金、仲介手数料に加え、令和6年度からは家賃も対象。 イ 若者世帯定住促進家賃補助 新婚世帯・転入世帯・子育て世帯に対し、民間賃貸住宅の家賃に対する支援を行い、若者世帯の定住促進を図った。（上限20千円/月、最大24か月） ・ 34件 5,807千円（令和5年度 39件 5,756千円） <新規受付実績> <table><tr><th>年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>新婚世帯</td><td>11件（10件）</td><td>20件（20件）</td></tr><tr><td>子育て世帯</td><td>8件（5件）</td><td>2件（2件）</td></tr><tr><td>転入世帯</td><td>0件</td><td>4件</td></tr></table> 転入世帯は新婚世帯や子育て世帯には該当しない場合の件数を表す。 また、（ ）内の件数は転入世帯（内数）を表す。 (2) 指定宅地取得支援 市が指定する未利用地を購入した者に対し、土地取得費の一部を助成（取得した土地面積×2,600円/㎡（上限600千円）を3か年に分けて助成）することで、子育て世帯をはじめとする定住人口の増加と良好な住宅環境の形成を図った。 ・ 106件 20,288千円（令和5年度 86件 16,398千円） <新規受付実績> <table><tr><th>年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>新規受付件数</td><td>37件</td><td>39件</td></tr></table> (3) いみず住まい等応援事業補助金 市外からの転入に伴い新築住宅を取得された方や、市民も含め空き家を購入された方が定住される場合に、住宅取得費用を補助し、子育て世帯をはじめとする定住人口増加の促進を図った。（上限2,000千円（能登半島地震の被災者で罹災証明書が半壊以上の世帯の場合は上限3,000千円）） <table><tr><th></th><th colspan="2">令和5年度</th><th colspan="2">令和6年度</th></tr><tr><td>空き家利活用事業</td><td>11件</td><td>3,900千円</td><td>15件</td><td>9,479千円（うち被災世帯 6件 6,179千円）</td></tr><tr><td>新築等取得事業</td><td>32件</td><td>39,900千円</td><td>101件</td><td>87,400千円（うち被災世帯 1件 1,500千円）</td></tr></table>		年度	令和5年度	令和6年度	新婚世帯	11件（10件）	20件（20件）	子育て世帯	8件（5件）	2件（2件）	転入世帯	0件	4件	年度	令和5年度	令和6年度	新規受付件数	37件	39件		令和5年度		令和6年度		空き家利活用事業	11件	3,900千円	15件	9,479千円（うち被災世帯 6件 6,179千円）	新築等取得事業	32件	39,900千円	101件	87,400千円（うち被災世帯 1件 1,500千円）	継続 いみず住まい等応援事業補助金の周知に伴い、補助金を活用した市外からの移住者数は大きく増加した。引き続き、各種補助制度の周知や、空き家等情報バンクの活用促進に努め、移住・定住促進及び人口流出対策を着実に実施していく。
年度	令和5年度	令和6年度																																	
新婚世帯	11件（10件）	20件（20件）																																	
子育て世帯	8件（5件）	2件（2件）																																	
転入世帯	0件	4件																																	
年度	令和5年度	令和6年度																																	
新規受付件数	37件	39件																																	
	令和5年度		令和6年度																																
空き家利活用事業	11件	3,900千円	15件	9,479千円（うち被災世帯 6件 6,179千円）																															
新築等取得事業	32件	39,900千円	101件	87,400千円（うち被災世帯 1件 1,500千円）																															

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）	
(4) その他の補助金 ア 移住支援金【県2/3】 4件 2,400千円（令和5年度 6件 8,200千円） イ 明日の射水を担う若者定住助成金 13件 1,085千円（令和5年度 14件 1,195千円） ウ 空き家利活用モデル支援事業（伝統的家屋型）補助金【県1/2】 1件 1,000千円（令和5年度 2件 1,815千円）					
指標項目		基準	実績	目標	
		H30-R2平均	令和6年度	令和9年度	
移住相談窓口や制度を活用した市外からの移住者数		100人	341人	150人	
指標項目		基準	実績	目標	
		H30-R4平均	令和6年度	令和9年度	
空き家等情報バンクや補助制度等を利用した空き家の利活用数		33件	41件	80件	

事業名		連携中枢事業費（広域型大学連携研究事業）		（ 2款 総務費		1項 総務管理費		7目 企画費		） 決算書		69 ページ		担当部課		企画管理部政策推進課																												
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																		
				2,032 【2,520】		2,092 【2,520】												【2,520】																										
財 源 内 訳	諸収入		1,680		1,726																																							
	一般財源		352		366																																							
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）																																
1 広域型大学連携研究事業 とやま呉西圏域調査研究事業補助金により、大学等が行う地域課題解決に向けた調査研究（5件）に対して支援した。 ・ もみ殻を活用した液状化対策工法の開発 ・ 空き店舗における持続可能なサービス実現に向けたイノベーション創出の実証的研究 ・ 呉西圏が有する地域バイオマスの化学的特性と有機農業への活用可能性に関する研究 ・ ライドシェアの普及と子育て世代の援用を目指す「通いの場」のあり方調査と社会実装モデルの検討 ・ 能登半島地震が庄川扇状地地下水の量・質に与えた影響の評価 <table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>令和4年度</th><th>令和6年度</th><th>令和9年度</th></tr><tr><td>とやま呉西圏域調査研究事業の地域課題への提案件数(累計)</td><td>52件</td><td>75件</td><td>90件</td></tr></table>																		指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	とやま呉西圏域調査研究事業の地域課題への提案件数(累計)	52件	75件	90件	継続		呉西圏域内の地域課題の共有と解決に向けた調査研究が行われた。事業完了後、呉西6市の事業担当者を対象とした調査研究事業の報告会を開催し、各市の課題解決への活用や新たな政策立案等の参考とした。 引き続き、呉西6市の課題解決に向けた高等教育機関との連携を強化していく。													
指標項目	基準	実績	目標																																									
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																																									
とやま呉西圏域調査研究事業の地域課題への提案件数(累計)	52件	75件	90件																																									

事業名		地方創生推進費		(2款 総務費		1項 総務管理費		7目 企画費		決算書		69 ページ		担当部課		企画管理部政策推進課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				33,522 【37,176】		110,297 【180,552】				【165,854】								
財 源 内 訳	国庫補助金		14,899		39,307			デジタル田園都市国家構想交付金事業「誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト」の事業開始による。（計画期間：令和6年度～令和8年度）										
	寄附金		2,000		2,000													
	一般財源		16,623		68,990													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 誰もが夢をカタチにできる人流イノベーションシティ射水創造プロジェクト【国1/2】 新しい暮らし方への挑戦応援事業 ア 中小企業支援・交流の拠点整備支援事業 ・射水市ビジネス支援センター拠点整備事業負担金 43,191千円 ・射水市ビジネス支援センター運営業務委託 委 託 先 (株)北陸銀行、(株)サーキュレーション、(株)ATOMica 委 託 期 間 令和6年12月25日～令和7年3月31日 委 託 料 7,700千円 ・学生と企業の交流事業業務委託 委 託 先 (株)トワクル 委 託 期 間 令和7年1月10日～3月31日 委 託 料 659千円 イ 空き物件応援事業補助事業 ・空き物件チャレンジショップ整備支援補助金 交 付 先 湊CONNECT株式会社 事 業 期 間 令和7年2月1日～3月8日 交 付 金 額 1,500千円 ウ 内川周辺エリアリノベーションまちづくり推進事業 ・内川周辺エリアリノベーションまちづくり総合プロデュース業務委託 委 託 先 (株)リノベリング 委 託 期 間 令和6年9月13日～令和7年3月24日 委 託 料 4,885千円 ・内川周辺エリアリノベーションまちづくり空き家等流通可能性調査支援業務委託 委 託 先 特定非営利活動法人 水辺のまち新湊 委 託 期 間 令和6年12月3日～令和7年3月21日 委 託 料 719千円												継 続	デジタル田園都市国家構想交付金を活用した3か年事業の採択を受け、中小企業支援、起業支援、移住支援、空き家・空き店舗の利活用、内川周辺の賑わい創出、小杉周辺における新たな交通として電動キックボードの導入に向けた実証事業などを行った。 引き続き、国の交付金を活用しながら、新たな人の流れを創出し、持続可能な活力ある地域を作り上げていく。					

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
エ 移住・空き家トータルサポート事業 ・移住・空き家トータルサポート業務委託 - 委 託 先 一般社団法人とやまのめ - 委 託 期 間 令和6年8月1日～令和9年3月31日 - 委 託 料 13,619千円 オ ウォーカブルなまちづくり推進事業 ・ウォーカブルまちづくりイベント開催事業補助金 5件（音楽ライブ&紙もののライフ、のじた納涼祭、たべることワークショップwith内川さんぽ、カレーイベント、DJワークショップ） - 交 付 先 （株）ワールドリーデザイン他4団体 - 交 付 金 額 1,563千円 ・いみず「イタリアの食」魅力フェア補助金 - 交 付 先 いみず「イタリアの食」魅力フェア実行委員会 - 事 業 期 間 令和6年8月22日～令和7年2月19日 - 交 付 金 額 2,730千円 エリア外の人々の関心を集める風土づくり ア 魅力的なまちなみ形成事業 ・内川周辺まちなみづくり構想策定業務委託 - 委 託 先 一般社団法人 射水市観光協会 - 委 託 期 間 令和6年9月17日～令和7年3月19日 - 委 託 料 4,972千円 イ 内川ブランディング戦略事業 ・内川未来戦略策定業務及びブランドメッセージ開発支援等業務委託 - 委 託 先 （株）ニューピース - 委 託 期 間 令和6年10月11日～令和7年3月31日 - 委 託 料 3,850千円 ・内川未来戦略会議運営支援業務委託 - 委 託 先 （株）ニューピース - 委 託 期 間 令和6年6月24日～令和7年3月31日 - 委 託 料 2,420千円	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
新たな人流を生み出す地域交通事業 ・電動キックボード導入検証業務委託 - 委 託 先 株式会社Luup - 委 託 期 間 令和6年10月11日～11月11日 - 委 託 料 969千円	
（繰越明許費 1,000 千円） ・事 業 名 内川未来戦略関連事業 ・完 了 時 期 令和8年3月	

事業名		電算管理費		(2款 総務費		1項 総務管理費		8目 行政情報推進費		決算書		70 ページ	担当部課	財務管理部総務課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
				178,674	【181,312】	224,475	【227,364】		【252,373】							
財 源 内 訳	県補助金		0		3,876					端末・仮想サーバ・ペーパーレス環境と いった賃貸借が増加したことによる。						
	諸収入		176		202											
	一般財源		178,498		220,397											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 仮想サーバ基盤更新及びセキュリティ機器更新（賃貸借） 平成28年度庁舎移転時に導入した仮想サーバ基盤を、新しい技術を導入し省コスト化を図り更新した。 （仮想サーバ基盤：物理的なサーバを複数の仮想的なサーバに分割して動かす基盤） - 契 約 先 西日本電信電話株式会社、N T T ・ T C リース株式会社 - 契 約 期 間 令和6年2月～令和11年1月（60か月） - 契 約 金 額 150,810千円 - 令和6年度実績額 30,162千円（12か月）												継続	各課導入のサーバ更新の際は、仮想サーバ上へ移行するなど、導入経費の削減に努めていく。			
2 ペーパーレス推進環境構築 庁舎内のWi-Fi環境及び仮想ブラウザ、顔認証環境の導入により、会議や資料のペーパーレス環境を構築した。 （仮想ブラウザ：非インターネット系端末（内部系）をインターネット空間に直接繋がずに仮想上で閲覧） - 契 約 先 西日本電信電話株式会社、N T T ・ T C リース株式会社 - 契 約 期 間 令和6年10月～令和11年9月（60か月） - 契 約 金 額 148,104千円 - 令和6年度実績額 14,811千円（6か月）												継続	仮想ブラウザ環境の導入で端末の台数が減少。Wi-Fi環境の導入によりペーパーレスの会議が一般化しており、令和7年度は出先等にも整備する。			

事業名	D X推進事業費			(2款 総務費	1項 総務管理費	8目 行政情報推進費	) 決算書	70 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			164,364	【177,888】	299,896	【306,115】		【399,942】		
財 源 内 訳	諸収入		13,024		152,356				自治体システムの統一・標準化に係る経費 が増加したことによる。	
	一般財源		151,340		147,540					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 D Xの推進 D Xビジョンで描く未来の姿の実現に向け、6つのWGを設置し、調査・研究を行った。 〔1〕自治会アプリWG 自治会アプリの導入、I o T電球を利用した高齢者の見守り、スマホ体験教室の開催 〔2〕シェア住宅WG 空き家を活用した移住定住 〔3〕健康管理WG オンライン健康相談、デバイスを活用した健康管理とデータ分析 〔4〕自動運転・公共交通WG A I オンデマンドバスの導入、自動運転課題調査、カーシェアリングの実証 〔5〕人流／物流活性化WG 市内企業のD X支援、サテライトオフィスの整備 〔6〕スマート窓口WG オンライン窓口、書かない窓口、キャッシュレス決済、A I 電話の実証									継続	本市D Xビジョンに沿って、部局を横断したワーキンググループを設置し、個別具体の取組について検討を進めた。 引き続き、推進本部やワーキンググループで検討していくとともに、関係機関と連携しながらD Xの推進に取り組んでいく。
2 R P A利活用事業 既存3業務（施設稼働状況集計業務、振替代休未申請案内業務、予防接種結果入力業務）の改修を行った。 ・ 富山県クラウド及び単独導入R P A 保守業務 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 3,435千円 ・ 令和6年度既存R P A改修（機能追加）業務 委 託 期 間 令和6年12月9日～令和7年3月31日 委 託 料 1,320千円									継続	施設稼働状況集計の機能追加など、既存業務の改修を行うことで、更なる業務効率化につなげた。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
3 自治体システムの統一・標準化 自治体システムの標準化に向け、各種作業（フィッティング、移行環境構築、仮移行）を行った。 ・ 富山県市町村共同利用型自治体クラウドサービス標準化対応業務委託 委 託 期 間 令和6年9月9日～令和7年3月31日 委 託 料 142,494千円 ・ 富山県市町村共同利用型クラウドサービス標準化対応に係るデータ抽出業務 委 託 期 間 令和6年11月19日～令和7年3月31日 委 託 料 9,862千円	継続 令和6年度当初から業務委託を開始する予定としていたが、調達スケジュールの変更に対応しつつ、県内市町村でプロポーザルを実施し、共同調達を行った。
4 データ利活用の推進 〔1〕オープンデータカタログサイト運用保守 データを検索し易くするとともに市のデータ利活用事例を掲載するなど、利便性の高いカタログサイトを公開した。 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 439千円 〔2〕人流分析の活用 スマートフォンから得られる位置情報、属性情報（年代、性別、居住地等）による人流分析を11案件で実施し、業務の見直しに活用した。 委 託 期 間 令和6年6月3日～令和7年3月31日 委 託 料 1,485千円	継続 データ管理やデータ検索をしやすくするため、オープンデータカタログサイトを運用した。 また、人流分析により、これまで不明確であった人数や属性情報が把握できるようになった他、各施策に活用した。 今後も、様々な手段を用い、県や高等教育機関等と連携しながら、データ利活用の推進に取り組んでいく。

事業名	行財政改革等推進費		(2款 総務費		1項 総務管理費		9目 行財政改革等推進費)		決算書	70 ページ	担当部課	企画管理部未来創造課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			599	【900】	5,096	【5,151】		【6,656】				
財 源 内 訳	一般財源		599		5,096				業務改革（ＢＰＲ）の実践に向けて、業務プロセス調査等を業務委託したことによる。			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 業務プロセス調査等業務委託 既存業務の業務量や業務内容、業務プロセス等を可視化し、効果的・効率的な業務の遂行を妨げている問題点や課題を分析した。また、職員研修を通して、職員が主体的に業務改革（ＢＰＲ）の手法による業務改革に取り組む仕組みの構築につなげた。 委 託 先 (株)ガバメイツ 委 託 期 間 令和6年7月1日～令和7年3月31日 委 託 料 4,923千円 (1)業務プロセス調査 既存業務の業務量、業務時間、業務プロセス等の洗い出しを行い、課題や問題点等を把握する業務プロセス調査を全庁的に実施した。 ・調査対象：4,150業務（46所属93係） (2)職員研修										継 続	業務プロセス調査では、効果的・効率的な業務の遂行を妨げている問題点や課題の分析を行った。 また、職員研修を実施し、業務改革（ＢＰＲ）の実践に向けて職員の習熟度の向上を図った。 令和7年度は、業務改革支援ツールを導入し、更なる業務の可視化を進めるとともに、業務プロセス調査の結果を踏まえて、正規職員が行っている専門性が不要で定型的な業務について優先的に業務改革を進めていく。	
研修名		実施日	受講対象者	参加者								
業務可視化研修		令和6年7月23日	係長以下の希望する職員	52人								
業務プロセス調査説明会		令和6年7月29日	係長以上の職員	42人								
業務プロセス調査報告会		令和6年11月22日	課長及び班長	37人								
ＢＰＲ体験ワークショップ		令和7年1月31日	係長以下の希望する職員	20人								
業務手順書整備相談会		令和7年1月31日	希望する職員	10人								

事業名	地域振興費(繰越明許)			(2款 総務費		1項 総務管理費		11目 地域振興費		決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
						2,800【4,050】									
財 源 内 訳	一般財源				2,800										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 射水市災害復旧地域活動支援金【地震】 令和6年能登半島地震による被害の復旧として地域活動を行った自治会及び町内会に対して、支援金を交付し、地域コミュニティの維持及び地域活動の推進に寄与した。 ・ 56件 2,800千円（令和5年度 19件）											完了	震災からの復旧活動に対し、財政的支援をすることで、地域コミュニティの維持及び地域活動の推進に寄与することができた。			

事業名		地域振興費		(2款 総務費		1項 総務管理費		11目 地域振興費		決算書		71 ページ		担当部課		市民生活部市民活躍・文化課								
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
				3,830 【10,644】		14,822 【19,762】				【13,559】		公民館建設等補助金の交付件数の増による。												
財 源 内 訳	寄附金		0		2,000																			
	一般財源		3,830		12,822																			
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）										
1 射水市地域振興会連合会補助金 射水市地域振興会連合会の運営に対して補助を行い、富山県自治会連合会及び各地域振興会との連絡調整の円滑化、活力ある地域づくりの推進を図った。 ・ 地域振興会連合会の開催状況 総 会：令和6年5月27日 役員会：6回（令和6年4月25日、5月27日、7月24日、9月27日、令和7年1月24日、3月27日） 理事会：5回（令和6年5月27日、7月24日、9月27日、令和7年1月24日、3月27日）														継続		射水市地域振興会連合会の活動を通じて、地域振興会相互の連携及び関係諸団体との連絡協調を強化し、活力ある地域活動の推進に寄与することができた。 今後も地域の発展及び活力ある地域社会の実現に取り組んでいく。								
2 公民館建設等補助金【一部地震】 自治会等が社会教育及び地域活動の振興を図るため、その拠点となる集会施設の建設等に要する経費に対して補助を行い、自治会活動の推進を図った。 ・ 新築 2件（令和5年度 新築 0件） ・ 修繕 23件（令和5年度 修繕 3件） 修繕23件のうち19件は、能登半島地震による被害に伴うもの														継続		集会施設の建設等に対して補助を行うことで自治会活動の拠点整備を支援することができた。 引き続き、支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。								

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
3 自治会掲示板設置等補助金 自治会が地域住民へ各種周知広報を行うため、掲示板の設置への補助を行い、円滑な自治会活動の推進に寄与した。 ・ 1件 40千円 （令和5年度 2件）	継続 掲示板設置への補助を行うことで地域住民への広報が円滑になり、自治会活動の推進に寄与することができた。 今後も支援を継続し、自治会活動の推進に取り組んでいく。
4 自治会アプリ体験ワークショップ委託、地域コミュニティDX活用モデル事業補助金 自治会が地域住民へ各種周知広報を行うため、電子自治会アプリ結ネットの導入への補助を行い、円滑な自治会活動の推進に寄与した。 ・ 結ネット体験ワークショップの開催 4回開催 参加者48人 ・ 新規補助団体数 8団体（令和5年度 5団体） ・ 導入団体累計 40団体	継続 結ネットの導入を検討している自治会等を対象とした体験ワークショップの開催により、新規導入団体数が増加した。 引き続き、導入支援を継続するとともに、導入団体へのフォローアップを行い、導入団体の増加と地域活動の推進を図っていく。
（繰越明許費 3,256 千円） ・ 事業名 公民館建設等補助金【一部地震】 ・ 完了時期 令和7年10月	

事業名	協働のまちづくり推進費			(2款 総務費		1項 総務管理費		11目 地域振興費		)		決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課			
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				140,528 【140,644】		156,643 【157,821】				【191,080】								
財 源 内 訳	一般財源			140,528		156,643												
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 地域型市民協働事業交付金 27の地域振興会に交付金を交付し、地域の課題解決に向けた各種事業の取組を推進した。													継 続	各種事業を推進し、地域の実情に合った協働事業を実施することができたが、各地域振興会において、地域活動を行う担い手の確保が大きな課題となっている。 協働事業の活性化と併せ、引き続き、担い手となる人材の育成にも取り組んでいく。				
指標項目			基準		実績		目標											
			令和4年度		令和6年度		令和9年度											
地域型市民協働事業数			36件		35件		40件											
2 地域提案型市民協働事業補助金 地域による自主的なまちづくりを支援するため、地域振興会の自由な発想を生かした事業を採択し、協働のまちづくりを推進した。 ＜令和6年度実施事業＞													継 続	市民協働事業の実施により、地域が抱える問題や課題の解決、地域に合ったまちづくりを推進することができた。 今後も地域の自主性を尊重した協働のまちづくりを推進していく。				
事業名			団体名					区分										
小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦			三ヶ地域振興会					継続										
みんなで考えよう！自主防災の必要性！			放生津地域振興会					継続										
みんな集まれ七美こども神輿			七美地域振興会					継続										
e スポーツによる地域活性化事業			塚原地域振興会					継続										
学童バス停の花壇設置による笑顔いっぱい運動事業			水戸田地域振興会					継続										
橋下条歴史書作成事業			橋下条地域振興会					新規										

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）																									
3 公募提案型市民協働事業補助金 各種団体の専門性・先駆性などの特性を生かした提案を採択し、協働のまちづくりを推進した。 <令和6年度実施事業> <table><tr><th>事業名</th><th>団体名</th><th>区分</th></tr><tr><td>若い芽・こども音楽コンクール</td><td>若い芽・こども音楽コンクール実行委員会</td><td>継続</td></tr><tr><td>射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物（特に両生類）の共生】を促進する事業</td><td>NPO法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会</td><td>継続</td></tr><tr><td>“IMIZU”ファン創出・拡大プロジェクト ～みんなでつくりあげる地域のシンボルツリー～</td><td>一般社団法人とやまのめ</td><td>継続</td></tr><tr><td>ローカルSDGsに向けた制服循環システムの構築</td><td>公立大学法人富山県立大学</td><td>継続</td></tr><tr><td>シンボルツリーのもとで集う 大・学園祭</td><td>小杉まちづくり協議会</td><td>新規</td></tr><tr><td>P.T.Aによる自主活動「ノッケル倶楽部」の継続的支援</td><td>地域共創射水準備委員会</td><td>新規</td></tr><tr><td>みんなで祝う いみず20周年 みんなで目指す いみず30周年 『SPECIAL LINK PARK IMIZU 20th anniversary～祝20周年 そしてその先へ～』</td><td>射水まちづくりネットワーク</td><td>新規</td></tr></table>			事業名	団体名	区分	若い芽・こども音楽コンクール	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	継続	射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物（特に両生類）の共生】を促進する事業	NPO法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	継続	“IMIZU”ファン創出・拡大プロジェクト ～みんなでつくりあげる地域のシンボルツリー～	一般社団法人とやまのめ	継続	ローカルSDGsに向けた制服循環システムの構築	公立大学法人富山県立大学	継続	シンボルツリーのもとで集う 大・学園祭	小杉まちづくり協議会	新規	P.T.Aによる自主活動「ノッケル倶楽部」の継続的支援	地域共創射水準備委員会	新規	みんなで祝う いみず20周年 みんなで目指す いみず30周年 『SPECIAL LINK PARK IMIZU 20th anniversary～祝20周年 そしてその先へ～』	射水まちづくりネットワーク	新規	継続	提案団体の特性を生かした市民協働事業を実施することができた。 今後もより効果的な事業の実施方法について検討しながら、協働事業の活性化に取り組んでいく。
事業名	団体名	区分																										
若い芽・こども音楽コンクール	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	継続																										
射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物（特に両生類）の共生】を促進する事業	NPO法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	継続																										
“IMIZU”ファン創出・拡大プロジェクト ～みんなでつくりあげる地域のシンボルツリー～	一般社団法人とやまのめ	継続																										
ローカルSDGsに向けた制服循環システムの構築	公立大学法人富山県立大学	継続																										
シンボルツリーのもとで集う 大・学園祭	小杉まちづくり協議会	新規																										
P.T.Aによる自主活動「ノッケル倶楽部」の継続的支援	地域共創射水準備委員会	新規																										
みんなで祝う いみず20周年 みんなで目指す いみず30周年 『SPECIAL LINK PARK IMIZU 20th anniversary～祝20周年 そしてその先へ～』	射水まちづくりネットワーク	新規																										
4 協働のまちづくりを担う人材の育成 (1)射水まちづくりプラットフォーム～まちプラ～ まちづくりへの関心を高める事業を実施し、担い手となる人材の発掘・育成を図った。 ・実施回数 2回、参加者数 延べ31人 (2)射水まちづくりセミナー まちづくりに役立つスキル等を学ぶ機会を提供し、まちづくり実践者のスキルアップやネットワーク形成を図った。 ・実施回数 2回、参加者数 延べ37人			継続	まちづくりについて考え、参画するきっかけを参加者に提供することができた。 今後も、多様な担い手による協働のまちづくりを推進するため、まちづくり実践者のネットワーク形成にも取り組んでいく。																								

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
(3) N P O法人等連携強化事業 多様な主体による市民協働のまちづくりを推進し、射水市内で活動するN P O法人及びまちづくり関係団体を対象として連携の強化を図った。 ア まちづくり関係団体連絡会議の開催 ・ 実施日：＜視察研修会＞令和7年1月18日 参加者数 12人（参加団体4団体） ＜講演会＞令和7年1月19日 参加者数 21人（参加団体5団体） イ 射水まちづくり関係団体活動展 ・ 実施日：令和7年3月3日～3月30日、出展団体 17団体 ウ まちづくり談話室の開催 ・ 実施回数 11回、参加者数 延べ172人	

事業名	コミュニティセンター管理運営費(繰越明許)			(2款 総務費	1項 総務管理費		(11目 地域振興費		) 決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					7,940 【8,327】							
財 源 内 訳	市債				6,100							
	一般財源				1,840							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 令和6年能登半島地震被害復旧工事【地震】 (1) 太閤山コミュニティセンター倉庫・器具庫及び玄関タイル修繕工事 地震による多目的ホール倉庫及び器具庫の破損並びに出入口付近タイルひび割れに伴う、太閤山コミュニティセンターの緊急復旧工事を行った。 工 期 令和6年1月24日～5月13日 契 約 額 2,233千円 (2) その他コミュニティセンター復旧工事 上記以外にも地震による被害（漏水、天井・床タイル・舗装等の破損）の復旧工事を行った。 工事実施個所：庄西、橋下条、金山、大江、池多、中太閤山、大島 2 黒河コミュニティセンターガスバルク貯槽更新工事 法定期限によるガスバルク貯槽の更新に伴い、ガスバルク貯槽入替設置工事を行った。 工 期 令和6年5月17日～7月17日 契 約 額 1,298千円										完了	通常の設備更新に加え、地震復旧に係る工事を実施し、施設の機能回復及び安全性の確保を図った。	

事業名		コミュニティセンター管理運営費（ 2款 総務費 1項 総務管理費 11目 地域振興費 ）				決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		176,733	【186,125】	209,051	【215,013】		【208,301】	二口コミュニティセンター及び海老江コミュニティセンターの空調設備設置工事を実施したことによる。	
財 源 内 訳	使用料	1,103		1,930					
	諸収入	1		1,070					
	市債	11,600		30,700					
	一般財源	164,029		175,351					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 コミュニティセンターの指定管理 全て(27地域)のコミュニティセンターに指定管理者制度を導入し、(改修等で直営となった施設を含む。)各地域振興会が地域の実情に合わせ、効果的、効率的に施設の管理運営を行っている。 令和6年度指定管理の状況 ・ 指定管理施設 24施設 ・ 直営施設 3施設（七美、中太閤山、大島）								継続	指定管理者である各地域振興会と協議しながら、円滑な施設の管理運営を行うことができた。 引き続き、適切な施設の管理運営を実施していく。
2 空調設備設置工事 (1) 二口コミュニティセンター集会場空調設備設置工事 利用者の快適で安全な環境を確保するために、集会室に新たに空調設備を設置した。 工 期 令和6年7月10日～10月10日 契 約 額 5,896千円 (2) 海老江コミュニティセンター空調設備更新工事 利用者の快適で安全な環境を確保するために、老朽化が著しい空調設備を更新した。 工 期 令和6年10月30日～令和7年3月7日 契 約 額 24,996千円								完了	空調設備の新設及び更新工事を実施したことにより、施設の環境改善を図ることができた。
(繰越明許費 1,868 千円) ・ 事 業 名 特定建築物定期調査是正箇所修繕、大島コミュニティセンター柱上高圧気中開閉器更新工事 ・ 完 了 時 期 令和8年3月									

事業名	コミュニティセンター整備事業費(繰越明許)		(2款 総務費		1項 総務管理費		11目 地域振興費		決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					22,068 【23,562】							
財 源 内 訳	市債				19,800							
	一般財源				2,268							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 中太閤山コミュニティセンター大規模改修工事 収納倉庫の移転設置や外構などの付帯工事を実施した。 工 期 令和6年1月18日～6月18日 契 約 額 21,848千円										完了	付帯工事の実施により、施設の利便性の向上と建物の安全性の確保が図られた。	

事業名	コミュニティセンター整備事業費		(2款 総務費		1項 総務管理費		11目 地域振興費		) 決算書	71 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			259,991	【283,622】	13,984	【14,000】		【395,742】	令和5年度に中太閤山コミュニティセンター大規模改修工事が終了したことによる。			
財 源 内 訳	市債		228,900		12,500							
	一般財源		31,091		1,484							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 池多コミュニティセンター改修工事実施設計業務委託 施設の長寿命化と利便性の向上を図るため、改修工事の実施設計を行った。 委託期間 令和6年6月13日～令和7年3月26日 契 約 額 13,984千円										継続	令和7年度の改修工事実施に向け、実施設計を行った。地域にとって、より良い施設となるよう整備を進めていく。	

事業名		交通安全対策費		(2款 総務費		1項 総務管理費		12目 交通安全対策費		) 決算書		71 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
				7,853	【8,332】	8,297	【9,001】		【9,290】						
財 源 内 訳	県補助金		503		330										
	一般財源		7,350		7,967										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 交通安全教室の開催 広く市民を対象とした交通安全教室を57回（受講者5,210人）開催し、交通安全知識の普及及び交通安全意識の高揚を図った。												継続	令和4年度（基準年度）と比べて交通事故死者数が減少し、一定の効果が認められた。 引き続き、交通事故死者数ゼロを目指し、交通安全キャンペーンや交通安全教室を積極的に実施していく。		
指標項目		基準	実績	目標											
		令和4年度	令和6年度	令和9年度											
交通事故死者数		3人	1人	0人											

事業名	地域交通対策費（繰越明許）		（ 2款 総務費		1項 総務管理費		13目 地域交通対策費		） 決算書		72 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
					13,325 【18,333】									
財 源 内 訳	県補助金				6,662									
	市債				6,600									
	一般財源				63									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 越中大門駅エレベーターこ線橋新設詳細設計事業【県1/2】 駅利用者の移動等の円滑化及び利便性向上を図るため、越中大門駅エレベーターこ線橋新設に係る詳細設計、測量調査及び地質調査を行った。 ・ 事業費：13,325千円											継続	越中大門駅エレベーターこ線橋新設に向け、詳細設計等を実施した。 令和7年度は工事に着手し、令和8年度に完了を予定している。		

事業名		地域交通対策費		(2款 総務費		1項 総務管理費		13目 地域交通対策費		決算書		72 ページ		担当部課		市民生活部生活安全課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				58,070	【81,476】	60,370	【64,184】		【300,120】									
財 源 内 訳	使用料		162		98													
	国庫補助金		10,365		4,617													
	県補助金		0		1,395													
	諸収入		79		27													
	一般財源		47,464		54,233													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 小杉駅南口駅舎管理運営事業 鉄道利用者の利便性を確保するため、小杉駅南口駅舎の管理運営を行った。												継続	施設の維持管理による利用者の利便性の確保とともに、長寿命化のための修繕を実施する。					
2 経営安定基金 並行在来線の第三セクター会社(あいの風とやま鉄道株)に係る安全対策等への投資や運賃値上げの抑制等、利用者の利便性の確保を図るための拠出を行った。												継続	今後も並行在来線の利用者の利便性の確保及び経営の安定化に資するため、負担金を拠出する。					
3 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（民間路線バス）（物価高騰対策№2）【交付金】 燃料価格高騰の影響を受ける路線バス運行事業者（2社）に対して、燃料費の高騰分の費用を支援した。 ・ 事業費 395千円												完了	燃料価格の高騰により経営に影響が生じた路線バス事業者に対して、燃料費を支援したことで、事業継続の一助となった。 今後も、状況に応じて、支援を検討する。					
4 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（タクシー）（物価高騰対策№2）【交付金】 燃料価格の高騰の影響を受ける市内タクシー事業者（3社）に対して、燃料費の高騰分の費用を支援した。 ・ 事業費 1,084千円												完了	燃料価格の高騰により経営に影響が生じたタクシー事業者に対して、燃料費を支援したことで、事業継続の一助となった。 今後も、状況に応じて、支援を検討する。					
5 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（あいの風とやま鉄道）（物価高騰対策№2）【交付金】 燃料価格の高騰の影響を受ける鉄道会社に対して、燃料費の高騰分の費用を支援した。 ・ 事業費 2,638千円												完了	燃料価格の高騰により経営に影響が生じた鉄道会社に対して、燃料費を支援したことで、事業継続の一助となった。 今後も、状況に応じて、支援を検討する。					

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
6 射水市地域公共交通計画策定業務【国1/2、県1/3】 公共交通の現状と課題を整理し、今後の市内公共交通ネットワークの在り方や目指すべき目標等を示し、持続可能な公共交通の実現を目指す計画として策定した。 委 託 先 株式会社日本海コンサルタント富山支店射水営業所 委 託 期 間 令和6年5月1日～令和7年3月31日 委 託 料 4,983千円	完了 市民や利用者アンケート調査などにより、現状の分析、課題の整理ができ、持続可能な公共交通の実現につながる計画が策定できた。 今後は、策定した計画に基づき、「地域の暮らし、にぎわい、交流を育む持続可能な公共交通の実現」に向け、各種施策を着実に推進していく。

事業名	コミュニティバス運行費			(2款 総務費		1項 総務管理費		13目 地域交通対策費)		決算書	72 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課																												
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																															
				345,616	【358,460】	379,418	【384,000】		【488,483】																																
財源内訳	国庫補助金		24,595		34,951																																				
	県補助金		33,819		29,887																																				
	諸収入		13,722		15,091																																				
	一般財源		273,480		299,489																																				
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																														
1 地域内循環交通の運行体制整備【国、県】 コミュニティバスと接続する地域内循環交通としてデマンドタクシー、べいぐるん、地域あいのり移動支援実証事業、「のーと射水」を運行した。 <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>地域内循環交通の運行体制整備件数</td><td>3件</td><td>5件</td><td>8件</td></tr></table>											指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	地域内循環交通の運行体制整備件数	3件	5件	8件	拡充	新たに北東エリアでも「のーと射水」を導入した。 今後も更なる利便性の向上等を目指し、新たな交通手段等について検討していく。																		
指標項目	基準	実績	目標																																						
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																																						
地域内循環交通の運行体制整備件数	3件	5件	8件																																						
2 コミュニティバス等運行事業【国、県】 コミュニティバス（通年14路線、冬期のみ3路線）、デマンドタクシー（大門地区）、のーと射水（南東・北東エリア）を運行した。 年度別コミュニティバス等乗車人数 <table><tr><td>区分</td><td>コミュニティバス</td><td>のーと射水</td><td>デマンドタクシー</td><td>合計</td><td>対前年比</td><td>対元年比</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>375,770</td><td>-</td><td>15,278</td><td>391,048</td><td>93.4%</td><td>-</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>379,564</td><td>1,095 ()</td><td>8,954</td><td>389,613</td><td>99.6%</td><td>99.6%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>277,652</td><td>105,154</td><td>8,536</td><td>391,342</td><td>100.4%</td><td>100.1%</td></tr></table> 南東エリア実証運行（コミュニティバスとの並行運行）を除く。											区分	コミュニティバス	のーと射水	デマンドタクシー	合計	対前年比	対元年比	令和元年度	375,770	-	15,278	391,048	93.4%	-	令和5年度	379,564	1,095 ()	8,954	389,613	99.6%	99.6%	令和6年度	277,652	105,154	8,536	391,342	100.4%	100.1%	見直し	令和6年9月に北東エリアで「のーと射水」の実証運行を開始し、運行の効率化と利便性の向上が図られた。 今後も利用実態等を踏まえ、利便性の高い持続可能な運行となるよう、適宜見直しを行っていく。	
区分	コミュニティバス	のーと射水	デマンドタクシー	合計	対前年比	対元年比																																			
令和元年度	375,770	-	15,278	391,048	93.4%	-																																			
令和5年度	379,564	1,095 ()	8,954	389,613	99.6%	99.6%																																			
令和6年度	277,652	105,154	8,536	391,342	100.4%	100.1%																																			
3 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（コミュニティバス、「のーと射水」）（物価高騰対策№3）【交付金】 燃料価格高騰の影響を受けるコミュニティバス、「のーと射水」運行事業者（3社）に対して、燃料費の高騰分の費用を支援した。 ・ 事業費 1,810千円											完了	燃料価格の高騰により経営に影響が生じたコミュニティバス及び「のーと射水」運行事業者に対して、燃料費を支援したことで、事業継続の一助となった。 今後も、状況に応じて、支援の実施を検討していく。																													

事業名	万葉線対策費(繰越明許)				(2款 総務費		1項 総務管理費		13目 地域交通対策費		)	決算書	72 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
					1,859【2,000】										
財 源 内 訳	一般財源				1,859										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 万葉線令和6年能登半島地震復旧事業費補助金【地震】 併用軌道区間コンクリート補修、鉄道区間軌道整正、橋梁補修、架線偏位の検査・調整、万葉線電柱のひび割れ補修に対する補助を行った。													完了	令和6年能登半島地震の影響により損傷した施設の修繕を行うことにより、安全性が確保された。	

事業名		万葉線対策費		(2款 総務費		1項 総務管理費		13目 地域交通対策費		決算書	72 ページ	担当部課	市民生活部生活安全課																
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																			
				127,790 【130,356】		169,144 【171,040】								【96,936】															
財 源 内 訳	国庫補助金		18,043		28,601				検査を行う車両台数の増、ＩＣカードシステム開発・導入費、燃料価格高騰の影響を受けた経費の増による。																				
	市債		37,500		43,300																								
	一般財源		72,247		97,243																								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																		
1 万葉線維持対策補助金交付事業 万葉線㈱に対して、施設整備や運行費用の補助を行い、安全で安定した運行の確保や利便性の向上、経営の安定化を図った。 (1) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金 ・ 線路設備〔重軌条化〕（海王丸 - 東新湊間） ・ 輸送設備〔ゲージタイ設置〕（東新湊 - 中新湊間） ・ 信号保安設備〔信号制御機器更新〕（新吉久構内） (2) 車両保存費補助金 ・ 台車、制御装置、空調設備等、重要な部分の定期検査 (3) 鉄道施設総合安全対策事業費補助金対象外事業費補助金 ・ 高岡駅電気転てつ機交換、六渡寺駅・中新湊駅井戸及び消雪配管更新、西新湊変電所直流電源装置蓄電池交換ほか (4) 万葉線運行費補助金 ・ 万葉線事業者の負担を軽減し、万葉線の経営安定化を図った。 (5) ＩＣカード整備事業費補助金 ・ ＩＣカード導入に係るシステム開発・構築 (6) 万葉線安全運行対策補助金 ・ 7000形ＡＴＳ受信機の更新、1000型車両の機器更新、軌道保守と保守検測機器の購入ほか 年度別利用者数 <table><tr><td>区分</td><td>年間乗車人数</td><td>対前年比</td><td>対元年比</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>1,135,583人</td><td>95.3%</td><td>-</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1,070,665人</td><td>106.9%</td><td>94.3%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1,089,688人</td><td>101.8%</td><td>96.0%</td></tr></table>											区分	年間乗車人数	対前年比	対元年比	令和元年度	1,135,583人	95.3%	-	令和5年度	1,070,665人	106.9%	94.3%	令和6年度	1,089,688人	101.8%	96.0%	継続	万葉線の安全・安定運行の確保や利便性の向上、運営会社の経営安定化が図られた。 今後も引き続き、支援を行っていく。	
区分	年間乗車人数	対前年比	対元年比																										
令和元年度	1,135,583人	95.3%	-																										
令和5年度	1,070,665人	106.9%	94.3%																										
令和6年度	1,089,688人	101.8%	96.0%																										

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
2 燃料価格高騰対策支援事業費補助金（物価高騰対策№4）【交付金】 燃料価格高騰の影響を受け、厳しい経営状況にある万葉線運行事業者に対し、燃料費の高騰分の費用を支援した。 ・ 事業費 1,134千円	完了 燃料価格の高騰により経営に影響が生じた万葉線（株）に対して、燃料費を補助したことで、経営を支援し、安定した運行の確保につながった。 今後も状況に応じて、支援を検討する。
3 万葉線安全運行対策支援事業補助金（物価高騰対策№5）【交付金】 物価高騰の影響を受け、採算が悪化している万葉線運行事業者について、その継続を図り、事業の縮小・廃止等による射水市民をはじめとした利用者の生活への悪影響を回避するため支援した。 ・ 事業費 43,000千円（うち30,000千円は万葉線運行費補助金（再掲））	完了 物価高騰の影響を受け、採算が悪化している万葉線（株）に対して、施設、設備の更新・修繕に係る経費を補助することで経営を支援し、安定した運行の確保につながった。 今後も状況に応じて、支援を検討する。

事業名		防犯対策費		(2款 総務費		1項 総務管理費		14目 防犯対策費		)		決算書		72 ページ		担当部課		市民生活部生活安全課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
				8,962【9,360】		9,373【12,689】													
財 源 内 訳	手数料			0		24													
	一般財源			8,962		9,349													
主な事業内容・成果																評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 防犯対策事業 広く市民を対象とした防犯意識の普及啓発活動に加え、青色回転灯装着車によるパトロールの実施・支援や自主防犯組織の育成・支援を行うなど、地域が主体となった防犯活動を支援し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進した。 また、大島小学校付近等、市内の6か所（9台）に防犯カメラを設置し、体感治安による犯罪の未然防止に努めた。 ・ 青色回転灯防犯パトロール活動団体																継続 市民の防犯意識の高揚を図る啓発活動をはじめ、防犯活動に対する支援や防犯カメラの設置を行い、安全で安心なまちづくりの推進に取り組んだ。 今後も、関係団体と連携し、犯罪の未然防止による防犯対策を継続していく。			
		団体数		車両台数															
令和6年度末		20団体		19台															
				指標項目		基準		実績		目標									
						令和4年度		令和6年度		令和9年度									
				犯罪発生件数（刑法犯認知件数）		331件		338件		270件以内									
(繰越明許費 3,033 千円) ・ 事業名 防犯カメラ設置事業（防犯カメラ設置工事費） ・ 完了時期 令和8年3月31日																			

事業名		防災対策費		(2款 総務費		1項 総務管理費		15目 防災対策費		決算書		73 ページ		担当部課		財務管理部防災・資産管理課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				95,074 【95,474】		46,706 【53,564】												【64,424】
財源内訳	使用料	一般財源	2	41,342	2	22,629			令和5年度は、デジタル防災行政無線システムの機器の一部を更新したことによる。									
	国庫補助金		780		0													
	寄附金		5,000		20,075													
	諸収入		4,250		2,000													
	市債		43,700		2,000													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 令和6年能登半島地震対応検証事業【地震】 (1)令和6年能登半島地震の課題・問題点について検証委員会を設置して検証し、地域防災計画や各種マニュアル等の見直しの方向性を整理した。 委 託 先 N i X J A P A N(株) 射水営業所 委託期間 令和6年7月18日～令和7年3月21日 委 託 料 3,520千円 (2)地震解錠ボックスの設置【地震】 避難者が速やかに施設内に避難できるよう、一次避難所のうち沿岸部のコミュニティセンター及び小中学校等に震度感知機能付き解錠ボックス19台を設置した。												完了	検証結果を踏まえ、地域防災計画や各種マニュアル等の見直しに取り組む。 地震解錠ボックスを設置していない一次避難所に暗証番号式キーボックスを設置する。 また、各避難所に避難所初動運営キットを設置し、避難所運営体制の充実を図る。					
2 地区防災計画策定促進、防災士養成推進 地域防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進するため、出前講座等を実施し、地区防災計画の策定を促進した。 また、地域における防災リーダーの育成を目的に、県と連携して防災士の資格取得を支援した。 ・防災士養成事業 10地域振興会において17人養成												継続	地区防災計画の策定促進及び防災士の養成を推進することで地域防災力の底上げを図った。 今後も引き続き、地域の防災力向上に資する取組を推進していく。					
指標項目				基準	実績	目標												
				令和4年度	令和6年度	令和9年度												
地域振興会から推薦され資格取得した防災士数				86人	109人	136人												
地区防災計画策定数				1地域振興会	2地域振興会	6地域振興会												
3 災害用備蓄品等整備事業 市備蓄計画に基づき、避難所に配備する災害用備蓄品の整備を進めた。 食料（ビスケット等）、簡易トイレ、敷きマット、毛布												継続	災害用備蓄品を計画的に整備することができた。 今後も引き続き、発災への備えとして備蓄の充実に取り組む。					

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）														
4 防災に関する市民啓発 地域防災力の向上及び市民の防災意識の高揚を目的に講演会や市政出前講座を実施した。 ・ 防災講演会 <table><tr><td>開催日</td><td>開場</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>令和7年1月18日</td><td>アイザック小杉文化ホール</td><td>約120人</td></tr></table> ・ 市政出前講座 <table><tr><td>区分</td><td>回数</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>災害に備えて</td><td>58回</td><td>約3,100人</td></tr></table>				開催日	開場	参加人数	令和7年1月18日	アイザック小杉文化ホール	約120人	区分	回数	参加人数	災害に備えて	58回	約3,100人	継続	防災講演会や市政出前講座を通じて、市民の防災意識の向上を図った。 今後も引き続き、さらなる意識向上に向けた取り組みを推進していく。	
開催日	開場	参加人数																
令和7年1月18日	アイザック小杉文化ホール	約120人																
区分	回数	参加人数																
災害に備えて	58回	約3,100人																
5 防災行政無線の運用管理 災害に関する情報を正確かつ迅速に伝達し、市民の安全安心の確保につなげる防災行政無線の運用管理を行った。 ・ 同報系無線設備 屋外拡声子局113局、戸別受信機250台 ・ 移動系無線設備 携帯型無線機150台、車載型無線機26台 ・ 防災情報システム エリアメールやホームページ、ケーブルテレビ等、複数の情報媒体を活用した情報伝達システム				継続	災害時の重要な情報伝達手段である防災行政無線（同報系・移動系）の点検整備を行い、確実な運用体制の確保に努めた。 今後も引き続き、災害時における情報伝達手段の確実な運用を図っていく。													
6 ウクライナ避難者支援事業 ウクライナ避難者に対し、生活に必要な住宅や家財等を支援した。 家電製品・家財道具の貸与、上下水道料・医療費の免除等（6世帯16人） 事業費 521千円				継続	ウクライナ避難者の安定生活のため、家電製品貸与や上下水道料免除等の支援を行った。 引き続き、ウクライナ情勢や避難者の就労状況を考慮しながら、支援を行っていく。													
(繰越明許費 3,649千円) ・ 事業名 能登半島地震対応検証委員会の検証結果を踏まえた海拔表示看板更新事業 ・ 完了時期 令和7年12月																		

事業名	災害対応費(繰越明許)	(2款 総務費	1項 総務管理費	15目 防災対策費	) 決算書	73 ページ	担当部課	財務管理部防災・資産管理課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
				16,032 【32,274】				
財 源 内 訳	県負担金			7,205				
	一般財源			8,827				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 令和6年能登半島地震対応事業（災害備蓄用食料補充、毛布リバック、避難所施設使用料 等）【県（国）】【地震】 令和6年能登半島地震で使用した防災備蓄品の補充や避難所として使用した施設の使用料等を支払った。 一部の費用については、災害救助法に基づき求償の対象となる。								完了 令和6年能登半島地震で使用した防災備蓄品や施設使用料等を適切に支払った。

事業名	課税総務費			(2款 総務費	2項 徴税費	1目 税務総務費	) 決算書	74 ページ	担当部課	財務管理部課税課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			8,073【8,109】		8,829【8,853】				【8,887】	
財 源 内 訳	一般財源		8,073		8,829					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 罹災証明及び公費解体に係る被害認定調査【地震】 令和6年能登半島地震により被災した家屋の被害認定調査業務を委託した。 ・被害認定調査業務委託事業（単価契約） 委 託 先 公益社団法人 富山県建築士会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 1,568千円									廃止	建物の構造や修理等に関して専門的な知見を有する建築士に被害認定調査業務を委託し、市職員とともに令和6年能登半島地震により被災した家屋の現地調査を円滑に実施した。 今後は、公的支援を受けるための罹災証明書や公費解体に係る被災証明書の交付申請が減少することが見込まれるため、令和7年度以降は、被害認定調査を関係部署（建築住宅課、環境課、課税課）で協力して実施することとし、建築士会への業務の委託は令和6年度を以って終了する。
被害認定調査件数			建築士数 （延べ人数）							
罹災証明	公費解体	合計								
103件	54件	157件	57人							

事業名		賦課事務費		(2款 総務費		2項 徴税費		2目 賦課徴収費		) 決算書		74 ページ		担当部課		財務管理部課税課							
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）													
				131,743 【144,789】		162,638 【172,125】												【161,050】					
財 源 内 訳	手数料		3,703		3,832				法人市民税等の償還金が増加したことによる。														
	諸収入		99		107																		
	一般財源		127,941		158,699																		
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）											
1 市税の賦課 個人市民税、固定資産税、軽自動車税について、賦課決定し納税通知書を交付した。 納税通知書等送達 129,203件 （令和5年度 128,243件） <内訳> 市県民税 50,557件 （令和5年度 50,176件） 固定資産税 39,160件 （令和5年度 39,284件） 軽自動車税 39,486件 （令和5年度 38,783件） (1) 所得税・住民税の申告相談会の実施 適正申告推進のため、令和7年2月17日から3月17日までの間、相談会を開催した。 市民サービスの向上及び申告会場の混雑緩和を目的として、「いみずe-予約システム」によるWEB予約、及びAI電話による事前予約など、予約しやすい環境の整備に努めた。 (2) 固定資産税賦課のための調査、資料収集 翌年度賦課に向けての調査、資料収集、地番・家屋図修正や次回評価替えの準備等を実施した。 ア 新增築家屋の調査及び評価（対象：1月2日から翌年1月1日までの間に完成した家屋） ・ 新增築家屋 322棟（令和5年度 411棟） イ 土地の時点修正（令和6年7月1日時点） 令和7年度賦課に向けて、不動産鑑定士に鑑定依頼し、価格が下落した箇所の評価を修正した。 ・ 下落修正地点 176地点 （令和5年度 146地点） ウ 令和9基準年度評価替えに向けての土地評価見直し ・ 土地評価業務委託事業 3か年業務の1年目は、用途・状況類似地区区分の検証や、主要街路・標準宅地の選定等を行った。 委 託 先 朝日航洋㈱富山支店 委 託 期 間 令和6年6月6日～令和9年3月19日 委 託 料 10,098千円（3か年総額 31,383千円）												継続						適正課税のため、資料収集・整理、調査等を実施した。 引き続き、RPA（業務プロセスの自動化）等デジタル技術を活用しながら、業務の効率化に努め、市民の利便性の向上につなげていく。					

事業名		徴収事務費		(2款 総務費		2項 徴税費		2目 賦課徴収費		決算書	74 ページ	担当部課	財務管理部収納対策課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				17,306	【20,863】	15,296	【17,830】		【28,954】	地方税共通納税システム対象税目拡大対応業務が完了したことによる。			
財 源 内 訳	手数料		1,511		1,588								
	諸収入		33		33								
	一般財源		15,762		13,675								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 コンビニ・スマートフォン・共通納税納付事業 多様な納付環境を整備し、納税者の利便性の向上と利用の促進を図り、納付のキャッシュレス化につなげた。 (1) コンビニ納付 ・ 年間取扱件数 61,767件 （令和5年度 64,681件） ・ 年間取扱金額 928,433千円 （令和5年度 991,871千円） (2) スマートフォン納付 QRコードによるスマートフォン納付は、共通納税に含まれる。 ・ 年間取扱件数 3,704件 （令和5年度 6,741件） ・ 年間取扱金額 64,853千円 （令和5年度 137,842千円） (3) 共通納税 令和5年度から開始（固定資産税、軽自動車税（種別割）） ・ 年間取扱件数 46,477件 （令和5年度 27,149件） ・ 年間取扱金額 4,200,363千円 （令和5年度3,783,510千円） 令和6年度からクレジットカード納付は、共通納税に含まれる。 令和6年度から市県民税（普通徴収）、国民健康保険税を追加											継続	共通納税の対象税目が拡大していることから、今後も共通納税の利用の増加が見込まれる。 これまで整備してきた多様な納付環境も維持しながら、引き続き、納税者の利便性の向上を図っていく。	
2 コールセンター事業 市税等未納者に対し、委託業者による早期納付勧奨の電話催告を実施し、徴収につなげた。 ・ 年間コール済件数 2,001件 税外分含む 委 託 先 株式会社エスプールグローバル 委 託 期 間 令和6年6月1日～令和7年3月31日 委 託 料 2,191千円											継続	コールセンター事業は、自主納付の促進と長期滞納の抑止効果も期待できることから、引き続き、事業を実施し収納率の向上に努めていく。	
3 口座振替受付サービス（モバイル端末による口座振替登録） 事務手続きの簡素化を図るため、市庁舎（収納対策課）の窓口において、キャッシュカードを利用して口座振替登録ができるサービスを実施し、納税者の利便性の向上につなげた。 ・ 同サービスによる登録件数 928件 （令和5年度 955件）											継続	口座振替受付サービスは、納税者への利便性が高く、市の事務手続きの簡素化にもつながることから、引き続き、サービスを実施し、口座振替の推進を図っていく。	

事業名	定額減税補足臨時給付金給付費(繰越明許)	(2款 総務費	2項 徴税費	3目 定額減税補足臨時給付金給付費)	決算書	75 ページ	担当部課	財務管理部課税課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
財 源 内 訳	国庫補助金			19,936	【19,937】			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 定額減税補足臨時給付金給付事業【国10/10】（物価高騰対策№6）【交付金】 国の経済対策に基づき、定額減税しきれないと見込まれる方に差額分の給付金を支給するためのシステム改修を実施した。 委 託 先 (株)インテック 委 託 期 間 令和6年6月29日～11月29日 委 託 料 13,273千円								完了 正確かつ迅速に給付を支給するための給付事務体制の構築につながった。

事業名	定額減税補足臨時給付金給付費（ 2款 総務費				2項 徴税費		3目 定額減税補足臨時給付金給付費 ）		決算書	75 ページ	担当部課	財務管理部課税課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			0 【19,937】		721,660 【721,668】				【7,616】		令和6年度に給付金支給事務を実施したことによる。		
財 源 内 訳	国庫補助金		0		721,660								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 定額減税補足臨時給付金給付事業【国10/10】（物価高騰対策№6）【交付金】 令和6年度に実施する個人住民税の定額減税に伴い、所得税分を含め減税しきれない方にその差額分の給付（調整給付）を行うことにより、物価高騰による経済的負担を軽減した。										継 続	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページに掲載するとともに、対象者へ向けて支給確認書を送付し、周知を図った。		
申請期限		令和6年10月31日									引き続き、令和7年度の不足額給付においても適正な審査と支給に努める。		
送付件数		17,813件											
申請件数		17,508件（支給17,498、不支給10）											
申請率		98.3%											

事業名		戸籍住民基本台帳費(繰越明許)				(2款 総務費	3項 戸籍住民基本台帳費	1目 戸籍住民基本台帳費	)	決算書	75 ページ	担当部課	市民生活部市民課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
財 源 内 訳	国庫補助金			15,939	【17,699】								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 戸籍、住民票等の記載事項への「氏名の振り仮名」の追加に伴うシステム改修【国10/10】 令和7年5月26日の法改正施行に向けて戸籍情報システム、戸籍附票システム、住民基本台帳システムの改修を行ったことにより、戸籍や住民票に氏名の振り仮名を記載できるようになった。											継 続	戸籍や住民票に氏名の振り仮名を記載できるようになった。また、戸籍附票への旧氏及び旧氏の振り仮名については、令和9年度記載予定に変更になったため、今後改修する。	

事業名	戸籍住民基本台帳費				(2款 総務費		3項 戸籍住民基本台帳費	1目 戸籍住民基本台帳費	) 決算書	75 ページ	担当部課	市民生活部市民課																																												
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																														
				125,014	【153,686】	82,989	【113,746】		【101,737】	令和5年度に窓口支援システムを構築したことによる。																																														
財源内訳	使用料	諸収入	31	473	30	2,763																																																		
	手数料	一般財源	30,004	41,575	28,894	26,215																																																		
	国庫補助金		52,839		25,001																																																			
	国庫委託金		2		0																																																			
	県委託金		90		86																																																			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																																													
1 戸籍住民基本台帳事務事業 戸籍・住民票・印鑑証明・諸証明の交付、転入・転出等住民異動届、印鑑登録関係届、戸籍関係届の受理及び異動処理等を行い、適正かつ迅速な事務処理に努めた。また、各種証明書のオンライン申請受付、窓口での届出、申請書等を自動作成する窓口支援システムによる「書かない窓口」を運用し、市民の利便性向上を図った。 異動処理件数 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>戸籍届出関係</td><td>3,743件</td><td>3,954件</td></tr><tr><td>住民異動関係</td><td>9,756件</td><td>10,253件</td></tr><tr><td>印鑑登録関係</td><td>3,194件</td><td>3,206件</td></tr><tr><td>合計</td><td>16,693件</td><td>17,413件</td></tr></table> 「書かない窓口」を利用した届出、申請 ・件数 39,400件（令和5年度 4,251件(令和6年2月16日開始)） マイナンバーカードの交付 ・交付件数 8,641件（令和5年度 9,176件） マイナンバーカードの電子証明書の期限更新 ・更新件数 7,971件（令和5年度 1,801件） 証明書のコンビニ交付サービス コンビニ交付サービスの周知やマイナンバーカードの普及に伴い交付件数が大幅に伸びた。 ・交付件数 27,376件（令和5年度 25,584件） <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>コンビニ交付サービス利用率</td><td>20.9%</td><td>31.1%</td><td>35.0%</td></tr></table> 証明書の窓口交付 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>戸籍関係</td><td>24,710件</td><td>23,935件</td></tr><tr><td>住民票関係</td><td>23,560件</td><td>21,847件</td></tr><tr><td>印鑑登録関係</td><td>11,369件</td><td>11,061件</td></tr><tr><td>その他証明</td><td>1,544件</td><td>1,502件</td></tr><tr><td>合計</td><td>61,183件</td><td>58,345件</td></tr></table> 証明書のオンライン申請受付 ・戸籍関係 408件 ・住民票関係 92件、印鑑証明 7件											区分	令和5年度	令和6年度	戸籍届出関係	3,743件	3,954件	住民異動関係	9,756件	10,253件	印鑑登録関係	3,194件	3,206件	合計	16,693件	17,413件	指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	コンビニ交付サービス利用率	20.9%	31.1%	35.0%	区分	令和5年度	令和6年度	戸籍関係	24,710件	23,935件	住民票関係	23,560件	21,847件	印鑑登録関係	11,369件	11,061件	その他証明	1,544件	1,502件	合計	61,183件	58,345件	継続 スマート窓口推進の取組として、マイナンバーカードを活用した各種証明書のオンライン申請受付、届出、申請書等を自動作成する「書かない窓口」を運用し、市民の利便性向上につながった。 引き続き、マイナンバーカードの普及及び窓口サービスの適正かつ迅速な事務処理に努めていく。	
区分	令和5年度	令和6年度																																																						
戸籍届出関係	3,743件	3,954件																																																						
住民異動関係	9,756件	10,253件																																																						
印鑑登録関係	3,194件	3,206件																																																						
合計	16,693件	17,413件																																																						
指標項目	基準	実績	目標																																																					
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																																																					
コンビニ交付サービス利用率	20.9%	31.1%	35.0%																																																					
区分	令和5年度	令和6年度																																																						
戸籍関係	24,710件	23,935件																																																						
住民票関係	23,560件	21,847件																																																						
印鑑登録関係	11,369件	11,061件																																																						
その他証明	1,544件	1,502件																																																						
合計	61,183件	58,345件																																																						
(繰越明許費 24,825 千円) ・事業名 戸籍情報及び戸籍附票システムの標準準拠システム移行業務 ・完了時期 令和8年3月																																																								

事業名		監査委員費		(2款 総務費		6項 監査委員費		1目 監査委員費		決算書		78 ページ	担当部課	監査委員事務局
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
		3,014	【3,312】	2,878	【3,217】			【3,791】						
財 源 内 訳	一般財源	3,014		2,878										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 監査等の実施 財務に関する事務の執行及び経営に係る事業管理の監査等を下記のとおり実施した。 (1) 定例監査 本庁、出先機関等55か所、令和6年5月～令和7年2月 （令和5年度 53か所） (2) 例月出納検査 一般会計・特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計 毎月1回 計12回 （令和5年度 12回） (3) 財政援助団体等監査 出資団体、指定管理者等 6団体 4施設 （令和5年度 5団体 6施設） (4) 決算審査 ・一般会計、特別会計 令和6年7月19日～8月2日 ・水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計 令和6年6月17日～7月16日 (5) 健全化判断比率等審査（決算審査と同期間） (6) 住民監査請求に基づく監査 0件 （令和5年度 0件）												継 続	法令等に基づき適正かつ正確に処理されているか、また経済性、有効性及び効率性の観点から監査を実施し、監査委員から改善等の意見が付された。 今後も、監査基準に従い、年間監査計画を定め、監査業務の計画的執行及び質的向上に努めていく。	

3 款 民 生 費

事業名	民生児童委員活動費	(3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費	)	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		17,701	【17,707】	17,737	【17,741】		【18,552】		
財 源 内 訳	県補助金	2,025		2,025					
	県委託金	13,718		13,724					
	一般財源	1,958		1,988					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 民生委員・児童委員関係費 【県10/10】 民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が行う活動を支援し、地域福祉の推進を図った。 ・ 民生委員・児童委員 225人（うち主任児童委員 20人） 任期 令和4年12月1日～令和7年11月30日 ・ 民生委員児童委員協議会 15地区								継続	令和7年12月の一斉改選に向けて、推薦会の開催等の準備を進めてきた。引き続き、民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が行う活動を支援する。

事業名	社会福祉団体等対策事務費			(3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費	)	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				75,996	【77,023】	76,616	【80,623】		【86,964】		
財 源 内 訳	一般財源		75,996		76,616						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 社会福祉協議会補助・委託関係費											
(1) 地域福祉活動推進事業											
要支援者の見守り等を行う「ケアネット活動」に係る経費を助成し、地域において要支援者が安心して生活できるまちづくりを進めた。											
区分				チーム員数	利用者数	活動延べ回数					
令和6年度				446名	209名	52,420回					
令和5年度				466名	221名	49,564回					
(2) ボランティア活動推進事業											
社会福祉協議会が設置するボランティアセンターに係る経費を助成し、ボランティア活動の活性化に取り組んだ。											
区分					令和5年度	令和6年度					
福祉ボランティア団体数					102団体	86団体					
福祉ボランティア団体所属人数					1,759人	1,554人					
(3) いのちのバトン・避難行動支援事業											
要支援者の見守り及び緊急時、災害時等の情報提供に活用するため、「いのちのバトン」や「避難行動要支援者登録台帳」を整備した。											
委 託 先 (福) 射水市社会福祉協議会											
委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日											
委 託 料 3,573千円											
・ いのちのバトン配備数 2,333件 (令和5年度 2,271件)											
・ 避難行動要支援者登録者数 1,330人 (令和5年度 1,306人)											
指標項目				基準	実績		目標				
				令和3年度 (R4.3.31)	令和6年度		令和9年度				
避難行動要支援者登録率				47.8%	44.7%		64.5%				
										継続	市社会福祉協議会と連携しながら各種事業を展開した。 引き続き、福祉の増進を図るため、事業を実施していく。

事業名	ひきこもり支援対策費			(3款 民生費		1項 社会福祉費		1目 社会福祉総務費		)	決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			3,207	【3,335】	3,494	【3,583】		【3,764】						
財 源 内 訳	国庫補助金		1,667		1,750									
	一般財源		1,540		1,744									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 ひきこもり支援推進事業【国1/2】 ひきこもり支援に携わる人材の養成、相談窓口の設置等のサポート事業を実施した。 委 託 先 (福) 射水市社会福祉協議会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 3,459千円												継続	ひきこもり支援対策事業により当事者や家族の相談支援、地域の理解促進を図った。 引き続き、支援体制の充実や相談窓口の周知等を図る。	

事業名		(3款 民生費 1項 社会福祉費 1目 社会福祉総務費)				決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		100	【131】	1,826	【5,265】		【12,138】	重層的支援体制整備事業を開始したことによる。	
財 源 内 訳	国庫補助金		0		1,045				
	県補助金		0		522				
	一般財源		100		259				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 重層的支援体制整備事業 【国1/2 県1/4】 (1) 多機関協働事業 支援機関等からつながれた、複雑化・複合化した支援ニーズや課題のある事例に対し、重層的支援会議等を開催し、支援プランに基づき支援を実施した。 ・ 事業の対象となった世帯数 19世帯（相談受付世帯総数 29世帯） ・ 重層的支援会議、重層的支援個別会議、支援会議の開催 17回 ・ 支援プラン作成件数 9件 (2) 参加支援事業 既存の事業では対応できない狭間のニーズに対応するため、社会参加につながる居場所づくりを実施した。 ・ 義務教育終了後の年代の若者が安心して過ごせる居場所の提供等 2か所、延べ165人参加 (3) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業 支援が届いていない人の情報を把握し、本人との関係性をつくるための丁寧な働きかけを行った。 (4) 民生委員の活動環境整備事業 結ネットを導入し、民生委員間の連絡体制や、情報・資料共有の利便性向上を図った。 ・ 民生委員・児童委員225人中185人が結ネットに登録								拡 充	多機関協働事業等を実施することによりチームでの支援を行った。また、役割分担を図りながら関係機関間の情報共有や理解促進を図った。 引き続き、多様な参加支援のニーズに対応できるよう協力体制を拡充するなど、関係機関や地域と連携協働しながら、包括的な支援体制の整備に向け、社会資源が不足する分野の取組を計画的に推進していく。

事業名	介護人材対策事業費	(3款 民生費	1項 社会福祉費	1目 社会福祉総務費	) 決算書	79 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		300	【1,000】	758	【800】		【9,050】	令和7年度の事業名「福祉人材対策事業費」
財 源 内 訳	県補助金	0		129				
	一般財源	300		629				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 介護人材資格取得支援事業 市内の介護事業所に勤務する介護職員の処遇改善や介護の質の向上を目的とし、介護福祉士資格取得に必要な実務者研修の費用等を支援した。（上限10万円） ・介護福祉士国家試験合格者 5人（受験者6人） 2 介護の魅力PR事業 【県1/2】 (1) 富山福祉短期大学との包括的連携事業 ・介護福祉士を養成する教育機関である富山福祉短期大学と介護人材の確保を目的とした取組を実施した。 委 託 先 富山福祉短期大学 委託期間 令和6年7月1日～令和7年2月28日 委 託 料 188千円 (2) 介護施設で花を育てよう！大作戦 ・将来の進路を考える小中高生に介護の仕事を知ってもらい、その魅力を伝えることを目的に、花の育成を通して介護施設利用者と児童・生徒との交流を図った。 委 託 先 株式会社シャパンフラワーコーポレーション 委託期間 令和6年8月1日～令和7年3月31日 委 託 料 70千円								引き続き、資格取得を支援することで、介護の質を高めるとともに、介護職員の処遇改善を図る。 また、介護人材を確保するため、介護の魅力を発信していく。

事業名	新湊交流会館管理費	(3款 民生費	1項 社会福祉費	2目 社会福祉施設費	) 決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		12,293 【12,363】		15,346 【15,811】				
財 源 内 訳	使用料		373		17			
	市債		0		2,300			
	一般財源		11,920		13,029			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 新湊交流会館管理費 市民活動の活性化及び市民相互の交流促進のため、施設の適切な管理運営に努めた。 ・ 利用者数 12,304人（令和5年度 11,962人） ・ 利用者の利便性の向上に向け、公共施設予約システムを導入した。								継続 引き続き、新湊地区における福祉活動の場としての役割を担っていくとともに、地域の活性化及び市民相互の交流促進を図り、市民生活の向上及び住み良い地域社会づくりを推進していく。

事業名	市民交流プラザ管理費	(3款 民生費	1項 社会福祉費	2目 社会福祉施設費	) 決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		14,724 【15,295】		15,047 【15,067】				
財 源 内 訳	使用料		14,324		6,810			令和6年度から指定管理者制度を導入したことで、施設使用料は指定管理者の収入になり、使用料収入が減少したことによる。
	諸収入		0		661			
	市債		400		0			
	一般財源		0		7,576			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 いみず市民交流プラザ運営費 地域福祉の拠点としての機能や生涯学習及び市民交流の推進のため、施設の適切な管理運営に努めた。 ・ 利用者数 77,256人（令和5年度 69,932人） 2 いみず市民交流プラザ 指定管理者制度の導入 民間企業のノウハウを活用し、施設利用者数の増加や地域福祉、生涯学習等の分野において市民が交流できる場としての活用を推進した。 指定管理者 株式会社技研サービス 指定管理期間 令和6年4月1日～令和9年3月31日 指定管理料 14,453千円 修繕費 200千円								継続 新型コロナウイルスの流行により減少した施設利用者数は、令和6年度の指定管理者制度導入により、順調に増加している。 今後は、指定管理者との連携を図りながら、更なる市民生活の向上及び地域の活性化に向けて、市民交流の場としての活用を推進する。

事業名	在宅福祉対策費	(3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費)				決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		42,607	【46,768】	45,055	【48,297】		【48,119】		
財 源 内 訳	県補助金	3,048		3,159					
	寄附金	0		2,500					
	諸収入	4,053		5,165					
	一般財源	35,506		34,231					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 在宅医療・介護・障がい福祉連携推進事業 【県3/4】 医療、介護及び障がい福祉サービスを必要とする市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、多職種による包括的かつ継続的な在宅医療を提供する体制を構築するため、医療関係者と介護・障がい福祉・消防関係者の連携を図った。 在宅医療・介護・障がい福祉連携推進協議会開催 ・ 年間1回 （協議会設置 令和6年4月1日）								継続	引き続き、多職種によるサービス提供体制の構築を推進し、在宅療養者の支援を継続していく。
2 外出支援サービス事業 (1) 移送サービス事業 公共交通機関等を利用することが著しく困難な高齢者等を対象に、医療機関への移送サービスを実施した。 ・ 利用者数 延べ1,008人 （令和5年度 延べ1,072人） (2) 高齢者等車いす対応タクシー券交付事業 在宅要介護高齢者等の外出及び社会参加を促進するため、日常的に車いすを利用されている方に、タクシー利用券を交付した。 ・ 利用者数 361人 （令和5年度 332人）								継続	引き続き、要介護者やひとり暮らし高齢者の在宅における生活を支援するとともに、介護者の負担軽減を図っていく。
3 在宅福祉介護手当支給事業 要介護4、5に認定された高齢者を在宅で介護している方に介護手当（月額5,000円）を支給し、介護者の福祉の増進を図った。 ・ 支給者数 376人 （令和5年度 378人）								継続	引き続き、介護者への支援を継続する。
4 緊急通報装置設置事業 おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等に緊急通報装置を貸与し、24時間体制での見守り、安否確認等を行った。 ・ 設置者数 93人 （令和5年度 106人）								継続	引き続き、ひとり暮らし高齢者等が在宅において安心して生活できるよう見守り体制を継続する。

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）																																					
5 呉西地区成年後見センター運営事業 呉西6市連携事業として、平成31年4月に設置した呉西地区成年後見センターにて成年後見制度に係る業務を行った。 ・ 制度及び申立相談 15件 （令和5年度 20件） ・ 市民後見人養成講座の開催（受講者：実務研修1人） （令和5年度 受講者：基礎研修3人） ・ フォローアップ研修会の開催 （受講者：6人） ・ 市民後見人バンク登録 累計17人		継続	呉西地区成年後見センターにおいて、成年後見制度事業の専門的、専従的な取組を行い、相談から後見まで一貫した支援を行うため、呉西6市の連携を図っていく。																																				
6 高齢者向け対話支援機器の購入について 市地域福祉課及び地域包括支援センターに対話支援機器を設置し、難聴高齢者等と円滑な意思疎通を図る相談支援を行った。 ・ 卓上型 1台 （市地域福祉課） ・ 携帯型 6台（市内6地域包括支援センター）		完了	難聴高齢者等との円滑な意思疎通を図るとともに、市民サービスの向上と適切な相談支援に取り組むことができた。																																				
7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 高齢者の心身の多様な課題に対し、きめ細かな支援を実施するため、関係課や地域の関係機関と連携し一体的に保健事業に取り組んだ。 (1) 個別的支援（ハイリスクアプローチ） ア 低栄養防止事業 <table><tr><th>年度</th><th>実施者数</th><th>支援件数</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>52人</td><td>103件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>27人</td><td>65件</td></tr></table> イ 口腔機能低下防止事業 <table><tr><th>年度</th><th>実施者数</th><th>支援件数</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>29人</td><td>46件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>23人</td><td>25件</td></tr></table> ウ 身体的フレイル予防事業 <table><tr><th>年度</th><th>実施者数</th><th>支援件数</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>- 人</td><td>- 件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>11人</td><td>13件</td></tr></table> エ 糖尿病性腎症重症化予防事業 <table><tr><th>年度</th><th>実施者数</th><th>支援件数</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>20人</td><td>55件</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>32人</td><td>71件</td></tr></table>		年度	実施者数	支援件数	令和5年度	52人	103件	令和6年度	27人	65件	年度	実施者数	支援件数	令和5年度	29人	46件	令和6年度	23人	25件	年度	実施者数	支援件数	令和5年度	- 人	- 件	令和6年度	11人	13件	年度	実施者数	支援件数	令和5年度	20人	55件	令和6年度	32人	71件	継続	後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病の重症化予防やフレイル予防のために保健事業を実施している。庁内関係課だけでなく、市医師会や地域包括支援センター等の関係機関とも連携することで、高齢者の健康状態に応じた対応を行っていく。
年度	実施者数	支援件数																																					
令和5年度	52人	103件																																					
令和6年度	27人	65件																																					
年度	実施者数	支援件数																																					
令和5年度	29人	46件																																					
令和6年度	23人	25件																																					
年度	実施者数	支援件数																																					
令和5年度	- 人	- 件																																					
令和6年度	11人	13件																																					
年度	実施者数	支援件数																																					
令和5年度	20人	55件																																					
令和6年度	32人	71件																																					

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）
オ 生活習慣病（循環器系）予防事業			
年度	実施者数	支援件数	
令和5年度	39人	66件	
令和6年度	54人	62件	
カ ポリファーマシー対策事業			
年度	実施者数	支援件数	
令和5年度	17人	30件	
令和6年度	7人	7件	
キ 健康状態不明者への支援事業			
年度	実施者数	支援件数	
令和5年度	141人	165件	
令和6年度	97人	107件	
(2) 通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ）			
ア 100歳体操3年目支援			
年度	関与した箇所数	延べ参加者数	
令和5年度	8か所	67人	
令和6年度	8か所	120人	
イ みんな元気教室			
年度	関与した箇所数	延べ参加者数	
令和5年度	10か所	289人	
令和6年度	9か所	247人	

事業名	高 齢 者 福 祉 施 設 費	(3 款 民 生 費 1 項 社 会 福 祉 費 3 目 老 人 福 祉 費)				決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		130,314	【130,867】	95,853	【219,744】		【148,195】		
財 源 内 訳	国庫補助金	72,320		37,797					
	一般財源	57,994		58,056					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 いきいき長寿館運営費 指定管理者制度を導入し、高齢者が気軽に集い、活動できる介護予防の場を提供した。 ・ 年間利用者数 4,716人 （令和5年度 4,785人） ・ 利用者の利便性の向上に向け、公共施設予約システムを導入した。								継 続	引き続き、高齢者が気軽に集い、活動できる場を提供することにより、介護予防の推進並びに健康及び福祉の増進を図る。
2 老人福祉施設整備事業 特別養護老人ホーム等の整備を行った社会福祉法人に対し、その建設に要した事業費について、市の補助相当分に係る借入金の元金及び利子を債務負担行為に基づき助成した。 ・ 社会福祉法人 2法人、3施設（令和5年度 2法人、3施設）								継 続	令和6年度において助成完了1施設。令和7年度事業完了予定。
3 社会福祉施設物価高騰対策支援事業補助金（介護福祉施設）（物価高騰対策No.7）【交付金】 介護福祉サービス等事業所を運営する68法人に対し、光熱水費等の高騰影響額計37,797千円を支援した。 ・【提供サービスあたりの補助単価（1サービス）】 ・入所系サービス 16,400円×定員 ・通所系サービス 5,200円×定員 ・訪問系サービス 19,500円／1サービス								完 了	市内で介護サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営の経費増加分を支援し、サービス提供体制の確保を図った。
（繰越明許費 123,705 千円） ・ 事 業 名 地域密着型介護基盤整備事業費補助金 ・ 完 了 時 期 令和7年8月31日（予定）									

事業名	地域支援事業		(3款 民生費 1項 社会福祉費 3目 老人福祉費)			決算書	80 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課 福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
					179,869 【184,888】				重層的支援体制整備事業の開始に伴い、介護保険事業特別会計で実施してきた事業の一部が、一般会計で実施されることとなったことによる。	
財 源 内 訳	国庫補助金				64,518					
	県補助金				33,184					
	特別会計繰入金				50,404					
	寄附金				300					
	一般財源				31,463					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 地域介護予防活動支援事業 【国25/100 県12.5/100】 (1)きららか射水100歳体操普及事業 住民が、身近な場所で主体的に取り組むことができ、介護予防に効果のあるおもりを使用した体操の普及を図った。 ・ グループ数 173グループ、登録者数 2,926人 （令和5年度 165グループ、登録者数 2,927人） ・ 「きららか射水100歳体操 マスター養成講座」を開催した。参加者 44人 (2)地域支え合いネットワーク事業 地域包括ケアシステム構築に向け、高齢者等が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができる地域の支え合い体制の整備及び多様な生活支援サービスの創出を行う団体に対し支援を行った。 ・ 実施地域数 26地域 （令和5年度 26地域） (3)地域支え合いネットワーク共生社会構築事業 高齢者、障がい者、子ども等が気軽に立ち寄れる地域の常設型の居場所において、選任された相談員がちょっとした困りごとの相談に対応し必要に応じて適切な機関へつなぐことができるよう、居場所の運営の支援を行った。 ・ 実施地域数 2地域 （令和5年度 2地域）									継続	きららか射水100歳体操は、理学療法士による体操指導や相談、マスター養成講座の開催等、グループの継続的支援や普及啓発を行うことにより更なる推進を図る。 また、地域支え合いネットワーク事業をより一層推進するとともに、地域支え合いネットワーク共生社会構築事業の実施により、地域の多様な人々のネットワークを形成し、重層的なセーフティネットの構築を図っていく。
指標項目		基準	実績	目標						
		令和3年度	令和6年度	令和9年度						
地域支え合いネットワーク共生社会構築事業を実施する地域数		1地域	2地域	6地域						
2 地域包括支援センター運営事業 【国38.5/100 県19.25/100】 保健師（看護師）・主任ケアマネジャー・社会福祉士・認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター等を配置する地域包括支援センターを市内6か所に設置し、総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメントや介護予防事業を実施した。 ・ 総合相談実施件数 実人員 4,554人 （令和5年度 4,118人） 相談延べ件数 17,560件 （令和5年度 14,904件） 委 託 先 （福）射水万葉会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 98,800千円										

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
3 生活支援体制整備事業 【国38.5/100 県19.25/100】 高齢者、障がい者、子ども等の日常生活を支える多様な支援体制の充実や強化を図るとともに、地域における支え合い体制づくりの推進を図った。 (1) 射水市生活支援・介護予防サービス推進協議会の開催 ・ 年間1回 （令和6年度 年間1回） (2) 生活支援コーディネーターの配置 ・ 第1層（市） 1人 ・ 第2層（地域包括支援センター圏域） 6人 委 託 先 （福）射水万葉会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 31,200千円	継続 支え合い体制の構築は、おおむね計画どおり進捗している。 地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、現体制で地域の支え合い体制の拡充を推進し、さらには共生社会の実現を目指していく。
4 介護予防・生活支援サービス従事者養成研修 【国38.5/100 県19.25/100】 市内介護保険事業所において家事援助等を行う従業員やボランティアを養成する研修会を実施した。 ・ 開催日 令和7年3月12日・13日 ・ 受講者 22人 ・ 委託料 88,000円	継続 引き続き、養成研修を実施することで、介護の質を高めるとともに、不足する介護人材の支援を図る。

事業名	障害者福祉総務費（繰越明許）			（ 3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		） 決算書		81 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
					711 【711】									
財 源 内 訳	国庫補助金				355									
	一般財源				356									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 令和6年度（令和5年度からの繰越分）障害者自立支援給付審査支払等システム改修業務委託事業【国1/2】 令和6年度報酬改定（福祉・介護職員の処遇改善）に対応するためのシステム改修を実施した。 委 託 期 間 令和6年4月1日～7月31日 委 託 料 711千円												完了	報酬改定に対応するシステム改修を完了した。 引き続き適正な審査支払業務の遂行に努める。	

事業名		障害者福祉総務費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		決算書		81 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
				12,442 【15,573】		7,104 【7,346】											
財 源 内 訳	国庫補助金		1,272		1,697				第7期障がい福祉計画（第3期障がい児福祉計画）策定費用の減による。								
	県補助金		1,841		0												
	一般財源		9,329		5,407												
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 令和6年度障害者自立支援給付審査支払等システム改修業務委託事業【国1/2】 令和6年度報酬改定（就学前障害児の発達支援無償化に係る認定手続きの簡素化及び同一世帯における複数児童の上限額管理）に対応するためのシステム改修を実施した。 委 託 期 間 令和7年2月10日～3月31日 委 託 料 3,395千円														完了 報酬改定に対応するシステム改修を完了した。 引き続き適正な審査支払業務の遂行に努める。			

事業名	福祉金等給付費			(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			50,051	【50,769】	48,587	【49,936】		【48,780】					
財 源 内 訳	一般財源		49,354		48,587								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 福祉金等給付事業 心身障がい者又は自宅で重度心身障がい者を介護している介護者に対し、福祉金等を支給した。 ・ 心身障がい者（児）福祉金 2,388人 （令和5年度 2,418人） ・ 重度心身障がい者等介護手当 95人 （令和5年度 92人）											継 続	福祉金等を支給することにより、福祉の増進を図った。 心身障がい者や在宅介護者を支援するため、継続して実施する。	

事業名		障害者福祉対策費		(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		決算書		81 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				7,144	【7,146】	5,771	【6,731】		【7,450】									
財 源 内 訳	県補助金		1,997		1,293													
	県委託金		4		4													
	一般財源		5,143		4,474													
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 福祉タクシー等実施事業 重度の障がい者にタクシー券又はガソリン券を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。 ・ 交付者数 316人 （令和5年度 321人）													継続	タクシー券等を支給し、障がい者の自立と社会参加促進を図った。重度障がい者を支援するため、継続して実施する。				
2 住宅改善費助成事業【県1/2】 在宅重度障がい者の居宅改造費の一部を補助することにより、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。 ・ 助成者数 3人 （令和5年度 4人）													継続	居宅改造費を補助し、障がい者の在宅生活の質の向上を図った。重度障がい者の在宅での日常生活を容易にするため、継続して実施する。				
3 重度心身障害者（児）おむつ支給事業【県1/2】 在宅重度障がい者・児で常時おむつを使用している方におむつを現物支給し、介護者の労苦の軽減を図った。 ・ 助成者数 46人 （令和5年度 42人）													継続	おむつを現物支給し、介護者の労苦の軽減を図った。重度障がい者とその家族を支援するため、継続して実施する。				

事業名		（ 3款 民生費 1項 社会福祉費 6目 障害者福祉費 ）				決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		268,581	【289,066】	274,299	【283,677】		【310,297】		
財 源 内 訳	県補助金		104,218		107,574				
	諸収入		36,523		33,063				
	一般財源		127,840		133,662				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 重度心身障害者等医療費助成事業 【県1/2】 医療費を助成することにより、重度心身障がい者等の健康維持と経済的負担の軽減を図った。 ・ 重度心身障がい者等医療費助成 22,202件 （令和5年度 22,243件）								見直し	一部負担金還付制度の現物給付化に向け、富山県及び県内他市町村と協議を重ねてきた結果、令和7年8月から現物給付に移行することとなった。
2 障害者医療費助成システム改修業務委託事業【県1/3】 65歳以上重中度障がい者の医療費の助成方法について、現物給付が可能となるようシステム改修を行う。 委 託 期 間 令和6年4月18日～令和6年12月31日 委 託 料 2,750千円								完了	現物給付化に対応するシステム改修を完了した。 （65歳以上の重中度障がい者の医療費助成の現物給付については、令和7年8月1日から実施。）

事業名	地域生活支援費			(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		)		決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			86,830	【88,448】	89,779	【93,100】		【97,508】							
財 源 内 訳	国庫補助金		17,614		17,227										
	県補助金		8,807		8,613										
	諸収入		92		0										
	一般財源		60,317		63,939										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 地域活動支援センター委託事業（市内4か所） 障がい者施設に事業を委託し、障がい者の相談援助を行うことで、障がい者の日常生活及び社会生活の自立を図った。 委 託 先 （福）射水福祉会、（特非）ふらっと、（特非）ワークホーム悠々、（特非）むげん 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 30,000千円													拡 充	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、障がい者等の相談支援のほか、社会との交流等地域生活支援の促進を図るため、継続して実施する。 また、令和7年度から新たに地域の相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを設置し、相談支援体制の充実を図る。	
2 移動支援事業【国1/2 県1/4】 屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出の支援を行うことにより、障がい者の自立と社会参加の促進を図った。 ・ 利用回数 186回 （令和5年度 174回）													継 続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、外出支援により、障がい者の自立生活及び社会参加の促進を図るため、継続して実施する。	
3 日常生活用具給付事業【国1/2 県1/4】 障がい者に対し、日常生活を便利で快適にする用具を給付し、日常生活の自立を図った。 ・ 延べ利用件数 2,331件 （令和5年度 2,302件）													継 続	障害者総合支援法に基づく必須事業であり、日常生活用具の給付により、障がい者の日常生活の便宜を図るため、継続して実施する。	

事業名	自立支援給付費			(3款 民生費		1項 社会福祉費		6目 障害者福祉費		決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			2,098,562 【2,099,069】		2,309,800 【2,326,872】									【2,204,141】
財 源 内 訳	国庫負担金		1,049,616		1,167,615					国の令和6年度障害福祉サービス等報酬改定に伴う増額。また、自立支援給付においては、重度訪問介護や施設入所支援等の利用増加、障害児通所支援においては、放課後等デイサービス等の利用増加による。				
	県負担金		521,249		577,990									
	一般財源		527,697		564,195									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 自立支援給付費【国1/2 県1/4】 障害者総合支援法に基づき、障がい者福祉サービスの給付に必要な支援を行った。 ・ 居宅介護等 延べ599人 （令和5年度 延べ609人） ・ 上記以外の介護給付費等 延べ10,108人 （令和5年度 延べ9,890人）											継続	障害者総合支援法に基づく制度であり、適正な支給決定のもと必要なサービスの給付を継続して実施する。		

事業名	障害者福祉施設支援費	(3款 民生費	1項 社会福祉費	6目 障害者福祉費	) 決算書	81 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		16,810 【16,810】		5,694 【5,694】		【0】		
財 源 内 訳	国庫補助金	16,810		5,694				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 社会福祉施設物価高騰対策支援事業補助金（障害福祉施設）（物価高騰対策対策№8）【交付金】 市内障がい福祉サービス事業所を運営する法人に対して、光熱水費及びガソリン代、食材料費の一部を助成し、安定したサービス提供を支援した。 ・ 16,400円 / 定員 × 147名 = 2,410,800円（入所系サービス事業所 9事業所） ・ 5,200円 / 定員 × 560名 = 2,912,000円（通所系サービス事業所 31事業所） ・ 19,500円 / 事業所 × 19事業所 = 370,500円（訪問系サービス事業所） ・ 支給金額 5,693,300円								完了 市内で障がい福祉サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営にかかる経費の高騰影響分を支援し、サービス提供体制の安定を図った。

事業名		低所得世帯物価高騰臨時給付金給付費（繰越明許）		（ 3款 民生費		1項 社会福祉費		7目 低所得世帯物価高騰臨時給付金給付費 ）		決算書		82 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課															
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）																	
						81,320 【83,027】																									
財 源 内 訳	国庫補助金						81,320																								
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）																		
1 低所得世帯物価高騰臨時給付金（物価高騰対策№10）【交付金】 給付金 国の経済対策に基づき、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯へ1世帯当たり10万円の給付金を支給した。 <table><tr><td>申請期限</td><td>令和6年5月31日</td></tr><tr><td>送付世帯数</td><td>1,904世帯</td></tr><tr><td>申請世帯数</td><td>1,798世帯（支給1,795、不支給3）</td></tr><tr><td>申請率</td><td>94.4%</td></tr></table> 子ども加算 低所得世帯物価高騰臨時給付金（7万円・10万円）の受給世帯へ18歳以下の児童1人当たり5万円の子ども加算を支給した。 <table><tr><td>対象世帯数</td><td>555世帯（1,004人）</td></tr><tr><td>支給世帯数</td><td>503世帯（912人）</td></tr><tr><td>支給率</td><td>90.6%</td></tr></table>													申請期限	令和6年5月31日	送付世帯数	1,904世帯	申請世帯数	1,798世帯（支給1,795、不支給3）	申請率	94.4%	対象世帯数	555世帯（1,004人）	支給世帯数	503世帯（912人）	支給率	90.6%	完了 国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページへ掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。				
申請期限	令和6年5月31日																														
送付世帯数	1,904世帯																														
申請世帯数	1,798世帯（支給1,795、不支給3）																														
申請率	94.4%																														
対象世帯数	555世帯（1,004人）																														
支給世帯数	503世帯（912人）																														
支給率	90.6%																														

事業名	低所得世帯物価高騰臨時給付金給付費				(3款 民生費		1項 社会福祉費		7目 低所得世帯物価高騰臨時給付金給付費)		決算書	82 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
				166,972	【250,000】	118,865	【119,709】		【0】						
財 源 内 訳	国庫補助金		166,972		118,865										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 低所得世帯物価高騰臨時給付金（物価高騰対策№10）【交付金】 給付金 国の経済対策に基づき、令和6年度新たに住民税非課税及び均等割のみ課税となった世帯へ1世帯当たり10万円の給付金を支給した。												完了	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページへ掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。		
申請期限	令和6年9月30日														
送付世帯数	1,424世帯														
申請世帯数	1,346世帯（支給1,343、不支給3）														
申請率	94.5%														
子ども加算 低所得世帯物価高騰臨時給付金の受給世帯へ18歳以下の児童1人当たり5万円の子ども加算を支給した。															
対象世帯数	152世帯（262人）														
支給世帯数	140世帯（239人）														
支給率	92.1%														

事業名		電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付費(繰越明許)		(3款 民生費		1項 社会福祉費		10目 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付費)		決算書		83 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）				
						25,611 【41,772】												
財 源 内 訳	国庫補助金						25,611											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 住民税非課税世帯物価高騰臨時給付金（物価高騰対策№9）【交付金】 ・ 給付金 国の経済対策に基づき、令和5年度住民税非課税世帯へ1世帯当たり7万円の給付金を支給した。														完了	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページへ掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。			
申請期限		令和6年4月30日																
送付世帯数		7,351世帯																
申請世帯数		6,918世帯（支給6,874、不支給44）																
申請率		94.1%																

事業名	非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費（ 3款 民生費 11項 社会福祉費 13目 非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費 ）										決算書	83	ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課								
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
					190,564 【260,751】				【0】														
財 源 内 訳	国庫補助金				190,564																		
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）											
1 非課税世帯物価高騰臨時給付金（物価高騰対策№11）【交付金】 ・ 給付金 国の経済対策に基づき、令和6年度住民税非課税世帯へ1世帯当たり3万円の給付金を支給した。 令和7年3月31日現在の状況 <table><tr><td>申請期限</td><td>令和7年5月30日</td></tr><tr><td>送付世帯数</td><td>7,181世帯</td></tr><tr><td>申請世帯数</td><td>6,051世帯（支給6,049、不支給2）</td></tr><tr><td>申請率</td><td>84.2%</td></tr></table>												申請期限	令和7年5月30日	送付世帯数	7,181世帯	申請世帯数	6,051世帯（支給6,049、不支給2）	申請率	84.2%	継続	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページへ掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。 物価高騰の影響が続く中、引き続き、迅速かつ適正な事務に努めながら、物価高騰に対する生活支援を継続して実施する。		
申請期限	令和7年5月30日																						
送付世帯数	7,181世帯																						
申請世帯数	6,051世帯（支給6,049、不支給2）																						
申請率	84.2%																						
（繰越明許費 70,187 千円） ・ 事業名 非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費（1世帯当たり3万円及び子ども加算）【交付金】 ・ 完了時期 令和7年8月																							

事業名		子ども・子育て支援推進費（繰越明許）		（ 3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		） 決算書		84 ページ		担当部課		こども家庭部子育て支援課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）			
						6,059 【6,060】											
財 源 内 訳	一般財源					6,059											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 第三期射水市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査等業務委託 「第三期射水市子ども・子育て支援事業計画」を新たに策定するにあたり、本市の現状と課題を把握するとともに、第三期計画策定に必要な基礎資料とすることを目的にニーズ調査を実施した。 委託先 株式会社東京商工リサーチ富山支店 委託期間 令和5年12月11日～令和6年5月31日 委託料 6,059千円														完了	ニーズ調査を実施し、子育て世帯の現状を分析した。ニーズ調査の結果も踏まえ、射水市こども計画を策定した。		

事業名		(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)				決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課 こども家庭部こども福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
			74,565	【103,970】	81,277	【92,297】		【20,123】	世界にひとつだけの絵本事業の開始、こども計画策定支援業務委託料により支出が増加したことによる。
財源内訳	負担金		13		0				
	国庫補助金		47,298		38,221				
	県補助金		15,230		10,735				
	諸収入		338		308				
	一般財源		11,686		32,013				
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）
1 子育て情報の提供 こどもを産み育てやすい環境を作るため、子育て世帯に対し、子育て情報の提供を行った。 ・ 子育てガイドの発行（6,000部） ・ 子育てメールマガジンの配信（月1回） ・ ケーブルテレビを活用した「ちゃいる.comテレビ」の放映 ・ こどもまんなか社会の実現に向けた取組を市の公式インスタグラムで紹介 ・ 子育て支援アプリ「ちゃいる.com」の普及									継続 子育て世帯に向けた射水市の子育て情報を幅広く提供できた。今後も子育て世帯等の意見を踏まえ、より身近で分かりやすい情報提供を行っていく。
2 出産・子育て応援給付金 全ての妊婦・子育て家庭を支援するため、伴走型相談支援とともに経済的支援として、出産応援ギフト（妊婦1人につき5万円）、子育て応援ギフト（新生児1人につき5万円）を現金で支給した。 ・ 事業費 59,305千円 ・ 出産応援ギフト対象者数 537人、支給額 26,850千円 ・ 子育て応援ギフト対象児童数 525人、支給額 26,250千円									継続 全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の整備に努めた。引き続き、伴走型の相談支援と、経済的支援を一体として実施していく。
3 出生祝いクーポン券交付事業 出生児のいる世帯を対象に、射水市内の提携店舗で使える電子クーポン（2万円分）を交付した。 ・ 事業費 11,114千円 ・ 令和6年度対象出生児数 561人、利用金額 10,388千円									継続 新生児のいる世帯を対象に経済的負担の軽減に寄与することができた。引き続き、経済的支援を行っていく。
4 世界にひとつだけの絵本事業 令和6年度に1歳半になるこどもがいる世帯を対象に「世界にひとつだけの絵本」と大島絵本館で利用できる500円分のチケットを贈った。 ・ 事業費1,101千円 ・ 令和6年度絵本申請割合 64.6% ・ 大島絵本館チケット使用枚数 64枚									継続 言葉が出始める時期に、オリジナル知育絵本を贈り、親子間のコミュニケーションづくりと本に親しむきっかけづくりを提供することができた。引き続き、継続していく。

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
5（仮称）射水市こども計画策定業務委託 安心してこどもを産み育てることができる環境の整備を図り、こどもの成長を支援し、地域全体で子育て世代を応援する取組をさらに充実していくために、射水市こども計画を策定した。 委 託 先 ランドブレイン株式会社 富山営業所 委 託 期 間 令和6年8月23日～令和7年3月31日 委 託 料 3,432千円	完了 今回策定した射水市こども計画を着実に推進していくために、市民や関係団体、事業者等と連携・協力し、各種事業を効果的・効率的に進めていく。

事業名	子ども条例推進費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		)		決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課											
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
			7,663	【7,741】	8,117	【8,247】		【8,230】																	
財源内訳	一般財源		7,663		8,117																				
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）													
1 子どもの悩み総合相談室運営事業 こどもに関する悩みの相談窓口を開設し、4名の相談員が相談者に対する助言・指導のほか、必要があれば専門機関を紹介するなど、問題解決に向けて取り組んだ。 ・ 相談件数 延べ268件 （令和5年度 延べ353件） ・ チラシの発行（年1回） ・ 射水市公式LINEでの広報（月1回） 市内の小学5年生及び中学2年生を対象にしたアンケート調査より（調査結果は市のホームページで公開） <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>「子どもの悩み総合相談室等を知っている」と回答する割合</td><td>42.0%</td><td>46.1%</td><td>70.0%</td></tr></table>												指標項目	基準	実績	目標	令和3年度	令和6年度	令和9年度	「子どもの悩み総合相談室等を知っている」と回答する割合	42.0%	46.1%	70.0%	継続	電話、メール、来所等を通して、18歳未満のこどもに関する相談に対応した。また、相談室のチラシを学校等に配布したり、公式LINEで広報したりすることで、周知を図った。 今後も相談者が相談しやすい対応と環境整備に努めていく。	
指標項目	基準	実績	目標																						
	令和3年度	令和6年度	令和9年度																						
「子どもの悩み総合相談室等を知っている」と回答する割合	42.0%	46.1%	70.0%																						
2 射水市子どもの権利支援センター運営事業 悩みを抱えるこどもたちが安心して過ごすことのできる居場所を提供した。 ・ 延べ利用人数 1,312人 （令和5年度 1,134人） 委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 4,100千円												継続	18歳未満のこどもが安心して過ごせる居場所の提供や、こどもに関する保護者の悩み相談に対応した。 今後も関係機関と連携し利用しやすい環境整備に努めていく。												
3 こども条例普及啓発事業 射水市子どもに関する施策推進計画に示す施策の充実を図るため、市内の小学5年生及び中学2年生を対象にアンケート調査を実施した。 （調査結果は市のホームページで公開） <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>こどもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合</td><td>97.0%</td><td>98.4%</td><td>100.0%</td></tr></table>												指標項目	基準	実績	目標	令和3年度	令和6年度	令和9年度	こどもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合	97.0%	98.4%	100.0%	継続	射水市こども条例の普及啓発を図り、こどもの権利に関する意識を醸成することに努めた。 引き続き、こどもの幸せと健やかな成長を図る社会の実現を目指していく。	
指標項目	基準	実績	目標																						
	令和3年度	令和6年度	令和9年度																						
こどもが、家族や周りの大人から「自分は大切にされている」と回答する割合	97.0%	98.4%	100.0%																						

事業名	幼児ことばの教室運営費			(3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課																					
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																								
				1,828	【2,490】	4,317	【5,733】		【6,553】	令和5年度は再任用職員1名と会計年度任用職員1名だったが、令和6年度は会計年度任用職員2名になり人件費が増加したことによる。																								
財源内訳	一般財源		1,828		4,317																													
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																							
1 幼児ことばの教室 就学前の幼児への言語発達・社会性を促す指導、構音訓練を実施した。 また、相談会で幼児や保護者の抱える困難に応じた支援や、射水市内の全保育園、幼稚園等を年2回巡回訪問し発達の支援が必要な幼児の実態把握と処遇検討を行った。 通級・相談状況 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>通級指導(延べ)</td><td>873人</td><td>989人</td></tr><tr><td>電話相談(延べ)</td><td>91人</td><td>84人</td></tr><tr><td>来所相談(延べ)</td><td>155人</td><td>185人</td></tr></table> 巡回訪問観察児人数 <table><tr><td></td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>前期</td><td>411人</td><td>331人</td></tr><tr><td>後期</td><td>473人</td><td>435人</td></tr></table>											区分	令和5年度	令和6年度	通級指導(延べ)	873人	989人	電話相談(延べ)	91人	84人	来所相談(延べ)	155人	185人		令和5年度	令和6年度	前期	411人	331人	後期	473人	435人	継続	定期的に事例検討会や研修受講を行い、専門知識を高め指導の質を上げることに努めた。 射水市民病院「子どものこころの外来」と連携し、必要な支援を行った。 令和7年度は社会性やコミュニケーション力の向上を目的としたグループ指導に加え、発達段階が同程度の幼児で少人数で行えるペア指導を必要に応じて行うなど、ニーズに合わせた幅広い支援を行っていく。	
区分	令和5年度	令和6年度																																
通級指導(延べ)	873人	989人																																
電話相談(延べ)	91人	84人																																
来所相談(延べ)	155人	185人																																
	令和5年度	令和6年度																																
前期	411人	331人																																
後期	473人	435人																																

事業名		(3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費)				決算書	84 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		126,824	【136,188】	134,617	【138,008】		【194,756】		
財 源 内 訳	国庫補助金		40,979		43,164				
	県補助金		44,159		46,931				
	基金繰入金		850		0				
	一般財源		40,836		44,522				
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）
1 放課後児童クラブの運営事業 【国1/3 県1/3】【県1/2】 労働等により昼間に保護者が不在となる家庭の児童に遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。 ・ 学級数 23学級 （令和5年度 23学級） ・ 登録児童数 907人 （令和5年度 892人） 委託先 こばと学級保護者会 外14団体 委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 125,206千円									継続 13校区の児童に遊びや生活の場を提供し、保護者の育児と仕事の両立を支援し、児童の健全育成を図った。 残り2校区については、児童館及び児童室で学童的対応を実施し、放課後の児童の健全育成を図っている。
2 とやまっ子さんさん広場推進事業【県1/2】 地域の子ども達が交流できる居場所作りとしてコミュニティセンター等の施設を活用の上、広場を開設し、放課後の居場所を確保した。 ・ 実施箇所数 新湊地域振興会 外8か所									継続 9か所で、地域の子ども達が交流できる放課後の居場所作りを推進した。 地域と連携し、ニーズに合わせた放課後の居場所を確保していく。

事業名	子育て支援センター運営費				(3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		)	決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			68,290	【86,666】	76,277	【98,794】		【75,149】							
財 源 内 訳	国庫補助金		31,831		30,296										
	県補助金		25,094		25,292										
	基金繰入金		600		0										
	一般財源		10,765		20,689										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 子育て支援センター等の運営事業【国1/3 県1/3】 地域子育て支援の拠点施設として子育て支援センター等を9か所運営し、子育てに関する不安や悩みの相談、子育てサークルの育成支援、地域の子育て情報の提供等を図った。（一般型8か所、連携型1か所(*)） 直 営 射水市子育て支援センター 委 託 海老江こども園子育て支援センター、新湊つくりみち子育て支援センター、 太閤山子育て支援センター、大島つばさ保育園子育て支援センター、 射水おおぞら保育園子育て支援センター、戸破子育て支援センター(*）、グランパ、ふらっと 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日（グランパは令和6年7月31日閉所） 委 託 料 60,016千円													継 続	子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進が図られた。 引き続き、国・県・民間施設と連携し、地域子育て支援の拠点施設として事業を継続していく。	

事業名		ファミリーサポートセンター運営費		（ 3款 民生費 2項 児童福祉費 1目 児童福祉総務費 ）		決算書		84 ページ		担当部課		こども家庭部子育て支援課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				4,123 【4,347】		4,041 【4,168】								【4,668】
財 源 内 訳	国庫補助金		1,319		1,333									
	県補助金		1,375		1,351									
	基金繰入金		100		0									
	一般財源		1,329		1,357									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 ファミリーサポート事業【国1/3 県1/3】 ファミリーサポート制度を市民等に広く周知し、子育てのサポートを行いたい方（協力会員）やサポートを受けたい方（依頼会員）等の会員登録を促進し、子育てと仕事の両立、相互援助活動を支援した。										継続 協力会員の登録促進が図られた。 引き続き、制度の周知を図ると もに、国・県・委託事業者と連携 し、事業を継続していく。				
指標項目				基準		実績		目標						
				令和3年度		令和6年度		令和9年度						
子育て世帯を支援する地域の取組状況 （ファミリーサポートセンターの利用）		年間利用回数		810回		1,292回		900回						
		協力会員数		203人		317人		300人						
委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 4,000千円														

事業名	家庭児童福祉費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		1目 児童福祉総務費		決算書	84 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課																									
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																												
			6,398	【6,449】	10,062	【11,687】		【4,894】	令和6年度から新設されたこども家庭センターにおける新規事業に係る支出分が増加したことによる。																												
財源内訳	国庫補助金		12		7,285																																
	県補助金		12		2,147																																
	諸収入		0		11																																
	一般財源		6,374		619																																
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																										
1 こども家庭センター相談実績 保健師、社会福祉士、公認心理師、虐待対応専門員、こども家庭支援員等が、家庭及び児童に関する相談並びに児童虐待防止対策に努めた。 ・家庭児童相談事業 <table><tr><td colspan="2">令和5年度</td><td colspan="2">令和6年度</td></tr><tr><td>相談件数(延べ)</td><td>相談者実人数</td><td>相談件数(延べ)</td><td>相談者実人数</td></tr><tr><td>282件</td><td>81人</td><td>540件</td><td>108人</td></tr></table> ・こども家庭係相談件数(延べ) <table><tr><td>電話相談</td><td>来所相談</td><td>訪問支援</td><td>メール相談</td><td>同行支援</td><td>計</td></tr><tr><td>727件</td><td>676件</td><td>286件</td><td>223件</td><td>183件</td><td>2,095件</td></tr></table> 実人数900人											令和5年度		令和6年度		相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数	282件	81人	540件	108人	電話相談	来所相談	訪問支援	メール相談	同行支援	計	727件	676件	286件	223件	183件	2,095件	継続	こども家庭センターの中核を担う部署として、社会福祉士、心理士、保健師、こども家庭支援員、虐待対応専門員等の専門職を配置し、要保護児童家庭支援や児童虐待防止対策に努めた。 令和7年4月から新設したこども家庭部がこども家庭センターを包含し、更なる支援機能の強化を迅速に進めていく。	
令和5年度		令和6年度																																			
相談件数(延べ)	相談者実人数	相談件数(延べ)	相談者実人数																																		
282件	81人	540件	108人																																		
電話相談	来所相談	訪問支援	メール相談	同行支援	計																																
727件	676件	286件	223件	183件	2,095件																																
2 こども家庭センター事業実績 ・産前産後家事サポート事業：延61件 ・こども食堂事業：市内4か所（月1～2回実施）の立上げ初年度の運営費や、新たに実施する特色ある取組を助成 ・こどもの居場所づくり支援事業：申請のあった2団体に対し、新たに実施する特色ある取組を助成 ・子育て短期支援事業（ショートステイ事業）：延30日。家庭の経済状況により、利用費用の一部または全額を補助 ・家事・育児サポート事業：12月に委託契約後、実2人、延16回 ・未就園児等全戸訪問・アウトリーチ支援事業： 4、5歳児の未就園児15名の自宅を職員が訪問 訪問支援：6件 申請等支援：22件 ・子育て支援訪問支援事業：延125回											継続	こども食堂やショートステイ等のこどもや子育て世帯の福祉に関する事業の実施及び補助金の交付、また支援が必要な家庭には、関係窓口につなげる事業や積極的な見守りを実施している。 虐待の予防的な対応から、児童相談所対応となった家庭の事後フォローまで、福祉に関する包括的な支援を目指している。 今後も地域全体のニーズや既存の地域資源の把握を行うとともに、不足する資源については新たな担い手を発掘・養成し、より充実した地域資源ネットワークを形成していく。																									

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 要保護児童対策協議会の開催【国1/3 県1/3】 要保護児童の早期発見及び適切な保護又は要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図るため、当該協議会を設置し、関係機関と連携を図った。			継続	要保護児童等に関する関係機関との情報共有を、ケース会議や電話連絡等でスピード感をもって図ることができた。 今後も当該協議会の調整機関として、関係機関との連携を更に強化していく。
会議種別	令和5年度	令和6年度		
代表者会議	1回	1回		
実務者会議	2回	2回		
個別ケース検討会議	19回	25回		

事業名	ひとり親家庭等福祉費				(3款 民生費		2項 児童福祉費		3目 母子福祉費		)	決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課		
決算額【予算額】				令和5年度				令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）	
				85,443		【97,009】		22,011		【25,875】				【26,733】		低所得の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業が終了したことによる。	
財源内訳	国庫補助金		71,761				7,331										
	県補助金		2,602				2,592										
	諸収入		95				60										
	一般財源		10,985				12,028										
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 母子・父子自立支援事業 母子・父子自立支援員2人を配置し、ひとり親家庭等の生活の安定及び向上並びに自立を支援した。														継続 母子・父子自立支援員2人により、ひとり親家庭等の生活の安定及び自立の促進に努めた。 今後も現行体制を維持するとともに、相談業務を統括する専門職の配置について検討していく。			
相談種別		令和5年度				令和6年度											
		相談件数(延べ)		相談者実人数		相談件数(延べ)		相談者実人数									
母子家庭		512件		216人		471件		151人									
父子家庭		34件		13人		33件		17人									
その他		258件		104人		108件		48人									
計		804件		333人		612件		216人									
612件のうち、DV相談 16件（相談者実人数 7人）																	
2 母子家庭等自立支援給付事業【国3/4】 ひとり親家庭の母又は父が就業につながる資格を取得するための支援を行った。														継続 学業修業期間中の支援を行うことで、当該資格を生かした就業につながった。 今後もひとり親家庭の生活の安定及び自立の促進に資する当該事業を継続的に実施していく。			
区分		令和5年度				令和6年度											
		人数		金額		人数		金額									
高等職業訓練促進給付金		6人		6,698千円		8人		9,616千円									
高等職業訓練修了支援給付金		2人		100千円		2人		75千円									
自立支援教育訓練給付金		3人		84千円		2人		85千円									
計		11人		6,882千円		12人		9,776千円									

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
3 ひとり親家庭等学習支援ボランティア事業【県3/4】 こどもたちが生まれ育った環境に左右されず、世代を超えて貧困が連鎖してしまうことのないよう、ひとり親家庭等のこどもに対して、学習の支援を行った。 ・ 令和6年度登録者数 32人（うち小学生 16人、中学生 16人） - 委 託 先 射水市母子寡婦福祉連合会、（一社）ガチョック - 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 - 委 託 料 3,456千円	継続 大島地区、新湊地区及び小杉地区の合計3か所でひとり親家庭等のこどもたちに学習支援を行い、学習習慣の定着や学業向上に寄与することができた。 今後もひとり親家庭等のこどもの生活の向上を図るため、当該事業を継続的に実施していく。

事業名		児童扶養手当給付費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		3目 母子福祉費		決算書		85 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課				
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				209,696	【210,009】	219,523	【221,009】		【230,009】									
財 源 内 訳	国庫補助金		69,838		73,101													
	諸収入		369		479													
	一般財源		139,489		145,943													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 児童扶養手当給付事業【国1/3】 母又は父と生計を同じくしていない児童が育成される家庭（ひとり親家庭等）の生活の安定と自立の促進を図った。 (1) 支給額 ・ 全部支給 45,500円/月 ・ 一部支給 10,740～45,490円/月 (2) 児童2人以上の加算額 ・ 2人目 5,380～10,750円/月 ・ 3人目以降1人につき<table><tr><td>令和6年4月～10月分</td><td>令和6年11月分以降</td></tr><tr><td>3,230～6,450円/月</td><td>5,380～10,750円/月</td></tr></table> 令和6年11月分から、第2子の加算額と同額に引き上げられた。 (3) 支給実績 ・ 令和6年度児童扶養手当支給総額 219,523千円（令和5年度 209,679千円） 支給延べ人数 5,281人（母5,090人、父191人、養育者0人） （令和5年度 5,275人（母5,051人、父224人、養育者0人））												令和6年4月～10月分	令和6年11月分以降	3,230～6,450円/月	5,380～10,750円/月	継 続	ひとり親家庭等に児童扶養手当を支給することにより、福祉の増進を図ることができた。 今後もひとり親家庭等の生活の安定及び自立の促進に向けて、児童扶養手当の適正な支給を行っていく。	
令和6年4月～10月分	令和6年11月分以降																	
3,230～6,450円/月	5,380～10,750円/月																	

事業名	ひとり親家庭等医療助成費				(3款 民生費		2項 児童福祉費		3目 母子福祉費		決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				49,821	【53,779】	47,392	【48,200】		【46,750】					
財源内訳	県補助金		23,956		23,246									
	諸収入		1,908		885									
	一般財源		23,957		23,261									
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 ひとり親家庭等医療費助成事業【県1/2】 ひとり親家庭等の入院及び通院に係る医療費（保険診療の自己負担分）を助成することにより、経済的な負担を軽減し、ひとり親家庭等の保健の向上及び福祉の増進を図った。													継続	ひとり親家庭等の医療費を助成することにより、保健の向上と福祉の増進を図ることができた。 今後もひとり親家庭等の経済的負担の軽減に資するため、引き続き助成を行っていく。
令和5年度				令和6年度										
助成件数		助成金額		助成件数		助成金額								
16,806件		48,776千円		16,741件		46,308千円								

事業名	子ども及び妊産婦医療助成費			(3款 民生費		2項 児童福祉費		3目 母子福祉費		)		決算書	85 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			473,694	【473,699】	464,366	【470,616】		【458,050】							
財源内訳	国庫負担金	一般財源	2,583	292,399	1,561	292,326									
	県負担金		1,291		1,114										
	県補助金		69,357		61,302										
	基金繰入金		105,000		107,000										
	諸収入		998		1,063										
	寄附金		2,066		0										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 子ども医療費助成事業【県1/2】 乳幼児から高校3年生世代までのこどもの入院及び通院に係る医療費（保険診療の自己負担分）を助成することにより、こどもの健康管理と適正な医療の確保を図り、こどもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。 ・ 助成実績 201,901件、445,027千円 （令和5年度 208,299件、447,492 千円）													継続	こどもの保健の向上と福祉の増進に資するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減につながった。 引き続き、事業を実施するとともに、県助成対象年齢の拡充について県へ要望する。	
2 妊産婦医療費助成事業【県1/2】 医師の診断により必要と認められた妊産婦の医療費の一部を助成し、その疾病の早期発見と適正な医療を確保することにより、母子の健康の保持及び増進を図った。 ・ 助成実績 449件、4,647千円 （令和5年度 480件、7,488千円）													継続	母子の健康の保持及び増進に資する事業であり、引き続き、事業を推進していく。	
3 未熟児養育医療費助成【国1/2 県1/4】 未熟児を対象として指定する医療機関において、入院治療を受ける場合の医療費を助成することにより、適正な医療の確保と福祉の増進、また、乳児の健康管理と保健の向上を図った。 ・ 助成実績 44件、6,868千円 （令和5年度 58件、4,922千円）													継続	乳児の健康管理と保健の向上に資する事業であり、引き続き、事業を推進していく。	

事業名		保育園等管理運営費（繰越明許）（ 3款 民生費 2項 児童福祉費 4目 保育園費 ）				決算書	86 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	一般財源			7,405	【7,963】				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 (1) 千成保育園 G H P 空調設備更新工事 工 期 令和6年9月20日～令和7年1月17日 契約額 2,159千円 (2) 放生津保育園厨房配管設備工事 工 期 令和6年8月5日～令和6年11月20日 契約額 4,886千円								完了	保育園の運営に必要な設備の更新工事を実施した。

事業名		保育園等管理運営費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		4目 保育園費		決算書		86 ページ		担当部課		こども家庭部子育て支援課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				612,182	【701,558】	747,726	【807,756】		【890,231】									
財 源 内 訳	負担金	諸収入	14,943	45,749	15,127	46,734												
	使用料	市債	25	4,000	25	5,700												
	国庫補助金	一般財源	15,369	519,103	14,282	651,469												
	県補助金		12,943		14,389													
	基金繰入金		50		0													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 市立保育園及び認定こども園管理運営 ・ 施設数 11園 (令和5年度 12園) ・ 定 員 1,289人 (令和5年度 1,273人) ・ 園児数 延べ12,684人（月平均1,057人） (令和5年度 延べ12,662人（月平均1,055人）)												継続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を確保するとともに、保育の質の向上・効率化に努めた。 今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努めていく。					
2 給食食材料費等高騰対策支援事業（物価高騰対策№12）【交付金】 物価高騰等に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立保育園等における給食食材料費の高騰相当分の負担を支援した。 ・ 事業費 6,087千円												継続	給食食材料費高騰分の支援を行い、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。 今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。					
3 公立保育園等ICT化推進事業 保育園等12園に導入した保育業務支援システムを用いて園児の登降園管理や保護者連絡の効率化を図るなど、保育業務負担の軽減を図った。 ・ 事業費 5,177千円（市単独）												継続	保育の質の向上及び保育士の業務負担軽減に資するよう支援を行った。 今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。					
(繰越明許費 18,000 千円) ・ 事業名 池多保育園送迎用及び職員用駐車場整備工事 ・ 完了時期 令和7年7月																		

事業名	保育園等運営委託等事業費			(3款 民生費		2項 児童福祉費		4目 保育園費		決算書	86 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			2,433,045	【2,585,255】	2,557,239	【2,583,054】		【2,746,812】					
財 源 内 訳	負担金	基金繰入金	62,312	4,500	56,061	0			公定価格の増に伴う施設型給付費の増額による。				
	国庫負担金	諸収入	1,042,478	1,671	1,122,156	485							
	国庫補助金	一般財源	52,270	735,562	46,294	732,979							
	県負担金		488,776		544,228								
	県補助金		45,476		55,036								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 保育事業委託【国】【県】 (1) 市内民間保育園 ・ 施設数 6園 (令和5年度 6園) ・ 定 員 810人 (令和5年度 900人) ・ 園児数 延べ7,764人【月平均647人】 (令和5年度 延べ8,581人【月平均715人】) (2) 市外への広域入所（私立） ・ 施設数 9園 (令和5年度 9園) ・ 園児数 延べ144人【月平均12人】 (令和5年度 延べ102人【月平均9人】)											継続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を民間施設と連携しながら確保することができた。 今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努めていく。	
2 施設型給付、地域型保育給付【国】【県】 (1) 認定こども園、幼稚園 ・ 1号 市内 10園（延べ 1,782人【月平均 149人】）（令和5年度 市内10園（延べ 2,074人【月平均 173人】）） 市外 12園（延べ 550人【月平均 46人】）（令和5年度 市外12園（延べ 651人【月平均 55人】）） ・ 2,3号 市内 10園（延べ12,430人【月平均1,036人】）（令和5年度 市内10園（延べ12,142人【月平均1,012人】）） 市外 22園（延べ 570人【月平均 48人】）（令和5年度 市外27園（延べ 634人【月平均 53人】）） (2) 市外への広域入所（公立） ・ 施設数 11園 (令和5年度 10園) ・ 園児数 延べ120人【月平均10人】 (令和5年度 延べ83人【月平均7人】) (3) 事業所内保育施設 市内 2施設（延べ563人【月平均47人】）（令和5年度 2施設（延べ443人【月平均37人】）） 市外 3施設（延べ 75人【月平均 6人】）（令和5年度 1施設（延べ 56人【月平均 5人】））											継続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた定員を民間施設と連携しながら確保することができた。 今後も本計画に基づき適切な保育環境の提供に努めていく。	

主な事業内容・成果							評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 市内民間保育園等16園の特別保育事業助成等【国1/3 県1/3】							継続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズに合わせた提供体制を国・県・民間施設と連携して整備することができた。 今後も継続して整備を行い、より一層の子育て支援の充実を図っていく。
	延長保育	休日保育	一時預かり（保育）	障害児保育	病児・病後児保育			
					病児対応型	体調不良児対応型		
令和6年度	15園	9園	6園	9園	1園	15園		
令和5年度	15園	9園	6園	10園	1園	15園		
指標項目		基準	実績	目標				
		令和4年度	令和6年度	令和9年度				
特別保育の充足率		53.9%	56.5%	57.4%				
4 給食食材料費等高騰対策支援事業（物価高騰対策対策№13）【交付金】							継続	給食食材料費高騰分の支援を行い、事業者の負担軽減と事業継続を図った。 今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。
民間の保育サービス提供事業者に物価高騰等に伴う負担軽減と事業継続を図るため、給食食材料費等の価格高騰相当分の負担を支援した。 ・ 事業費 10,898千円								

事業名		保育園等整備事業費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		4目 保育園費		決算書		86	ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
財 源 内 訳					29,635 【72,024】										
	国庫補助金				20,030										
	一般財源				9,605										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 民間保育園整備事業（施設整備補助）【国1/2】 ・ (福)浦山学園福祉会 小杉西部こども園保育室増設工事 25,564千円 ・ (福)射水万葉会 射水おおぞら保育園空調設備更新等工事 390千円 ・ (福)射水万葉会 大島つばさ保育園空調設備更新等工事 216千円 ・ (福)射水万葉会 海老江こども園空調設備更新工事 3,465千円												継続	保育環境を継続して提供するための施設整備を実施することができた。今後も国・県と連携し適正に施設整備を実施する。		
(繰越明許費 42,389 千円) ・ 事業名 (1) 射水おおぞら保育園空調設備更新等工事 (2) 大島つばさ保育園空調設備更新等工事 (3) 海老江こども園空調設備更新工事 ・ 完了時期 令和7年9月															

事業名		児童館管理運営費		(3款 民生費		2項 児童福祉費		5目 児童館費		決算書		87 ページ		担当部課		こども家庭部こども福祉課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				38,681 【41,015】		51,253 【52,316】												【60,557】
財 源 内 訳	使用料		3		4					会計年度任用職員の人件費の増加したことによる。								
	諸収入		1		41													
	一般財源		38,677		51,208													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 児童館等管理運営 児童館等を適正に管理運営し、児童健全育成の推進を図った。 また、児童室については、平成23年度から地域型市民協働事業として地域振興会が地域に密着した運営を行っている。 (1)施設数 - 児童館 7館（市運営5館、社会福祉法人運営2館） - 児童室 3室（コミュニティセンター内に設置） (2)年間延べ利用者数 - 児童館 55,233人 （令和5年度 51,183人） - 児童室 15,656人 （令和5年度 16,103人）												継続	新型コロナウイルスの影響が小さくなり、児童館での行事が再開されたため来館者数が増加した。 市児童館の今後の在り方については、個別施設計画に基づき、大規模修繕による長寿命化や維持、統合、廃止等について検討を行っていく。					

事業名	セーフティネット支援対策費			(3款 民生費		3項 生活保護費		1目 生活保護総務費		)		決算書	88 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課														
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																				
			42,136	【46,951】	34,088	【37,589】		【32,914】																					
財 源 内 訳	国庫負担金		13,337		2,699				令和5年度は医療扶助のオンライン資格確認を導入するために必要なシステム改修や通信環境整備（国10/10）を実施したことによる。																				
	国庫補助金		15,410		14,876																								
	一般財源		13,389		16,513																								
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）																
1 生活困窮者自立相談支援事業【国3/4】 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業を実施し、支援対象者の自立を促した。また、就労の可否や就労意欲等の相談者の状況に応じ、ハローワークと連携して就労支援を行うことで、就労による早期自立を図った。 <table><tr><td>指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>生活困窮者等で就労支援を受けた人が就労した割合</td><td>66.6%</td><td>47.8%</td><td>70.0%</td></tr></table> 委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 14,240千円 ・ 新規相談受付 17件 （令和5年度 29件） ・ 支援プラン作成 2件 （令和5年度 4件）													指標項目	基準	実績	目標		令和4年度	令和6年度	令和9年度	生活困窮者等で就労支援を受けた人が就労した割合	66.6%	47.8%	70.0%	継続	支援対象者と信頼関係を築き、課題の認識や課題の解決に向けた目標を共有しながら、支援対象者の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行った。支援対象者の生活の自立を図るため、継続して実施する。			
指標項目	基準	実績	目標																										
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																										
生活困窮者等で就労支援を受けた人が就労した割合	66.6%	47.8%	70.0%																										
2 生活困窮者就労準備支援事業・生活困窮者家計改善支援事業【国2/3】 就労に向けた準備及び家計の課題解決に向けた支援事業を実施し、支援対象者の自立を促した。 委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 2,288千円（就労準備支援事業1,405千円、家計改善支援事業883千円）													継続	自立相談支援事業を基盤に、就労準備支援事業と家計改善支援事業を一体的に実施しながら、支援対象者の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行った。支援対象者の生活の自立を図るため、継続して実施する。															

事業名	社会保障生計調査費			(3款 民生費		3項 生活保護費		1目 生活保護総務費		) 決算書	88 ページ	担当部課	福祉保健部社会福祉課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				346	【363】	318	【388】		【0】				
財 源 内 訳	県委託金		346		318								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 社会保障生計調査費【県10/10】 生活保護基準の改定等の基礎資料とするため、被保護世帯の家計の収支状況について調査を行った。 ・ 調査世帯 4世帯 ・ 調査期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 実施年度：令和5年度及び令和6年度											完了	調査員が調査協力世帯を毎月2～3回訪問し、記入内容の確認や助言を行いながら丁寧に調査を進めることができた。	

事業名		生活保護扶助費		(3款 民生費		3項 生活保護費		2目 扶助費		決算書		89 ページ		担当部課		福祉保健部社会福祉課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				264,044	【269,523】	255,961	【258,000】		【248,000】									
財 源 内 訳	国庫負担金		180,075		193,725													
	県負担金		4,578		4,914													
	諸収入		4,818		576													
	一般財源		74,573		56,746													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 生活保護費支給【国3/4、県1/4（ 県1/4は県費対象者分のみ）】 生存権の理念に基づき、生活に困窮する全ての国民に健康で文化的な最低生活を保障するための制度であり、適正な運用に努めた。 ・ 被保護世帯数 141世帯 （令和5年度 139世帯） ・ 被保護人員 169人 （令和5年度 164人）												継続	制度の目的に沿った適切な支援の実施に努めた。被保護者の生活の保障及び生活の自立を図りながら、継続して実施する。					

事業名	災害見舞事業費（繰越明許）		（ 3款 民生費		4項 災害救助費		1目 災害救助費		）	決算書	89 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
					22,003 【43,848】								
財 源 内 訳	県補助金				4,875								
	一般財源				17,128								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 令和6年能登半島地震災害見舞金等支給事業【地震】													
令和6年能登半島地震の被災住家の被害の程度に応じて、以下の見舞金等を支給した。													
区分			支給内容				支給世帯数		支給額(千円)			継続 引き続き、令和6年能登半島地震の被災住家の被害の程度に応じて、見舞金等を支給していく。	
災害見舞金（市単独）			全壊10万円、半壊5万円、準半壊2万円				54		1,740				
被災者生活再建支援金（県10/10）			（複数世帯）住宅の建設・購入100万円、補修50万円、賃借25万円 （単数世帯）住宅の建設・購入75万円、補修37.5万円、賃借18.75万円				9		4,875				
被災者生活再建支援金（市単独）			（複数世帯）住宅の建設・購入50万円、補修25万円、賃借15万円 （単数世帯）住宅の建設・購入37.5万円、補修18.75万円、賃借11.25万円				44		10,838				
生活応援金（市単独）			準半壊以上の複数世帯10万円、単数世帯5万円				57		4,550				
							合計		22,003				

4 款 衛 生 費

事業名		子ども子育て総合支援センター管理費 (4款 衛生費 1項 保健衛生費 1目 保健衛生総務費)				決算書	89 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		2,134	【2,160】	169	【221】		【343】		
財 源 内 訳	使用料		85		84			令和6年度から清掃業務委託が包括管理業務に変更となったことによる。	
	一般財源		2,049		85				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 子ども子育て総合支援センター維持管理 子ども子育て総合支援センター（キッズポートいみず）の維持管理を行った。 ・利用者数 23,674人（令和5年度25,107人）								継続	子どもの遊びの場や親子の交流の場を提供し、子育て相談の実施、子育て情報を提供することで、保護者等の子育てに関する不安の軽減を図った。 引き続き子育て中の保護者等が抱える悩みや不安の解消に努める。

事業名	不妊治療等助成費			(4款 衛生費	1項 保健衛生費	1目 保健衛生総務費	)	決算書	89 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課																				
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																						
			8,035	【11,828】	8,868	【13,000】		【18,000】																							
財 源 内 訳	県補助金		101		25																										
	寄附金		7,934		0																										
	一般財源		0		8,843																										
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																						
1 不妊治療等助成事業 不妊治療又は不育症治療を受けている夫婦に対して、治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的な負担を軽減するとともに、少子化対策の充実を図った。 <助成実績> <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">令和5年度</td><td colspan="2">令和6年度</td></tr><tr><td>不妊治療</td><td>実：100件</td><td>延べ：101件</td><td>実：110件</td><td>延べ：116件</td></tr><tr><td>特定不妊治療（先進医療）</td><td>実： 2件</td><td>延べ： 2件</td><td>実： 2件</td><td>延べ： 2件</td></tr><tr><td>不育症治療【県1/2】</td><td>実： 6件</td><td>延べ： 6件</td><td>実： 2件</td><td>延べ： 3件</td></tr></table>									項目	令和5年度		令和6年度		不妊治療	実：100件	延べ：101件	実：110件	延べ：116件	特定不妊治療（先進医療）	実： 2件	延べ： 2件	実： 2件	延べ： 2件	不育症治療【県1/2】	実： 6件	延べ： 6件	実： 2件	延べ： 3件	拡 充	令和6年度は、申請者のうち63.6％が妊娠に至っており、少子化対策に一定の効果があったと思われる。 令和7年度からは助成上限額を10万円から30万円に拡充し、少子化対策の充実を図る。	
項目	令和5年度		令和6年度																												
不妊治療	実：100件	延べ：101件	実：110件	延べ：116件																											
特定不妊治療（先進医療）	実： 2件	延べ： 2件	実： 2件	延べ： 2件																											
不育症治療【県1/2】	実： 6件	延べ： 6件	実： 2件	延べ： 3件																											

事業名		母子保健推進費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		2目 母子保健衛生費		) 決算書		90 ページ		担当部課		こども家庭部こども福祉課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）						
				79,485 【86,911】		83,375 【90,333】				【98,172】								
財 源 内 訳	国庫補助金				4,437				4,151									
	県補助金				206				336									
	諸収入				40				36									
	一般財源				74,802				78,852									
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 母子保健事業【国、県】 妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の充実を図るとともに母性、乳幼児の健康の保持増進を目的に健康診査、教室、相談、訪問等を実施した。 (1) 健康診査状況													継 続	子育てが楽しいと思う親の割合は、令和3年度97.3%から令和6年度97.9%にやや増加している。 従来の健康診査、教室、相談事業に加えて、産婦の心身の負担軽減を図るため、「産後ケア事業」の委託事業所を拡充したことで利用者が増加した。また、専門職による相談や産婦同士の交流の場として「いみずっ子Babyの会」を開催し、母親の育児不安の軽減に努めた。 今後も、こども家庭部内の保健・福祉部門の連携をさらに強化し、妊娠期から子育て期へ切れ目のない支援の充実に努めていく。				
項目		受診人数																
		令和5年度		令和6年度														
妊婦一般健康診査（14回）		延べ6,184人		延べ6,567人														
産婦健康診査（2回）		延べ1,027人		延べ1,016人														
乳児一般健康診査（2回）		延べ1,025人		延べ892人														
新生児聴覚検査		495人		480人														
3～4か月児健康診査		533人		491人														
1歳6か月児健康診査		631人		573人														
3歳6か月児健康診査		608人		632人														

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）	
(2) 教室・相談状況					
項目		参加人数（延べ）			
		令和5年度	令和6年度		
伴走型 相談支援	妊娠届出時面談	491人	532人		
	妊娠・出産応援面談	50人	23人		
	いみず子育て応援面談	519人	526人		
両親教室		262人	242人		
育児相談、母乳相談、栄養相談		767人	443人		
要観察児相談会・教室		812人	773人		
個別発達相談件数（電話・来所）		193件	189件		
（再掲）スマイル相談会		10組	11組		
母子保健推進員活動		1,044人	947人		
産後ケア事業		36人	100人		
多胎ピアサポート（トゥインクルクラブ）		26組	15組		
いみずっ子Babyの会		114組	136組		
(3) 訪問指導状況					
項目		訪問人数（延べ）			
		令和5年度	令和6年度		
新生児訪問指導		316人	345人		
未熟児訪問指導		83人	61人		
乳幼児訪問指導		122人	98人		
産前・産後サポート事業 （妊婦・乳児訪問活動）		(実)626人	(実)554人		
指標項目		基準	実績	目標	
		令和3年度	令和6年度	令和9年度	
子育てが楽しいと思う親の割合		97.3%	97.9%	100.0%	
自信を持って子育てができる親の割合		73.6%	68.2%	増加	
この地域で子育てをしたいと思う親の割合		98.7%	98.3%	100.0%	
父親が育児に参加する割合		92.7%	93.6%	100.0%	
育てにくさを感じた時に 対応できる親の割合		85.9%	81.4%	増加	

事業名	歯科保健対策推進費			(4款 衛生費	1項 保健衛生費	2目 母子保健衛生費	)	決算書	90 ページ	担当部課	こども家庭部こども福祉課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				4,968	【6,045】	4,972	【5,873】		【5,531】		
財 源 内 訳	県補助金		943		999						
	諸収入		364		351						
	基金繰入金		600		0						
	一般財源		3,061		3,622						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 歯科保健事業【県1/3】 妊娠期・乳幼児・学童期まで継続したむし歯・歯周疾患予防事業を実施した。 <健診・教室等実施状況>											
項目		令和5年度		令和6年度		継続 新型コロナウイルス感染予防対策のため、令和5年度までは保育園歯みがき教室は保護者のみ対象として実施し、小学校歯みがき教室は児童のみ対象として実施していたが、令和6年度からは親子参加として実施した（小学校については保護者参加は希望制）。 引き続き、妊娠期から乳幼児、学童期を対象とした歯科保健事業を継続して実施していく。					
		回数	人数	回数	人数						
妊婦歯科健康診査	-	193人	-	217人							
乳歯むし歯予防教室	89回	延べ1,818人	87回	延べ1,757人							
保育園親子歯みがき教室	28回	340人	28回	1,105人							
小学校親子歯みがき教室	15回	684人	15回	870人							
小学校歯周疾患予防教室	5回	300人	5回	228人							
<保育園・小学校フッ素洗口実施状況>											
項目		令和5年度		令和6年度							
		施設数	人数	施設数	人数						
保育園フッ素洗口(4.5歳児)	28	1,192人	27	1,167人							
小学校フッ素洗口(全学年)	15	4,255人	15	4,114人							

事業名	成人・老人保健推進費			(4款 衛生費		1項 保健衛生費		3目 成人・老人保健対策費)		決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																			
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																							
			6,286	【7,108】	6,336	【7,754】		【7,304】																																																								
財 源 内 訳	県補助金		3,878		3,726																																																											
	諸収入		262		217																																																											
	一般財源		2,146		2,393																																																											
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																																																					
1 健康増進事業【県2/3】 健康増進法に基づき、一般健康診査や健康教育、健康相談を行い、生活習慣病の予防啓発を図った。 また、異常の早期発見や予防・健康づくりの意識を高めるため、肝炎ウイルス検診や節目年齢を対象とした歯周病検診、骨粗しょう症検診を行った。 <検診状況> <table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">受診人数</th><th colspan="2">受診率</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>一般健康診査（40歳以上）</td><td>15人</td><td>16人</td><td>14.4%</td><td>16.8%</td></tr><tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>178人</td><td>160人</td><td>20.9%</td><td>19.7%</td></tr><tr><td>歯周病検診</td><td>352人</td><td>379人</td><td>7.7%</td><td>6.0%</td></tr><tr><td>骨粗しょう症検診</td><td>524人</td><td>434人</td><td>17.5%</td><td>14.7%</td></tr></table> <教室・相談状況> <table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">参加人数（延）</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>健康教育</td><td>695人</td><td>844人</td></tr><tr><td>健康相談</td><td>822人</td><td>738人</td></tr></table> <訪問指導状況> <table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">訪問人数（延）</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>訪問指導</td><td>24人</td><td>15人</td></tr></table>														項目	受診人数		受診率		令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	一般健康診査（40歳以上）	15人	16人	14.4%	16.8%	肝炎ウイルス検診	178人	160人	20.9%	19.7%	歯周病検診	352人	379人	7.7%	6.0%	骨粗しょう症検診	524人	434人	17.5%	14.7%	項目	参加人数（延）		令和5年度	令和6年度	健康教育	695人	844人	健康相談	822人	738人	項目	訪問人数（延）		令和5年度	令和6年度	訪問指導	24人	15人	継続	検診状況は、特に骨粗しょう症検診の受診率が低下している。各種検診を周知するとともに受診勧奨に努めていく。 健康教育の実績は増加している。健康相談、訪問指導数は減少しているが、健診後の保健指導の対象者が減少したことによる。引き続き、生活習慣病の予防について、普及啓発や保健指導を行っていく。	
項目	受診人数		受診率																																																													
	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度																																																												
一般健康診査（40歳以上）	15人	16人	14.4%	16.8%																																																												
肝炎ウイルス検診	178人	160人	20.9%	19.7%																																																												
歯周病検診	352人	379人	7.7%	6.0%																																																												
骨粗しょう症検診	524人	434人	17.5%	14.7%																																																												
項目	参加人数（延）																																																															
	令和5年度	令和6年度																																																														
健康教育	695人	844人																																																														
健康相談	822人	738人																																																														
項目	訪問人数（延）																																																															
	令和5年度	令和6年度																																																														
訪問指導	24人	15人																																																														

事業名	がん対策推進費			(4款 衛生費		1項 保健衛生費		(3目 成人・老人保健対策費)		決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																								
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																												
			94,340	【95,711】	94,435	【95,714】		【99,963】																																													
財 源 内 訳	県補助金		2,891		2,618																																																
	基金繰入金		8,000		7,000																																																
	諸収入		3,828		3,817																																																
	一般財源		79,621		81,000																																																
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）																																									
1 がん対策事業【県1/2】 健康増進法に基づくがん検診を行い、早期発見、早期治療をすすめ、がん予防の普及啓発を実施した。 受診希望者が24時間いつでも集団がん検診の予約が可能となるWeb予約、夕方検診や日曜検診の実施、協会けんぽや国保と連携し特定健診とがん検診の同時開催等を実施し、受診率向上対策として働き盛り世代が受診しやすい体制を整備した。 <がん検診> <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">受診人数</td></tr><tr><td></td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>肺がん検診</td><td>8,164人</td><td>8,209人</td></tr><tr><td>胃がん検診</td><td>2,648人</td><td>2,558人</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>5,889人</td><td>5,767人</td></tr><tr><td>子宮がん検診</td><td>3,000人</td><td>3,007人</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>2,304人</td><td>2,314人</td></tr><tr><td>前立腺がん検診</td><td>661人</td><td>617人</td></tr><tr><td>ヘリカルCT肺がん検診</td><td>172人</td><td>182人</td></tr></table> がん予防のための生活習慣改善は、健康寿命延伸効果が大きいとため、がん予防法の普及啓発を実施した。 <健康寿命> <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>健康寿命</td><td>男性79.7歳 女性83.9歳</td><td>男性 79.9歳 女性 83.9歳</td><td>延伸</td></tr></table> 基準値は、国保データベース（KDB）システムから算出した値に変更														項目	受診人数			令和5年度	令和6年度	肺がん検診	8,164人	8,209人	胃がん検診	2,648人	2,558人	大腸がん検診	5,889人	5,767人	子宮がん検診	3,000人	3,007人	乳がん検診	2,304人	2,314人	前立腺がん検診	661人	617人	ヘリカルCT肺がん検診	172人	182人	指標項目	基準	実績	目標	令和5年度	令和6年度	令和9年度	健康寿命	男性79.7歳 女性83.9歳	男性 79.9歳 女性 83.9歳	延伸	継続	がん検診受診人数は、ほぼ横ばいだが、大腸がん、胃がん検診受診数は減少した。 がん検診受診率向上対策として、令和6年度から薬局と連携し、薬剤師から受診勧奨の声かけを実施した。引き続き、LINE配信やヘルスポランティアのがん検診受診勧奨等、働き盛り世代が受診しやすい体制を整備していく。 また、がん予防の普及啓発を健康イベントや図書館展示、ケーブルテレビ等にて行い、正しいがんの知識・がん検診の意義・必要性を住民に理解してもらう取組を実施していく。
項目	受診人数																																																				
	令和5年度	令和6年度																																																			
肺がん検診	8,164人	8,209人																																																			
胃がん検診	2,648人	2,558人																																																			
大腸がん検診	5,889人	5,767人																																																			
子宮がん検診	3,000人	3,007人																																																			
乳がん検診	2,304人	2,314人																																																			
前立腺がん検診	661人	617人																																																			
ヘリカルCT肺がん検診	172人	182人																																																			
指標項目	基準	実績	目標																																																		
	令和5年度	令和6年度	令和9年度																																																		
健康寿命	男性79.7歳 女性83.9歳	男性 79.9歳 女性 83.9歳	延伸																																																		

事業名		健康づくり推進費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		3目 成人・老人保健対策費		決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		2,305	【2,405】	3,120	【3,508】		【3,311】						
財 源 内 訳	国庫補助金		0		153								
	県補助金		0		84								
	特別会計繰入金		0		294								
	諸収入		0		13								
	一般財源		2,305		2,576								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 健康づくり推進事業 市民の自主的な健康づくり活動を支援するため、地域での健康教育、健康づくりボランティア活動等による普及啓発を行い、健康づくりの推進を図った。 ・健康づくり推進協議会（年3回）の開催 ・食育推進会議（年1回）の開催 ・食育推進会議幹事会（年1回）の開催 ・ヘルスボランティア活動 令和6年度会員309人、活動延人数 30,908人 ・食生活改善推進員活動 令和6年度会員249人、活動延人数 5,737人 ・ぱくぱくクッキング ケーブルテレビ 年4回放映											継続	地域では、健康づくりボランティアによる健康づくりの推進が活発に行われた。 今年度から第3次健康増進プランがスタートしており、引き続きヘルスボランティア、食生活改善推進員と連携し、健康づくりの行動目標『Let'sトライ！IMIZUSHI健康8』を普及啓発することにより、地域での健康づくり活動を実施していく。	

事業名	心の健康づくり推進費	(4款 衛生費	1項 保健衛生費	3目 成人・老人保健対策費)	決算書	90 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		596 【626】		919 【949】		【878】		
財 源 内 訳	県補助金		269		450			
	一般財源		327		469			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 こころの健康づくり事業 地域における自殺対策の更なる強化を図ることを目的として、対面相談事業、人材養成事業（ゲートキーパー）、普及啓発事業を実施した。 (1) 対面相談事業【県1/2】 こころの健康相談（公認心理師及び保健師による個別相談） ・ 公認心理師：年間33回、相談者数延べ51人 ・ 保健師：随時 (2) 人材養成事業【県2/3】 ・ ゲートキーパー養成講座：精神科医による講義、公認心理師による講義と演習、保健師の講義を実施 年8回、受講者数253人 （市民203人、ケアマネジャー等専門職19人、市職員31人） (3) 普及啓発事業【県1/2】 ・ 自殺対策強化月間に合わせて図書館での普及啓発イベント開催 ・ 自殺予防週間に合わせて小中学校の全生徒の保護者及び教員あてにリーフレットの配布、街頭キャンペーンの実施 ・ 健診や窓口で市民へ普及啓発物品やパンフレットの配布 ・ 広報やケーブルテレビ、LINE等SNSを活用し、こころの健康づくりに関する広報活動 ・ こころの健康づくりに関する市民向け講演会 ・ 相談窓口に従事する市職員等向けの自殺予防対応ガイドブック（受け手・支え手支援ガイド）第4版の作成及び配布 ・ こころの健康チェックシステム「こころの体温計」を活用し、こころの健康づくりの普及啓発 （利用者数：17,350人/年） (4) 計画策定実態調査事業【県1/2】 自殺対策部会を2回開催し、自殺対策推進計画の進捗について検討、評価した。								こころの健康相談は、毎月2回相談日を設けているが、相談が増える時期（長期休暇明け、寒冷期等）は月3回相談日を設けて対応している。 人材養成事業は、民間事業所に勤務する方々などへ実施しており、今後も継続して自殺対策に関わる人材を養成していく。 普及啓発事業は、こころの健康チェックシステム「こころの体温計」を導入し、市民自らがこころの状態を知り、早期に心のケアへつなげるよう促している。令和7年度は、子育て世代への自殺予防対策として、小中学校や保育園等の保護者向けの講座を開催し、人材養成事業を拡げていく。

拡
充

事業名	予防接種費			(4款 衛生費	1項 保健衛生費	4目 予防費	) 決算書	91 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター																																																									
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																																										
			270,228	【288,778】	445,730	【482,900】		【442,254】																																																											
財源内訳	国庫負担金	一般財源	821	178,770	2,898	292,055			新型コロナウイルス感染症の予防接種が令和6年度から定期接種となったことによる。 令和5年度新型コロナワクチン特例臨時接種分の接種体制確保国庫補助金及び接種対策国庫負担金の返納分を計上したことによる。																																																										
	国庫補助金		19,137		1,389																																																														
	県補助金		0		44																																																														
	基金繰入金		71,500		86,355																																																														
	諸収入		0		62,989																																																														
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																																																										
1 乳幼児・児童生徒・高齢者予防接種 定期的な予防接種により感染症の発生及び蔓延の予防を図った。 <定期接種状況> <table><tr><td>項目</td><td colspan="2">接種者数</td></tr><tr><td></td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>ロタウイルス感染症</td><td>1,215人</td><td>1,119人</td></tr><tr><td>B C G</td><td>555人</td><td>481人</td></tr><tr><td>ヒブ</td><td>2,197人</td><td>592人</td></tr><tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>2,205人</td><td>1,998人</td></tr><tr><td>ポリオ（不活化ワクチン）</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>4種混合</td><td>2,358人</td><td>713人</td></tr><tr><td>5種混合</td><td>-</td><td>1,388人</td></tr><tr><td>ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT）</td><td>2人</td><td>3人</td></tr><tr><td>B型肝炎</td><td>1,608人</td><td>1,476人</td></tr><tr><td>麻しん・風しん（MR）</td><td>1,283人</td><td>1,115人</td></tr><tr><td>水痘</td><td>1,198人</td><td>1,051人</td></tr><tr><td>日本脳炎</td><td>2,617人</td><td>2,497人</td></tr><tr><td>ジフテリア・破傷風（DT）</td><td>621人</td><td>671人</td></tr><tr><td>ヒトパピローマウイルス感染症</td><td>1,493人</td><td>3,128人</td></tr><tr><td>高齢者インフルエンザ</td><td>17,655人</td><td>16,070人</td></tr><tr><td>新型コロナウイルス感染症（高齢者）</td><td>-</td><td>7,589人</td></tr><tr><td>高齢者肺炎球菌</td><td>888人</td><td>198人</td></tr></table>									項目	接種者数			令和5年度	令和6年度	ロタウイルス感染症	1,215人	1,119人	B C G	555人	481人	ヒブ	2,197人	592人	小児用肺炎球菌	2,205人	1,998人	ポリオ（不活化ワクチン）	0人	0人	4種混合	2,358人	713人	5種混合	-	1,388人	ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT）	2人	3人	B型肝炎	1,608人	1,476人	麻しん・風しん（MR）	1,283人	1,115人	水痘	1,198人	1,051人	日本脳炎	2,617人	2,497人	ジフテリア・破傷風（DT）	621人	671人	ヒトパピローマウイルス感染症	1,493人	3,128人	高齢者インフルエンザ	17,655人	16,070人	新型コロナウイルス感染症（高齢者）	-	7,589人	高齢者肺炎球菌	888人	198人	拡充	個別通知及び乳幼児健診での未接種者への接種勧奨を行い、安全で確実な予防接種を実施した。 令和6年度から定期接種に、5種混合及び新型コロナウイルス感染症を追加し、令和7年度からは带状疱疹を追加する。
項目	接種者数																																																																		
	令和5年度	令和6年度																																																																	
ロタウイルス感染症	1,215人	1,119人																																																																	
B C G	555人	481人																																																																	
ヒブ	2,197人	592人																																																																	
小児用肺炎球菌	2,205人	1,998人																																																																	
ポリオ（不活化ワクチン）	0人	0人																																																																	
4種混合	2,358人	713人																																																																	
5種混合	-	1,388人																																																																	
ジフテリア・百日せき・破傷風（DPT）	2人	3人																																																																	
B型肝炎	1,608人	1,476人																																																																	
麻しん・風しん（MR）	1,283人	1,115人																																																																	
水痘	1,198人	1,051人																																																																	
日本脳炎	2,617人	2,497人																																																																	
ジフテリア・破傷風（DT）	621人	671人																																																																	
ヒトパピローマウイルス感染症	1,493人	3,128人																																																																	
高齢者インフルエンザ	17,655人	16,070人																																																																	
新型コロナウイルス感染症（高齢者）	-	7,589人																																																																	
高齢者肺炎球菌	888人	198人																																																																	
<table><tr><td>指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td></td><td>令和4年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>予防接種率（麻しん・風しん）</td><td>92.4%</td><td>87.8%</td><td>98.0%</td></tr></table>	指標項目	基準	実績	目標		令和4年度	令和6年度	令和9年度	予防接種率（麻しん・風しん）	92.4%	87.8%	98.0%	麻しん風しんの予防接種率は、ワクチンの供給不足により低下しているが、接種期限を2年間延長する措置がとられており、未接種者への勧奨を行っていく。																																																						
指標項目	基準	実績	目標																																																																
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																																																																
予防接種率（麻しん・風しん）	92.4%	87.8%	98.0%																																																																

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）																					
2 大人の風しん追加的対策等事業【国1/2】 公的に予防接種を受ける機会のなかった男性に対し、令和元年度から3年間の時限措置として風しんの追加的対策を実施した。抗体保有率90%の目標達成のため、令和7年3月末まで延長となった。 抗体検査・予防接種 <table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">受診人数</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>抗体検査</td><td>259人</td><td>236人</td></tr><tr><td>予防接種</td><td>92人</td><td>93人</td></tr></table>			項目	受診人数		令和5年度	令和6年度	抗体検査	259人	236人	予防接種	92人	93人	継続	これまでの未検者、未接種者へ勧奨ハガキを送付するとともに市ホームページ及び公式LINEなどで周知を行った。ワクチンの供給不足により、抗体検査を受検後、予防接種を受けていない者に対し、2年間接種期間が延長となり、引き続き対象者へ接種勧奨を行う。									
項目	受診人数																							
	令和5年度	令和6年度																						
抗体検査	259人	236人																						
予防接種	92人	93人																						
3 インフルエンザ予防接種助成事業 インフルエンザ発症や重症化を予防するため、小学生、中学生、高校生、妊婦に対し、インフルエンザ予防接種費用の助成を行った。 ・事業費 18,198千円 <助成状況> <table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">助成人数</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>小学生（1回目）</td><td>2,290人</td><td>2,370人</td></tr><tr><td>小学生（2回目）</td><td>1,368人</td><td>1,518人</td></tr><tr><td>中学生</td><td>1,110人</td><td>1,099人</td></tr><tr><td>高校生相当</td><td>858人</td><td>849人</td></tr><tr><td>妊婦</td><td>131人</td><td>147人</td></tr></table>			項目	助成人数		令和5年度	令和6年度	小学生（1回目）	2,290人	2,370人	小学生（2回目）	1,368人	1,518人	中学生	1,110人	1,099人	高校生相当	858人	849人	妊婦	131人	147人	拡充	接種費用の助成により、インフルエンザの重症化予防や子育て世帯の負担軽減につながった。令和7年度から未就学児の接種助成事業が県から移管され、小学生以上と同様の助成を実施する。また、経鼻ワクチンへの補助額を拡充し、感染予防及び重症化防止を図る。
項目	助成人数																							
	令和5年度	令和6年度																						
小学生（1回目）	2,290人	2,370人																						
小学生（2回目）	1,368人	1,518人																						
中学生	1,110人	1,099人																						
高校生相当	858人	849人																						
妊婦	131人	147人																						

事業名	感染症予防費			(	4款 衛生費	1項 保健衛生費	4目 予防費	)	決算書	91 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			823	【4,280】	566	【838】		【15】				
財 源 内 訳	一般財源		823		566							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、使用期限が到来した分の入替として、500mlを320本、1,000mlを300本、手指消毒液を調達した。 事業費 566千円										継続	新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、使用期限が到来する備蓄分の入替のため、引き続き手指消毒剤を購入する（次回調達は令和8年度を予定）。	

事業名	新型コロナウイルスワクチン接種費（繰越明許）		（ 4款 衛生費		1項 保健衛生費		4目 予防費		決算書	91 ページ	担当部課	福祉保健部保健センター
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					1,538	【8,554】						
財 源 内 訳	国庫補助金				261							
	国庫負担金				1,277							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 新型コロナウイルスワクチン接種事業（特例臨時接種分）【国10/10】 令和5年度（令和6年3月31日）で終了した新型コロナワクチン特例臨時接種事業完了のため、次の業務を実施した。 ・令和6年3月分の接種費用の支払 ・ワクチンや使用見込のないシリンジ・注射針の廃棄、データ標準レイアウト改版対応に係る健康管理システムの改修 < 接種状況 > 令和6年3月の接種件数 546件										完了	新型コロナウイルスワクチン接種は、令和6年度から主に65歳以上が対象の定期接種事業に移行した。	

事業名	環境衛生対策費			(4款 衛生費		1項 保健衛生費		5目 環境衛生費		)		決算書	91 ページ	担当部課	市民生活部環境課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
			6,302	【6,957】	7,475	【7,547】		【6,071】									
財源内訳	国庫補助金		493		0											公衆浴場衛生設備改善事業補助金の増による。 （旧大門コミュニティセント - の設備更新）	
	基金繰入金		3,000		2,000												
	一般財源		2,809		5,475												
主な事業内容・成果																評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 環境衛生対策事業																継続	
自治会等で実施する害虫防除及びごみ集積ボックス設置等に対する助成の実施や、空き地に繁茂する雑草等の適正管理の指導を通じ、快適で衛生的な地域環境の保全に努めた。																	
(1) 害虫防除補助 100件、交付額 2,057千円 （令和5年度 112件、2,304千円）																	
(2) 衛生害虫防除薬剤散布 委託料 1,232千円 （令和5年度 1,232千円）																	
港湾地区の防疫のため、庄西地区、新湊地区、放生津地区、堀岡地区及び海老江地区で実施																	
(3) ごみ集積ボックス等設置費補助																	
			数量														
内容			令和5年度	令和6年度													
大型ごみ集積場設置			0基	1基													
ごみボックス設置			19基	20基													
ごみボックス補修			7基	1基													
防鳥ネット			13基	14基													
補助金額			827千円	810千円													
(4) 公衆浴場衛生設備改善事業補助金 2件 交付額 2,298千円 （令和5年度 2件、369千円）																	
(5) 公衆浴場電気料金高騰対策補助金 3件 交付額 72千円																	

事業名		美化対策費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		5目 環境衛生費		決算書		91 ページ		担当部課		市民生活部環境課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				3,434 【3,645】		3,789 【3,979】												【4,399】
財 源 内 訳	県補助金		98		121													
	一般財源		3,336		3,668													
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 美化対策事業 廃棄物不法投棄監視員の委嘱や不法投棄監視パトロール会計年度任用職員の雇用により廃棄物不法投棄の未然防止と早期発見に努めた。また、アダプト・プログラム参加団体への支援により地域の美化活動を推進した。 (1) 廃棄物不法投棄監視員設置 25人 (2) 不法投棄監視パトロール会計年度任用職員雇用（令和6年4月～11月 2人） (3) アダプト・プログラム事業														継続	不法投棄監視員等の活動は、廃棄物の不法投棄の未然防止や早期発見に有効であり、引き続き業務を継続する。 また、アダプト・プログラム事業については、新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとした活動中止や、団体構成員の高齢化による参加人数の減少により参加延べ人数の減少が続いていたが、令和6年度は団体数及び参加延べ人数ともに前年度よりも増加した。今後も参加人数を増加させるため、市ホームページ・広報等による制度周知の取り組みを拡充する。 これらの事業の継続・拡充により、地域の環境美化を一層推進していく。			
指標項目		基準		実績		目標												
		令和3年度		令和6年度		令和9年度												
アダプト・プログラム活動参加延べ人数		6,687人		5,778人		7,500人												
(4) ボランティア保険（不法投棄監視員 25人、アダプト 627人）																		
(5) 側溝清掃用消石灰配布																		
(6) クリーン作戦																		
内容		実施時期																
みんなできれいにせんまいけ大作戦		令和6年7月7日																
小杉地区クリーン作戦		令和6年5月26日、7月21日																
大島地区クリーン作戦		令和6年6月2日																
射水市一斉クリーン大作戦		令和6年10月20日																

事業名		斎場管理費		(4款 衛生費		1項 保健衛生費		6目 斎場費		決算書		92 ページ		担当部課		市民生活部環境課																			
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）																							
				98,830 【102,113】		110,098 【110,563】				【110,157】		長期包括運営業務委託の更新に伴う、人件費や光熱水費、資材などの高騰及び火葬炉設備の定期修繕費用の増による。																							
財源内訳	使用料		43,999		47,497																														
	手数料		25		33																														
	諸収入		1		3																														
	一般財源		54,805		62,565																														
												評価と今後の方向性（担当課意見）																							
1 斎場管理 斎場の管理運営のため、受託業者と5年間の長期包括管理運営業務委託を締結し、適切な施設運営に努めた。 (1) 長期包括管理運営業務内容 火葬業務、運営業務、植栽管理業務、場内清掃業務、機械警備業務、空調設備保守管理業務ほか (2) 斎場長期包括管理運営業務受託者並びに契約額 受託者 株式会社 五輪 契約額 498,300千円 （令和6年度～令和10年度：各年度 99,660千円） (3) 火葬実績 <table><tr><th>区 分</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>12歳以上</td><td>1,180件</td><td>1,309件</td></tr><tr><td>12歳未満</td><td>12件</td><td>13件</td></tr><tr><td>計</td><td>1,192件</td><td>1,322件</td></tr></table>												区 分	令和5年度	令和6年度	12歳以上	1,180件	1,309件	12歳未満	12件	13件	計	1,192件	1,322件	継続						令和6年度から令和10年度まで(株)五輪と長期包括管理運営業務委託を締結し、適切な施設運営に努めた。 引き続き、委託業務の指揮監督、重要事項の確認等連携を密にし、市民目線に立った施設の適切な運営管理に努めていく。					
区 分	令和5年度	令和6年度																																	
12歳以上	1,180件	1,309件																																	
12歳未満	12件	13件																																	
計	1,192件	1,322件																																	
2 フラワーパーク沖塚原パークゴルフ場管理 フラワーパーク沖塚原パークゴルフ場の管理運営のため、指定管理者制度を導入し、適切な施設運営に努めた。 (1) フラワーパーク沖塚原指定管理者並びに指定管理料 指定管理者 株式会社 ファーム沖塚原 指定管理料 27,978千円 （令和6年度～令和8年度：各年度 9,326千円） (2) 利用実績 <table><tr><th></th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>利用者数</td><td>5,479人</td><td>6,018人</td></tr></table> 12月中旬～3月上旬の冬季間は施設休止													令和5年度	令和6年度	利用者数	5,479人	6,018人	継続						指定管理者制度を導入し、令和6年度から令和8年度まで(株)ファーム沖塚原と管理運営に関する基本協定を締結し、適切な施設運営に努めた。 引き続き、利用者数の増加や利用者満足度向上を目標に指定管理者と連携を密にし、施設の適切な管理運営に努めていく。											
	令和5年度	令和6年度																																	
利用者数	5,479人	6,018人																																	

事業名	公害対策費			(4款 衛生費	1項 保健衛生費	7目 環境保全費	) 決算書	92 ページ	担当部課	市民生活部環境課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			8,243	【8,952】	7,744	【9,005】		【8,101】			
財 源 内 訳	県補助金		130		0						
	県委託金		132		151						
	基金繰入金		5,700		5,000						
	一般財源		2,281		2,593						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 公害対策事業											
(1)環境調査事業											
射水市内の環境の現状を把握することを目的として、各種調査等を実施した。											
内容			測定地点等		測定回数						
大気関係	大気汚染常時観測局保守管理			1地点		常時					
	ダイオキシン類大気環境調査(偶数年度に実施)			1地点		1回					
水質関係	河川及びため池等に係る水質環境調査	河川	19地点		2回						
		海域	2地点		2回						
		ため池	9地点		1回						
		産業廃棄物処分場	1地点		4回						
	地下水観測井保守管理			4地点		常時					
	工場排水調査			7地点		2回					
	産業廃棄物処分場等周辺環境影響調査			5地点		4回					
	ゴルフ場使用農薬に係る飲用井戸等水質検査			3地点		1回					
工場影響地下水調査（飲料水細菌・理化学検査）			1地点		1回						
土壌関係	産業廃棄物最終処分場周辺土壌・米調査			4地点		各1回					
悪臭関係	臭気調査に係る分析等			2地点		1回					
騒音関係	自動車騒音常時監視面的評価			1路線		1回					
	環境騒音調査（昼・夜）			10地点		各1回					
	交通騒音調査（昼・夜）			9路線		各1回					
	工場騒音調査（夜）			11地点		1回					
指標項目			基準	実績		目標					
			令和2年度	令和6年度		令和9年度					
環境基準の達成率			96.9%	100.0%		100.0%					
									継続	各種環境調査を実施し、環境の状況について把握した。 引き続き、市内環境の現況把握のため調査を実施していく。	

事業名	地球温暖化対策推進費（繰越明許）			（ 4款 衛生費		1項 保健衛生費		7目 環境保全費		） 決算書		92 ページ	担当部課	市民生活部環境課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
					2,912 【3,702】										
財 源 内 訳	寄附金				1,000										
	諸収入				550										
	一般財源				1,362										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 軽電気自動車購入 公用車として、軽電気自動車 1 台を購入した。												完了	公用車の電動化により、温室効果ガス排出量の削減につなげた。		

事業名	地球温暖化対策推進費			(4款 衛生費		1項 保健衛生費		7目 環境保全費		) 決算書	92 ページ	担当部課	市民生活部環境課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			27,128	【32,697】	10,226	【10,909】			【6,183】	令和5年度は、射水市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定、海洋ごみ調査及び啓発素材作成、公用電気自動車の購入を実施したことによる。					
財 源 内 訳	県補助金		3,290		0										
	寄附金		16,900		3,000										
	基金繰入金		0		2,000										
	諸収入		1,100		4,793										
	一般財源		5,838		433										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 地球温暖化対策事業															
指標項目			基準		実績		目標		最新の数値は令和4年度						
			平成25年度		令和4年度		令和9年度								
温室効果ガス排出量			1,260千t-CO2		940千t-CO2		920千t-CO2		拡 充						
(1) 射水市公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査業務【国3/4】															
2050年カーボンニュートラル実現を目指し、本市の事務事業における再生可能エネルギーの最大限活用に向けた整備計画を作成するため、公共施設における太陽光発電設備等の導入可能性調査を実施した。															
委 託 先 大日本ダイヤコンサルタント株式会社北陸支社															
委 託 期 間 令和6年7月29日～令和7年1月14日															
契 約 額 6,391千円															
(2) いみず環境チャレンジ10事業															
いみずWAOネットワークと協力し、小学4年生を対象とした環境チャレンジ教室を実施した。															
(3) グリーンカーテン事業															
市内保育園、幼稚園、小学校等及び市民へグリーンカーテンの設置を支援するため、苗と培養土を配布した。															
(4) ECOキッズスクール事業															
民間企業等と連携し、親子向けの環境教育事業として、太陽光発電ランタン工作、自動販売機クラフトづくり及び食品ロス削減サルベージ・パーティを実施し、家庭における脱炭素に向けた意識啓発を図った。															
(5) 市民向け住宅用太陽光発電システム設置補助事業															
住宅用太陽光発電システム設置補助金			補助金		令和5年度		令和6年度								
(6) 事業者向け充電インフラ導入支援補助事業			太陽光発電		11件 550千円		36件 2,650千円								
充電インフラ導入支援事業補助金			充電インフラ		制度なし		2件 200千円								
(7) 事業者向け省エネ最適化診断補助事業			省エネ診断		0件		1件 10千円								
省エネ最適化診断事業補助金															

事業名	資源再利用対策費			(4款 衛生費		2項 清掃費		1目 清掃総務費		) 決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			6,468	【7,494】	7,075	【7,762】		【6,563】					
財 源 内 訳	基金繰入金		4,600		3,000								
	一般財源		1,868		4,075								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 資源再利用促進事業 自治会等による資源集団回収の支援、資源ごみ回収用物品の提供等を通じてごみの減量・資源化に努めた。 (1) 資源集団回収事業 ・ 資源再生利用推進報奨金 1kg当たり3円 回収量 1,463 t 報奨金 4,388千円 （令和5年度 1,602 t、4,808千円） ・ 資源回収収集運搬委託料 雑誌1kg当たり2円 回収量266 t 委託料531千円 （令和5年度 311 t 622千円） (2) 生ごみ処理機補助金 ごみ自家処理機材購入費補助金 28件 交付金額 374千円 （令和5年度 26件、361千円）											継続	情報化の進展に伴う新聞発行部数の減少や書籍・雑誌の市場規模の縮小による紙製品の減少、コロナ禍を経て地域活動の在り方・取組の見直しが図られる中、資源回収の活動回数及び回収量の減少が続いている。 地域の団体が自主的に資源の回収活動に取り組めるよう事業を継続するとともに、ごみ分別意識の更なる啓発を図り、リサイクル率の向上に努めていく。	
最新の数値は令和5年度													
指標項目			基準	実績	目標								
			令和2年度	令和5年度	令和9年度								
市民1人当たりのごみ排出量			1,066g	1,024g	983g								
リサイクル率			20.9%	20.8%	23.0%								

事業名	クリーンピア射水管理費			(4款 衛生費	2項 清掃費	2目 塵芥処理費	)	決算書	93 ページ	担当部課	市民生活部環境課																					
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																						
				655,742 【665,612】		816,109 【816,426】				【814,780】																						
財 源 内 訳	使用料		410		518					長期包括運営業務委託更新に伴う人件費や 資材、電気料金等の物価高騰の影響による。																						
	手数料		133,174		133,937																											
	県補助金		508		388																											
	諸収入		10,372		356																											
	一般財源		511,278		680,910																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																						
1 一般廃棄物の可燃ごみ焼却事業 一般廃棄物の可燃ごみについて、公害防止基準を守り適正に焼却処理した。 また、焼却施設から発生する余熱を発電や冷暖房、給湯などに有効利用した。 可燃ごみ搬入量 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>可燃物</td><td>25,805,870kg</td><td>25,902,200kg</td></tr><tr><td>破碎可燃物</td><td>1,015,930kg</td><td>1,023,950kg</td></tr></table> 発電量 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>発電量</td><td>7,304,530kwh</td><td>6,941,740kwh</td></tr></table> 温浴施設利用者数 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>利用者数</td><td>11,515人</td><td>12,943人</td></tr></table>										区分	令和5年度	令和6年度	可燃物	25,805,870kg	25,902,200kg	破碎可燃物	1,015,930kg	1,023,950kg	区分	令和5年度	令和6年度	発電量	7,304,530kwh	6,941,740kwh	区分	令和5年度	令和6年度	利用者数	11,515人	12,943人	継続	一般廃棄物の可燃ごみについて適切な稼働により効率的に焼却処理を行った。 引き続き、施設周辺の環境に配慮し、法令を順守しながら事業を継続していく。
区分	令和5年度	令和6年度																														
可燃物	25,805,870kg	25,902,200kg																														
破碎可燃物	1,015,930kg	1,023,950kg																														
区分	令和5年度	令和6年度																														
発電量	7,304,530kwh	6,941,740kwh																														
区分	令和5年度	令和6年度																														
利用者数	11,515人	12,943人																														
2 長期包括運営事業 ごみ焼却運転業務等を委託し、適正な維持管理を行った。 委 託 先 (株)射水環境サービス 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 委 託 料 4,055,700千円（うち令和6年度分 811,140千円）										継続	令和6年度から令和10年度まで(株)射水環境サービスに長期包括運営業務を委託し、業務の指揮監督、重要事項の確認等連携を密に施設の適正な運転管理を行った。 今後も適切な事業者と長期包括運営を図り、適正な施設の維持管理に努めていく。																					
3 包括運営業務モニタリング事業 業務委託発注者は民間事業者が実施する公共サービスの水準をモニタリングする必要があることから、「モニタリングに関するガイドライン」に基づき、ごみの処理状況、公害防止等、管理運営及び財務面からの確認を行った。 委 託 先 (一財)日本環境衛生センター 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 2,431千円										継続	本施設の運営受託事業者の「公共サービス水準」をモニタリングすることで、適正な業務管理につなげることができた。引き続き、施設の適正な業務管理に努めていく。																					

事業名		粗大ごみ処理施設管理費		(4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		)		決算書		93 ページ		担当部課		市民生活部環境課																																			
決算額【予算額】				令和5年度				令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）																																					
				70,774【74,392】				70,864【73,717】												【78,690】																																	
財 源 内 訳	手数料				10,024				10,081																																												
	諸収入				30,914				30,320																																												
	一般財源				29,836				30,463																																												
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）																																							
1 一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみ処理事業 一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの処理を委託し、適正に処理した。 また、その中から、有価物を精選して再資源化を図った。 粗大・不燃物搬入量及び処理困難物搬入量 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>粗大・不燃物</td><td>1,718,600kg</td><td>1,689,700kg</td></tr><tr><td>廃タイヤ（ホイールなし）</td><td>132本</td><td>89本</td></tr><tr><td>廃タイヤ（ホイールあり）</td><td>289本</td><td>311本</td></tr><tr><td>廃タイヤ（16インチ以上）</td><td>53本</td><td>43本</td></tr><tr><td>バッテリー</td><td>69個</td><td>95個</td></tr><tr><td>消火器</td><td>167本</td><td>134本</td></tr></table> 有価物精選量 <table><tr><td>区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>破碎鉄分</td><td>384,528kg</td><td>390,956kg</td></tr><tr><td>破碎非鉄</td><td>66,828kg</td><td>71,035kg</td></tr></table> 平成27年度から、粗大ごみ及び不燃ごみの処理を外部委託 ・ 業者名 （株）H A R I T A														区分	令和5年度	令和6年度	粗大・不燃物	1,718,600kg	1,689,700kg	廃タイヤ（ホイールなし）	132本	89本	廃タイヤ（ホイールあり）	289本	311本	廃タイヤ（16インチ以上）	53本	43本	バッテリー	69個	95個	消火器	167本	134本	区分	令和5年度	令和6年度	破碎鉄分	384,528kg	390,956kg	破碎非鉄	66,828kg	71,035kg	継続		一般廃棄物の粗大ごみ及び不燃ごみの破碎等業務を委託し、適切に処理を行った。また、その中から有価物を精選して再資源化を図った。 今後も、適正処理及び再資源化を図るため、引き続き事業を継続していく。							
区分	令和5年度	令和6年度																																																			
粗大・不燃物	1,718,600kg	1,689,700kg																																																			
廃タイヤ（ホイールなし）	132本	89本																																																			
廃タイヤ（ホイールあり）	289本	311本																																																			
廃タイヤ（16インチ以上）	53本	43本																																																			
バッテリー	69個	95個																																																			
消火器	167本	134本																																																			
区分	令和5年度	令和6年度																																																			
破碎鉄分	384,528kg	390,956kg																																																			
破碎非鉄	66,828kg	71,035kg																																																			

事業名		処理棟管理費		(4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		決算書		93 ページ		担当部課		市民生活部環境課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
				52,382 【54,021】		57,408 【59,551】											
財 源 内 訳	手数料		40,339		43,537												
	財産売払収入		1,925		0												
	基金繰入金		1,900		0												
	諸収入		8,218		10,107												
	一般財源		0		3,764												
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 資源化の精選事業 射水市分別収集計画に基づき搬入された空き缶、ペットボトル、プラ製資源及び紙製容器包装を容器包装リサイクル法の分別基準に適合させるための精選や圧縮・梱包・保管を行った。 資源ごみ精選量														継続 容器包装リサイクル法で規定する資源物を分別基準に基づき、選別と梱包処理を行い資源化に努めた。 今後も、ごみの減量・資源化のため事業を継続していく。			
区分		令和5年度		令和6年度													
スチール缶		11,970kg		9,980kg													
アルミ缶		26,940kg		23,150kg													
空き瓶（無色）		90,980kg		89,220kg													
空き瓶（茶）		86,890kg		100,870kg													
空き瓶（その他）		47,860kg		38,760kg													
ペットボトル		89,010kg		82,470kg													
プラ製資源		356,820kg		365,680kg													
紙製容器包装		141,830kg		142,230kg													

事業名		野手埋立処分所管理費（繰越明許）		（ 4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		） 決算書		93 ページ		担当部課		市民生活部環境課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）			
						3,146 【22,907】											
財 源 内 訳	一般財源					3,146											
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 最終処分場整備事業 最終処分場整備事業に伴う生活環境影響調査書作成業務委託 一般廃棄物最終処分場の整備に当たり「一般廃棄物処理施設変更届」の申請に添付する資料の作成 委 託 先 (株)中部設計 委 託 期 間 令和6年8月28日～令和7年3月31日 委 託 料 3,146千円													完了	野手埋立処分所の整備に必要な申請書に添付する資料を作成した。			

事業名		野手埋立処分所管理費		(4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		決算書		93 ページ		担当部課		市民生活部環境課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				132,604 【155,567】		189,024 【197,307】												【216,729】
財 源 内 訳	国庫補助金			15,608			11,165									野手埋立処分所の拡張整備のための実施設計を行ったことによる。		
	使用料			43			43											
	手数料			595			900											
	市債			0			36,600											
	一般財源			116,358			140,316											
主な事業内容・成果																評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 埋立管理事業																		
埋立物からの浸出水について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及びその他の法令を遵守し、物理化学的、衛生的に処理することで、本市の生活環境及び公共水域の水質の保全に努めた。																		
(1)埋立地形式																		
一般廃棄物の最終処分場（焼却残渣、ガレキ、土砂・汚泥等）																		
埋立地面積		埋立容量		埋立残容量（令和7年3月末現在）		埋立方式												
22,900㎡		280,000㎥		約24,123㎥		セル埋立工法による準好気性埋立												
埋立物搬入状況																		
区分		令和5年度		令和6年度														
一般搬入		61 t		92 t														
射 水 市 搬 入	側溝汚泥等		1,104 t		818 t													
	クリーンピア射水		2,822 t		2,938 t													
	計		3,926 t		3,756 t													
合計		3,987 t		3,848 t														
(2)浸出水処理施設形式																		
雨水によって処分場から出た浸出水を逆浸透膜処理方式により、排水基準値内に処理し、放流及び場内用水として使用した。																		
処理能力		処理水量		浸出水調整槽容量		処理方式												
100㎥/日		約36,800㎥/年		4,000㎥		凝集沈殿処理及び逆浸透膜（RO）膜処理等複合方式												
																継続	一般廃棄物の最終処分及び浸出水の処理を適切に行った。 引き続き、施設周辺の環境に配慮し、法令を遵守しながら事業を継続していく。	

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
2 包括運営事業 野手埋立処分所包括運営業務委託 野手埋立処分所の浸出水処理業務等を委託し、適正な維持管理を行った。 委託先 (株)神鋼環境ソリューション 委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 124,080千円		継続	(株)神鋼環境ソリューションに包括運営業務を委託し、業務の指揮監督、重要事項の確認業務等連携を密に施設の適正な運転管理を行った。 今後も適切な事業者と包括運営を図り、適正な施設の維持管理に努めていく。
3 最終処分場整備事業 最終処分場実施設計業務委託【国1/3】 次期最終処分場の実施設計を策定した。 委託先 (株)中部設計射水営業所 委託期間 令和6年8月13日～令和7年3月31日 委託料 61,050千円		継続	令和5年度の基本設計を基に実施設計を策定した。 令和7年度から拡張整備工事の実施を行う。

事業名	災害廃棄物処理事業費（繰越明許）			（ 4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		） 決算書		93 ページ	担当部課	市民生活部環境課									
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
					56,238 【58,572】																		
財 源 内 訳	国庫補助金				26,986																		
	市債				27,800																		
	一般財源				1,452																		
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）											
1 災害廃棄物収集運搬事業【地震】【国1/2】 本市の生活環境を保全するため、地震により倒壊したブロック塀及び灯籠等を収集し、市内に設置した災害廃棄物仮置場に運搬した。 ・受注者 射水市一廃収運業者協議会 ・委託料 1,533千円 <ブロック塀及び灯籠等申請、処理件数> <table><tr><td>申請件数</td><td>キャンセル件数</td><td>処理済件数</td><td>未処理件数</td></tr><tr><td>544</td><td>143</td><td>401</td><td>0</td></tr></table>												申請件数	キャンセル件数	処理済件数	未処理件数	544	143	401	0	完了	地震により倒壊した各家庭のブロック塀等を収集し、仮置場まで運搬することにより、本市の生活環境の保全を図った。 未処理分について、令和6年度に収集運搬が完了した。		
申請件数	キャンセル件数	処理済件数	未処理件数																				
544	143	401	0																				
2 災害廃棄物運搬処分等処理事業【地震】【国1/2】 地震により発生した災害廃棄物について、焼却や最終処分が必要なものを除き、可能な限り再利用・再資源化を図り、適切に処理した。 （１）災害廃棄物（石綿含有不明廃棄物）処理業務 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、石綿含有不明廃棄物の処理を実施した。 ・受注者 ㈱富山環境整備 ・委託料 3,716千円 （２）災害廃棄物運搬処分等処理業務 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、不燃物、小型家電、家電4品目の処理及びリサイクルを実施した。 ・受注者 ㈱H A R I T A ・委託料 2,681千円												完了	地震により発生した災害廃棄物について、再利用・再資源化を図りながら適切に処理した。 引き続き、公費解体に伴う解体ごみ及び片付けごみを含め、再利用・再資源化を図りながら適切に処理する。										

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
3 災害廃棄物仮置場設置事業【地震】【国1/2】 地震により市内で多量の災害廃棄物が発生したことに伴い、本市の生活環境を保全するため、災害廃棄物の仮置場を設置した。 （１）災害廃棄物仮置場管理運営業務 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、災害廃棄物仮置場の管理運営を実施した。（～令和6年6月14日） ・受注者 射水市一廃収運業者協議会 ・委託料 7,824千円 （２）災害廃棄物処理及び仮置場管理運営業務 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、公費解体により発生した災害廃棄物の処理及び仮置場の管理運営を実施した。（令和6年6月15日～） ・受注者 射水市一廃収運業者協議会 ・委託料 33,054千円	完了 災害廃棄物を仮置場に搬入することにより、本市の生活環境の保全を図った。 引き続き、周辺環境に配慮しながら、公費解体が終了するまで、解体ごみ及び片付けごみを選別・保管・処分する災害廃棄物仮置場を管理運営し、生活環境の保全を図る。

事業名	災害廃棄物処理事業費				(4款 衛生費		21項 清掃費		2目 塵芥処理費		) 決算書		93 ページ	担当部課	市民生活部環境課																										
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																															
				32,028	【90,600】	99,966	【244,000】		【144,034】																																
財 源 内 訳	国庫補助金		0		42,786					公費解体及び自費解体の申請の遅れによる。																															
	市債		16,000		57,100																																				
	一般財源		16,028		80																																				
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）																												
1 災害廃棄物処理事業【地震】【国1/2】 地震により市内で多量の災害廃棄物が発生したことに伴い、本市の生活環境を保全するため、災害廃棄物の仮置場を設置し、焼却や最終処分が必要なものを除き、可能な限り再利用・再資源化を図り、適切に処理した。 (1) 災害廃棄物処理及び仮置場管理運営業務 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、公費解体により発生した災害廃棄物の処理及び仮置場の管理運営を実施した。(令和6年6月15日～) ・受注者 射水市一廃収運業者協議会 ・委託料 99,966千円 < 災害廃棄物（公費解体分）処理量 > (令和7年3月31日時点) <table><tr><td>品目</td><td>木くず</td><td>コンクリート等</td><td>瓦</td><td>ガラス、陶磁器</td><td>畳</td><td>混合廃棄物</td><td>小型家電</td><td>金属くず</td><td>可燃物</td><td>合計</td></tr><tr><td>処分量（ t ）</td><td>533</td><td>1,531</td><td>297</td><td>19</td><td>45</td><td>224</td><td>15</td><td>60</td><td>126</td><td>2,850</td></tr></table>																品目	木くず	コンクリート等	瓦	ガラス、陶磁器	畳	混合廃棄物	小型家電	金属くず	可燃物	合計	処分量（ t ）	533	1,531	297	19	45	224	15	60	126	2,850	継続	災害廃棄物を仮置場に搬入し、再利用・再資源化を図り適切に処理した。 引き続き、周辺環境に配慮しながら、公費解体に伴う解体ごみ及び片付けごみを選別・保管・処分する災害廃棄物仮置場を管理運営し、適切に処理し、生活環境の保全を図る。		
品目	木くず	コンクリート等	瓦	ガラス、陶磁器	畳	混合廃棄物	小型家電	金属くず	可燃物	合計																															
処分量（ t ）	533	1,531	297	19	45	224	15	60	126	2,850																															
(繰越明許費 144,034 千円) ・事業名 災害廃棄物処理事業 ・完了時期 令和7年9月末																																									

事業名	被災家屋等解体費（繰越明許）				（ 4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		） 決算書		93 ページ	担当部課	市民生活部環境課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
						62,000 【62,000】										
財 源 内 訳	国庫補助金				31,000											
	市債				31,000											
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 被災家屋等解体事業【国1/2】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、被災家屋等の公費解体及び支援業務を実施した。 (1)射水市公費解体工事 ・発注件数 8件 ・工事請負費 50,000千円													継続	被災した半壊以上の家屋を対象に公費解体を実施し、危険な家屋等の撤去により安全性が図られた。個々の事情により申請に時間を要しているが、引き続き、被災者に寄り添いながら支援していく。		
(2)令和6年能登半島地震に伴う公費解体支援業務委託 ・委 託 先 一般社団法人 日本補償コンサルタント復興支援協会 ・委託期間 令和6年3月1日～令和7年9月30日 ・委 託 料 12,000千円													継続	現地測量や所有者との調整等、解体事業が迅速に進められた。引き続き、被災者に寄り添いながら所有者との調整等に努めていく。		

事業名	被災家屋等解体費			(4款 衛生費		2項 清掃費		2目 塵芥処理費		決算書		93 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			0	【62,000】	138,528	【418,000】		【279,472】						
財 源 内 訳	国庫補助金		0		69,228									
	市債		0		69,300									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 被災家屋等の公費解体及び撤去事業【国1/2】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、被災家屋等の公費解体を実施した。 ・発注件数 23件 ・工事請負費 90,704千円												継続	被災した半壊以上の家屋を対象に公費解体を実施し、危険な家屋等の撤去により安全性が図られた。 個々の事情により申請に時間を要しているが、引き続き、被災者に寄り添いながら支援していく。	
2 被災家屋等の自費解体及び撤去に要する費用の償還に関する事業【国1/2】【地震】 所有者が自ら費用負担した解体・撤去事業費の償還を行った。 ・償還件数 20件 ・償還金額 27,700千円												継続	自費解体により二次災害防止等、迅速に図られた。引き続き、被災者に寄り添いながら支援していく。	
3 公費解体等による隣接する家屋等の境界壁復旧補助事業【国1/2】【地震】 隣接する家屋との共有壁復旧に係る費用を負担した申請者へ、補助金を交付した。 ・補助件数 10件 ・補助金額 5,486千円												継続	公費解体に伴い、隣接家屋と共有していた境界壁の再建費用の補助金を交付し、被災者への負担軽減が図られた。引き続き、被災者に寄り添いながら支援していく。	
4 令和6年能登半島地震に伴う公費解体支援業務委託【国1/2】【地震】 災害からの復旧・復興のため、被災家屋等の公費解体事業に関する支援業務を実施した。 ・委託先 一般社団法人 日本補償コンサルタント復興支援協会 ・委託期間 令和6年3月1日～令和7年9月30日 ・委託料 13,378千円												継続	現地測量や所有者との調整等、解体事業が迅速に進められた。引き続き、被災者に寄り添いながら支援していく。	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
5 射水市公費解体廃棄物仮置場門扉設置工事【国1/2】【地震】 災害廃棄物を搬出する車両の交通安全を確保するため、仮置場門扉設置工事を実施した。 ・ 施工期間 令和6年8月23日～9月20日 ・ 工事請負費 1,260千円	完了	災害廃棄物を搬出するため、搬出車両に対し、仮置場の門扉を設置することで、道路交通の支障解消や安全確保が行われた。
（繰越明許費 279,472千円） ・ 被災家屋等解体事業【国1/2】【地震】 ・ 完了時期 令和7年9月30日		

事業名	衛生センター管理費			(4款 衛生費		2項 清掃費		3目 し尿処理費		) 決算書	94 ページ	担当部課	市民生活部環境課																											
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																															
			38,043	【39,805】	38,638	【61,505】		【26,300】																																
財 源 内 訳	使用料		1,185		1,223																																			
	一般財源		36,858		37,415																																			
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																													
1 衛生センター維持管理及び処理 基幹的設備改良工事対象外の設備機器の定期補修工事及び修繕等を実施することにより、適正に維持管理するとともに安定的なし尿及び浄化槽汚泥の処理を遂行することができた。 し尿・浄化槽汚泥搬入状況 <table><tr><td colspan="2">区分</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td colspan="2">し尿</td><td>956kℓ</td><td>927kℓ</td></tr><tr><td colspan="2">浄化槽汚泥</td><td>7,245kℓ</td><td>7,468kℓ</td></tr><tr><td rowspan="3">内 訳</td><td>単独</td><td>3,081kℓ</td><td>2,965kℓ</td></tr><tr><td>合併</td><td>2,108kℓ</td><td>2,446kℓ</td></tr><tr><td>農集</td><td>2,056kℓ</td><td>2,057kℓ</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>8,201kℓ</td><td>8,395kℓ</td></tr></table>											区分		令和5年度	令和6年度	し尿		956kℓ	927kℓ	浄化槽汚泥		7,245kℓ	7,468kℓ	内 訳	単独	3,081kℓ	2,965kℓ	合併	2,108kℓ	2,446kℓ	農集	2,056kℓ	2,057kℓ	計		8,201kℓ	8,395kℓ	継続	令和5年度～6年度の2年間ににおいて実施した基幹的設備改良工事が完了し、効率的で安定した施設の稼働を確認した。 今後は、運営体制（直営・業務委託等）の検討をするとともに、基幹的設備改良工事対象外の設備機器の修繕を計画的に実施し、施設の維持管理に努める。		
区分		令和5年度	令和6年度																																					
し尿		956kℓ	927kℓ																																					
浄化槽汚泥		7,245kℓ	7,468kℓ																																					
内 訳	単独	3,081kℓ	2,965kℓ																																					
	合併	2,108kℓ	2,446kℓ																																					
	農集	2,056kℓ	2,057kℓ																																					
計		8,201kℓ	8,395kℓ																																					
(繰越明許費 20,000千円) ・事業名 攪拌ブロウ吹込み管修繕 ・完了時期 令和8年3月																																								

事業名		衛生センター整備費（通次繰越）		（ 4款 衛生費		2項 清掃費		3目 し尿処理費		決算書		94 ページ		担当部課		市民生活部環境課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）				
						59,245 【59,245】												
財 源 内 訳	市債						47,000											
	一般財源						12,245											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 衛生センター基幹的設備改良工事 (1)衛生センター基幹的設備改良工事設計施工監理業務委託【国1/3】 委 託 先 （株）中部設計 委 託 期 間 令和5年7月13日～令和7年3月31日 委 託 料 2,060千円（契約額19,074千円） (2)衛生センター基幹的整備改良工事【国1/3】 工 期 令和5年6月30日～令和7年3月31日 工 事 費 57,185千円（契約額1,112,100千円）														完了	令和5年度～6年度に実施した基幹的設備改良工事により、処理能力の適正化、主要設備の更新、施設からのCO2発生量の削減を図った。 今後も適正な維持管理を行い、安定的稼働・運転と適正な処理に努める。			

事業名		衛生センター整備費		(4款 衛生費		2項 清掃費		3目 し尿処理費		決算書		94 ページ	担当部課	市民生活部環境課								
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）												
				54,850 【114,095】		1,017,079 【1,026,849】				令和5年度～6年度の継続費事業であり、進捗に応じた年割額によって、事業の主年度となる令和6年度の決算額が大きくなったことによる。												
財源内訳	国庫補助金		21,752		195,772																	
	市債		27,800		674,600																	
	一般財源		5,298		146,707																	
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）										
1 衛生センター整備事業 (1)衛生センター基幹的設備改良工事【国1/3】 工 期 令和5年6月30日～令和7年3月31日 工 事 費 1,000,065千円（契約額1,112,100千円） (2)衛生センター基幹的設備改良工事設計施工監理業務委託【国1/3】 委 託 先 （株）中部設計 委 託 期 間 令和5年7月13日～令和7年3月31日 委 託 料 17,014千円（契約額19,074千円） <table><tr><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td>令和5年度～6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>計画策定</td><td>発注仕様書作成</td><td>基幹的設備改良工事</td><td>供用開始</td></tr></table>												令和3年度	令和4年度	令和5年度～6年度	令和7年度	計画策定	発注仕様書作成	基幹的設備改良工事	供用開始	完了	令和5年度～6年度に実施した基幹的設備改良工事により、処理能力の適正化、主要設備の更新、施設からのCO2発生量の削減を図った。 今後も適正な維持管理を行い、安定的稼働・運転と適正な処理に努める。	
令和3年度	令和4年度	令和5年度～6年度	令和7年度																			
計画策定	発注仕様書作成	基幹的設備改良工事	供用開始																			

5 款 労 働 費

事業名		勤労者福祉推進費		(5款 労働費		1項 労働諸費		1目 労働諸費		決算書		95 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			65,592	【66,066】	16,617	【16,979】		【17,866】	融資の利用状況に基づき、市内金融機関への預託金額を見直したことによる。					
財 源 内 訳	諸収入		65,000		16,000									
	一般財源		592		617									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 射水市ゆとりライフ互助会事業 市内の中小零細企業の従業員及びその家族に共済給付を行うなど、福利厚生の実現を図った。										継 続	市内中小企業の福利厚生の実現に寄与することができた。 今後も事業内容の実現と会員増に努めていく。			
指標項目		基準		実績		目標								
		H28-H30平均		令和6年度		令和9年度								
ゆとりライフ互助会加入者数		839人		698人		1,000人								
2 中小企業退職金共済契約掛金補助 中小企業退職金共済に新規加入した事業者には掛金の一部を助成し、勤労者の福祉向上と雇用の安定を図った。 ・6件 180千円 （令和7年3月時点加入者数 3,799人）										継 続	市内中小企業の退職金制度加入を促進することで、勤労者の福祉増進と雇用安定を図ることができた。 今後も事業の周知に努めていく。			
3 勤労者福利対策貸付預託金 貸付原資の一部を市内金融機関に預託することにより、勤労者の生活を長期・低利な融資によって支援した。 (1)組織労働者福利対策貸付預託金 新規貸付 251件 1,236,580千円 （令和5年度 296件 2,037,670千円） (2)勤労者小口資金預託金 新規貸付 4件 2,500千円 （令和5年度 5件 2,050千円）										継 続	市内勤労者の生活支援に寄与することができた。 今後も事業周知に努めていく。			

事業名		雇用対策費		(5款 労働費		1項 労働諸費		1目 労働諸費		)		決算書		95 ページ		担当部課		産業経済部商工企業立地課			
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）											
				6,240【7,264】		6,171【7,650】				【3,933】											
財 源 内 訳	一般財源			6,240		6,171															
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 地域職業相談室事務補助員人件費 ワークセンター射水に会計年度任用職員を配置し、求職者の利便性の向上に努めた。 ・ 紹介件数 1,155件 （令和5年度 1,272件）														見直し		求人情報のWEB閲覧など、情報入手手段が多様化していることを踏まえ、人員配置を見直す。					
2 障がい者雇用奨励金 市内にある事業所の事業主が、市内に住所を有する障がい者を常用労働者として、国等の助成金支給期間満了後も引き続き12か月雇用し、以降も継続して雇用されると見込まれるものに対して奨励金を交付した。														継続		引き続き、障がい者を雇用する事業主を支援していく。					
				基準		実績		目標													
指標項目				H28-30平均		令和6年度		令和9年度													
障がい者雇用奨励件数				5件		4件		7件													
3 学生企業訪問支援事業補助 市雇用対策推進協議会が市内企業への就職率の向上と離職率の抑制を図るため、市内学生等に企業の現場見学を通じて直接アピールする機会を提供するバスツアーを実施した。 令和6年度 参加事業所 14社 参加学生26名（令和5年度 参加事業所 19社 参加学生52名）														継続		新規卒者の雇用促進を目的とした事業を実施した。 引き続き、市内企業の人材確保に向けた取組を継続していく。					
4 就職活動支援動画作成補助 雇用環境が厳しさを増す中、インターネット上で動画により雇用確保を図る市内中小企業の取組に対し、その制作費用の一部を支援した。 ・ 就職活動支援動画作成補助事業者数 5社														継続		若者等が目に触れやすい手法で行う市内中小企業の雇用対策に対し、引き続き支援する。					

6 款 農 林 水 産 業 費

事業名		農業委員会費		(6款 農林水産業費 1項 農業費		1目 農業委員会費)		決算書		96 ページ		担当部課		産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
				11,552 【13,021】		10,935 【13,459】									
財 源 内 訳	県補助金		3,578		2,444										
	諸収入		34		34										
	一般財源		7,940		8,457										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 農業の発展と農業者の地位向上に向けた取組の推進 農業生産の基盤となる優良農地の保全と有効活用を推進した。 農業委員25人（会長1人、委員24人） (1) 担い手確保と農地利用集積の支援 地域農業の構造改革を推進するため、農業の担い手育成と農地の有効利用（農業経営基盤強化促進法）による農地の貸し借りの促進を通じ活力ある農業基盤の強化を図った。 (2) 地域に根ざした農政活動の展開 地域の世話役と農業者の利益代表として、農業委員の一人ひとりが地域できめ細かな世話役活動を行い、農業者や集落の声を行政や政策に反映した。 (3) 農地行政の適正な執行 農地の売買や転用など、農地法に基づく許認可について、農業者を代表する機関として公正な審査を行った。 ・ 農地法第3条届出 114件（令和5年度 87件） ・ 農地法第3条許可申請 59件（令和5年度 52件） ・ 農地法第4条届出 7件（令和5年度 3件） ・ 農地法第4条許可申請 4件（令和5年度 2件） ・ 農地法第5条届出 40件（令和5年度 41件） ・ 農地法第5条許可申請 19件（令和5年度 34件） ・ 農地法第18条通知 112件（令和5年度 116件） ・ 事業計画変更承認申請 1件（令和5年度 1件） ・ 農地法施行規則第29条届出 2件（令和5年度 1件） ・ 農用地利用集積計画の決定 1,868件（令和5年度 526件） ・ 買受適格証明の交付 1件（令和5年度 0件） 継続 農地に関する事務を執行する行政委員会として、農地法に基づく農地の売買・賃借の許可、農地転用案件への意見具申を適正に行った。 引き続き、農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の最適化活動を推進する。															

事業名	農業振興推進費（繰越明許）				（ 6款 農林水産業費 1項 農業費		3目 農業振興費		決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
財源内訳		決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
						49,747 【51,614】						
		県補助金				12,447						
		一般財源				37,300						
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 経営体育成支援事業【国1/2】（12,447千円） 担い手の育成・確保や農地の集積・集約化を推進するため高性能農業機械の導入に対して助成を行った。（1経営体）											完了	高性能農業機械の導入により、経営規模の拡大や省力化による低コスト化に効果があった。
2 JAIみず野大豆・大麦乾燥調製施設再編整備事業（37,300千円） 国産大豆・大麦の取扱収量を増加させる取組を推進するため、増産に資する乾燥調製施設再編整備に対して助成を行った。											完了	増産に資する乾燥調製施設再編整備により、円滑な受入れが可能となった。

事業名		農業振興推進費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)		決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		42,749	【99,979】	40,075	【46,353】		【92,909】	各補助事業の採択による。			
財 源 内 訳	国庫補助金	4,767		0							
	県補助金	11,888		4,376							
	寄附金	500		0							
	基金繰入金	6,000		6,000							
	一般財源	19,594		29,699							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 農業組織強化補助 市内の集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動を促進するための助成を行い、各組織において、情報交換や研修会等が行われ、経営者としての資質向上が図られた。 ・ 営農組織連絡協議会補助金 530千円 ・ 担い手連絡協議会補助金 260千円									継続	集落営農組織及び認定農業者等中核的な個人農家の活発な活動促進に効果があった。 引き続き、次代を担う農業後継者の育成や確保に向けて取り組んでいく。	
2 作物品質向上対策事業 安定的な農業生産と品質向上、均一化のために、土づくり資材や種子更新に対して助成を行った。 ・ 地力増強推進対策事業補助金 725千円 ・ 大豆・大麦種子更新対策事業補助金 7,109千円 ・ もみ殻シリカ灰肥料普及拡大支援事業 7,177千円									継続	安定的な農業生産と品質向上、均一化のために、土づくり資材や種子更新に対して助成を行い、品質及び単収の向上や、地域資源であるもみ殻の利用拡大に効果があった。 引き続き、市内農作物の収量の安定と品質の向上に向け取り組んでいく。	

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）																
3 農業経営支援事業 34経営体に対し、田植機、トラクター、コンバインなどの農業用機械更新等導入補助を行い、経営の安定化に一定の効果があった。 ・ 農業経営支援事業補助金 9,983千円			継続	各経営体の農業機械の導入補助を行うことにより、農業経営に係る負担軽減に効果があった。 引き続き、農業経営の安定化、経営体の育成を支援していく。															
4 農業共同利用施設の燃料費高騰支援事業（物価高騰対策No.15）【交付金】 燃料価格高騰の影響を受けている農協の農業共同利用施設に対し、施設稼働燃料である灯油代の高騰額を補助し、農業支援を図った。 ・ 交付単価 6.1円/リットル ・ 交付金額 182千円			完了	燃料価格高騰の影響額を補助することで農協の負担を軽減し、共同利用施設使用料を抑制することにより、市内農業経営体の負担を軽減した。															
5 農業用施設電気料金支援事業（物価高騰対策No.16）【交付金】 光熱水費高騰の影響を受けている農協共同利用施設及び大規模生産者に対し、乾燥調製・出荷貯蔵施設にかかる電気代の高騰額を補助し、農業支援を図った。 ・ 交付対象 農協共同利用施設他、大規模生産者 計16施設 ・ 交付金額 3,269千円			完了	電気代高騰の影響額を補助することで農協や大規模生産者の負担を軽減し、共同利用施設使用料を抑制することにより、市内農業経営体の負担を軽減した。															
6 飼料価格高騰経営安定緊急支援事業（物価高騰対策No.17）【交付金】 飼料原材料価格高騰の影響を受けている畜産農家に対し、飼料代の高騰額を補助し、農業支援を図った。 ・ 交付対象 2経営体 ・ 交付金額 356千円			完了	飼料代高騰の影響額を補助することで、畜産農家の負担を軽減した。															
<table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><td>H28-H30平均</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>農産物の販売額</td><td>2,740百万円</td><td>2,984百万円</td><td>2,877百万円</td></tr><tr><td>農業法人の経常利益額</td><td>520百万円</td><td>715百万円</td><td>572百万円</td></tr></table>					指標項目	基準	実績	目標	H28-H30平均	令和6年度	令和9年度	農産物の販売額	2,740百万円	2,984百万円	2,877百万円	農業法人の経常利益額	520百万円	715百万円	572百万円
指標項目	基準	実績	目標																
	H28-H30平均	令和6年度	令和9年度																
農産物の販売額	2,740百万円	2,984百万円	2,877百万円																
農業法人の経常利益額	520百万円	715百万円	572百万円																

事業名		水田利活用推進対策費		(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)		決算書		97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課							
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
				50,786 【54,753】		49,951 【53,583】				【49,624】							
財 源 内 訳	県補助金			9,021		8,578											
	一般財源			41,765		41,373											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 水田農業推進事業 当該補助実施により、全市的計画による生産調整の実施と麦・大豆の作付け推進、品質向上及び園芸作物の生産振興に効果があった。 (1)とやま型水田フル活用促進事業費補助金【県10/10】 ア 園芸作物等産地収益力強化事業 （基本8,130円/10a） ・水田園芸拡大品目（たまねぎ・にんじん・キャベツ・さといも）（対象面積7.01ha） ・稼げる！園芸産地プラン品目（えだまめ・しろねぎ・こまつな・いちご、さつまいも）（対象面積6.32ha） イ 射水市農業再生協議会事務費 (2)富山県経営所得安定対策推進指導費補助金【県10/10】 地域農業再生協議会補助 6,521千円 (3)産地づくり対策補助金【市（作目ごとに設定）/10a】 基幹的な転作作物である、麦・大豆の作付け推進 大麦：386.6ha、大豆：461.8ha（うち148.2haは二毛作） (4)化学肥料削減緑肥推進補助金【市10/10】 大麦・大豆の生産と組み合わせた緑肥の取組に対する支援										継続	(1)、(2)については、全額県補助で実施しており、園芸作物の生産振興に効果があるため、引き続き事業を継続していく。 (3)については、主食用米の需給調整のための麦・大豆の作付け推進に効果があり、引き続き事業を継続していく。 (4)については、化学肥料の低減に効果があることから、引き続き事業を継続していく。						
<table><tr><td>指標項目</td><td>基準 令和4年度</td><td>実績 令和6年度</td><td>目標 令和9年度</td></tr><tr><td>化学肥料低減の取組面積（緑肥）</td><td>67ha</td><td>74.4ha</td><td>100ha</td></tr></table>												指標項目	基準 令和4年度	実績 令和6年度	目標 令和9年度	化学肥料低減の取組面積（緑肥）	67ha
指標項目	基準 令和4年度	実績 令和6年度	目標 令和9年度														
化学肥料低減の取組面積（緑肥）	67ha	74.4ha	100ha														

事業名		担い手育成対策費		(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)		決算書		97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				8,283	【15,451】	3,737	【5,862】		【19,261】	新規就農者に対するハード事業（初期投資促進事業費補助金）の減による。	
財源内訳	国庫補助金		483		0						
	県補助金		5,265		2,443						
	諸収入		938		1,204						
	一般財源		1,597		90						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業資金利子補給【県10/10】 農業生産法人や認定農業者が借り入れた制度資金に対し、利子助成したことにより、設備投資等費用が軽減され、経営改善に効果があった。 ・ 農業経営基盤強化資金利子助成 1件										継続	農業経営の安定化に向け、今後も事業を継続していく。
2 新規就農者育成総合対策事業 経営開始資金 【県（国）10/10】 国の制度を活用し、新規就農者への支援を行うことにより、設備等の初期投資が軽減され、新規就業者の育成に効果があった。（新規就農者1名）										継続	新規就農者は設備投資等初期費用が大きいため本事業は重要と考えており、引き続き支援していく。
指標項目				基準		実績		目標			
				平成29年度-令和4年度		令和5-6年度		令和5-9年度			
新規就農者数（累計）				5人		3人		10人			

事業名		6次産業化推進費		(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)		決算書		97 ページ		担当部課		産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				7,576 【7,707】		3,552 【3,579】							
財源内訳	基金繰入金		2,000		2,000				対象事業（もみ殻循環プロジェクト）の完了による。				
	一般財源		5,576		1,552								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 6次産業化推進事業 農林漁業者が、生産に加え加工や販売なども行うことにより、農林水産物等の高付加価値化等を図る6次産業化への取組を支援した。 いみずサクラマスブランド推進事業 サクラマスのブランド化を推進するとともに、販路拡大やイメージアップ戦略等を展開した。 ・イベント出展販売（海鮮まつり、千曲市あんずまつり、泉佐野市農業祭、JR富山駅、農業産業まつり）によるPR ・地方市場への出荷数の増加 ・人気回転寿司チェーン店への販路継続										継続		いみずサクラマスのブランド化を推進することにより、養殖漁業の振興、地域の活性化を図っていく。また、販路拡大を中心に事業を展開し、令和9年度まで継続していく。	

事業名	ふるさと特産品推進費				(6款 農林水産業費 1項 農業費 3目 農業振興費)				決算書	97 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			146,090	【160,110】	66,528	【78,200】		【82,400】					
財 源 内 訳	一般財源		146,090		66,528					寄附額及び寄附件数が減少したことによる。			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 ふるさと射水応援寄附 新規寄附者の獲得に向けて、新たに有効とされるふるさと納税ポータルサイト4サイトを開始した。また、地域の特産品である「いみずサクラマス」を全国に向けてPRするため、地元事業者と連携し、当該サクラマスを使用した返礼品の提供を開始するなど、新たな返礼品の提供を開始した。 次年度に向け、返礼品提供事業者への支援や返礼品の開発、プロモーションをより強化するため中間管理業務事業者を変更した。 寄附件数 5,138件 【うち災害寄附 397件】 （令和5年度 14,276件） 寄附額 141,879千円 【うち災害寄附 2,699千円】（令和5年度 309,263千円）										拡 充	米の返礼品の強化をはじめ、水産加工品を中心とした新規商品の開拓や現地決済型ふるさと納税の導入など、より魅力的な返礼品の提供を通じて、本市の特産品の魅力を広く発信し、寄附者の獲得及び安定した財源確保を図っていく。		
指標項目													
ふるさと納税における寄附額													
			基準		実績		目標						
			令和4年度		令和6年度		令和9年度						
			307,455千円 (R5.3.31)		141,879千円 (R7.3.31)		500,000千円						

事業名		コミュニティセントリー管理費（繰越明許）		（ 6款 農林水産業費 1項 農業費		4目 農村環境改善費		） 決算書		98 ページ		担当部課		産業経済部農林水産課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
						7,700 【7,700】										
財 源 内 訳	一般財源					7,700										
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 大門コミュニティセントリー非常用発電機設置工事 工 期 令和5年11月21日～令和6年4月26日 契約額 7,700千円										完了	大門コミュニティセントリーに非常用発電機を設置し、施設の停電時への対応力を強化した。					

事業名		土地改良事業推進対策費（繰越明許）（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）				決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	市債			62,947	【63,069】				
	一般財源			22,300					
				40,647					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 県営農地整備事業等負担金 (1) 農村地域防災減災事業（ため池）負担金（黒河新地区）（事業費 10,000千円） (2) 県営農地整備（土地総）事業負担金（中沖南部地区）（事業費 70,000千円） (3) 県営農地整備（経営体育成型）事業負担金（島地区）（事業費 176,400千円） (4) 水利施設整備事業負担金（芹谷野2期地区）（事業費 56,656千円） (5) 県単独農業農村整備事業 補助金（10地区）（事業費 85,300千円）								継続	農地の適切な保全及び維持管理に効果があった。 今後も継続的な事業の推進を図っていく。

事業名		（ 6款 農林水産業費 1項 農業費 6目 農地費 ）				決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		275,359	【340,569】	264,114	【329,640】		【266,238】	農業農村整備事業に対する負担金や補助金の減額等による。	
財 源 内 訳	県補助金	136,449		141,639					
	諸収入	311		556					
	市債	71,100		63,100					
	一般財源	67,499		58,819					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業農村整備事業の負担金及び補助金 県や土地改良区が行う、ほ場整備、ため池や老朽化した用排水路などの農業用施設の補修事業等に対して、負担金や補助金を交付した。								継続	農地の適切な保全及び維持管理に効果があると認められる。 今後も継続的な事業の推進を図っていく。
2 多面的機能支払交付金【県（国）1/2 県1/4】 (1) 農地維持支払及び資源向上支払（共同） 取組組織数 76組織 農用地、水路、農道等の地域資源や農村環境の良好な保全活動に対して補助金を交付した。 (2) 資源向上支払（長寿命化） 取組組織数 30組織 農業用排水路・農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の取組に対して補助金を交付した。								継続	(1)については、農地の地域資源や環境保全の向上が図られた。 (2)については、農作業の円滑化に効果が認められた。 今後は、資源向上支払取組組織数の拡大等に向けて進めていく。
3 中山間地域等直接支払交付金【県（国）1/2 県1/4】 中山間地域等直接支払交付金（旧金山村、旧櫛田村、旧池多村） 取組組織数 8組織 高齢化や人口減少が著しい中山間地域等において、農業生産活動の継続に向けた取組に対して補助金を交付した。								継続	農地の地域資源や環境保全の向上が図られた。 今後も継続的に取組を支援していく。
4 農地防災減災事業【県10/10】 防災重点ため池について、豪雨調査・耐震診断を実施した。 ・ 五ヶ谷池豪雨調査・耐震診断業務委託 委 託 期 間 令和6年8月30日～令和7年2月12日 委 託 料 6,606千円 ・ 中堤豪雨調査・耐震診断業務委託 委 託 期 間 令和6年11月8日～令和7年3月14日 委 託 料 6,306千円								継続	災害時に影響度が高いとされる、防災重点ため池の豪雨調査・耐震診断を行うことにより、今後の防災・減災の事業計画の向上が図られた。 今後も継続的に実施する。
(繰越明許費 64,799 千円) ・ 事業名 県営農地整備事業等負担金・県単独農業農村整備事業補助金 ・ 完了時期 令和8年3月									

事業名		農地管理費（繰越明許）		（ 6款 農林水産業費 1項 農業費		6目 農地費		決算書		98 ページ		担当部課		産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
						7,517 【8,339】									
財 源 内 訳	県補助金					228									
	市債					1,200									
	一般財源					6,089									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 北陸自動車道側道法面復旧工事負担金 5,779千円															
										完了 北陸自動車側道法面が豪雨により崩壊、速やかに復旧工事を実施、安全確保を図った。					

事業名		農地管理費		(6款 農林水産業費 1項 農業費		6目 農地費		決算書	98 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			147,335	【158,271】	147,083	【154,190】		【161,060】			
財 源 内 訳	使用料		144		144						
	国庫補助金		1,310		192						
	県補助金		686		1,441						
	諸収入		51		338						
	市債		3,400		7,200						
	一般財源		141,744		137,768						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 土地改良事業等の負担金 県や土地改良区が行う用排水路等の農業用施設の維持管理事業費の一部を負担した。 ・ 県単独農業農村整備事業（防災福祉対策事業・施設機能保全型）負担金 ・ 射水平野土地改良区施設維持管理負担金 ・ 国営造成施設管理強化事業負担金 ・ 県営造成施設管理強化事業負担金 ・ 県営基幹水利施設管理事業負担金 ・ 国営土地改良事業負担金 ・ 土地改良施設維持管理適正化事業負担金										継続	農業用施設の適正な維持管理が実施された。 農業の持続的発展や農業生産基盤の安定化のため、今後も推進が必要である。
2 農業用施設の修繕 農道や水門の修繕を実施した。 ・ 加茂中部地内農道陥没修繕 ・ 開口地内農業用水門修繕										継続	土地改良施設の老朽化が懸念され、計画的な更新を検討する必要がある。
3 農道補修用砕石の提供 農道補修用砕石の提供を実施した。 ・ 25地区に配布										継続	農道の機能維持に効果が認められる。 今後も継続的に実施していく。
（繰越明許費 5,795 千円） ・ 事業名 県営基幹水利施設保全事業 ・ 完了時期 令和8年3月											

事業名		林業振興推進費		(6款 農林水産業費 2項 林業費 1目 林業振興費)		決算書	99 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			31,998	【38,344】	27,951	【29,666】		【24,451】	森林整備事業の業務量の減による。	
財源内訳	県補助金		22,631		14,261					
	基金繰入金		6,467		13,297					
	一般財源		2,900		393					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 里山再生整備事業【県10/10】 竹林等の整備を行い森林の適正な維持管理業務を実施した。 里山林整備業務委託（6地区） 委 託 先 富山県西部森林組合 委 託 期 間 令和6年7月11日～令和7年3月14日 委 託 料 10,969千円									継続	里山の下刈や除伐等を行い、明るく見通しのきく森林化が図られた。 今後も未実施地区において、継続的に事業を推進していく。
2 県単独森林整備事業【県1/2】 林木の健全な成長など森林の公益的機能の維持・向上を目的とし、より効率的な森林整備普及の向上を図るための保育・修景林整備及び林道開設・補修を実施した。 事業主体：富山県西部森林組合									継続	土砂災害の防止、保水、生物多様性の保全など森林の有する多面的機能が発揮されるよう適切な整備・保全管理が進められた。 今後も未実施地区において、継続的に事業を推進していく。

事業名	有害鳥獣捕獲対策費		(6款 農林水産業費 2項 林業費		1目 林業振興費)		決算書	99 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			5,215 【8,849】		5,638 【8,195】				【12,855】	
財源内訳	県補助金		49		7					
	一般財源		5,166		5,631					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 有害鳥獣対策事業 有害鳥獣対策協議会に委託し、鳥獣被害対策実施隊の捕獲活動等を実施することで、カワウ、 カラス、イノシシ等の有害鳥獣による農水産物被害の抑制に取り組んだ。 委 託 先 射水市有害鳥獣対策協議会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 5,446千円									継続	実施隊の高齢化、担い手不足の課題がある中、I o Tを活用した鳥獣被害の抑制により、実施隊の負担軽減を図りながら活動を維持していく。

事業名		緑化推進費				(6款 農林水産業費 2項 林業費 2目 緑化推進費)		決算書	99 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
		10,690	【10,690】	11,441	【11,860】		【11,483】				
財 源 内 訳	諸収入	4,455		4,490							
	一般財源	6,235		6,951							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 花と緑の銀行射水支店への活動助成 花と緑の銀行射水支店の各地方銀行の活動に助成し、市内の緑化を推進した。 ・ 小学校、保育園、各地花壇への緑化木・花苗の配布活動 ・ 花壇コンクールの開催（幼稚園・保育園、学校、花の道、一般花壇、街角） 事業主体：花と緑の銀行射水支店 補助金額：10,935千円										継続	市内緑化推進に向けて、引き続き、活動に対し支援していく。
2 フラワーポット管理 小杉駅南北等に設置してあるフラワーポットの管理を実施した（植栽、水やり、施肥等）。 委 託 期 間 令和6年6月18日～11月30日 委 託 料 506千円										継続	市民の緑化意識の向上のため、今後も、市街地における憩いの空間を創出・維持するよう努めていく。

事業名		海面漁業振興費		(6款 農林水産業費 3項 水産業費 2目 水産業振興費)		決算書		99 ページ		担当部課		産業経済部農林水産課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				19,080 【23,170】		149,673 【208,628】				【15,227】			
財 源 内 訳	国庫補助金		4,225		1,724						物価高騰対策として、交付金を活用した支援事業を実施したことによる。		
	県補助金		61		99,189								
	基金繰入金		5,000		6,000								
	市債		0		16,400								
	一般財源		9,794		26,360								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 海面漁業振興事業 漁業経営の安定化を図るため、漁場環境の整備及び漁業後継者育成などの事業並びに養殖漁業の研究・進展等を支援することで、海面漁業の振興と安定に寄与した。 (1) 種苗放流事業補助 (2) 漁獲共済掛金補助 (3) 漁船保険料補助 (4) 漁業近代化資金利子補給 (5) 水産多面的機能発揮対策事業【県】 (6) 魚食普及推進事業補助										最新数値は 令和5年度	継続	海面漁船漁業は、水産資源の減少や管理型漁業の影響等により、近年の水揚げは減少傾向となっていることから、引き続き、放流事業や、水産多面的事業で実施している藻場保全等を実施し水産資源保護に努めていく。 また、漁業者の経営安定や事業の持続化を図るための総合的な対策を実施していく。	
指標項目		基準		実績		目標							
1人当たりの漁業所得		平成29年度-令和3年度平均値		令和5年度		令和9年度							
		4,150千円		6,576千円		4,565千円							
指標項目		基準		実績		目標							
		平成29年度-令和4年度		令和5-6年度		令和5-9年度							
新規漁業就業者数（累計）		5人		4人		10人							
(7) 漁業共同利用施設支援事業補助金（物価高騰対策№18）【交付金】 水産物の需要が減少したことに加え、電気料金高騰の影響を受けている事業者を支援することで、水産業の下支えに取り組んだ。 ・事業費 462千円 交付対象者：新湊漁業協同組合													
(8) 漁業燃油価格高騰支援事業（物価高騰対策№19）【交付金】 原油高騰により、厳しい経営状況の漁業者の事業継続の支援を行った。 ・事業費 598千円 交付対象者：24経営体													
(9) 養殖漁業飼料代高騰支援事業（物価高騰対策№20）【交付金】 物価高騰の影響を受けている養殖事業者を支援することで、水産業の下支えに取り組んだ。 ・事業費 665千円 交付対象者：堀岡養殖漁業協同組合													
(繰越明許費 55,292 千円) ・事業名 水産業共同利用施設、水産関係団体施設等災害復旧事業補助金 ・完了時期 令和8年3月													

事業名		新湊漁港建設費（繰越明許）				（ 6款 農林水産業費 3項 水産業費 4目 漁港建設費 ）		決算書	100 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
財 源 内 訳	市債			19,254	【23,184】						
	一般財源			13,900							
				5,354							
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 漁港施設機能強化事業 西防波堤の改良等を行い、漁港機能の強化を図った。 2 水産物供給基盤機能保全事業 新湊漁港（東地区）敷地内の舗装を行い、漁港機能の保全を図った。 3 県単独漁港施設整備事業 車止め等の安全施設整備を行い、漁港機能の強化を図った。 4 農村漁村地域整備交付金事業 新湊漁港岸壁新設工事等を行い、漁港機能の強化を図った。									完了	今後も漁港施設の整備等を県へ要望していく。	

7 款 商 工 費

事業名		商工業振興費		(7款 商工費		1項 商工費		2目 商工業振興費		)		決算書		100 ページ		担当部課		産業経済部商工企業立地課									
決算額【予算額】				令和5年度				令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）											
				128,909				【160,084】								【114,712】				物価高騰対策として国交付金を活用した消費喚起事業について、実施方法等を見直したことによる。							
財 源 内 訳	国庫補助金			76,105				68,304																			
	寄附金			1,488				829																			
	基金繰入金			10,000				10,000																			
	一般財源			41,316				39,827																			
主な事業内容・成果																		評価と今後の方向性（担当課意見）									
1 商店街新規出店支援事業 商店街等の空き店舗への出店を支援することにより、地域商店街の振興に寄与した。 ・4件 4,900千円 （令和5年度 6件 6,888千円）																		継 続		内川周辺を含めた市内商店街への出店に関する相談が多いことから、地域の活性化を図るため、事業を継続していく。							
2 販路拡大支援事業 市内中小企業者に対し、県外で行われる展示会・商談会への出展料等の一部を支援し、販路拡大及び新規顧客獲得を支援した。 ・12件 2,868千円 （令和5年度 9件 1,838千円）																		継 続		前年度に比べ申請件数は増加しており、引き続き、事業者の販路拡大を支援していく。							
指標項目				基準				実績				目標															
				令和4年度				令和6年度				令和9年度															
中小企業販路拡大支援事業成約率				30%				19%				36%															
3 創業支援事業 市内で新たに創業、又は創業して間もない個人や中小企業者に対し、事業に要した経費の一部を助成した。 ・24件 9,849千円 （令和5年度 24件 8,901千円）																		継 続		補助金利用件数は減少しておらず、相談も多いことから、引き続き、市内での創業希望者、創業者を支援していく。							
指標項目				基準				実績				目標															
				令和4年度				令和6年度				令和9年度															
創業支援事業補助金利用件数				19件				24件				19件															
4 D X推進事業 市内企業のD X化を支援するため、事業に要した経費の一部を助成した。 また、10月には市内事業者を対象としたセミナーを開催した。 ・中小企業D X推進事業補助金 2件 63千円（令和5年度 2件 52千円） ・D Xセミナーの開催 13社（令和5年度 セミナー2社、相談会14社）																		継 続		D X推進事業の周知・活用促進を通じて中小企業の生産性向上につながるよう、引き続き、支援していく。							

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
5 消費喚起プロジェクト支援補助金（物価高騰対策No21）【交付金】 令和6年能登半島地震により影響を受けた中小企業への支援及び長期間に渡る燃料・原材料価格の上昇による物価高騰の影響を受けている市民生活を支援するため、射水市商工協議会が実施した30%プレミアム付き商品券発行事業を支援した。 ・プレミアム付きデジタル商品券事業 68,304千円	完了 高プレミアム率を付与することで、商品券の使用総額は232,755千円に達しており、市民生活をはじめ、地域経済の活力回復及び産業振興に寄与した。

事業名			企業誘致対策費		(7款 商工費		1項 商工費		2目 商工業振興費		決算書	101 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
			321,964	[347,988]	316,406	【331,789】		【710,303】								
財 源 内 訳	使用料		1,503		1,500											
	県補助金		99,990		100,005											
	基金繰入金		5,900		6,900											
	一般財源		214,571		208,001											
主な事業内容・成果															評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 企業立地奨励事業等助成金事業 工場等の新設又は増設を行った企業者を支援することで、新たな雇用の創出及び税収の安定化等、産業振興に効果があった。 (1)企業立地奨励事業助成金（県助成金対象事業）【県1/2】 ・ 継続 3企業 200,010千円 （シミックCMO(株)富山工場、立山化成(株)、日本重化学工業(株)） (2)企業立地奨励事業助成金 ・ 新規 2企業 19,800千円 （(株)大樹、石丸工業(株)） ・ 継続 1企業 19,173千円 （(株)ウッドフレンド（2か所）） (3)宿泊施設立地促進助成金（建築助成金） ・ 継続 2企業 43,080千円 （新港ビル(株)、(有)桜町商事） (4)宿泊施設立地促進助成金（経営安定助成金） ・ 継続 3企業 13,600千円 （(株)スーパーホテル、新港ビル(株)、(有)桜町商事） (5)雇用創出企業立地支援事業補助金 ・ 新規 3企業 6,000千円 （立山化成(株)、日本重化学工業(株)、(株)ウッドフレンド）															継続	助成金の交付によって市内での工場等の新増設を促し、新規雇用の創出と税収の安定化を図ることができた。 今後も本市の特性や企業ニーズ等を踏まえ、助成金制度の拡充等を検討し、優良企業の誘致を図っていく。
指標項目		基準	実績	目標												
		令和4年度	令和6年度	令和9年度												
企業団地分譲率		98.1%	97.5%	100.0%												

事業名		中小企業振興対策費		(7款 商工費		1項 商工費	2目 商工業振興費		) 決算書	101 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
		430,912	[441,986]	402,198	【402,287】		【402,707】					
財 源 内 訳	諸収入	426,408		383,538								
	一般財源	4,504		18,660								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 中小企業融資制度 中小企業者に設備資金や運用資金を融資することにより、経営基盤の強化と安定化を図った。 (1) 小口事業資金等保証料助成 制度融資利用者に対し、要綱に基づき保証料の一部又は全部を助成した。 ・ 9,430千円 （令和5年度 2,490千円） (2) 富山県信用保証協会補助 前年度の融資実績に応じて支援した。 ・ 773千円 （令和5年度 1,008千円） (3) 小口事業資金貸付預託金 対象者：従業員20人（商業・サービス業5人）以下の中小企業者 ・ 新規貸付 67件 259,620千円 （令和5年度 28件 146,150千円） (4) 中小企業振興資金貸付預託金 対象者：従業員21人（商業・サービス業5人）以上の中小企業者等 ・ 新規貸付 25件 270,500千円 （令和5年度 5件 61,870千円） (5) 創業者支援資金貸付預託金 対象者：創業予定者又は創業2年未満の中小企業者 ・ 新規貸付 5件 16,400千円 （令和5年度 8件 17,100千円） (6) 短期季節資金預託金 対象者：夏季又は年末等一時的に資金を必要とする中小企業者 ・ 新規貸付 1件 5,000千円 （令和5年度 0件 0円） (7) 商工組合中央金庫預託金 中小企業育成融資資金に必要な資金を預託した。 ・ 新規貸付 74件 6,496,575千円 （令和5年度 103件 11,777,193千円） (8) 中小企業振興資金損失補償料 市制度融資の代位弁済 ・ 4件 8,782千円 （令和5年度 2件 1,914千円） (9) 小規模事業者経営改善資金利子助成 日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金の利用者に対し、利子の2分の1を助成した。 ・ 52件 1,110千円 （令和5年度 27件 406千円）										継 続	各種制度融資の実施により、市内中小企業の経営基盤の強化を支援した。 今後も経済状況を注視し、適切に制度を運用していく。	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
2 中小企業・小規模企業振興会議 中小企業・小規模企業振興基本条例に基づいた第3次射水市中小企業振興計画の目標値の達成状況を報告するとともに、新たな中小企業振興策や労働環境の整備、雇用の確保を念頭に、会議を開催した。 ・ 委員 15人 ・ 開催回数 1回 企業状況調査 ・ 市内企業500社を対象にアンケート調査の実施	継続 事業成果の検証を行うとともに、今後の中小企業振興の在り方について委員から意見を伺った。 今後も事業者や有識者の意見を伺う場として開催する。また、毎年企業状況調査を実施し、市内企業の状況を把握するなど、引き続き、計画目標の達成に向け着実に事業を実施していく。

事業名		連携中枢事業費（異業種交流促進事業）		（ 7款 商工費		1項 商工費		2目 商工業振興費		）		決算書	101 ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			4,288	【6,516】	4,388	【7,371】		【7,873】							
財 源 内 訳	諸収入		3,794		3,687										
	一般財源		494		701										
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 異業種交流促進事業 圏域内企業の交流や県外企業との新たなビジネスマッチングの実現に向けた機会創出を目的に、呉西6市で異業種交流展示会「メッセナゴヤ2024」への共同出展を実施した。 ・メッセナゴヤ2024 開 催 期 間 対面：令和6年10月30日～11月1日 オンライン：令和6年10月15日～11月29日 開 催 場 所 ポートメッセなごや 総 来 場 者 数 52,742人 出 展 者 数 778社・団体 共同出展事業者数 16社（うち射水市内事業者5社）														継続	圏域内企業の販路拡大も図られており、今後、更なるビジネスマッチングの実現に向けて、効果が見込まれる展示会に積極的に参加していく。

事業名		地域資源ブランディング推進費		(7款 商工費	1項 商工費	2目 商工業振興費	)	決算書	101	ページ	担当部課	産業経済部商工企業立地課、観光まちづくり課、農林水産課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					19,982 【31,800】							
財 源 内 訳	国庫補助金				9,991				デジタル田園都市国家構想交付金事業（寿司を突破口としたブランディングによる関係人口増加プロジェクト事業）の事業開始による。			
	一般財源				9,991							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 寿司店等誘致事業 射水市の寿司文化の維持・継承に向けて、首都圏等から寿司店の誘致を図り、既存寿司店とともに食を通じた地域の新たな賑わいを創出するもの。 射水市への出店を検討する可能性のある寿司店及び飲食業者への意向把握調査の実施や、インフルエンサーを活用したPR活動として、出張寿司職人を招き新湊の魚の魅力を発信するイベントの開催（参加者5名）、首都圏で寿司店等を営む事業者を対象に市内モニターツアーを実施した。（参加者4名） 委 託 先 一般社団法人とやまのめ 委託期間 令和6年11月5日～令和7年3月7日 委 託 料 4,994千円										継 続	意向把握調査やモニターツアーなどを通じ、首都圏における射水市の認知度の低さや出店における地方自治体の積極的な支援策の重要性など、課題が浮き彫りとなった。 今後は課題の解消に努めながら、首都圏からの寿司店の誘致に向けた取組を行っていく。	
2 寿司PRイベント事業 (1)台湾での周知PR事業 台湾台北市にて、現地の観光事業者を対象に新湊漁港で水揚げされた魚、いみずサクラマスを使った寿司のPRイベントを開催し、本市の寿司の魅力をダイレクトに伝えた。（90社113名が参加） 委 託 先 いみず観光物産インバウンド発信会 委託期間 令和6年7月1日～令和7年3月31日 委 託 料 4,150千円 (2)きときと射水市フェア センチュリオンホテルヴィンテージ赤坂「農村BASE食堂」において、新湊漁港で水揚げされた魚、いみずサクラマスを使用した寿司を中心に、本市の農産物を含めたメニューを提供するポップアップ食堂を2か月間にわたってオープンし、本市の寿司の魅力PR及び地域の関係人口創出や拡大を図った。 委 託 先 (株)ナシカ 委託期間 令和6年10月1日～11月30日 委 託 料 2,805千円										継 続	令和7年度は、台湾高雄市や首都圏等で、引き続き寿司のPRイベントを開催し、本市の寿司の魅力を伝えていく。	

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
(3)廻転とやま鮨銀座「射水市フェア」 本市への誘客を目的に新湊漁港で水揚げされた魚、いみずサクラマスを使った射水市セットメニューを2週間にわたって提供し、本市の寿司の魅力を首都圏に向けて発信した。 委 託 先 (株)ピーライン 委託期間 令和6年12月25日～令和7年2月9日 委 託 料 2,920千円	
3 寿司人材育成事業 (1)寿司職人担い手育成事業 市内での新たな寿司店の開業や既存寿司店の後継者確保のため寿司職人を目指すきっかけづくりとなる事業として、若者向け寿司教室の開催や寿司職人にスポットを当てた動画の制作を行った。 ・寿司職人担い手育成業務委託 委 託 先 (一社)アルベルゴディフーズ新湊を拓く会 委託期間 令和6年11月15日～令和7年3月31日 委 託 料 2,937千円 (2)寿司チャレンジショップ事業支援補助金 市内で寿司店の開業を目指す者等が、市内のシェアキッチン等を活用し、市内で寿司を販売するチャレンジショップ事業を行う個人又は事業者を支援するための支援制度を整備した。	継続 若年層を中心に職業選択の一つとして寿司職人を意識してもらう事業を展開することで、将来においても市内の寿司文化が維持・継承できる基盤づくりに継続して取り組む。
4 寿司店等新規出店事業 市内で寿司を提供する料理店の新規出店を支援することにより、来訪者の増加による地域経済の活性化や新湊漁港で水揚げされる新鮮な魚介類や農産物の活用による地産地消の推進、また、アルコール醸造施設の進出を促すことにより、魚料理店とアルコール提供店との相乗効果による新たな価値の創造を図るため、高付加価値をつけるための厨房機器等の取得費用や賃貸借費用、アルコール醸造施設に必要な設備の取得及び賃貸借費用についての支援制度を整備した。	継続 今回制定した本制度の活用により、市内への寿司店の出店を検討する事業者があることから、引き続き、支援制度のPRを含め、新規出店を後押しする。
5 新規漁業就労者応援事業 ・担い手不足が顕在化している漁業従事者の生活環境・待遇を改善し、新たな漁業就労者の確保を図った。 新規漁業就労者数3人	継続 本事業により新規漁業就労者の確保につながった。引き続き、就業支援に取り組む。

事業名		消費生活安定対策費		(7款 商工費		1項 商工費		3目 消費者行政推進費		) 決算書		101 ページ		担当部課		市民生活部生活安全課													
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																			
				3,510 【3,724】		4,012 【4,436】												【4,755】											
財 源 内 訳	県補助金		407		42																								
	一般財源		3,103		3,970																								
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）															
1 消費者行政推進事業 振り込め詐欺や悪質商法等による被害防止のために、広く市民を対象とした消費生活相談や消費者講座による啓発活動を実施し、消費者の自立と意識向上を図った。 また、通話録音装置の貸与事業を継続し、特殊詐欺等の被害防止を図った。 ・消費生活相談 394件 （令和5年度 359件） ・消費者講座 14回 （令和5年度 19回） ・通話録音装置貸与台数 18台 （令和5年度 20台） <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>平成28-30年度平均</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>消費生活教室受講者数</td><td>908人</td><td>334人（ ）</td><td>1,300人</td></tr></table> 複数の大口団体からの受講申込みがなかったため、受講者数が大幅に減少したものの。														指標項目	基準	実績	目標	平成28-30年度平均	令和6年度	令和9年度	消費生活教室受講者数	908人	334人（ ）	1,300人	継続	市全域において幅広く消費者講座を実施し、振り込め詐欺や悪質商法等による被害の防止策について積極的に啓発した。 引き続き、消費者講座等で消費生活センターの知名度向上を図りながら、市民一人ひとりが知識と行動力を身に付けた自立した消費者となるよう支援していく。			
指標項目	基準	実績	目標																										
	平成28-30年度平均	令和6年度	令和9年度																										
消費生活教室受講者数	908人	334人（ ）	1,300人																										

事業名	観光推進費				(7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費)		決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			69,537	【78,005】	82,532	【89,300】		【107,235】		
財 源 内 訳	国庫補助金		1,146		7,962				観光事業費の細目を観光推進費に組み入れたこと、物価高騰対策による「いみず食泊割キャンペーン事業」の実施などによる。	
	基金繰入金		17,000		22,000					
	一般財源		51,391		52,570					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 越中だいもん風まつり 令和元年度以来、5年ぶりの開催となったが、地域の担い手の減少、高齢化により参加団体は25団体にとどまった。 （前回：令和元年度113団体） 来場者数：約5,000人 事業費 3,500千円 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度・3年度中止、令和4年度・5年度規模を縮小した代替イベントを開催									見直し	地元地域振興会や越中だいもん風の会等と、まつりの継承について協議していく。
2 富山新港花火大会 令和6年能登半島地震復興祈念大会としてナイアガラ花火の実施を含め盛大に開催した。また、観光庁の補助金も活用し、有料観覧席の増設を行い、新たな財源確保にも取り組んだ。 来場者数：約30,000人 事業費 4,500千円									継続	有料観覧席の更なる販売促進に努めるなど、持続可能な花火大会となるよう検討を重ねていく。
3 しんみなと魚魚マルシェ 令和6年能登半島地震の影響で、新湊漁港が甚大な被害を被るなど、紅ズワイガニの即売や新鮮な海産物等の販売が難しかったことから、「新湊カニかに海鮮白えびまつり」の代替イベントとして、クロスベイ新湊を会場にメインターゲットを若年層や子育て世代とし、新湊の魚を知って、食べて、学ぶ場の提供をコンセプトに開催した。 来場者数：約2,000人 事業費 2,240千円									見直し	事業の在り方について漁業関係者等と協議しながら、実行委員会で検討していく。
4 射水市コンベンション開催事業補助事業 学会、スポーツ大会等を主催する団体に対し、会場使用料や宿泊費を補助することにより、交流人口の拡大を通じた地域の活性化を図った。 ・ 補助団体数 6団体 ・ 事業費 641千円									継続	市内の宿泊施設やスポーツ施設等の利便性をPRするなどスポーツ大会やコンベンション誘致に努めた。 今後は新たに開業したホテルも含め更にPRを実施していく。
指標項目		基準	実績	目標						
		H28-H30平均	令和6年度	令和9年度						
コンベンション開催事業等での県外からの宿泊者数		263人	489人	2,000人						

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）	
5 いみず食泊割キャンペーン事業（物価高騰対策No.22）【交付金】 （一社）射水市観光協会に対し、閑散期における宿泊需要を拡大し、併せて飲食店への消費の波及を図ることで、物価高騰の影響を受ける市内の宿泊事業者及び飲食店を支援するため、宿泊料金等の50%（上限額あり）の割引キャンペーンを行う「いみず食泊割キャンペーン事業」に係る費用を助成した。 ・ 対象 希望した市内9宿泊施設 事業期間 令和7年2月7日～3月8日 ・ 事業費 6,800千円（利用者数 985人）				完了	冬季の誘客促進を図り、交流人口と消費の拡大につなげた。 引き続き、実施主体である射水市観光協会と連携し、誘客事業に取り組む。
指標項目	基準	実績	目標		
	H28-H30平均	令和6年度	令和9年度		
観光客入込数(1月～12月)	4,068,582人	3,370,559人	4,500,000人		

事業名		道の駅維持管理費（繰越明許）（ 7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費 ）				決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	一般財源			7,092	【7,092】				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 測量庭園整備工事 日時計及び歩測体験スペースを設置するなど、測量庭園整備工事を実施した。 ・施 工 期 間 令和6年8月20日～令和7年3月7日 ・工事請負費 7,092千円								完了	道の駅周辺エリアの活性化に向け、整備事業を進めていく。

事業名	道の駅維持管理費				(7款 商工費 1項 商工費 4目 観光費)		決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			33,753	【41,072】	14,385	【60,970】		【47】	道の駅整備事業費の細目を新設したことによる。		
財 源 内 訳	使用料		4,357		4,363						
	諸収入		7,905		8,407						
	一般財源		21,491		1,615						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 道の駅新湊管理運営事業 道路利用者に休憩の場を提供するとともに、観光客に対し本市が誇る地域資源の魅力や観光情報を提供するため、施設の適正な維持管理に努めた。 ・入館者数 586,508人（令和5年度610,451人）									見直し	更なる賑わい創出を図るため、民間事業者のアイデアやノウハウを最大限活用できるよう、施設の設計・施工・管理運営等を行う事業者を一体的に公募選考した。令和7年11月のリニューアルオープンに向け、着実に準備を進めていく。	
2 道の駅新湊等外構災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震により地盤沈下が生じたため、災害復旧工事に着手した。 ・施工期間 令和7年3月26日～10月31日 ・工事請負費 27,698千円									継続	早期の工事完了に向け、引き続き復旧工事に取り組む。	
(繰越明許費 46,300 千円) ・事業名 道の駅新湊等外構災害復旧工事【地震】 ・完了時期 令和7年10月											

事業名		道の駅整備事業費		(7款 商工費		1項 商工費		4目 観光費		)		決算書		102 ページ		担当部課		産業経済部観光まちづくり課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
						167,468 【382,147】				【805,190】									
財 源 内 訳	国庫補助金				25,410														
	市債				115,900														
	一般財源				26,158														
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 道の駅周辺エリア整備事業 (1)道の駅新湊等改修事業（継続費） 道の駅新湊及び旧新湊農村環境改善センターの建物を活用し、更なる賑わいの創出や射水ブランドの推進等に取り組むため、施設の設計・施工・管理運営等を一体的に行う民間事業者による整備を実施した。 道の駅新湊等大規模改修工事設計業務委託 ・委 託 期 間 令和6年5月1日～令和7年3月7日 ・委 託 料 19,470千円 旧新湊農村環境改善センター内外装解体工事【国1/2】 ・施 工 期 間 令和6年11月15日～令和7年2月27日 ・工 事 請 負 費 32,681千円 道の駅新湊（別館）大規模改修工事【国1/2】 ・施 工 期 間 令和6年12月24日～令和7年4月30日 ・工 事 請 負 費 333,300千円 (2)周辺エリア整備事業 道の駅新湊の周辺エリア整備として、市道作道228号線の付け替え工事及び駐車場増設工事を実施した。 市道付替え及び駐車場増設事業用地購入費 地権者5名、6,233㎡ 土地購入費 52,312千円 道の駅新湊周辺道路整備測量設計業務委託 ・委 託 期 間 令和6年6月13日～令和7年3月27日 ・委 託 料 13,725千円 道の駅新湊増設駐車場用地造成工事 ・施 工 期 間 令和7年3月18日～10月10日 ・工 事 請 負 費 44,880千円														継続 「道の駅周辺エリア基本構想」の具現化に向け、民間事業者のアイデアやノウハウを最大限活用した道の駅新湊等のリニューアルを進めるため、施設の設計・施工・管理運営等を一体的に行う民間事業者による整備を進めた。令和7年11月のリニューアルオープンに向け、着実に整備事業を進めていく。					

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
（継続費逓次繰越額 30 千円） ・事業名 道の駅周辺エリア整備事業 ・完了時期 令和7年11月	
（繰越明許費 214,647 千円） ・事業名 道の駅新湊増設駐車場用地造成工事 等 ・完了時期 令和7年11月	

事業名	観光交流センター管理運営費			(7款 商工費		1項 商工費		4目 観光費		)	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度			特記事項（決算規模の変動要因等）					
			129,823	【133,111】	133,079	【135,716】			【134,452】						
財 源 内 訳	使用料		7,455		5,689										
	諸収入		584		584										
	一般財源		121,784		126,806										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 観光交流センターの管理運営事業 / 指定管理者：新港ビル㈱ 観光交流センター（クロスベイ新湊）の管理運営に指定管理者制度を導入し、射水ベイエリア観光の発着点として、新湊地区の賑わい創出や地域活性化に取り組んだ。 また、クロスベイ新湊を核とした地域活性化を図るため、eスポーツ等の賑わい創出イベントを開催した。 ・来館者数 264,030人（令和5年度 289,087人） 賑わい創出イベント												継続	令和5年度から指定管理者制度を導入し、施設運営に民間活力を取り入れることで、更なる賑わい創出や地域活性化に取り組んでいく。		
イベント名				開催日		参加者									
キッズゲーマーズデイ IN IMIZU				令和7年3月30日		約180人									

事業名	観光推進費（繰越明許）			（ 7款 商工費	1項 商工費	4目 観光費	）	決算書	102 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
					6,300【6,300】						
財 源 内 訳	一般財源				6,300						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 射水寄ってかれクーポン事業補助金【地震】 （一社）射水市観光協会に対し、県内宿泊者が市内で利用できるクーポン付宿泊商品を販売する。 「射水寄ってかれクーポン事業」に係る費用を助成した。（1人1泊2千円を助成） 5,659枚のクーポン利用があり、市内への集客と消費拡大を図った。 事業費 6,300千円									完了	射水市内の誘客促進を図り、交流人口と消費の拡大につなげた。 誘客促進に係る事業については、今後も実施主体である射水市観光協会と連携して取り組む。	

8 款 土 木 費

事業名	道路橋梁総務費（繰越明許）			（	8款 土木費	1項 道路橋梁費	1目 道路橋梁総務費	）	決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部用地課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					7,694 【7,694】							
財 源 内 訳	一般財源				7,694							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 道路台帳検索システムデータ更新等業務 射水市が認定している道路の位置等を正確かつ効率的に把握するために、道路台帳属性データや道路網図の更新を行い、道路管理及び道路の整備計画等多目的な利用を推進した。 委託期間 令和6年3月25日～5月31日 委託料 1,496千円										継 続	令和5年度の道路台帳の修正箇所について、道路台帳属性データ及び道路網図の更新を行った。 引き続き、正確なデータの更新に努めていく。	
2 法定外公共物復旧修繕【地震】 令和6年能登半島地震により被害を受けた法定外公共物(道路や水路)のうち、陥没や亀裂等により通行に支障がある道路や側壁の倒壊やはらみ出しが発生した水路など、早急な修繕が必要なものについて応急復旧修繕を行った。 施工期間 令和6年2月～令和7年3月 修繕料 6,198千円											縮 小	令和6年能登半島地震により被害を受けた法定外公共物の修繕は概ね完了したが、引き続き、未対応の箇所について必要な処置を行っていく。

事業名	道路橋梁総務費			(8 款 土木費		1 項 道路橋梁費		1 目 道路橋梁総務費		決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部用地課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			131,138	【192,321】	112,724	【124,719】		【173,650】					
財 源 内 訳	使用料	一般財源	46,081	64,258	46,626	54,226							
	手数料		2		2								
	基金繰入金		8,950		0								
	諸収入		747		770								
	市債		11,100		11,100								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 防犯灯・道路照明灯ＬＥＤ化事業 防犯灯や道路照明灯をＬＥＤ化することにより、維持管理（電気料金含）コストの削減及び環境に配慮した低炭素社会の実現に貢献した。 【令和6年度】 リース 3,209基（防犯灯継続分 700基、道路照明灯新規分 2,509基）、新設5基											継 続	道路照明灯のＬＥＤ化に取り組み、ＬＥＤ化率は100％に達した。 街路灯（汎用型でない特殊形状の灯具）については、令和7年度において民間提案制度を活用したリースによるＬＥＤ化整備を予定しており、市内の全ての街灯のＬＥＤ化率100％を目指して整備を進める。	

事業名	市道新設改良費（繰越明許）		（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		2目 道路新設改良費		決算書		103 ページ	担当部課	都市整備部道路課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
					24,649	【24,649】								
財 源 内 訳	一般財源				24,649									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 市道新設改良事業 市道大江419号線 外2路線 ・ 工事請負費 市道大江419号線 外2路線 ・ 補償補填及び賠償金 市道本村常国線 外1路線											完了	引き続き、安全で安心して利用できる道路の整備を計画的に進めていく。		

事業名		市道新設改良費		(8款 土木費		1項 道路橋梁費		2目 道路新設改良費		決算書		103 ページ		担当部課		都市整備部道路課										
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
				75,347	【100,000】	38,485	【101,400】			【128,880】	市道大江419号線道路改良工事等が物件補償の影響で完了できなかったことによる。															
財 源 内 訳	市債			0		34,600																				
	一般財源			75,347		3,885																				
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）														
1 市道新設改良事業 生活に密着した市道の拡幅改良、舗装新設等を行い、快適で利便性の高いまちづくりの向上に成果があった。 市道本村常国線 外11路線 ・ 委託料 市道広上水源地線 外4路線 ・ 工事請負費 市道本江7号線 外10路線 ・ 補償補填及び賠償金 市道本村常国線 外1路線												継続	12路線に着手しており、引き続き、安全で安心に利用できる道路の整備を計画的に進めていく。													
(繰越明許費 62,915 千円) ・ 事業名 市道新設改良事業 ・ 完了時期 令和8年1月																										

事業名		地方道路交付金事業費（繰越明許）		（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		2目 道路新設改良費		）		決算書		103 ページ		担当部課		都市整備部道路課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）										
						125,950 【126,777】														
財 源 内 訳	国庫補助金				62,560															
	市債				10,000															
	一般財源				53,390															
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 社会資本整備総合交付金【国50/100（国55/100）】 市道朴木赤井線 外2路線 ・ 委託料 市道三ヶ34号線 外1路線 ・ 工事請負費 市道朴木赤井線 外1路線 ・ 補償補填及び賠償金 市道新町八塚線														完了	引き続き、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進めていく。					

事業名	地方道路交付金事業費			(8款 土木費		1項 道路橋梁費		2目 道路新設改良費)		決算書	103 ページ	担当部課	都市整備部道路課																	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																				
				133,741	【312,200】	64,552	【132,166】		【202,174】	市道大門針原線道路改良工事が物件補償等の影響で完了出来なかったことによる。																				
財 源 内 訳	国庫補助金		68,680		34,573																									
	市債		55,900		26,600																									
	一般財源		9,161		3,379																									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）																			
1 社会資本整備総合交付金【国50/100（国55/100）】 活力ある地域づくりを目指し、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、市内道路網の体系的な整備を行った。 また、通学路における歩道の設置など、安全・安心な歩行空間を確保し、快適に暮らせるまちづくりに成果があった。 ・ 市道三ヶ34号線 ・ 市道朴木赤井線 ・ 市道大門針原線 ・ 市道新町八塚線 <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>令和6度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>主要幹線道路の改良率</td><td>41.2% (2.7km)</td><td>57.3% (3.4km)</td><td>75.0% (4.7km)</td></tr><tr><td>歩道の設置割合</td><td>48.2% (132.5km)</td><td>48.1% (133.7km)</td><td>48.9% (135.5km)</td></tr></table>											指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6度	令和9年度	主要幹線道路の改良率	41.2% (2.7km)	57.3% (3.4km)	75.0% (4.7km)	歩道の設置割合	48.2% (132.5km)	48.1% (133.7km)	48.9% (135.5km)	継続	三ヶ34号線外3路線について、引き続き、市の地区間を連絡する道路、交通・物流拠点へのアクセス道路等、幹線市道の整備を計画的に進めていく。			
指標項目	基準	実績	目標																											
	令和4年度	令和6度	令和9年度																											
主要幹線道路の改良率	41.2% (2.7km)	57.3% (3.4km)	75.0% (4.7km)																											
歩道の設置割合	48.2% (132.5km)	48.1% (133.7km)	48.9% (135.5km)																											
(繰越明許費 66,974 千円) ・ 事業名 社会資本整備総合交付金事業 ・ 完了時期 令和7年9月																														

事業名		道路橋梁維持費（繰越明許）		（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		3目 道路橋梁維持費		決算書		104 ページ		担当部課		都市整備部道路課			
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
						71,426 【71,831】													
財 源 内 訳	国庫補助金				15,915														
	市債				18,500														
	一般財源				37,011														
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 道路維持管理事業 道路パトロール、市民からの情報提供及び自治会等からの要望を基に、道路構造物の補修及び更新を実施し、道路の適正な維持管理を行うことにより、安全で快適な道路環境の保全に成果があった。 ・ 補修工事及び修繕件数 45件												完了		修繕・補修工事を実施した。 引き続き、修繕・補修工事を行うとともに適正な維持管理に努め、道路の利便性の向上に取り組んでいく。					
2 道路舗装補修事業 道路舗装の補修を実施したことで、安全で快適な道路交通の確保に成果があった。 ・ 市道白石1号線舗装補修工事 外2路線												完了		道路舗装個別施設計画に基づき、3路線で舗装の補修工事を実施した。 引き続き、老朽化した道路舗装の補修を計画的に進めていく。					

事業名		道路橋梁維持費		(8款 土木費		1項 道路橋梁費		3目 道路橋梁維持費)		決算書		104 ページ		担当部課		都市整備部道路課								
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
				197,518 【271,452】		149,647 【267,647】				【285,668】		令和6年能登半島地震の影響による。												
財 源 内 訳	国庫補助金		15,915		5,423																			
	市債		32,100		9,900																			
	一般財源		149,504		134,324																			
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）												
1 道路維持管理事業 道路パトロール、市民からの情報提供及び自治会等からの要望を基に、道路構造物の補修及び更新を実施し、道路の適正な維持管理を行うことにより、安全で快適な道路環境の保全に成果があった。 ・ 補修工事及び修繕件数 98件												継続		修繕・補修工事を実施した。 引き続き、修繕・補修工事を行うとともに適正な維持管理に努め、道路の利便性の向上に取り組んでいく。										
2 道路舗装補修事業 道路舗装の補修を実施したことで、安全で快適な道路交通の確保に成果があった。 ・ 市道赤井生源寺線舗装補修工事 外2路線												継続		道路舗装個別施設計画に基づき、3路線で舗装の補修工事を実施した。 引き続き、老朽化した道路舗装の補修を計画的に進めていく。										
(繰越明許費 117,761 千円) ・ 事業名 道路舗装補修事業等 ・ 完了時期 令和7年12月																								

事業名	交通安全施設整備費（繰越明許）	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費	）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				1,653	【1,653】				
財 源 内 訳	国庫補助金			909					
	市債			700					
	一般財源			44					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 交通安全施設整備事業【国55/100】 通学路の安全を確保するため、路側帯のカラー化を実施した。 ・ 路側帯カラー路面標示 L = 475.0m								完了	歌の森小学校の通学路である市道戸破黒河線において、路側帯のカラー化を実施し、通学路の安全確保につながった。

事業名	交通安全施設整備費	（ 8款 土木費	1項 道路橋梁費	3目 道路橋梁維持費	）	決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		23,652	【25,331】	23,226	【23,228】		【29,140】		
財 源 内 訳	国庫補助金	3,602		3,458					
	基金繰入金	6,000		7,000					
	市債	2,600		2,500					
	一般財源	11,450		10,268					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 交通安全施設整備事業【国55/100】 住民の安全・安心及び快適な道路交通環境を確保するため、地区要望の中から早急に整備が必要な安全施設（反射鏡、防護柵、区画線等）を整備した。 ・ 補修工事及び修繕件数 N=49件 ・ 道路反射鏡 N=2基（新設） ・ 防護柵 L = 9.0m（新設） ・ 区画線 L = 10.4km								継続	多くの地区要望の中でも緊急性及び優先度の高い順に安全施設の整備を行った。 引き続き、安全で安心して利用できる交通安全施設の整備を進めていく。

事業名	まちなみ環境整備事業費			(8 款 土木費		1 項 道路橋梁費		3 目 道路橋梁維持費		決算書	104 ページ	担当部課	都市整備部用地課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				899	【1,114】	1,278	【1,439】		【6,381】				
財 源 内 訳	一般財源		899		1,278								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 まちなみ環境整備事業費 自治会や町内会が主体となって実施する道路の改良舗装工事や雨水排水路整備工事のほか、公共用地維持管理のための草刈機を購入する際の費用の一部を助成することで、地域の生活環境の改善を図ることができた。 ・道路改良舗装事業 2地区 ・雨水排水路整備事業 1地区 ・公共用地維持管理事業 5地区											継続	地域の要望に即した有効な補助事業であり、今後も継続的に事業を進めていく。	

事業名	橋梁長寿命化・耐震化対策事業費（繰越明許）		（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		3目 道路橋梁維持費		） 決算書		104 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
					102,696 【102,696】								
財 源 内 訳	国庫補助金				56,483								
	市債				36,100								
	一般財源				10,113								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費【国55/100】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道大島北野鷲塚線（小杉大橋）・市道小杉駅南線（駅南大橋）の補修工事を実施した。 ・ 委託料 橋梁詳細点検：橋長15m以上 N=9橋 橋長2m以上15未満 N=3橋 橋梁長寿命化修繕計画修正：N=35橋 ・ 工事請負費 補修・塗替塗装工事：橋長15m以上 N=2橋											完了	2橋（小杉大橋、駅南大橋）の補修・塗替塗装工事を実施したことにより、橋梁の長寿命化と通行者の安全確保につながった。	

事業名		橋梁長寿命化・耐震化対策事業費		(8款 土木費		1項 道路橋梁費		3目 道路橋梁維持費		決算書		104 ページ		担当部課		都市整備部道路課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				67,304【170,000】		72,511【151,462】												【208,500】
財 源 内 訳	国庫補助金		37,017		39,881													
	市債		20,200		23,000													
	一般財源		10,087		9,630													
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 橋梁長寿命化・耐震化対策事業費【国55/100】 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、市道市井藤巻線（藤巻2号橋）外5橋の補修工事を実施した。 ・ 委託料 補修設計：N=4橋 橋梁詳細点検：橋長15m以上 N=9橋 橋長2m以上15m未満 N=84橋 ・ 工事請負費 補修工事：橋長15m以上 N=3橋 橋長2m以上15m未満 N=3橋														継 続	6橋（駅南大橋、藤巻2号橋、小杉大橋、無名橋12、無名橋148、無名橋61）の補修工事を実施した。 関係機関との協議に時間を要したため、いずれの橋梁においても年度内の補修完了には至らなかった。 引き続き、安全・安心して利用できるよう補修工事を計画的に進めていく。			
指標項目			基準		実績		目標											
			令和4年度		令和6年度		令和9年度											
橋梁の補修割合			18.3% （11橋）		21.7% （13橋）		60% （36橋）											
（繰越明許費 78,951 千円） ・ 事業名 市道小杉駅南線（駅南大橋）橋梁補修工事外4工事 市道大門針原線（橋下条大橋）補修設計業務委託外2業務委託 ・ 完了時期 令和7年8月																		

事業名	除雪対策費			(8款 土木費	1項 道路橋梁費	4目 雪害対策費	)	決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部道路課														
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																
			389,252	【432,091】	771,137	【953,955】		【298,942】																	
財 源 内 訳	国庫補助金		23,282		122,486				大雪に伴う除雪対策のため、専決処分及び予備費充用にて予算の増額を行なったことによる。																
	県負担金		1,485		4,061																				
	一般財源		364,485		644,590																				
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																
1 道路除雪事業【国2/3】、臨時道路除雪事業費補助【国1/2】 冬期間の市民生活や社会活動の安定を図るため、除雪計画路線を機械除雪又は消雪装置により効率的に除排雪することで、安全で円滑な道路交通の確保に効果があった。 <除雪計画路線> <table><tr><td>区分</td><td>延長</td></tr><tr><td>市道</td><td>855.7km</td></tr><tr><td>うち機械除雪</td><td>532.0km</td></tr><tr><td>うち消雪路線</td><td>182.3km</td></tr><tr><td>計</td><td>714.3km</td></tr></table> <除雪機械台数及び協力業者数> <table><tr><td>除雪車</td><td>354台</td></tr><tr><td>協力業者</td><td>130社</td></tr></table> <除雪車出動日数> ・ 市内全域除雪（早朝・日中） 7日 ・ 排雪作業 17日 ・ 凍結防止剤散布 9日									区分	延長	市道	855.7km	うち機械除雪	532.0km	うち消雪路線	182.3km	計	714.3km	除雪車	354台	協力業者	130社	継続	センサーやカメラなどのIoTを活用した積雪及び路面状況の把握に努め、効率的な除排雪を行った。 引き続き、冬期間においても安全で円滑な道路交通の確保に努めていく。	
区分	延長																								
市道	855.7km																								
うち機械除雪	532.0km																								
うち消雪路線	182.3km																								
計	714.3km																								
除雪車	354台																								
協力業者	130社																								
(繰越明許費 55,932 千円) ・ 事業名 除雪対策費 ・ 完了時期 令和7年12月																									

事業名	地域ぐるみ除排雪促進費		(8款 土木費		1項 道路橋梁費		4目 雪害対策費		) 決算書	105 ページ	担当部課	都市整備部道路課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			1,579	【2,146】	5,113	【7,596】		【14,953】	小型タイヤショベルの購入により備品購入費が増額となったことによる。			
財源内訳	県補助金		331		1,348							
	一般財源		1,248		3,765							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 地域ぐるみ除排雪事業【県1/3】 冬期間における道路の円滑な交通確保のため、地域振興会や除排雪協議会等に小型除雪機械を貸与し、生活道路や歩道等の除排雪を地域ぐるみで行うことで、きめ細やかで市民ニーズに対応した道路利用の確保が図られた。 ・ 小型タイヤショベルの購入等 地域ぐるみ除排雪のため、新たに小型タイヤショベル1台を購入し、1団体の機械を更新した。 ・ 事業実施団体数 51団体 ・ 除雪機械台数 80台										継続	除雪機械の更新を1台行い、地域間の生活道路の交通確保を図った。 引き続き、地域と連携を図りながら地域ぐるみ除排雪に取り組み、冬期間における円滑な交通確保に努めていく。	
指標項目		基準	実績	目標								
		令和4年度	令和6年度	令和9年度								
地域ぐるみ除排雪機械台数		77台	80台	82台								

事業名		消雪施設維持管理費（繰越明許）		（ 8款 土木費		1項 道路橋梁費		4目 雪害対策費		） 決算書		105 ページ		担当部課		都市整備部道路課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
						7,132 【7,132】												
財 源 内 訳	国庫補助金						4,279											
	市債						2,800											
	一般財源						53											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 射水市消雪施設遠隔管理システム整備（その3）工事 ・ 消雪施設遠隔管理装置 N=29基														継 続	遠隔管理システム計画箇所147施設中94施設の整備が完了した。 引き続き、遠隔管理システムの整備を進め、降雪時の施設稼働状況や降雪状況、異常警報等を遠隔監視するとともに、遠隔操作により状況に合わせた適切な施設運用を行っていく。			
指標項目		基準		実績		目標												
		令和4年度		令和6年度		令和9年度												
消雪施設遠隔監視システムの導入割合		18.4% （ 27施設 ）		63.9% （ 94施設 ）		100% （ 147施設 ）												

事業名		消雪施設維持管理費		(8款 土木費		1項 道路橋梁費		4目 雪害対策費		)		決算書		105 ページ		担当部課		都市整備部道路課			
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）											
				198,899	【228,675】	219,443	【219,495】		【229,617】												
財 源 内 訳	国庫補助金			40,645		39,875															
	諸収入			926		1,235															
	市債			24,300		23,900															
	一般財源			133,028		154,433															
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 消雪施設維持管理費【国60/100】 冬期間の円滑な交通確保のために消雪施設の修繕・更新を実施した。 ・ 機械設備更新 N=3か所 ・ その他修繕 N=70か所														継続		消雪施設の修繕・更新工事を実施した。 今後も計画的に更新を行うとともに適正な維持管理に努めていく。					

事業名	河川管理費（繰越明許）			（ 8款 土木費		2項 海岸河川費		1目 海岸河川総務費		決算書	106 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				4,923	【4,923】	10,278	【10,600】						
財 源 内 訳	一般財源		4,923		10,278								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 和田川浸水対策基本方針策定業務 和田川沿川で発生した浸水被害の軽減に向けた「和田川浸水対策基本方針」を策定した。 委託先 (株)日水コン 北陸事務所 委託期間 令和6年3月18日～11月7日 委託料 7,731千円											完了	和田川浸水対策基本方針を策定した。 令和7年度は、基本方針を踏まえ、水門施設の改良に向けた設計業務を実施する。	
2 和田川浸水対策に関する業務 水門施設周辺に仮設排水ポンプを期間限定で設置し、河川水位上昇時における地域住民の安全・安心の確保に努めた。											完了	期間限定で仮設排水ポンプの設置を実施した。 引き続き、浸水対策を図ることで地域住民の安全・安心の確保に努めていく。	

事業名	河川管理費			(8款 土木費	2項 海岸河川費	1目 海岸河川総務費	)	決算書	106 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			29,823	【41,734】	30,653	【74,333】		【78,815】			
財 源 内 訳	県委託金		91		93						
	市債		0		5,900						
	一般財源		29,732		24,660						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 内川高潮対策施設及び和田川水門施設の適正管理 内川周辺や和田川に設置されている高潮対策施設及び水門施設の不具合を修繕し、適正な施設管理の実施により地域住民の安全・安心の確保に努めた。									継続	高潮対策施設及び和田川水門施設が適正な状態を保つよう修繕等を実施した。 今後も引き続き、適正管理に努めていく。	
2 河川関連施設の維持 下条川散策路及び庄川水辺の楽校のトイレ等の施設管理や除草・植栽管理を実施し、施設の利用者に対して良好な河川環境を整えた。									継続	河川関連施設を良好な状態を保つよう維持管理に努めた。 今後も引き続き、河川環境の保全を図っていく。	
3 準用河川施設の補修工事 準用河川前田川の張ブロック崩壊により堤防が破損する恐れがあるため、補修工事を実施した。									完了	河川施設が適正な状態を保つよう補修工事を実施した。 今後も引き続き、適正管理に努めていく。	
(繰越明許費 42,818 千円) ・ 事業名 和田川浸水対策に関連する事業 ・ 完了時期 令和7年12月											

事業名	海岸総務費	(8款 土木費	2項 海岸河川費	1目 海岸河川総務費	) 決算書	106 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		9,612 【10,336】		10,388 【12,952】				
財 源 内 訳	県委託金		3,902		4,279			
	一般財源		5,710		6,109			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 海老江海浜公園の清掃業務等委託業務【県1/2】 海老江海浜公園の「管理業務」、「樹木管理」を実施し、適切な管理を行い美観を維持するとともに、「海水浴場のパトロール」により安全・安心な利用環境を整えた。 ・ 海老江海浜公園管理業務委託 - 委 託 先 アースクリーン21 - 委 託 期 間 令和6年7月22日～7月31日 - 委 託 料 134千円 ・ 海老江海浜公園樹木等管理業務委託 - 委 託 先 (有)盛田造園 - 委 託 期 間 令和6年5月17日～令和7年3月19日 - 委 託 料 7,040千円 ・ 海老江海浜公園海水浴場パトロール等業務委託 - 委 託 先 N P O 法 人 T E A M A V A N T E - 委 託 期 間 令和6年6月10日～9月30日 - 委 託 料 1,500千円								継続 令和5年度までは、地元の海老江海浜公園美化委員会に公園の美観の維持管理を委託していたが、高齢化等により担い手不足となり、継続が困難となった。 令和6年度から専門業者に清掃業務を委託しており、令和7年度についても専門業者への業務委託を継続する。 引き続き、海老江海浜公園（海水浴場）の管理運営について、公民連携を基本とした民間活力の導入に向けて、県と協議していく。

事業名	みなとまちづくり事業費			(8款 土木費		3項 港湾費		1目 港湾総務費		)	決算書	106 ページ	担当部課	産業経済部観光まちづくり課 都市整備部河川・港湾課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			1,740 【4,163】		3,981 【4,819】		【2,625】		内川周辺エリアに賑わい創出に向けた各種事業の実施による。					
財源内訳	寄附金		0		1,000									
	一般財源		1,740		2,981									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 内川周辺エリアの賑わい創出 (1) 観光まちづくり講演会企画運営業務 内川周辺エリアの観光まちづくりを推進するため、「稼げる観光」を通じた「持続可能な地域づくり」の実現に向け、有識者を招いて市民とともに考える講演会を開催した。 委 託 者 株式会社ニューピース 委託期間 令和6年5月9日～5月31日 委 託 料 451千円 (2) 内川周辺まちなみづくり構想（サイン設置ガイドライン）策定業務 内川を訪れる方を誘導・案内する屋外公共サインの整備に当たり、内川のまちなみに配慮した在り方を検討しガイドラインを策定。 委 託 者 一般社団法人射水市観光協会 委託期間 令和6年9月17日～令和7年3月19日 委 託 料 1,162千円 (3) かわべの開放Weekendの実施 民間主体による内川沿いの公共空間の日常的な利用を促進するため、社会実験を実施するに当たり、周知するためのマップ及び広報用画像を作成した。 委 託 者 株式会社ワールドリー・デザイン 委託期間 令和6年9月9日～10月9日 委 託 料 161千円												継続	観光まちづくり講演会については、その後の内川未来戦略会議の実施へとつながった。 内川周辺まちなみづくり構想策定業務では、内川のまちなみに配慮した屋外公共サイン設置のガイドラインを作成し、令和7年度にサイン整備を進めることになった。 かわべの開放Weekendでは、10月18日から11月24日までの約1か月間毎週末の実施に変更し、より日常的な利用に向けた社会実験ができた。 今後とも、各取組を進め、内川周辺エリアの賑わい創出につなげていく。	

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）												
1 客船誘致促進事業補助金 クルーズ船の乗船客を市内に誘致することで、射水ベイエリアの賑わい創出を図るため、富山新港港湾振興会に対して補助金を支出したことにより、内川モニターツアー等を実施し、賑わい創出に成果があった。 令和6年4月7日 クルーズ船「ウェステルダム」（伏木港に寄港） 内川モニターツアー <table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><th>平成27年度-令和元年度</th><th>令和5-6年度</th><th>令和5-9年度</th></tr><tr><td>旅客船接岸数（累計）</td><td>5回</td><td>1回</td><td>8回</td></tr></table>				指標項目	基準	実績	目標	平成27年度-令和元年度	令和5-6年度	令和5-9年度	旅客船接岸数（累計）	5回	1回	8回	継続	日本のクルーズ市場は年々高まりを見せており、寄港回数を増やすことで、射水ベイエリアの賑わい創出を図っていく。
指標項目	基準	実績	目標													
	平成27年度-令和元年度	令和5-6年度	令和5-9年度													
旅客船接岸数（累計）	5回	1回	8回													

事業名	港湾建設促進費（繰越明許）				（ 8款 土木費		3項 港湾費		2目 港湾建設費		決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
					894【894】										
財源内訳	一般財源				894										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 堀岡船だまり泊地係留施設新設工事 港湾の機能充実等を図るため、県が単独で実施する港湾改良整備事業に対し、市がその費用の一部を負担したことにより、港湾施設の整備が促進され利便性の向上が図られた。【県6/10、市4/10】												完了	本事業により改良整備が行われたことで、港湾施設の利便性の向上が図られた。		

事業名	海王丸パーク活用推進費			(8款 土木費		3項 港湾費		3目 海王丸パーク活用推進費)		決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部河川・港湾課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			73,400	【75,366】	73,556	【76,734】		【73,305】						
財源内訳	国庫補助金		2,060		2,013									
	一般財源		71,341		71,543									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 （公財）伏木富山港・海王丸財団等への補助金及び負担金 海王丸パークのにぎわいを創出し、地域の活性化を図るため、（公財）伏木富山港・海王丸財団及び富山県に対して、帆船海王丸及び海王丸パークの維持管理やパークでの各種イベント等の実施に係る下記補助金等を支出した。 - 帆船海王丸保存活用等事業補助金 - 海王丸パーク等管理運営費補助金 - 海王丸パークイベント開催事業補助金 （公財）伏木富山港・海王丸財団への県派遣職員の給与等に対する負担金 - 海王丸パーク管理業務経費に関する負担金												継続	令和6年度も海王丸の総帆展帆をはじめ、各種イベントの実施やONES等 （注） の民間イベントの開催も含めて、にぎわい創出や交流人口拡大につなげた。 今後も射水ベイエリアの主要なコンテンツとして、より魅力的な観光名所となるよう、帆船海王丸を活用した人々の交流拠点として、にぎわい創出を図っていく。	

事業名		都市計画総務費（繰越明許）		（ 8款 土木費		4項 都市計画費		1目 都市計画総務費		決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
					6,890 【7,700】								
財 源 内 訳	県委託金				2,970								
	一般財源				3,920								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 射水市市街化区域編入支援業務委託 都市計画区域の区域区分の変更において、国と関係機関との調整に必要な調書等を作成した。 委 託 先 （株）日本海コンサルタント富山支店射水営業所 委 託 期 間 令和6年10月11日～令和7年3月19日 委 託 料 3,920千円											完了	都市計画区域の区域区分の変更手続きに必要な調書等を作成した。現在においても国など関係機関との協議が継続中であり、調整が整い次第、都市計画法に基づく手続を経て、都市計画決定を行う。	

事業名		都市計画総務費		（ 8款 土木費		4項 都市計画費		1目 都市計画総務費		決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			18,929 【19,248】		16,063 【16,527】								
財 源 内 訳	手数料		1,574		1,800								
	県補助金		124		120								
	諸収入		38		45								
	一般財源		17,193		14,098								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 小杉駅周辺地区まちづくり補助金 小杉駅周辺地区のまちづくりを推進するため、小杉まちづくり協議会に補助金を交付することにより、近隣住民、商業関係者、学生の幅広い意見を聞き、まちづくりに向けて具体的な将来像を描いた。											継続	小杉駅周辺地区のまちづくりの更なる推進に向け、引き続き小杉まちづくり協議会等の関係団体と連携しながら具体的な事業を検討する。	

事業名	地籍調査費			(8款 土木費	4項 都市計画費	1目 都市計画総務費	)	決算書	107 ページ	担当部課	都市整備部用地課											
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）													
			21,338	【21,703】	11,021	【11,991】		【20,791】														
財 源 内 訳	県補助金		14,597		8,004																	
	一般財源		6,741		3,017																	
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）													
1 地籍調査事業【国1/2 県1/4】 土地の位置や境界、面積等を明確にすることにより、土地取引や公共事業の円滑な実施等に効果が期待できる地籍調査事業を実施した。 (1) 広上1期・広上2期・広上3期地区 対象面積 A = 0.34km² 委 託 期 間 令和6年6月13日～令和7年2月28日 委 託 料 4,400千円 (2) 上野地区 対象面積 A = 0.16km² 委 託 期 間 令和6年6月13日～令和7年2月28日 委 託 料 2,181千円 (3) 本江針山地区 対象面積 A = 0.04km² 委 託 期 間 令和6年6月14日～令和7年2月28日 委 託 料 2,255千円 (4) 港町地区 対象面積 A = 0.06km² 委 託 期 間 令和6年6月14日～令和7年2月28日 委 託 料 1,760千円 <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>地籍調査実施率</td><td>22.2%</td><td>22.3%</td><td>25.1%</td></tr></table>									指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	地籍調査実施率	22.2%	22.3%	25.1%	継 続	現在実施中の広上地区、上野地区、港町地区において令和6年能登半島地震に伴う座標補正及び検証測量を実施した。検証測量の結果を踏まえ、広上、上野地区については次工程に進むこととし、港町地区については、再測量を検討していく。 また、本江針山地区において新たに地籍調査事業に着手した。 今後も土地取引の活性化や公共事業の円滑な実施に向けて、地籍調査を推進していく。	
指標項目	基準	実績	目標																			
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																			
地籍調査実施率	22.2%	22.3%	25.1%																			

事業名		街路事業費		(8款 土木費		4項 都市計画費		2目 街路事業費		決算書		108 ページ		担当部課		都市整備部都市計画課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				58,581	【58,581】	19,450	【19,468】		【14,793】									
財 源 内 訳	市債		53,600		12,800					(都)二口北野線整備事業における負担額の減による。								
	一般財源		4,981		6,650													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 都市計画道路整備事業（県事業） ・（都）二口北野線整備負担金 大島北野地内の慢性的な交通渋滞の解消と、歩行者や自転車の安全確保を図るため、事業用地の買収及び工事を実施した。												継続	慢性的な交通渋滞の解消と、安全で円滑な交通の確保を図るため、今後も、(都)二口北野線の未整備区間の整備促進を実施していく。					

事業名		都市再生整備事業費（繰越明許）		（ 8款 土木費		4項 都市計画費		3目 市街地整備費		決算書		108 ページ		担当部課		都市整備部都市計画課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
						5,318		【6,914】										
財 源 内 訳	一般財源					5,318												
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 都市構造再編集集中支援事業												完了	多様な居住者が住み続けられる魅力あるまちづくりを目標に整備計画を作成することができた。 令和7年度着手に向け、国の事業採択が受けられるように協議を実施する。					
・ 都市再生整備計画（小杉地区）策定支援業務委託																		
地域の核となる大型商業施設へ向かう安全な歩道の再整備や居心地の良い公園づくりを計画的に取り組み、子どもから高齢者まで多様な居住者が生き生きと暮らす魅力あるまちづくりのために計画を策定した。																		
委 託 先 (株)日本海コンサルタント富山支店射水営業所																		
委託期間 令和5年8月7日～令和6年8月30日																		
委 託 料 5,318千円																		

事業名	都市再生整備事業費			(8款 土木費	4項 都市計画費	3目 市街地整備費	)	決算書	108 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			2,849	【9,772】	123	【128】		【111,428】			
財 源 内 訳	一般財源		2,849		123						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 都市構造再編集集中支援事業 ・ 国の補助事業の採択に向け、国・県との調整を行い事業採択された。									継続	国の事業採択を受けて、多様な居住者が住み続けられる生活環境づくりや歩きたくなる歩道整備や賑わいのある公園整備を実施する。	

事業名	公園維持管理費（繰越明許）		（ 8款 土木費		4項 都市計画費		4目 公園費		決算書	108 ページ	担当部課	都市整備部都市計画課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					59,392 【64,915】							
財 源 内 訳	国庫補助金				14,000							
	市債				41,000							
	一般財源				4,392							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 公園復旧工事 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、復旧工事（22公園）を実施した。 ・委託料 99千円 ・工事請負費 27,148千円 2 公園施設長寿命化対策事業【国1/2】 令和2年度に策定した射水市公園施設長寿命化計画に基づき、小規模な都市公園の遊具の更新を実施した。										完了	公園の安全を確保するため、公園施設の修繕を行った。 また、射水市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を実施した。引き続き、公園施設の長寿命化を図っていく。	

事業名		公園維持管理費		(8款 土木費		4項 都市計画費		(4目 公園費		決算書		108 ページ		担当部課		都市整備部都市計画課					
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）									
				166,510【233,168】		226,013【265,919】						【235,261】				公園施設長寿命化対策事業の財源である社会資本整備総合交付金の内示額の増による。					
財源内訳	使用料		8,253		9,348																
	国庫補助金		10,000		44,800																
	諸収入		3,753		7,102																
	市債		12,600		30,700																
一般財源		131,904		134,063																	
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）									
1 公園維持管理及び遊具点検業務 都市公園（148か所）及びそれ以外の公園（152か所）の除草、剪定、防除等の維持管理や遊具の点検を実施した。 また、遊具点検結果を受け、遊具の損傷部等を修繕し、安全性を確保した。												継続	樹木や遊具等の公園施設の維持管理を図り、公園の安全を確保することができた。 引き続き、公園・緑地の適切な管理に努めていく。								
2 公園復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、復旧工事を実施した。 ・奈呉の江西公園災害復旧工事 A=3.3ha ・薬勝寺池公園災害復旧工事 園路復旧工 L=100m												完了	被害を受けた公園施設の復旧に努めた。								
3 公園施設長寿命化対策事業【国1/2】 令和2年度に策定した射水市都市公園長寿命化計画に基づき、大規模な都市公園の園路及び東屋の更新を実施した。 ・歌の森運動公園園路更新工事 A=869㎡ ・三日曽根公園東屋更新工事 N=1基 ・大島中央公園園路更新工事 A=1,510㎡												継続	公園施設長寿命化計画に基づき都市公園の施設の更新を実施した。 引き続き、公園施設の長寿命化を図っていく。								
指標項目		基準	実績	目標																	
令和4年度		令和6年度	令和9年度																		
都市公園長寿命化整備率		13.8%	33.8%	50.0%																	
基幹的な公園へのインクルーシブ遊具の設置数		-	1基	5基																	
(繰越明許費 38,686 千円) ・事業名 公園施設長寿命化対策公園園路更新工事 ・完了時期 令和8年3月																					

事業名	建築指導費			(8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費		決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				15,974	【16,320】	27,867	【109,312】		【44,407】	令和6年能登半島地震により被災した住宅の耐震改修や建替え、宅地の復旧等に対する支援事業の創設によるもの。（次年度予算繰越 継続事業）			
財源内訳	国庫補助金		2,909		5,461								
	県補助金		2,788		16,448								
	一般財源		10,277		5,958								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
【被災住宅等復旧支援事業】【地震】 1 射水市液状化被害住宅耐震改修等支援事業 準半壊以上：国、県、市合同支援事業 													

事業名		市営住宅維持管理費（繰越明許）		（ 8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費		） 決算書		109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課					
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
						7,057 【7,702】				【22,966】									
財 源 内 訳	市債					7,057				港町市営住宅、海王町市営住宅2号棟において、令和6年能登半島地震に伴う災害復旧工事を実施したことによる。									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 港町市営住宅災害復旧工事、海王町市営住宅2号棟災害復旧工事【地震】																			
（1）港町市営住宅復旧工事																			
施工期間				令和7年3月3日～3月14日		工事請負費		1,133千円		継続 引き続き、市営住宅の災害復旧事業を推進する。									
（2）海王町市営住宅2号棟駐車場復旧工事																			
施工期間				令和6年4月11日～6月28日		工事請負費		3,978千円											

事業名	市営住宅維持管理費		(8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費		) 決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			122,168 【130,589】		156,097 【200,894】				【110,331】		本江市営住宅及び、令和6年能登半島地震に伴う災害復旧工事を実施したことによる。	
財源内訳	使用料		88,946		57,248							
	国庫補助金		32,022		45,006							
	市債		1,200		53,843							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 市営住宅の長寿命化 本市の公営住宅について、効果的な改善事業を実施することにより、建築物のライフサイクルコストの縮減に向けて、計画的に推進することとして策定した「射水市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、長寿命化改善を行った。 (1) 本江市営住宅1号棟屋上・外壁改修工事（第 期）【国1/2】 施工期間 令和6年8月7日～令和7年2月28日 工事請負費 88,527千円										継続	計画に基づき、令和7年度は本江市営住宅1号棟において引き続き屋上・外壁改修工事（第 期）を実施することとし、以降も計画に沿って事業を推進していく。	
指標項目		基準	実績	目標								
		令和4年度	令和6年度	令和9年度								
公営住宅長寿命化改善率		21.4%	42.9%	71.4%								
2 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧のため、修繕工事を実施した。 (1) 海王町市営住宅2号棟駐車場乗入復旧工事 施工期間 令和6年4月3日～4月19日 工事請負費 1,297千円 (2) 海王町市営住宅3号棟配管ピット浸水対策工事 施工期間 令和6年4月8日～5月31日 工事請負費 1,034千円 (3) 海王町市営住宅3号棟外構災害復旧に伴う付帯工事 施工期間 令和7年3月10日～3月28日 工事請負費 2,002千円										継続	引き続き、海王町市営住宅3号棟において、能登半島地震に伴う災害復旧工事を実施していく。	
(繰越明許費 22,966千円) ・ 事業名 海王町市営住宅3号棟外構災害復旧工事、海王町市営住宅3号棟外構災害復旧工事に伴う付帯工事 ・ 完了時期 令和7年6月27日												

事業名	住まい・まちづくり費			(8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費		) 決算書	109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課										
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
			2,269	【7,786】	5,224	【9,888】		【11,484】															
財 源 内 訳	国庫補助金		672		1,500																		
	諸収入		500		0																		
	一般財源		1,097		3,724																		
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）											
1 空き家対策事業 (1) 支援事業 老朽危険空き家の所有者に対し、解体及び解体後の新築に対する支援を行い住環境の向上を図った。 ・ 老朽危険空き家解体補助（上限500千円）【国1/2】 ・ 老朽空き家解体補助（上限250千円） <補助実績> <table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td></tr><tr><td>危険空き家解体</td><td>3件</td><td>6件</td></tr><tr><td>老朽空き家解体</td><td>2件</td><td>6件</td></tr></table>												年度	令和5年度	令和6年度	危険空き家解体	3件	6件	老朽空き家解体	2件	6件	継 続	老朽危険空き家等の対策として、 空き家所有者による解体工事等に係 る費用の支援を継続し、住環境の維 持及び向上を図っていく。	
年度	令和5年度	令和6年度																					
危険空き家解体	3件	6件																					
老朽空き家解体	2件	6件																					

事業名		重点密集市街地整備費（繰越明許）		（ 8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費		決算書		109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
						7,889 【8,070】									
財 源 内 訳	国庫補助金					3,336									
	市債					2,400									
	一般財源					2,153									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 奈呉町第二街区物件移転補償他 奈呉町第二街区における密集市街地整備事業推進のため、地元住民および権利者等に対して個別面談を実施し、家屋調査、登記業務委託及び補償契約を行った。 補償契約 4件												継 続	引き続き、奈呉町第二街区で解体、家屋買収等を進め、事業の進捗を図っていく。 ・奈呉町第二街区（令和9年度完成予定）		
2 中町東部地区家屋解体 1棟 地区整備のために、老朽家屋の解体を行った。															

事業名		重点密集市街地整備費		(8款 土木費		6項 住宅費		1目 住宅管理費		決算書		109 ページ	担当部課	都市整備部建築住宅課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			135,359	【143,605】	47,655	【155,261】		【376,388】						
財 源 内 訳	国庫補助金		65,590		23,392			奈呉町第二街区（放生津町）における老朽建築物の買収及び家屋補償等において未相続案件が多数あったことによる。						
	市債		54,500		17,700									
	一般財源		15,269		6,563									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 放生津地区住宅市街地総合整備事業【国1/2】 安全で安心して暮らせる活気あるまちづくり推進のため、地元住民、自治会及び権利者等に対して合意形成を図り、説明会及び個別面談を実施し、老朽建築物等の買収を行うことにより、環境整備を図った。 (1) 個別面談の実施 土地利用の検討をするため、権利者に対して個別面談を実施した。 ・ 奈呉町第二街区 (2) 老朽建築物等買収 地区整備のために、権利者から老朽建築物等を買収した。 ・ 老朽建築物買収等 6棟												継 続	整備地区を6地区に分割して事業に取り組んでいる。 令和3年度に四十物町地区が完成し、6地区のうち中町西部、奈呉町第一、山王町、四十物町、中町東部地区の5地区の整備が完了した。 引き続き、奈呉町第二街区で地区測量等を進め、事業の進捗を図っていく。 ・ 奈呉町第二街区（令和9年度完成予定）	
(繰越明許費 107,448 千円) ・ 事業名 放生津地区住宅市街地総合整備事業 ・ 完了時期 令和8年3月31日														

9 款 消 防 費

事業名		常備消防費		(9款 消防費		1項 消防費		1目 常備消防費		決算書		110 ページ		担当部課		消防本部総務課																		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																								
				45,777	【46,303】	44,340	【93,507】		【92,736】																									
財 源 内 訳	使用料		103		838																													
	手数料		3,150		5,794																													
	県補助金		3,908		9,214																													
	諸収入		19,074		18,237																													
	一般財源		19,542		10,257																													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）																						
1 消防学校等への派遣 消防に必要な知識・技能を習得するために、消防大学校、県消防学校へ職員を派遣し、専門知識・技術を習得した。 また、現場活動に必要な資格も取得した。 <職員研修派遣状況> <table><tr><th>区分</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>消防大学校</td><td>1人</td><td>1人</td></tr><tr><td>県消防学校</td><td>18人</td><td>17人</td></tr><tr><td>研修・講習会</td><td>21人</td><td>21人</td></tr></table>												区分	令和5年度	令和6年度	消防大学校	1人	1人	県消防学校	18人	17人	研修・講習会	21人	21人	継 続	複雑多様化する消防業務において、迅速かつ的確に対応するため各種研修等を通し、職員個々における能力の向上が図られた。					今後も安全かつ確実な災害現場活動を実施するため、現場活動に必要な知識、技能を習得し、より一層の災害現場活動の向上を図っていく。				
区分	令和5年度	令和6年度																																
消防大学校	1人	1人																																
県消防学校	18人	17人																																
研修・講習会	21人	21人																																
(繰越明許費 46,857 千円) ・ 事 業 名 はしご車オーバーホール ・ 完 了 時 期 令和7年8月29日																																		

事業名	救急業務高度化事業費		(9款 消防費		11項 消防費		1目 常備消防費		決算書	110 ページ	担当部課	消防本部総務課																				
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																							
			12,622	【13,030】	11,391	【12,744】		【12,490】																								
財 源 内 訳	一般財源		12,622		11,391																											
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																						
1 救急講習会の実施 事業所・学校等の団体に対して講習会を開催することでA E Dの使用方法など応急手当に関する知識の普及啓発を図った。										継続	今後も受講者数の増加に努め、応急手当の普及啓発活動を継続していく。																					
2 救急隊員・救急救命士の養成 高度な救急サービスを可能にするため、消防学校や厚生連高岡病院等へ職員を派遣し、より高度な救命技術・知識を習得した救急隊員・救急救命士を養成した。 <研修派遣状況> <table><tr><td>区分</td><td>人数</td><td>区分</td><td>人数</td></tr><tr><td>救急救命士研修所（新規救命士）</td><td>1人</td><td>救急救命士研修所（指導救命士）</td><td>0人</td></tr><tr><td>県消防学校（救急科）</td><td>3人</td><td>気管挿管再教育病院実習</td><td>4人</td></tr><tr><td>実務病院実習</td><td>26人</td><td>薬剤投与病院実習</td><td>2人</td></tr><tr><td>気管挿管病院実習</td><td>1人</td><td></td><td></td></tr></table>											区分	人数	区分	人数	救急救命士研修所（新規救命士）	1人	救急救命士研修所（指導救命士）	0人	県消防学校（救急科）	3人	気管挿管再教育病院実習	4人	実務病院実習	26人	薬剤投与病院実習	2人	気管挿管病院実習	1人			継続	引き続き、救急救命士等の資質向上に必要な研修、病院実習に積極的に参加し、救命率向上を図っていく。
区分	人数	区分	人数																													
救急救命士研修所（新規救命士）	1人	救急救命士研修所（指導救命士）	0人																													
県消防学校（救急科）	3人	気管挿管再教育病院実習	4人																													
実務病院実習	26人	薬剤投与病院実習	2人																													
気管挿管病院実習	1人																															

事業名		消防団運営費		(9款 消防費		11項 消防費		2目 非常備消防費		)		決算書		111 ページ		担当部課		消防本部総務課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）										
				77,544	【92,753】	75,356	【88,932】		【90,160】											
財 源 内 訳	国庫委託金		0		1,134															
	県補助金		565		926															
	諸収入		1,038		83															
	一般財源		75,941		73,213															
主な事業内容・成果															評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 消防団の運営費 消防団員確保と運営の維持を図るとともに、団員の意識と資質の向上を図った。															継 続	消防団が地域に密着した活動を行うことにより、市民の防災意識の高揚、危機管理体制の充実が図られた。また、近年は地震や大雨など大規模災害が発生しており、消防本部と消防団との組織相互の連携体制を強化していく必要がある。				
指標項目			基準		実績		目標													
			令和4年度		令和6年度		令和9年度													
消防団員数			680人		660人		757人							継 続	地域における消防団活動を推進するとともに、消防団員の士気の高揚が図られた。 今後も地域防災力充実強化のため、地域や事業所等に消防団活動への理解と協力を求めていく。					
2 消防団員報償 消防団員の士気を高めるとともに家族の理解を深めるために、勤続5年以上、15年以上の団員と勤続30年以上の団員の家族を表彰した。																				
・ 優良団員表彰 39人 （令和5年度 56人） ・ 家族表彰 11人 （令和5年度 12人）																				
3 消防団の力向上モデル事業 事業名 射水市公式Vチューバー「いみず雫」を活用した消防団員入団促進事業 委託期間 令和6年5月30日～令和7年2月20日 委託料 1,134千円															継 続	射水市Vチューバー「いみず雫」の消防団バージョンイラスト・LINEスタンプを作成した結果、学生消防団員の入団が増え消防団の認知度向上が図られた。				

事業名		消火栓整備事業費		(9款 消防費		1項 消防費		3目 消防施設費		)		決算書		112 ページ		担当部課		消防本部総務課														
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																						
				22,709 【27,813】		29,223 【30,130】		【33,600】																								
財 源 内 訳	市債		22,700		29,100					消火栓2基の新設及び移設による。																						
	一般財源		9		123																											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）																		
1 消火栓整備事業 火災時に水利が不足する箇所に消火栓を整備し、消防水利の充実・強化を図った。 <消火栓整備状況> <table><tr><th>区分</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th></tr><tr><td>消火栓新設</td><td>0基</td><td>2基</td></tr><tr><td>消火栓移設</td><td>14基</td><td>14基</td></tr><tr><td>消火栓修理</td><td>9基</td><td>12基</td></tr></table>														区分	令和5年度	令和6年度	消火栓新設	0基	2基	消火栓移設	14基	14基	消火栓修理	9基	12基	継続	今後も消防水利の設置が少ない地域を考慮し消火栓の新設を進めるとともに、損傷している消火栓については適宜修繕を行っていく。					
区分	令和5年度	令和6年度																														
消火栓新設	0基	2基																														
消火栓移設	14基	14基																														
消火栓修理	9基	12基																														

事業名	防火水槽整備事業費			(9款 消防費		1項 消防費		3目 消防施設費		) 決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				4,631	【5,353】	42,724	【56,232】		【3,014】	一般県道姫野能町線道路改築工事の施工に伴う防火水槽の移転設置工事による。			
財 源 内 訳	諸収入		2,530		36,286								
	一般財源		2,101		6,438								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 防火水槽整備事業 作道地内防火水槽設置工事 施 工 期 間 令和6年8月16日～令和7年3月26日 工事請負費 41,162千円 水戸田地内防火水槽撤去工事 施 工 期 間 令和6年9月30日～令和7年3月25日 工事請負費 1,221千円											継続	設置する防火水槽については、設置が必要な箇所を見極め、整備を図っていく。	

事業名	通信施設整備事業費			(9款 消防費		1項 消防費		3目 消防施設費)		決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			43,589	【43,806】	48,277	【48,448】		【496,026】	気象情報収集装置オーバーホール及び無線局再免許申請費用の増による。					
財源内訳	一般財源		43,589		48,277									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 消防通信設備の維持管理 災害出動の受信・指令を行う、高機能消防指令システム等の適切な維持管理により、迅速な出動指令及び災害現場との情報伝達を確実に実施した。											継続	多種多様な災害通報（119番通報）等を受信し、消防隊等への出動指令業務を的確に行うことができた。 今後も迅速な出動指令及び情報伝達を確実に行うため、消防通信設備を適切に維持管理していく。		
2 通信関係保守点検業務委託 発信地表示システム情報提供に関する契約を締結し、正確な災害発生場所を瞬時に表示することができた。 ・緊急通報用電話に係る位置情報通知システム（統合型：NTT固定電話）の提供に関する契約 委託期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委託料 479千円											継続	保守業者及び指令員によって厳正に保守管理することにより、高機能消防指令システムを停止させずに稼働させることができた。 今後も適正に維持管理していく。		

事業名		消防車両整備事業費（繰越明許）		（ 9款 消防費		1項 消防費		3目 消防施設費		決算書		112 ページ		担当部課		消防本部総務課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
						67,737 【67,752】				高規格救急車及び消防団車両の更新の実施による。								
財 源 内 訳	寄附金				49,969													
	市債				17,700													
	一般財源				68													
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 高規格救急自動車及び消防団ポンプ自動車の更新 老朽化していた高規格救急車1台及び消防団車両1台の更新を行い、更なる消防力の強化を図った。 <更新車両>														継 続	災害に対応した最新の消防車両を導入することにより、消防力の維持が図られた。 今後も車両更新計画に基づき、消防車両の整備に取り組んでいく。			
区分				台数														
高規格救急自動車（新湊消防署）				1台														
消防団ポンプ自動車（浅井分団）				1台														

事業名		消防団拠点施設整備事業費		（ 9款 消防費		1項 消防費		3目 消防施設費		決算書	112 ページ	担当部課	消防本部総務課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
財 源 内 訳		63,786	【65,049】	86,985	【93,350】		【45,655】	堀岡分団屯所新築工事を実施したことによる。					
	市債	60,000		83,500									
	一般財源	3,786		3,485									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 消防団拠点施設整備事業 老朽化が著しい堀岡分団屯所の移転、新築工事を行った。 - 堀岡分団屯所新築工事 施工期間 令和6年6月10日～12月13日 工事請負額 76,883千円 - 堀岡分団屯所新築工事監理業務委託 委託期間 令和6年5月29日～12月13日 契約額 1,320千円 - 新湊分団屯所解体工事 施工期間 令和6年6月10日～8月30日 工事請負額 8,742千円											継続	消防団屯所を適正に維持管理・更新することにより、地域に密着した消防機関として災害防御の拠点となり、初動段階から各種災害に大きな役割を果たすことができた。 今後も地域防災力の強化を目的として施設等の整備を図っていく。	

事業名		消防庁舎等整備事業費		(9款 消防費		1項 消防費		3目 消防施設費		決算書		112 ページ		担当部課		消防本部総務課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
				248【264】		2,570【37,577】											
財 源 内 訳	一般財源			248		2,570											ガスバルクの更新等の工事を実施したことによる。
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 消防本部庁舎空調設備改修工事 ・射水消防署ガスバルク更新工事 施 工 期 間 令和6年6月14日～9月6日 工事請負額 1,430千円 ・射水消防庁舎(待機室)ロッカー増設工事 施 工 期 間 令和7年2月10日～3月31日 工事請負額 619千円													継 続	消防庁舎は、各種災害時における活動拠点となることから、円滑に災害活動が行えるよう維持管理を図っていく。			
(繰越明許費 35,000 千円) ・事 業 名 消防本部庁舎屋上防水工事 ・完 了 時 期 令和8年3月																	

10 款 教 育 費

事業名		教育委員会事務局費		(10款 教育費		1項 教育総務費		2目 事務局費		)		決算書		113 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）										
				113,128 【127,482】		141,072 【158,858】														【163,304】
財 源 内 訳	県補助金		1,559		1,697					賃金改定に伴う報酬等の増による。										
	寄附金		1,000		1,000															
	諸収入		100		100															
	一般財源		110,469		138,275															
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 学習サポーター（延42人）の配置 学習の理解に時間を要する児童生徒や集中して授業に取り組むことのできない児童生徒の学習支援を行った。														継続	小中学校に学習サポーターを配置し、きめ細かな指導に努めた。 今後も小中学校の実態に応じた配置に努め、学校内の支援体制の充実を図っていく。					
2 ティーム・ティーチング指導員（8人）の配置 生徒一人ひとりの理解度に応じた学習指導を行い、「わかる」「できる」と実感させ、生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を図った。														継続	全中学校にティーム・ティーチング指導員を配置し、きめ細かな指導に努めた。 今後も一人ひとりに寄り沿ったきめ細かな学習指導・生活指導を推進していく。					
3 特別支援教育指導員（1人）の配置 保護者や学校との相談、保育園・幼稚園への訪問など、増加及び多様化する就学に関する支援体制の充実を図った。														継続	専任職員を配置し、保護者の就学相談や教員への指導助言などを行えた。幼児期から小学校の児童期への円滑な接続のための指導や環境づくりを推進していく。					
4 いみず鳳雛きらめき塾 意欲のある中学生（鳳雛）に対し、東京で活躍している本市や本県にゆかりがある起業家等と交流する機会を設けることで、グローバルでたくましい人材育成を図った。 ・ 参加学校 新湊南部中学校・射北中学校・大門中学校 ・ 参加人数 6人（各校2人）														継続	新しい時代を切り拓くグローバルな人材育成の観点から、素晴らしい体験と刺激を得る機会であるため、継続して実施していく。					

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）
5 コミュニティ・スクール導入推進事業 コミュニティ・スクール（ＣＳ）推進を図るため、ＣＳマイスターを講師とした説明会や先進地視察を実施した。 市内全小中学校に学校運営協議会を設置するとともに、学校支援コーディネーターを委嘱し、学校支援ネットワークの構築に向けて取組を支援した。	継続 コミュニティ・スクール（ＣＳ）推進を図るため、説明会や先進地視察を実施した。ＣＳ導入後も学校や地域社会が一体となって子どもたちの健全育成に取り組むため、継続して実施していく。

事業名	奨学金事務費		(10款 教育費		1項 教育総務費		2目 事務局費		) 決算書	113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			5,180	【6,360】	6,060	【7,440】		【8,040】	奨学金貸与月額上限額の増による。			
財 源 内 訳	諸収入		5,180		6,060							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 奨学資金事業 経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学資金の貸与を行った。 ・ 貸与実績 大学生13人										継続	奨学資金を貸与することで、有用な人材の育成につなげた。 今後も審査会を実施の上、適切な人材を選考し、人材の育成及び定住人口の増加を図るため、奨学金を貸与する。	

事業名		学校図書館活動推進費		(10款 教育費		1項 教育総務費		2目 事務局費		決算書		113 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				37,877	【40,842】	46,473	【49,440】		【48,640】	賃金改定に伴う報酬等の増による。				
財 源 内 訳	寄附金		100		100									
	一般財源		37,777		46,373									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 学校司書の配置 全小中学校へ学校司書を各1人配置した。（小学校 15人、中学校 6人） 学校司書の研修会を年2回開催し、専門家による講義・指導や、学校間の意見・情報交換により他校の取組を参考に するなど、学校司書の資質向上と学校図書館の利用促進を図った。											継 続	教員と学校司書が協力し、読書活動や調べ学習等で学校図書館を活用している。 今後も学校図書館の有効活用に向け、学校司書の資質向上を図っていく。		
2 児童生徒用図書の購入 学校図書館の蔵書の充実を図るため、小学校で3,872冊、中学校で1,894冊を購入した。												継 続	小学校、中学校ともに国が示す蔵書冊数に達している。児童生徒に有益であり、関心の持てる図書の選書に努めるとともに、図書の展示や紹介を工夫するなど、児童生徒の読書意欲の向上を図っていく。	

事業名		教育相談費		(10款 教育費		1項 教育総務費		3目 教育センター費		決算書		114 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課			
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
				9,174 【10,110】		13,208 【14,160】				【17,133】		校内教育支援センターの新設による。							
財 源 内 訳	国庫補助金		0		1,149														
	一般財源		9,174		12,059														
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 教育相談事業												継続	児童生徒、保護者や教職員の悩みや不安等の心の問題を改善、解決するため、相談体制を整えたことにより、相談者の生活改善等につながった。 今後も適切にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、外国人相談員等を配置し、相談支援を図っていく。						
(1) 認定カウンセラーによる相談業務																			
布目分庁舎内相談室で週2回の教育相談を行い児童生徒、保護者の精神的な負担軽減を図った。 また、要請のあった学校において相談活動を展開し、児童生徒、教師のカウンセリングを行った。 ・ 来所相談等 505件 （令和5年度 386件）																			
(2) スクールソーシャルワーカーによる支援																			
家庭、学校、関係機関をつなぎ、児童生徒、保護者の精神的な負担軽減、生活改善に貢献した。 ・ 訪問活動回数 1,649回 （令和5年度 1,568回）																			
(3) 外国人相談員による支援																			
日本語指導が必要な外国人児童生徒への日本語指導及びその保護者を支援した。 ・ 訪問活動回数 265回 （令和5年度 229回）																			
(4) 小・中学校家庭教育専門支援員による相談業務																			
児童生徒の抱える問題の解決に向けて学校や関係機関等と調整を行った。 ・ 訪問活動回数 253回 （令和5年度 262回）																			
(5) 校内教育支援センターによる相談業務（新規）																			
教室に入りづらさを感じている児童生徒に安心して学ぶことができる居場所を設置し学校への登校に繋がった。 ・ 設置校 小学校4校、中学校1校 ・ 利用人数 46人 ・ 利用回数 1,009回																			

事業名	教育支援センター運営費			(10款 教育費		1項 教育総務費		3目 教育センター費		)		決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課				
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）										
			8,021	【8,955】	11,114	【11,461】		【11,874】	賃金改定に伴う報酬等の増による。										
財 源 内 訳	一般財源		8,021		11,114														
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 教育支援センター運営事業（指導員3人雇用） 不登校児童生徒の再登校を支援するため、教育支援センターを設置し、生活の指導や学校復帰、高等学校進学に向けて、基礎的・基本的学習内容を身に付けるよう努めた。 ・ 通級児童生徒数 28人 （令和5年度 26人） ・ 体験通級児童生徒数 22人 （令和5年度 17人）													継続	不登校児童生徒が通いやすい環境を整えるとともに、抱えている心理的な問題等の軽減を図りながら、自立する力やより良い人間関係づくりができるための支援を行った。 今後も相談体制を強化し支援を継続していく。					

事業名	学力向上対策事業費				(10款 教育費		11項 教育総務費		3目 教育センター費		) 決算書	114 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課												
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																	
			9,250	【9,838】	12,219	【12,742】		【12,916】																		
財 源 内 訳	県補助金		1,560		1,697				イングリッシュ・キャンプ事業の再開による。																	
	諸収入		0		165																					
	一般財源		7,690		10,357																					
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）														
1 小学生学び応援塾【国1/3 県1/3】 小学3年生を対象に、放課後に算数の補充学習を実施した。参加児童の理解度に合わせながら個別指導を行い、算数の基礎の定着と学力向上を図った。 ・参加児童数 各校20人（実施校：作道、小杉、太閤山、大門、大島） ・実施回数 約25回/年 <table><tr><td rowspan="2">指標項目</td><td>基準</td><td>実績</td><td>目標</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>「授業がよくわかる」児童生徒の割合</td><td>小学校93.4% 中学校85.9%</td><td>小学校93.3% 中学校88.2%</td><td>100%</td></tr></table>												指標項目	基準	実績	目標	令和4年度	令和6年度	令和9年度	「授業がよくわかる」児童生徒の割合	小学校93.4% 中学校85.9%	小学校93.3% 中学校88.2%	100%	継続	一人ひとりのつまづき箇所を発見し、丁寧に指導することで、全ての参加児童の理解が深まり、学習意欲が高まった。 年度の実施校数を維持しながら、事業を継続していく。		
指標項目	基準	実績	目標																							
	令和4年度	令和6年度	令和9年度																							
「授業がよくわかる」児童生徒の割合	小学校93.4% 中学校85.9%	小学校93.3% 中学校88.2%	100%																							
2 学び高め合う集団づくり支援事業 W E B 形式の学級診断尺度調査（Q - U 調査）を全小中学校に導入し、早期に学級集団の特性の把握分析を行い、学級生活への満足度と意欲を高める学級経営の実現を図った。また、「学び高め合う集団づくり支援事業」の推進校へ、授業における学び高め合いと「いじめ・不登校予防対策」を支援するため、教育アドバイザーを派遣した。 令和6年度推進校・・・射北中学校区（射北中、片口小、堀岡小、東明小） 小杉中学校区（小杉中、小杉小、太閤山小、下村小）												継続	W E B 形式による学級診断尺度調査（Q - U 調査）で、個々の児童生徒の学級生活への意欲や満足感及び学級集団の状態等を把握し、授業や指導等に役立てた。 引き続き、教育アドバイザーを積極的に活用しながら、事業を継続していく。													
3 イングリッシュ・キャンプ事業 グローバル人材の育成のため、小・中学生の55名を対象に「イングリッシュ・キャンプ」を実施した。実践的な英語力の向上と英語への理解や興味の促進及び教職員の指導力の向上を図った。												継続	児童生徒の英語力の向上及び外国文化への理解・興味を促進するため、引き続き事業を継続していく。													

事業名		学校給食センター管理費		(10款 教育費		1項 教育総務費		4目 学校給食センター費		決算書		114 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				111,888	【113,037】	117,205	【123,545】		【120,568】									
財 源 内 訳	一般財源		111,888		117,205													
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 学校給食調理等・搬送事業 受配校への安全安心な給食の配給に努めた。 ・年間給食日数 205日（令和5年度 205日） ・年間給食数 延べ 432,082食（令和5年度 延べ 442,966食）													継続	小学校6校、中学校3校、幼稚園1施設の給食調理及び搬送について、適切な衛生管理に努めた。 今後も安全で安心な学校給食の実施に努めていく。				
2 地場産食材の活用 地産地消を促進するため地場産食材の活用に努めた。 ・射水市産食材の使用割合 14.9%（令和5年度 14.6%） ・富山県産食材の使用割合 40.6%（令和5年度 39.6%）														継続	積極的な地場産食材の使用に努めた。 今後も学校給食に携わる栄養教諭等で構成する献立作成会において、地場産食材を使ったメニューを検討していく。			
(繰越明許費 5,690千円) ・事業名 LPガス気化器更新工事 ・完了時期 令和7年8月																		

事業名	学校管理費（小）（繰越明許）			（ 10款 教育費		2項 小学校費		1目 小学校管理費		） 決算書		115 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
					3,914 【4,800】									
財 源 内 訳	一般財源				3,914									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 太閤山小学校放送卓更新工事 老朽化により故障した放送卓を更新することにより、学校生活環境の維持及び改善を図った。 工期 令和6年7月25日～10月30日 契約額 3,914千円												完了	放送卓の更新により、学校生活環境の維持改善を図った。今後も適切な管理を行う。	

事業名	学校管理費（小）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	1目 小学校管理費	）	決算書	115 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		156,240	【175,033】	167,958	【234,420】		【175,352】		
財 源 内 訳	使用料		169		203				
	県補助金		492		474				
	基金繰入金		2,000		2,000				
	一般財源		153,579		165,281				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、児童への指導や保護者と連絡をするため、A I 通訳機を配置した。								継続	日本語指導が必要な児童及び日本語が理解できない保護者との意思疎通に取り組んだ。 引き続き、支援を実施していく。
2 統合型校務支援システム運用事業 令和2年度に整備が完了した統合型校務支援システムを活用し教員の事務の効率化、長時間勤務の軽減及び教育の質の維持及び向上を図った。 ・ 事業費 15,240千円（小学校15校分）								継続	システムの利用状況を確認し、より有効的にシステムが活用できるよう支援及び改善を実施していく。
3 大島小学校給湯器更新工事 故障した給湯器を更新することにより、学校生活環境の維持改善を図った。 工期 令和6年12月10日～令和7年1月8日 契約額 2,176千円								完了	給湯器の更新により、学校生活環境の維持改善を図った。今後も適切な管理を行う。
4 金山小学校給食室エアコン故障取替工事 故障したエアコンを更新することにより、学校機能の維持改善を図った。 工期 令和7年3月12日～3月31日 契約額 2,056千円								完了	エアコンの更新により、学校機能の維持改善を図った。今後も適切な管理を行う。
（繰越明許費 58,344 千円） ・ 事業名 中太閤山小学校照明LED化工事及び大門小学校地下タンク廃止工事 ・ 完了時期 令和8年1月									

事業名	学校給食費（小）	（ 10款 教育費	2項 小学校費	1目 小学校管理費	）	決算書	115 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		130,065	【145,297】	157,853	【165,392】		【158,157】		
財 源 内 訳	国庫補助金	7,630		24,577					
	一般財源	122,435		133,276					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 学校給食の食材費高騰対策補助（小学校15校分）（物価高騰対策№23）【交付金】 令和6年4月から令和7年3月までの児童に係る学校給食食材購入費の物価高騰による学校給食食材費の一時的な高騰分を市が負担した。 学校給食食材費高騰対策補助 24,577千円								継続	学校給食費における保護者の負担軽減を図ることができた。 今後については、状況に応じて支援の実施内容等を検討していく。
（繰越明許費 1,785 千円） ・事業名 大門小学校冷凍庫購入 ・完了時期 令和7年8月									

事業名	教育振興運営費（小）			（ 10款 教育費		2項 小学校費		2目 教育振興費		決算書	116 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				204,713	【209,256】	256,590	【260,560】		【484,083】	端末を活用したＩＣＴ教育をより一層推進するため、教職員用の高性能学習専用端末を整備したことによる。			
財源内訳	国庫補助金	一般財源	3,658	191,464	2,080	244,311							
	県補助金		1,925		1,833								
	県委託金		366		366								
	寄附金		300		0								
	基金繰入金		7,000		8,000								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 教育環境の整備【国1/2】 小学校12校に理科・算数教育備品を整備し、教育環境の充実を図った。											継続	新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き、環境整備を図っていく。	
2 A L T の配置 国際理解教育推進のため、外国語指導助手（A L T ）を配置し、英語教育の充実を図った。 ・ 全小学校の5・6年生を対象に5人配置											継続	国際理解教育の充実及び英語教育における実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、事業を継続していく。	
3 射水っ子体力アップ応援事業【県1/3】 小学校体育の授業に体づくりや陸上競技の専門的指導者を派遣し、児童に指導を行うことで、児童の体力向上と運動への興味・関心を高めた。											継続	各学校の児童が自主的に運動を楽しむ活動と時間の確保に努めており、事業を継続していく。	
4 児童生徒1人1台端末整備事業 G I G Aスクール構想実現のため整備した児童に1人1台端末や授業支援システム等を活用したＩＣＴ教育を推進した。 ・ 事業費 81,503千円（小学校15校分） 端末を活用したＩＣＴ教育をより一層推進するため、教職員用の高性能学習専用端末を整備した。 ・ 事業費 11,935千円（100台）											継続	整備したＩＣＴ機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や児童の発達段階に応じた体系的な指導に取り組んでいく。	
指標項目					基準	実績	目標						
					令和4年度	令和6年度	令和9年度						
授業でICT機器を「ほぼ毎日」使用した児童生徒の割合（小学校）					-	%	9.5%	100.0%					

事業名	就学援助費（小）			（ 10款 教育費		2項 小学校費		2目 教育振興費		決算書	116 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			46,936	【55,545】	43,613	【46,849】		【54,275】					
財 源 内 訳	国庫補助金		1,951		2,254								
	一般財源		44,985		41,359								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 就学支援事業 経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対し、給食費、学用品費、オンライン学習通信費等を援助した。 【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】 ・ 就学援助受給児童数 454人 （令和5年度 487人） ・ 特別支援教育就学奨励費受給児童数 128人 （令和5年度 115人）											拡 充	経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者への支援を実施し、教育の機会均等を図った。 国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は、年々「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、本市の就学援助制度の拡充を図る。	

事業名	放生津・新湊統合小学校整備費(繰越明許)		(10款 教育費		2項 小学校費		3目 学校建設費		)	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
					76,450【85,000】								
財 源 内 訳	一般財源				76,450								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1（仮称）放生津・新湊統合小学校改修工事設計業務委託 統合小学校の施設として活用するため、現新湊小学校の改修工事設計を実施した。 委託期間 令和5年9月15日～令和7年3月27日 委託料 76,450千円											完了	令和7年度・令和8年度での工事実施に向け、設計業務を完了した。	

事業名		放生津・新湊統合小学校整備費（ 10款 教育費 2項 小学校費 3目 学校建設費 ）			決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		0	【85,000】	18,598	【35,514】		【1,052,740】	
財 源 内 訳	一般財源		0	18,598				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 放生津小学校改修工事及び付帯工事 令和9年3月まで、放生津小学校の校舎を暫定利用するための改修工事（新湊小児童を受け入れるための対応）を実施した。 工期 令和6年9月18日～令和7年3月31日 契約額 29,469千円（うち、令和6年度支出額：12,573千円）								継続 校舎を暫定利用するための改修工事に取り組んだ。学校運営に支障が生じないよう令和7年度に事業を繰り越し、工事を実施する。
（繰越明許費 16,909 千円） ・事業名 放生津小学校改修工事及び付帯工事 ・完了時期 令和7年4月								

事業名		片口小学校整備費（繰越明許）		（ 10款 教育費		2項 小学校費		3目 学校建設費		決算書		117 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課				
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）						
						302,738 【303,540】														
財 源 内 訳	国庫補助金						29,469													
	市債						253,800													
	一般財源						19,469													
主な事業内容・成果																評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 片口小学校プール改築工事【国1/3】 老朽化が著しい学校水泳プールの改築工事を行った。 工期 令和6年4月26日～令和7年3月25日 契約額 299,288千円																完了	老朽化が著しい学校水泳プールの改築工事を行い、教育環境の改善を図った。			
2 片口小学校プール改築工事監理業務委託 学校水泳プール改築工事の監理業務委託を行った。 委託期間 令和6年4月24日～令和7年3月25日 委託料 3,410千円																				

事業名		中太閤山小学校整備費（繰越明許）		（ 10款 教育費		2項 小学校費		3目 学校建設費		） 決算書		117 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
						261,563 【276,433】												
財 源 内 訳	国庫補助金						29,702											
	市債						182,500											
	一般財源						49,361											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 中太閤山小学校プール改築工事【国1/3】 老朽化が著しい学校水泳プールの改築工事を行った。 工期 令和5年6月19日～令和6年5月27日 契約額 258,467千円														完了	老朽化が著しい学校水泳プールの改築工事を行い、教育環境の改善を図った。			
2 中太閤山小学校プール改築工事監理業務委託 学校水泳プール改築工事の監理業務委託を行った。 委託期間 令和5年6月14日～令和6年6月14日 委託料 3,080千円																		

事業名		学校管理費（中）（繰越明許）		（ 10款 教育費		3項 中学校費		1目 中学校管理費		決算書		117 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
						78,976 【83,700】												
財 源 内 訳	国庫補助金						12,536											
	市債						61,600											
	一般財源						4,840											
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 小杉中学校放送卓更新工事 老朽化により故障した放送卓を更新することにより、学校生活環境の維持改善を図った。 工期 令和6年4月8日～5月17日 契約額 4,675千円														完了	放送卓の更新により、教育環境の改善を図った。			
2 新湊南部中学校空調設備改修工事【国1/3】 老朽化した空調設備の大規模改修により、学校生活環境の維持改善を図った。 工期 令和6年4月12～12月12日 契約額 73,817千円														完了	空調設備の改修により、教育環境の改善を図った。			

事業名	学校管理費（中）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	1目 中学校管理費	）	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		77,336	【165,494】	76,652	【81,049】		【86,790】		
財 源 内 訳	使用料	15		13					
	基金繰入金	1,000		1,000					
	市債	3,400		0					
	一般財源	72,921		75,639					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 外国人児童生徒等支援事業 外国人相談員等の不在時でも、生徒への指導や、保護者と連絡をするため、A I 通訳機を配置した。								継続	日本語指導が必要な生徒及び日本語が理解できない保護者との意思疎通に取り組んだ。 引き続き、支援を実施していく。
2 統合型校務支援システム運用事業 令和2年度に整備が完了した統合型校務支援システムを活用し教員の事務の効率化、長時間勤務の軽減及び教育の質の維持及び向上を図った。 ・ 事業費 6,102千円（中学校6校分）								継続	システムの利用状況を確認し、より有効的にシステムが活用できるよう支援及び改善を実施していく。
（ 繰越明許費 901 千円 ） ・ 事業名 射北中学校高圧受変電設備（気中開閉器・避雷器）更新工事 ・ 完了時期 令和7年10月									

事業名	学校給食費（中）	（ 10款 教育費	3項 中学校費	1目 中学校管理費	）	決算書	117 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
		58,629	【63,964】	71,375	【75,301】		【73,943】		
財 源 内 訳	国庫補助金	6,468		13,133					
	一般財源	52,161		58,242					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 学校給食の食材費高騰対策補助（中学校6校分）（物価高騰対策№24）【交付金】 令和6年4月から令和7年3月までの生徒に係る学校給食食材購入費の物価高騰による学校給食食材費の一時的な高騰分を市が負担した。 ・ 学校給食食材費高騰対策補助 13,133千円								継 続	学校給食費における保護者の負担軽減を図ることができた。 今後については、状況に応じて支援の実施内容等を検討していく。

事業名	教育振興運営費（中）			（ 10款 教育費		3項 中学校費		2目 教育振興費		決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			107,364	【118,545】	107,361	【120,128】		【281,795】					
財 源 内 訳	国庫補助金	一般財源	1,463	91,917	832	86,612							
	県補助金		4,448		5,602								
	県委託金		4,536		5,315								
	寄附金		0		3,000								
	基金繰入金		5,000		6,000								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 A L T の配置 国際理解教育推進のため、外国語指導助手（ A L T ）を配置し、英語教育の充実を図った。 ・ 全中学校を対象に4人配置											継続	国際理解教育の充実及び英語教育における実践的なコミュニケーション能力を身に付けるため、事業を継続していく。	
2 スポーツエキスパート派遣事業【県1/3】 運動部活動支援のため、生徒に専門的な技術指導を行うスポーツエキスパートを配置し、運動能力の向上を図った。 ・ 全中学校を対象に23人配置											継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員への移行を踏まえながら、適宜配置を継続していく。	
3 部活動指導員配置促進事業【国1/3 県1/3】 部活動の技術指導や大会への引率等を単独で行うことができる部活動指導員を配置し、教員の負担軽減を図るとともに、部活動の質の向上を図った。 ・ 全中学校を対象に15人配置											継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。教員の負担軽減を図るため、事業を継続するとともに、地域展開を含めた更なる負担軽減を推進していく。	
4 文化部等講師派遣事業 文化部活動等支援のため、吹奏楽、箏等の指導員を配置し、技術の向上を図った。 ・ 中学校3校を対象に7人配置											継続	学校や保護者、生徒の信頼や期待が大きく、部活動指導において大きな役割を担っている。部活動指導員への移行を踏まえながら、適宜配置を継続していく。	
5 社会に学ぶ14歳の挑戦事業【県1/2】 社会に学ぶ14歳の挑戦事業については市内全中学校（6校）で実施した。 実施時期 令和6年9月24日～9月27日 参加生徒数 746名 受入事業所数 124か所											継続	実際に働く経験は、生徒の将来的な社会人としての自覚の基礎作りの一助となっていることに加え、生徒自身の成長や新たな発見につながっていることから、事業を継続していく。	

主な事業内容・成果				評価と今後の方向性（担当課意見）	
6 教育設備の整備【国1/2】 中学校6校に理科教育備品を整備し、教育設備の充実を図った。				継続	新学習指導要領において、今まで以上に観察実験が重視されており、引き続き、環境整備を図っていく。
7 射水っ子音楽活動推進事業 生徒の音楽活動をより一層推進するため、各学校設置する楽器の整備を実施した。 ・事業費 3,905千円（中学校6校分） 音楽活動を通じて、地域を元気付けるとともに、地域に貢献する心豊かな射水っ子の育成を目的に、中学校の吹奏楽部等の楽器整備や全国大会出場校への練習会場利用料に対し、助成を行ってきた。				継続	大会への出場のほか、ハートフルコンサート・地域行事への参加等、様々な成果発表の場は地域と触れ合う経験にもなるため、事業の継続を検討していく。
8 中学生夢づくり授業事業 中学生が将来の夢や自分の生き方を考える機会づくりとして、本市にゆかりがある一般社団法人とやまのめ代表理事の中谷氏を講師に招き、いみず夢づくり授業を開催した。 ・実施校 新湊中学校1、2年生 新湊南部中学校2年生				継続	中学生に対し夢づくり授業を実施し、今後の生き方や将来の夢や仕事を考える機会であり継続していく。
9 児童生徒1人1台端末整備事業 G I G Aスクール構想実現のため整備した生徒に1人1台端末や授業支援システム等を活用したI C T教育を推進した。 ・事業費 31,448千円（中学校6校分）				継続	整備したI C T機器の学習への有効な活用に向け、教員への研修会の実施や生徒の発達段階に応じた体系的な指導を取り組んでいく。
指標項目		基準	実績		
		令和4年度	令和6年度		令和9年度
授業でICT機器を「ほぼ毎日」使用した児童生徒の割合（中学校）		- %	20.1%		100.0%
10 休日部活動の地域移行等に向けた実証事業【県】 中学校の休日部活動を地域展開し、生徒の活動機会を確保するとともに、教職員の負担軽減を図った。 ・実施部活動（バスケットボール、柔道、剣道、ハンドボール、卓球、ソフトテニス、バレーボール、ソフトボール、美術）				継続	関係団体と協議をすすめ、全ての部活動の休日の地域展開を進める。

事業名	就学援助費（中）			（ 10款 教育費		3項 中学校費		2目 教育振興費		決算書	118 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			30,949	【38,382】	30,518	【34,134】		【38,433】					
財 源 内 訳	国庫補助金		927		1,187								
	一般財源		30,022		29,331								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 就学支援事業 経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、給食費、学用品費、オンライン学習通信費等を援助した。 【特別支援教育就学奨励費のみ国1/2】 ・ 就学援助受給生徒数 246人 （令和5年度 258人） ・ 特別支援教育就学奨励費受給生徒数 38人 （令和5年度 34人）											拡 充	経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者への支援を実施し、教育の機会均等を図った。 国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目は、年々「単価引上げ」や「追加」傾向にあり、本市の就学援助制度の拡充を図る。	

事業名		大門中学校整備費（通次繰越）		（ 10款 教育費		3項 中学校費		3目 学校建設費		） 決算書		119 ページ		担当部課		教育委員会学校教育課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
						30,503 【30,503】												
財 源 内 訳	市債					22,800												
	一般財源					7,703												
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 グラウンド改修付帯工事 暗渠排水等の機能低下が著しいグラウンド（400mトラック）の付帯工事を実施した。（R5～R6） 工期 令和6年4月15日～7月12日 契約額 7,403千円（うち令和6年度通次繰越分支出額：7,403千円）												完了	グラウンド（400mトラック）の改修工事により、教育環境の改善が図られた。					
2 部室及び駐輪場改築工事 老朽化が著しい部室及び駐輪場（北側駐輪場取壊し・南側駐輪場整備）の改修工事（付帯工事を含む）を実施した。（R5～R6） 工期 令和5年7月26日～令和6年5月15日 契約額 115,632千円（うち令和5年度分支出額：19,800千円、令和6年度通次繰越分支出額：18,832千円）												完了	部室及び駐輪場の改築により、教育環境の改善が図られた。					
3 ハンドボールコート改修工事 老朽化が著しいハンドボールコートの改修工事を実施した。（R5～R6） 工期 令和6年7月8日～12月20日 契約額 59,765千円（うち令和6年度通次繰越分支出額：1,110千円）												完了	ハンドボールコートの改修工事により、教育環境の改善が図られた。					
4 部室及び駐輪場改築工事監理業務委託 上記2の工事監理業務を委託実施した。（R5～R6） 委託期間 令和5年6月30日～令和6年5月31日 委託料 3,080千円（うち令和6年度通次繰越分支出額：3,080千円）												完了	監理業務を完了した。					
5 ハンドボールコート改修工事監理業務委託 上記3の工事監理業務を委託実施した。 委託期間 令和6年6月20日～12月25日 委託料 2,062千円（うち令和6年度通次繰越分支出額：78千円）												完了	監理業務を完了した。					

事業名	大門中学校整備費	(10款 教育費	3項 中学校費	3目 学校建設費	) 決算書	119 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		217,205 【247,708】		160,038 【420,234】		【12,193】		野球場及びテニスコートの改修に遅れが生じたことによる。
財 源 内 訳	国庫補助金		20,200		9,308			
	市債		134,300		112,200			
	一般財源		62,705		38,530			
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 ハンドボールコート改修工事【国1/3】 老朽化が著しいハンドボールコートの改修工事を実施した。（R5～R6） 工期 令和6年7月8日～12月20日 契約額 59,765千円（うち令和6年度支出額：58,655千円）								完了 老朽化が著しいハンドボールコートの教育環境の改善が図られた。
2 部室及び駐輪場改築工事 老朽化が著しい部室及び駐輪場（北側駐輪場取壊し・南側駐輪場整備）の改修工事（付帯工事を含む）を実施した。（R5～R6） 工期 令和5年7月26日～令和6年5月15日 契約額 115,632千円（うち令和6年度支出額：77,000千円）								完了 老朽化が著しい部室及び駐輪場の教育環境の改善が図られた。
3 プール解体工事（R6） 老朽化が著しい部室の改築工事を行うため、部室の一体構造となっているプールを解体した。 工期 令和6年5月2日～8月30日 契約額 22,022千円（うち令和6年度支出額：22,022千円）								完了 部室の改築に伴い、プールの解体工事を実施した。
4 野球場及びテニスコート改修工事（R6～R7） 老朽化が著しい野球場及びテニスコートの改修工事を行う。 工期 令和7年3月25日～令和8年3月13日 契約額 210,163千円（うち令和6年度支出額：0千円）								継続 工事の進捗に遅れが生じたため、学校運営に支障が生じないように、令和7年度に事業を繰り越して工事を実施する。（令和8年3月完成）

主な事業内容・成果	評価と今後の方向性（担当課意見）	
5 ハンドボールコート改修工事監理業務委託 ハンドボールコート改修工事に関する監理業務を委託した。 委託期間 令和6年6月20日～12月25日 委託料 2,062千円（うち令和6年度支出額：1,984千円）	完了	監理業務を完了した。
（継続費繰次繰越額 260,196 千円） ・事業名 グラウンド等改修工事（野球場改修、テニスコート改修、西側駐輪場改修、北側駐輪場整備） ・完了時期 令和8年3月		

事業名	幼稚園管理費			(10款 教育費		4項 幼稚園費		1目 幼稚園費		決算書	119 ページ	担当部課	こども家庭部子育て支援課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			5,919	【7,920】	5,509	【6,573】		【8,737】					
財 源 内 訳	負担金	一般財源	59	5,140	3	5,239							
	国庫補助金		62		28								
	県補助金		5		0								
	諸収入		453		239								
	基金繰入金		200		0								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 市立幼稚園管理運営 ・ 施設数 1園 (令和5年度 1園) ・ 定 員 50人 (令和5年度 50人) ・ 園児数 延べ57人（月平均5人） (令和5年度 延べ135人（月平均11人）											継続	子ども・子育て支援事業計画に基づき地域のニーズ量に合わせた定員を確保するとともに、保育の質の向上、効率化を図っていく。	
2 給食食材料費等高騰対策支援事業（物価高騰対策№25）【交付金】 物価高騰等に直面する子育て世帯の負担軽減を図るため、公立幼稚園における給食食材料費の高騰相当分の負担を支援した。 ・ 事業費 28千円											継続	給食食材料費高騰分の支援を行い、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。 今後については、状況に応じて、支援の実施を検討していく。	
3 公立保育園等 I C T 化推進事業 幼稚園に導入した教育・保育業務支援システムを用いて、園児の登降園管理や保護者連絡の効率化を図るなど業務負担の軽減を図った。 ・ 事業費 453千円											継続	引き続き、教育・保育の質の向上及び幼稚園教諭の業務負担軽減に資するよう努めていく。	

事業名	生涯学習推進事業費		(10款 教育費		5項 社会教育費		1目 社会教育総務費		決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			9,935	【10,941】	10,285	【11,168】		【11,170】				
財源内訳	一般財源		9,935		10,285							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 地域ごとの生涯学習講座の開催 地区コミュニティセンターを核に、身近な地域のニーズや資源を把握し有効に活用した学習活動を展開した。										継続	地区コミュニティセンターを核として、地域の特性を生かした生涯学習の機会を提供した。 今後も内容を充実させ、事業を継続していく。	
指標項目		基準	実績	目標								
		H28-H30平均	令和6年度	令和9年度								
生涯学習講座の年間延べ受講者数 （コミュニティセンター27館）		39,780人	32,891人	43,000人								
2 生涯学習フェスティバル・生涯学習作品展 各コミュニティセンター等で活動しているサークルや放課後子ども教室での学習成果の発表の場を提供した。 ・ 開催日 令和6年12月1日 ・ 参加者数 フェスティバル 約100人 作品展 約125人										継続	市内の生涯学習関係者が一堂に会し開催に携わることで、連携を深めることにつなげた。 今後も生涯学習活動の楽しさや必要性を伝えられるよう、事業を継続していく。	

事業名	二十歳のつどい式典費			(10款 教育費	5項 社会教育費	1目 社会教育総務費	)	決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			1,614	【1,743】	1,028	【1,091】		【1,083】			
財 源 内 訳	一般財源		1,614		1,028						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 二十歳のつどいの開催 二十歳の門出を祝福するとともに、社会人として自ら生き抜くことへの自覚を促すよう激励する。 ・ 令和5年度二十歳のつどい 令和5年5月4日開催 747人参加（82.3％） ・ 令和6年度二十歳のつどい 令和6年5月4日開催 729人参加（79.3％）									継続	会場後方に保護者席を確保し、家族で門出を祝えるよう2部制での開催とした。 引き続き、多くの方が参加できるよう努めながら事業を継続していく。	

事業名	すこやかいみずっ子育成事業費（ 10款 教育費 5項 社会教育費 1目 社会教育総務費 ）										決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課																														
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																			
			8,307	【8,990】	11,274	【13,673】		【13,633】																																				
財 源 内 訳	国庫補助金		114		0																																							
	県補助金		3,050		3,778																																							
	一般財源		5,143		7,496																																							
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）																																
1 放課後子ども教室【国1/3 県1/3】 市内の15小学校区で放課後に安全安心な子どもたちの活動の場を設け、地域の方々を指導者としてスポーツ、伝統芸能等の体験活動や交流活動を推進した。 また、研修会を実施して推進員等の資質の向上を図るとともに、放課後対策事業運営委員会を開催し、学校、放課後子ども教室及び放課後児童クラブとの意見交換を行うなど連携を図った。 <放課後子ども教室開催状況> <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">教室数</th><th rowspan="2">サークル数</th><th colspan="2">参加者人数（延べ）</th><th rowspan="2">年間開催回数</th></tr><tr><th>子ども</th><th>推進員</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>15教室</td><td>38サークル</td><td>7,092人</td><td>1,719人</td><td>487回</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>15教室</td><td>38サークル</td><td>7,409人</td><td>1,635人</td><td>470回</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2">指標項目</th><th>基準</th><th>実績</th><th>目標</th></tr><tr><td>H28-H30平均</td><td>令和6年度</td><td>令和9年度</td></tr><tr><td>放課後子ども教室等参加率</td><td>17.5%</td><td>16.9%</td><td>20.0%</td></tr></table>												年度	教室数	サークル数	参加者人数（延べ）		年間開催回数	子ども	推進員	令和5年度	15教室	38サークル	7,092人	1,719人	487回	令和6年度	15教室	38サークル	7,409人	1,635人	470回	指標項目	基準	実績	目標	H28-H30平均	令和6年度	令和9年度	放課後子ども教室等参加率	17.5%	16.9%	20.0%	継続	地域の方々や異学年との交流の場となっており、学校や家庭では体験できないような機会を設けた。多くの子どもが有意義な時間を過ごせるよう、サークル活動の内容や対象学年を毎年検討しながら、放課後の活動等の充実に努める。また、より多くの地域住民の参画を得ることができるよう研修会を実施していく。
年度	教室数	サークル数	参加者人数（延べ）		年間開催回数																																							
			子ども	推進員																																								
令和5年度	15教室	38サークル	7,092人	1,719人	487回																																							
令和6年度	15教室	38サークル	7,409人	1,635人	470回																																							
指標項目	基準	実績	目標																																									
	H28-H30平均	令和6年度	令和9年度																																									
放課後子ども教室等参加率	17.5%	16.9%	20.0%																																									
2 土曜学習推進事業【国1/3 県1/3】 土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保するため、地域の方々を指導者として管楽器や茶道などの体験活動や交流活動を推進した。 <土曜学習推進事業開催状況> <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="2">教室数</th><th rowspan="2">サークル数</th><th colspan="2">参加者人数（延べ）</th><th rowspan="2">年間開催回数</th></tr><tr><th>子ども</th><th>推進員</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>5教室</td><td>6サークル</td><td>701人</td><td>218人</td><td>67回</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>5教室</td><td>6サークル</td><td>660人</td><td>206人</td><td>59回</td></tr></table>												年度	教室数	サークル数	参加者人数（延べ）		年間開催回数	子ども	推進員	令和5年度	5教室	6サークル	701人	218人	67回	令和6年度	5教室	6サークル	660人	206人	59回	継続	土曜日の安全安心な子どもたちの活動拠点を確保した。サークル活動の内容等を毎年検討しながら、地域の方々との体験活動や交流活動の推進を図っていく。											
年度	教室数	サークル数	参加者人数（延べ）		年間開催回数																																							
			子ども	推進員																																								
令和5年度	5教室	6サークル	701人	218人	67回																																							
令和6年度	5教室	6サークル	660人	206人	59回																																							

事業名	家庭教育力向上支援事業費			(10款 教育費		5項 社会教育費		(1目 社会教育総務費		) 決算書		120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
				1,200 【1,219】		1,122 【1,221】				【1,242】						
財源内訳	一般財源			1,200				1,122								
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 いみず親学びスクール 家庭教育力の向上のために、小学生の児童を持つ保護者や家庭教育支援者等を対象として、講師を招いた講座を実施することで、家庭教育の重要性や家族のコミュニケーション力の向上を図った。 ・ 年5回実施 講義型2回 親子体験型3回												継続	子育てに関する新たな発見を得る機会や親子で一緒に過ごす時間を確保し、家族のコミュニケーション力の向上につなげた。 今後も、子どもへの関わり方などの知識習得や保護者同士の交流の機会を提供していく。			
2 親学び講座の活用・啓発 子育て井戸端会議の中で親学び講座の事例や手法を活用するとともに、保護者が気軽に参加できる機会が増えるよう親学び講座の開催に対する啓発を行った。																
指標項目				基準		実績		目標								
				H28-H30平均		令和6年度		令和9年度								
親を学び伝える学習プログラムの参加率				55.0%		42.5%		70.0%								

事業名	文化財保存費（繰越明許）			（ 10款 教育費		5項 社会教育費		2目 文化財保護費		決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
					2,000【2,000】									
財源内訳	一般財源				2,000									
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 曳山車保存修理事業費補助金（文化財保存事業費補助金） 市指定有形民俗文化財「放生津八幡宮祭り曳山車」新町曳山幔幕の新調に要する経費の一部を補助した。										完了	引き続き、曳山車の健全な状態を維持し、適正な行事の実施と文化財の保存継承を図るため、必要な修理等の補助を継続する。			
補助事業者		事業費		市補助額		補助事業者負担額								
新町曳山委員会		7,810千円		2,000千円		5,810千円								

事業名		文化財保存費				(10款 教育費 5項 社会教育費 2目 文化財保護費)		決算書	120 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			12,479	【14,798】	14,126	【15,323】		【12,500】			
財 源 内 訳	使用料		5		5						
	県補助金		126		0						
	県委託金		4,190		4,758						
	一般財源		8,158		9,363						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 文化財の保存・継承に関する補助 文化財の維持管理や修理等に要する経費の一部を補助することにより、文化財の適切な保護継承を図った。 令和6年能登半島地震で被災した県指定文化財1件(彫刻)、市指定文化財1件(彫刻)の復旧を支援した。【地震】 ・ 指定文化財の保存・継承に関する補助 9件										拡 充	文化財の維持管理や修理等の支援を継続するとともに、新たに「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」保存修理事業に取り組み、文化財保存継承の一層の推進を図る。
2 史跡公園の活用 市が管理する史跡公園の保護と市民への公開活用機会の充実のため、良好な環境・景観の維持管理に努めた。 ・ 飛鳥工人の館（国指定：小杉丸山遺跡） 入館者数 2,133人										継 続	引き続き、国・県・市指定史跡の保存活用のため、史跡公園等として公開している史跡の保存と良好な環境の維持とともに、活用の促進と情報発信に取り組んでいく。
3 文化財の保存活用 (1) 文化財の保存継承支援 市内の文化財所有者・管理者等が行う各種取組を支援することにより、文化財の適切な保存継承が図られた。 ・ 国重要無形民俗文化財「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」の文化財保存活用計画作成を支援した。 ・ 令和6年能登半島地震で被災した文化財等建造物の被害状況調査を進め、修理方法の提案や概算経費の算定等の支援を行った。 (2) 文化財の普及啓発 市民への文化財の普及啓発と保護意識の高揚を図るため、解説板の整備やリーフレットの作成・配布を行った。 ・ 国登録有形文化財となった「吉田家住宅」の解説板を新設した。 ・ 市指定無形民俗文化財「黒河夜高祭」を紹介するリーフレットを刊行した。										継 続	引き続き、文化財保存継承のための所有者等への支援を継続するとともに、文化財保護の方向性を定める保存活用計画の策定に取り組む。 また、文化財調査等と並行して主要な文化財等を中心に外部への情報発信を推進し、市民の文化財保護意識の醸成を図っていく。
指標項目			基準		実績		目標				
			令和4年度		令和6年度		令和9年度				
指定文化財及び登録有形文化財の件数			146件		150件		147件				

事業名	図書館活動推進費		(10款 教育費		5項 社会教育費		4目 図書館費		)		決算書	122 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			12,320	【12,342】	12,372	【12,395】		【12,460】						
財 源 内 訳	一般財源		12,320		12,372									
												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 図書館活動推進事業 市内4図書館や県内外の図書館との連携を図り、図書館活動の推進に努めた。 (1) 子ども会・読書会等 図書館を利用して読書の楽しみを広げてもらうための読み聞かせや子ども会行事、読書会を開催した。												継 続	4館のバランスに配慮しながら、本市として保存すべき資料及び市民ニーズに応じた資料の受け入れに努めた。 雑誌スポンサーの確保に努め、今後も企業等との連携を推進し、図書館資料の充実を図っていく。 貸出冊数・利用者数を向上させるため、図書館情報の発信について拡充を図る。	
講座・講演				令和5年度		令和6年度								
				開催数	延人数	開催数	延人数							
子ども会（絵本・紙芝居の読み聞かせ）				96回	971人	104回	1,084人							
児童集会季節行事				39回	449人	40回	306人							
読書会				67回	482人	69回	483人							
(2) 関連図書展示 季節や話題に応じた図書を集めて紹介するテーマ展示を54回開催した。														
(3) 貸出数等 ・ 図書貸出者数（延べ） 102,291人 （令和5年度 100,722人） ・ 図書貸出者数（実） 9,826人 （令和5年度 9,834人） ・ 貸出冊数 427,266冊 （令和5年度 425,492冊） ・ 貸出用図書購入冊数 5,627冊 （令和5年度 5,745冊）														
指標項目				基準	実績	目標								
				H28-H30平均	令和6年度	令和9年度								
市民1人当たりの図書貸出冊数				5.3冊	4.8冊	6.3冊								

事業名		芸術文化振興費		(10款 教育費		5項 社会教育費		5目 文化振興費		決算書		122 ページ		担当部課		市民生活部市民活躍・文化課					
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）									
				20,534	【20,690】	22,454	【22,642】			【69,360】											
財 源 内 訳	諸収入		4,600		9,500																
	一般財源		15,934		12,954																
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）							
1 市民主体の芸術文化活動の推進 芸術文化にかかる市民の発表活動を支援するとともに、市民団体と連携して市民が文化に親しむ機会を提供することで、さらなる活動への参加促進を図り、市民が芸術文化活動への意欲を高め、心豊かで潤いのある生活を実感できる環境づくりを行った。 射水市展の開催 広く市民等から作品を募集し、日本画、洋画、書などの5部門からなる「射水市展」を開催することで、発表と鑑賞の機会を提供した。 ・ 令和6年度出品数 129 作品（令和 5年度 138 作品）														継続				市民の作品の発表の機会及び鑑賞の機会の提供や芸術文化活動への支援により、創作意欲の向上や芸術文化に触れる機会が創出された。 今後も活動団体等との連携や支援等により、市民主体の芸術文化活動を推進する。			
事業名		開催期間		開催場所		入場者数															
						令和5年度 令和6年度															
射水市展		令和6年10月8日～14日		新湊中央文化会館		1,065人 1,335人															
芸術文化活動への支援 市民が主体となって開催する市民の芸術文化活動への参加機会を提供する事業や子どもに体験機会を提供する事業に支援を行った。 主な市民主体の芸術文化事業																					
事業名		開催期間		開催場所		入場者数															
						令和5年度 令和6年度															
射水市芸術文化協会美術展		令和6年9月21日～23日		新湊中央文化会館		400人 578人															
芸能フェスティバルinいみず		令和6年10月13日		新湊中央文化会館		1,049人 1,030人															
射水市いけばな展		令和6年11月23日～24日		小杉文化ホール		1,572人 2,117人															
いみずジュニアアート展		令和6年12月13日～15日		新湊中央文化会館		401人 373人															

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）	
子どもの体験活動の提供（射水市芸術文化協会）				
事業名	開催期間	開催場所		
子ども呈茶体験	令和6年5月12日、6月2日、9月22日、 9月28日、11月10日	新湊中央文化会館、 新湊博物館		
幼児アート体験（出前講座）	令和6年8月26日、9月2日	片口保育園		
射水市芸術文化協会美術展 ワークショップ	令和6年9月21日～23日	新湊中央文化会館		
子どもいけばな体験	令和6年11月23日～24日	小杉文化ホール		
ふれあい体験コンサート（出前講座）	令和6年9月25日	中太閤山小学校		
ふれあい体験コンサート（出前講座）	令和6年11月27日	下村小学校		
市民の伝統文化活動への支援 一般社団法人自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用し、獅子舞用具等の備品購入・整備に助成し、地域の伝統文化活動を支援した。 ・ 令和6年度 4件 9,500千円 （令和5年度 2件 4,600千円）			継続	地域コミュニティに根差した伝統文化活動の継承に寄与しており、今後も同助成事業を活用した支援を継続していく。
事業実施主体名	事業内容	助成金額		
中野自治会	獅子頭、天狗面など獅子舞備品の整備	2,500千円		
本江自治会	獅子頭、蚊帳など獅子舞備品の整備	2,000千円		
古新町東部自治会	獅子頭の整備	2,500千円		
作道自治会	獅子頭、蚊帳など獅子舞備品の整備	2,500千円		

事業名	新湊博物館維持管理費				(10款 教育費		5項 社会教育費		6目 博物館費		決算書	123 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
			18,592	【21,111】	21,782	【23,579】		【24,473】								
財 源 内 訳	使用料		749		906											
	諸収入		320		367											
	一般財源		17,523		20,509											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 博物館事業（展示事業） 市民に、本市に関わる歴史、芸術及び民俗について理解を深めてもらうため、企画展・館蔵品展を実施したところ、幅広い年代の来館があった。												継 続	展示に対する市民等の要望をリサーチしながら、機を捉えた展示を開催することができた。 また、ワークショップの定期開催を実施したところ、リピーターの確保につながった。 引き続き、地域及び他館の動向も注視しながら、市民の歴史、芸術への関心が高まるよう展示を行っていく。			
開催期間		企画展名			入館者数		備考									
令和6年4月1日～4月21日		郷倉千靱・和子 創作のいずみ			250人		会期:令和6年2月16日～4月21日									
令和6年4月26日～7月7日		とやまの平安時代			1,561人											
令和6年7月12日～9月16日		川越ゆりえ展			1,747人											
令和6年9月20日～11月24日		I♥ワン・ニャン			1,419人											
令和6年11月29日～令和7年2月9日		かわいい			710人											
令和7年2月14日～3月31日		天空展			851人		会期:令和7年2月14日～4月20日									
3月31日までの入館者数												継 続				
2 博物館事業（講演会等） 射水市ゆかりの現代アート作家の個展を開催するとともに、ワークショップの定期開催によるリピーター確保の成果が見られた。この結果、令和6年度の総来館者数は6,538人となり、令和5年度（5,586人）に対し952人増加した。													SNSによる広報及びフリーペーパーの展示案内を活用し、観覧者及び関係行事への参加者数の拡大を図っていく。			
3 博物館資料整備事業（未データ化資料整理・取得資料の撮影等） 資料の恒久的保存と利用簡便化を図るためデジタル化を進めた。 事業費 251千円													継 続	収集資料のデジタル化を進めるとともに、ホームページに掲載し、資料公開の充実を図っていく。		

事業名		小杉展示館・竹内源造記念館管理運営費(繰越明許)		(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		)		決算書		123 ページ		担当部課		市民生活部市民活躍・文化課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）										
						6,001【8,338】														
財 源 内 訳	一般財源					6,001														
主な事業内容・成果														評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 小杉展示館地震被害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、地震被害復旧工事（屋内）を行った。 工 期 令和6年10月17日 ~ 令和7年3月7日 契 約 額 4,835千円														継 続	令和7年度に小杉展示館の屋外の 復旧工事を実施する。					
2 竹内源造記念館地震被害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、地震被害復旧工事（屋内・屋外）を行った。 工 期 令和6年9月4日 ~ 10月31日 契 約 額 1,166千円														完 了	引き続き、施設の安全な利用環境 の整備及び利便性向上に努める。					

事業名		小杉展示館・竹内源造記念館管理運営費		(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		)		決算書		123 ページ		担当部課		市民生活部市民活躍・文化課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
				16,113	【24,451】	14,782	【24,742】		【16,002】										
財 源 内 訳	使用料		4		4														
	一般財源		16,109		14,778														
主な事業内容・成果															評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 小杉展示館の指定管理 / 小杉まちづくり協議会 国登録有形文化財である建造物を活用した展示施設として、地元住民や出身者等の作品の展示のほか、コンサートの開催等、市民が芸術文化に親しむ機会を提供した。 ・ 入館者数 5,129 人 （令和 5年度 6,623 人） 主な主催事業															継続 地域ゆかりの作家や団体の発表による芸術文化事業の開催により、芸術文化活動に対する市民の興味関心の喚起を図った。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。				
事業名			開催期間			入館者数													
大人も楽しむ絵本			令和6年4月2日			72人													
キルト・刺しゅう作品展			令和6年4月20日～26日			236人													
二胡のしらべ			令和6年5月18日			88人													
植物画展 小見 豊			令和6年5月24日～26日			298人													
堀井三郎絵画自選展			令和6年6月1日～13日			167人													
戸破地域防犯標語展			令和6年7月13日～18日			60人													
世界の児童画フェスティバル			令和6年8月17日～28日			60人													
児童書初め展			令和7年1月18日～2月5日			762人													
児童版画展			令和7年2月14日～3月4日			574人													

主な事業内容・成果			評価と今後の方向性（担当課意見）							
2 竹内源造記念館の指定管理 / 小杉まちづくり協議会 国登録有形文化財である建造物を活用した本市鍔絵文化の発信拠点として、小杉左官の名工・竹内源造の鍔絵鑑賞や鍔絵制作体験の機会を提供した。 (1) 鍔絵体験教室運営事業 幅広い年齢層が手軽に取り組むことのできる鍔絵体験教室を開催し、市内外から訪れた見学者に鍔絵文化に触れる機会を提供した。 ・ 鍔絵体験参加者数 231 人（令和 5年度 245 人） (2) 「鍔絵のまち小杉」情報発信・施設利用促進事業 鍔絵と下条川千本桜まつり等各種イベントの開催にあわせ「鍔絵のまち小杉」の魅力を発信し、交流人口の拡大を目指した。 ・ 入館者数 3,636 人 （令和 5年度 3,276 人） 主な主催事業 <table><tr><th>事業名</th><th>開催期間</th><th>入館者数</th></tr><tr><td>射水鍔絵座 弦楽の響き</td><td>令和6年11月23日</td><td>49人</td></tr></table>			事業名	開催期間	入館者数	射水鍔絵座 弦楽の響き	令和6年11月23日	49人	継続	鍔絵製作体験教室の実施等により、本市特有の鍔絵文化の普及や発信を図った。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。
事業名	開催期間	入館者数								
射水鍔絵座 弦楽の響き	令和6年11月23日	49人								
（繰越明許費 9,960 千円） ・ 事業名 小杉展示館地震被害復旧工事（屋外）【地震】 竹内源造記念館ワイレス監視カメラ設置修繕 ・ 完了時期 令和8年3月										

事業名		陶房「匠の里」管理運営費(繰越明許)		(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		決算書		123 ページ		担当部課		市民生活部市民活躍・文化課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
						1,054【1,059】												
財 源 内 訳	一般財源				1,054													
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 陶房「匠の里」電気窯電熱線張替修繕 電気窯が老朽化したため、一部破損した電熱線の張替修繕を行った。 工 期 令和6年5月16日 ~ 6月28日 契 約 額 559千円												完了	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。					
2 陶房「匠の里」地震破損修繕工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、地震被害復旧工事を行った。 工 期 令和6年7月16日 ~ 9月10日 契 約 額 495千円																		

事業名	陶房「匠の里」管理運営費			(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		決算書		123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課			
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
				10,566 【11,625】		10,159 【10,159】				【26,062】							
財 源 内 訳	使用料			0		7											
	一般財源			10,566		10,152											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 陶房「匠の里」の指定管理 / (株)ジャパン・フラワー・コーポレーション 手作り文化振興のため、様々な陶芸教室や、施設の魅力向上のためのワークショップ等を開講することにより、市民に幅広い体験学習の機会と芸術活動の場を提供した。 ・ 令和6年度施設利用者総数 13,605 人（令和 5年度 14,985 人） 陶芸教室事業																	
コース名		概要				開催状況		利用者数									
								令和5年度	令和6年度								
体験コース		初心者向けの半日陶芸体験コース				開館日の午前、午後(随時)		4,027人	3,641人								
定期コース		3～6か月間継続して陶芸を学ぶコース				全6コース（延べ16コース）		4,417人	3,770人								
匠コース		上級者向けの自由に作陶できるコース				会員コース		2,506人	2,280人								
自主事業コース		指定管理者が企画した特別な陶芸体験コース				全3コース		542人	375人								
陶芸教室以外の主なイベント事業（自主事業）																	
事業名				開催期間				参加者数									
匠の里音楽会				令和6年4月6日、6月8日、7月6日、8月3日、9月7日、11月23日				180人									
食香バラワークショップ				令和6年5月24日、31日 6月1日、2日、8日、9日				84人									
匠の里マルシェ				令和6年6月15日～16日				800人									
陶芸祭＆匠の里マルシェ				令和6年10月12日～13日				600人									
継続																	
SNSを利用した積極的な広報活動、研修棟を活用した音楽会の開催やテーマを設けた特別な陶芸体験の企画など、自主事業イベントの開催により施設の魅力向上を図った。 引き続き、指定管理者による適切な管理運営及び事業運営により、市特有の手づくり文化の振興に努めていく。																	

事業名	新湊中央文化会館管理運営費(繰越明許)			(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		)		決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
						15,973 【16,000】										
財 源 内 訳	一般財源					15,973										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 新湊中央文化会館舞台照明設備改修工事 ホール調光設備の部品交換及びピンスポットライト1台の更新工事を行った。 工 期 令和6年8月9日 ～ 令和7年3月14日 契 約 額 13,750千円													完了	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。		
2 新湊中央文化会館ガラスシーリング更新工事 外部窓ガラスのシーリング打替え工事を行った。 工 期 令和7年1月16日 ～ 3月25日 契 約 額 2,223千円																

事業名	新湊中央文化会館管理運営費		(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		)		決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）							
			79,862	【95,879】	78,084	【78,085】		【81,991】								
財 源 内 訳	使用料		45		30											
	諸収入		2,200		2,200											
	市債		1,500		0											
	一般財源		76,117		75,854											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 新湊中央文化会館の指定管理 / （公財）射水市文化振興財団 芸術文化の振興のため、利用者の利便を図るとともに、様々な事業の開催により、市民がホールに足を運び、芸術に親しむことができる環境づくりに努めた。 ・令和6年度施設利用者総数 82,339 人（令和5年度 73,246 人） 主なホールイベント												継 続	施設の特徴を生かした芸術鑑賞の機会を創出したほか、ロビーコンサートの開催など市民団体の芸術文化活動発表の場を提供し、市民が芸術に親しむことのできる環境づくりに努めた。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。			
事業名				開催日		開催場所		入場者数								
夏井いつき句会ライブin射水				令和6年8月3日		大ホール		553人								
地元アーティスト公演 IMIZU RHYTHM				令和7年2月23日		小ホール		342人								
立川志の輔 独演会				令和6年11月8日		大ホール		1,109人								
射水市吹奏楽フェスティバル				令和6年11月10日		大ホール		750人								
彩り学園 学園祭				令和7年3月1日～2日		大ホール他		338人								
ロビーコンサート				令和6年6月9日、7月15日 8月11日、9月23日 10月5日、12月22日		大ホールロビー		894人								
アウトリーチコンサート																
事業名				開催日		開催場所		参加者数								
中学校アウトリーチコンサート				令和6年11月11日		大門中学校		683人								

事業名	小杉文化ホール管理運営費(繰越明許)			(10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費	)	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項(決算規模の変動要因等)		
					7,788【8,100】						
財 源 内 訳	一般財源				7,788						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性(担当課意見)		
1 小杉文化ホール小ホール音響設備入力パッチ盤等更新工事 まどかホールの老朽化した音響設備入力パッチ盤及び業務用通信設備の更新工事を行った。 工 期 令和6年10月10日 ~ 令和7年2月28日 契 約 額 7,788千円									完了	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。	

事業名	小杉文化ホール管理運営費			(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		)		決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
				75,993	【84,123】	76,153	【89,252】		【73,012】							
財 源 内 訳	使用料		127		122											
	諸収入		2,200		2,200											
	市債		600		0											
	一般財源		73,066		73,831											
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 小杉文化ホールの指定管理 / （公財）射水市文化振興財団 芸術文化の振興のため、利用者の利便を図るとともに、ホールの音響特性を活用したコンサート等の芸術文化事業を開催することにより、市民が音楽に親しむことができる環境づくりに努めた。 ・ 令和6年度施設利用者総数 61,114 人（令和5年度 54,632 人） 主なホールイベント													継 続	施設の特徴を生かした芸術鑑賞の 機会の創出や市民の活動発表の場を 提供するなど、市民が芸術文化に親 しむことのできる環境づくりに努め た。 引き続き、施設の適切な管理運営 及び事業運営に努めていく。		
事業名				開催日		開催場所		入場者数								
20周年記念!!カルテット・スピリタスコンサートツアー2024in射水				令和6年7月6日		ひびきホール		370人								
岸谷香40th ANNIVERSARY LIVE TOUR KAORI PARADISE 2024				令和6年9月7日		ひびきホール		718人								
富山県公立文化ホールネットワーク公演事業 0才からの音楽会				令和6年12月22日		ひびきホール		258人								
ラポールニューイヤーコンサート2025				令和7年1月12日		ひびきホール		281人								
射水市合唱祭				令和6年8月25日		ひびきホール		400人								
こすぎ童謡フェスティバル				令和6年10月20日		ひびきホール		330人								
アウトリーチコンサート																
事業名				開催日		開催場所		入場者数								
中学校アウトリーチコンサート				令和6年10月18日		小杉南中学校		283人								
(繰越明許費 13,099 千円) ・事業名 非常用発電機修繕工事 まどかホール時計更新工事 ・完了時期 令和8年3月																

事業名	大門総合会館管理運営費（繰越明許）			（ 10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		） 決算書		123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
					3,520 【3,624】									
財 源 内 訳	一般財源				3,520									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 大門総合会館冷温水発生機密閉ポンプ等取替工事 吸収式冷温水発生機の老朽化した密閉ポンプの取替及び真空対策の工事を行った。 工 期 令和6年5月28日 ～ 9月10日 契 約 額 2,750千円												完了	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。	
2 大門総合会館駐車場区画線等修繕工事 駐車場区画線の更新及び看板の修繕工事を行った。 工 期 令和6年7月5日 ～ 10月31日 契 約 額 770千円												完了	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。	

事業名	大門総合会館管理運営費		(10款 教育費		5項 社会教育費		7目 芸術文化施設費		決算書		123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課		
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			30,228 【33,852】		32,211 【34,598】				【62,431】						
財 源 内 訳	負担金		175		538										
	使用料		3,240		3,041										
	一般財源		26,813		28,632										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 大門総合会館及び正力・小林記念館の指定管理 / （公財）射水市文化振興財団 ホールや会議室、展示室等の各設備の良好な管理運営に努めるとともに、練習会や研修会等、市民の芸術文化活動の場の提供に努めた。 ・ 令和6年度施設利用者総数 40,870 人（令和5年度 40,909 人） 大門総合会館 40,390 人（令和5年度 40,402 人） 正力・小林記念館 480 人（令和5年度 507 人） 主なホールイベント											継 続	施設の特徴を生かし、練習会や研修会等の市民の文化活動や交流の場を提供した。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営に努めていく。			
事業名		開催日		開催場所		入館者数									
大門寄席		令和6年9月29日		大ホール		139人									
(繰越明許費 2,387 千円) ・ 事業名 空調設備冷温水ポンプ更新工事 ・ 完了時期 令和7年8月															

事業名	大島絵本館管理運営費(繰越明許)	(10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費	)	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	一般財源			2,409	【2,587】				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 大島絵本館高圧ケーブル等更新工事 老朽化した高圧ケーブル及び高圧負荷開閉器の更新工事を行った。 工 期 令和6年7月19日 ~ 12月13日 契 約 額 2,365千円								完了	引き続き、施設の安全な利用環境の整備及び利便性向上に努める。

事業名	大島絵本館管理運営費	(10款 教育費	5項 社会教育費	7目 芸術文化施設費	)	決算書	123 ページ	担当部課	市民生活部市民活躍・文化課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	使用料	80,784	【83,406】	80,784	【80,784】		【92,116】		
	一般財源	19		19					
		80,765		80,765					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 大島絵本館の指定管理 / （公財）射水市絵本文化振興財団 絵本文化の振興を図るため、施設の良い管理運営に努めるとともに、各種ワークショップの開催や手づくり絵本コンクール、絵本原画展の開催及び、令和6年度は開館30周年記念事業として記念式典の開催や記念誌の発行等を実施するなど、市民が絵本に親しむことができる環境づくり及び市内外への絵本文化の発信に努めた。 ・ 令和6年度施設利用者総数 29,707 人（令和5年度 29,369 人）								継続	子どもたちの感性に刺激を与える鑑賞や体験、絵本を通じた創作発表の機会の提供を図った。 引き続き、施設の適切な管理運営及び事業運営により、本市特有の絵本文化の振興に努めていく。

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）
(1) 主なイベント事業		
事業名	開催期間	
絵本原画企画展示（6回）、カフェギャラリー展示（12回）等	通年	
にじいろコンサート	令和6年5月26日	
おおしま国際手づくり絵本コンクール2024（222点）	令和6年4月～8月	
月ノ影 サンドアート・キャンドル・ライブ	令和6年6月22日	
おおしま国際手づくり絵本コンクール2024 ジュニアの部（804点）	令和6年8月～12月	
長谷川義史絵本ライブ（開館30周年記念感謝イベント）	令和6年6月16日	
開館30周年記念感謝2DAYS（式典・記念音楽祭・絵本館まつり）	令和6年8月24日～25日	
琴城流大正琴アンサンブル風雅秋のコンサート	令和6年9月21日	
いのちの絵本	令和6年11月3日	
絵本館のクリスマスコンサート	令和6年12月14日	
ジャンボかるた大会	令和7年1月12日	
公募絵本ライブ	令和7年2月23日	
劇団風の子中部「ぱらりっとせ」	令和7年3月9日	
(2) 主な開館30周年記念事業		
事業名	開催期間等	
長谷川義史絵本ライブ（再掲）	令和6年6月16日	
開館30周年記念感謝2DAYS（式典・記念音楽祭・絵本館まつり）（再掲）	令和6年8月24日～25日	
開館30周年記念誌発行	令和6年8月	
絵本作家さんからのエールメッセージ展示	令和6年8月	
(3) 創作活動事業		
・ 創作教室（参加人数の上限を40人として開催） 年 6回 （令和 5年度 年 6回） 令和6年度登録家族 120組 （令和 5年度 年 113組）		
・ ワークショップ、C Gワークショップ等		
(4) 広報・情報発信事業		
・ マグちゃん通信発刊（年6回 90,000部）		
(5) 出前講座事業		
市内外の小学校や高校、図書館等で、絵本の読み聞かせや絵本づくり等の出前講座を実施し、広く絵本に触れる機会を創出した。		
・ 令和6年度実施回数 37回 1,360 人参加 （令和 5年度 35回 1,385 人参加）		

事業名	スポーツ推進事務管理費				(10款 教育費		6項 保健体育費		1目 体育総務費		)	決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			44,301	【45,359】	47,074	【48,706】		【41,667】							
財 源 内 訳	県補助金		45		53										
	一般財源		44,256		47,021										
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 射水市スポーツ協会事務局補助金 射水市スポーツ協会事務局の人件費及び事務費として補助金を交付することで、市民のスポーツ活動の普及振興が図られた。 ・ 交付額 27,053千円													継続	スポーツイベントの開催やスポーツ情報の発信、スポーツ協会加盟団体の育成を図るための事業を展開するなど、本市のスポーツ振興の推進に努めており、今後も継続して補助を行っていく。	
2 幼児の体力向上支援事業 幼児に多様な運動遊びを経験させることで、運動する楽しさや喜びを実感させるとともに、様々な体の動かし方の習得や体力向上を図り、たくましい子どもの成長につなげた。 ・ 延べ実施日数 45日 15施設（令和5年度 延べ実施日数56日 19施設）													継続	多様な運動遊びを経験する機会を提供できた。 今後も継続して支援を行っていく。	

事業名	スポーツ団体活動費		(10款 教育費		6項 保健体育費		1目 体育総務費		決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			7,335	【7,335】	7,166	【7,245】		【7,100】				
財 源 内 訳	一般財源		7,335		7,166							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 スポーツ団体の育成、活動補助 スポーツ少年団、各競技団体及び地区体育協会等に補助し、市民のスポーツ活動を積極的に支援することで、スポーツの普及振興を図った。 ・スポーツ協会加盟団体 59団体 （競技団体30、地区団体26、その他3） ・スポーツ少年団 登録41単位団 768人										継続	スポーツを通じた市民の健康増進及び健全な心身の育成を支えることができた。 今後も継続して補助を行っていく。	

事業名	スポーツ行事推進費			(10款 教育費	6項 保健体育費	1目 体育総務費	) 決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			15,958	【17,003】	18,779	【19,636】		【18,843】			
財 源 内 訳	一般財源		15,958		18,779						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 スポーツ大会等の開催 市民体育大会等を開催し、市民の健康・体力増進と競技力向上を図った。 富山マラソン2024では、新湊大橋の上から望む美しい富山湾と雄大な立山連峰の眺望などベイエリアの魅力をPRすることができた。 地域おこし協力隊（スポーツ推進コーディネーター）がハンドボールのルール等を解説しながら、アランマーレを応援するパブリックビューイングを開催し、市民の中にアランマーレを応援しようという機運が高まった。 また、幼児、小学生向けの「ムズムズトレーニング教室」を開催し、運動する楽しさや喜びを感じる機会の創出に繋がった。 (1)市民体育大会 参加者5,448人 27競技中、26競技が実施（令和6年4月28日～令和7年2月9日：市内一円） (2)富山マラソン2024 ・フルマラソンの部 参加者13,589人 ・ジョギングの部 参加者1,019人 (3)アランマーレパブリックビューイング（実施回数2回） ・令和6年5月24日 会場：アイザック小杉文化ホールラポール 参加者：約100人 ・令和7年2月22日 会場：クロスベイ新湊 参加者：約120人 (4)ムズムズトレーニング教室（実施回数7回） ・参加者 377人 (5)全国中学校体育大会 第54回全国中学校相撲選手権大会開催 ・令和6年8月17日～18日 会場：新湊アイシン軽金属スポーツセンター 参加者：257人									継続	スポーツ大会、スポーツイベントの開催・補助により市民の健康・体力増進を図るとともに、スポーツの魅力を発信することができた。 今後も継続して実施していく。	

事業名	スポーツ強化育成費		(10款 教育費		6項 保健体育費		1目 体育総務費		決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			3,565	【3,612】	3,955	【4,249】		【3,651】				
財 源 内 訳	一般財源		3,565		3,955							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 全国大会等の出場激励金等交付事業 全国大会等に出場する選手又は監督に激励金を交付することにより、市の代表選手としての意識の高揚や競技力の向上に成果を上げた。また、その大会で優秀な成績を収めた選手に対して褒賞金を贈呈した。 ・ 出場激励金 団体 5団体、個人 400人 ・ 成績優秀者褒賞金 個人 1人										継続	激励金を交付することにより、出場選手が郷土の代表として誇りを持って活躍できるよう支援することができた。 今後も継続して交付を行っていく。	
2 スポーツ選手強化育成事業 (1) 選手強化事業 競技協会が行う強化練習会や強化合宿の実施に対し補助することにより、選手の技術力向上を図った。 ・ ヨット協会、サッカー協会、バスケットボール協会、ハンドボール協会、ソフトテニス協会、卓球協会、剣道連盟、空手協会、クレ射撃部（計9団体） (2) 未来を担う中学生の競技力推進事業 競技協会が中学生のスポーツ活動をサポートする事業の実施に対し補助することにより、未来を担う中学生の競技力向上及び推進を図った。 ・ サッカー協会（1団体）										継続	スポーツ選手を育成する事業に対する補助により、競技力の向上を図ることができた。また、「未来を担う中学生の競技力推進事業」を行い、競技団体と一体となって中学生の競技力向上及び推進を図った。 今後も継続して補助を行っていく。	
指標項目			基準		実績		目標					
			令和4年度		令和6年度		令和9年度					
スポーツ指導者数			199人		241人		220人					

事業名	スポーツ施設維持管理費（繰越明許）		（ 10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					34,585【34,923】							
財 源 内 訳	一般財源				34,585							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 スポーツ施設の修繕 市内スポーツ施設の老朽化した箇所の修繕等を行い、市民が安全安心に利用できるよう適正な維持管理に努めた。 ・新湊総合体育館空冷チラー更新工事 ・小杉体育館 A L C パネル改修工事 ・小杉総合体育センター音響設備修繕										継続	施設修繕を行い、利便性の向上につなげた。 引き続き、安全安心に利用できるよう、適正な維持管理に努めていく。	

事業名	スポーツ施設維持管理費			(10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課	
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			129,724	【164,993】	123,016	【151,537】		【150,687】						
財 源 内 訳	使用料		5,107		7,133									
	寄附金		0		7,200									
	諸収入		5,308		5,310									
	市債		7,200		2,200									
	一般財源		112,109		101,173									
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 スポーツ施設の維持管理 市民が安全安心に利用できるよう市内スポーツ施設の維持管理及び修繕を行い、市民のスポーツ活動の推進並びに健康の保持増進を図った。 薬勝寺池南公園サッカー場のトイレ洋式化改修工事を行い、利用者が快適に利用できるよう施設機能の向上を図った。											継続	長期的な視点に立った施設修繕を行い、利便性の向上につなげた。 引き続き、安全安心に利用できるよう、適正な維持管理に努めていく。		
(繰越明許費 28,185 千円) ・ 事業名 主要体育館等施設及び設備等修繕事業 ・ 完了時期 令和8年3月														

事業名	パークゴルフ場維持管理費		(10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		) 決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度			特記事項（決算規模の変動要因等）		
			17,415	【17,523】	18,354	【18,477】			【19,985】			
財 源 内 訳	使用料		182		198							
	一般財源		17,233		18,156							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 パークゴルフ場の管理運営 パークゴルフを通して市民の健康体力づくりの促進及びレクリエーションの普及を図った。 ・ 入場者数 下村パークゴルフ場 29,461人 （令和5年度 30,904人） 												

事業名	海竜スポーツランド維持管理費（繰越明許）		（ 10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		決算書	125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
					31,555	【34,000】						
財 源 内 訳	市債				21,900							
	一般財源				9,655							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 海竜スポーツランド施設修繕 海竜スポーツランドのプール及び非常用発電機等の修繕を行い、利用者が安全安心に利用できるよう適正な維持管理に努めた。 ・ 屋上防水補修工事										継続	利用者が安全安心にスポーツに親しむことができるよう、適切な施設の維持管理に努めていく。	

事業名	海竜スポーツランド維持管理費			(10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		決算書		125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			45,849【79,897】		45,070【60,304】				【65,986】					
財 源 内 訳	使用料		157		167									
	一般財源		45,692		44,903									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 海竜スポーツランド維持管理事業 指定管理による海竜スポーツランドの適正な運営に努めた。 ・ 自動火災報知器受信機更新工事 ・ 利用者数 69,135人（令和5年度 65,027人）												継 続	市民のスポーツ・レクリエーションの推進と健康の保持増進を図るため、引き続き、適正な運営に努めていく。	
(繰越明許費 14,784 千円) ・ 事業名 東西外壁サッシ廻りシーリング打ち替え工事、屋内プール非常用照明器具更新工事 ・ 完了時期 令和8年3月														

事業名	フットボールセンター管理運営費（繰越明許）			（ 10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		） 決算書		125 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
						7,480 【7,513】										
財 源 内 訳	市債					7,400										
	一般財源					80										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 フットボールセンター災害測量設計業務委託【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として工事に係る測量設計業務委託を実施した。 ・ 委託期間 令和6年3月4日～6月28日 ・ 委託料 7,480千円												継続	速やかに施設の災害復旧を実施するため、測量設計を行った。 引き続き、復旧工事を行う。			

事業名		フットボールセンター管理運営費				(10款 教育費		6項 保健体育費		2目 体育施設費		)		決算書		125 ページ		担当部課		教育委員会生涯学習・スポーツ課							
決算額【予算額】				令和5年度				令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）											
				38,702 【47,243】				29,052 【29,979】												【40,882】							
財 源 内 訳	使用料		25,527		9,157										令和6年能登半島地震の影響で人工芝フィールド2面の利用を停止したことにより、施設の管理業務委託料の減額、県有地借受料の減免による。												
	寄附金		1,019		0																						
	諸収入		8,550		0																						
	一般財源		3,606		19,895																						
主な事業内容・成果																評価と今後の方向性（担当課意見）											
1 フットボールセンター管理運営事業 人工芝フィールド2面が災害復旧工事中につき利用不能であったが、屋根付きフットサル場は供用を継続し、一般利用やスクールによる安定した利用が図られた。 令和6年能登半島地震の影響により、利用者数が減少した。また、人工芝フィールド2面の利用を停止したことにより、ネーミングライツ料及び広告料を請求しないこととした。 ・利用者数 13,989人（令和5年度 76,696人） ・観戦者数 約4,500人（令和5年度 約27,000人）																継続						利用者数の減少は、令和6年能登半島地震の影響により、人工芝フィールド2面の利用を停止したことによる。供用再開後の利用者促進や合宿誘致に取り組んでいく。					
指標項目				基準		実績		目標																			
				令和4年度		令和6年度		令和9年度																			
スポーツ合宿の誘致数				7件		0件		30件																			

11 款 災 害 復 旧 費

事業名		（ 11款 災害復旧費 1 項 廃棄物処理施設災害復旧費 1目 廃棄物処理施設災害復旧費 ）				決算書	126 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
財 源 内 訳	国庫補助金			47,994	【48,434】				
	市債			26,334					
	一般財源			21,600					
				60					
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 野手埋立処分所災害復旧工事【国1/2】【大雨】 令和5年7月12日及び13日の大雨に伴う災害復旧として、野手埋立処分所敷地内の法面崩落復旧作業を実施した。 (1)野手埋立処分所災害復旧工事施工監理業務委託 委 託 先 （株）中部設計 委 託 期 間 令和5年12月25日～令和6年6月28日 委 託 料 4,180千円								完了	災害復旧工事の監理業務を実施し、より適正な現場管理が行われた。
(2)野手埋立処分所災害復旧工事 工 期 令和6年2月1日～6月28日 工 事 費 42,900千円（契約額71,500千円）								完了	法面の復旧により、施設の安全が保たれた。
(3)野手埋立処分所浸出水移送ポンプ施設災害復旧工事 工 期 令和6年8月9日～令和7年3月21日 工 事 費 914千円（契約額36,080千円）								完了	仮設設備で対応していた浸出水移送ポンプの復旧工事が完了したことで、安定して浸出水の対応ができるようになった。

事業名	廃棄物処理施設災害復旧費		(11款 災害復旧費		1 項 廃棄物処理施設災害復旧費	1目 廃棄物処理施設災害復旧費	) 決算書	126 ページ	担当部課	市民生活部環境課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
					36,299 【36,300】				【0】	
財 源 内 訳	国庫補助金				16,340					
	市債				19,900					
	一般財源				59					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 野手埋立処分所災害復旧工事【国1/2】【大雨】 (1)野手埋立処分所浸出水移送ポンプ施設災害復旧工事 工 期 令和6年8月9日～令和7年3月21日 工 事 費 35,166千円 （契約額36,080千円）									完了	仮設設備で対応していた浸出水移送ポンプの復旧工事が完了したことで、安定して浸出水の対応ができるようになった。
(2)野手埋立処分所土砂災害に伴う集水桝補修工事 工 期 令和7年3月3日～3月28日 工 事 費 1,133千円									完了	集水桝の補修を行い、適正な排水処理が行われた。

事業名		農業用施設災害復旧費（繰越明許）				（ 11款 災害復旧費 2項 農林水産業施設災害復旧費 1目 農林水産業災害復旧費 ）		決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
					54,374 【97,871】						
財 源 内 訳	分担金				2,584						
	国庫補助金				8,113						
	市債				20,100						
	一般財源				23,577						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業用施設災害復旧測量設計業務【国1/2】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、災害査定にかかる測量設計業務を実施。 委 託 期 間 令和6年5月10日～12月10日 委 託 料 9,184千円										完了	速やかに農業用施設の災害復旧査定を受験し、補助金交付申請を行った。
2 農業用施設災害復旧工事【大雨】 令和5年7月12日及び13日の大雨に伴う災害復旧として、工事の実施。 工 事 期 間 令和6年5月1日～令和7年3月25日 工事請負費 45,190千円（53件）										完了	速やかに農業用施設の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できるように努めた。

事業名		農業用施設災害復旧費				(11款 災害復旧費 2項 農林水産業施設災害復旧費 1目 農林水産業災害復旧費)		決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			11,909	【110,021】	53,890	【117,400】		【0】	令和6年能登半島地震に伴う農業用施設の災害復旧箇所の増による。		
財 源 内 訳	分担金		0		1,990						
	国庫補助金		0		418						
	市債		7,800		24,000						
	一般財源		4,109		27,482						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業用施設災害復旧測量設計業務【国1/2】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、災害査定にかかる測量設計業務を実施。 委 託 期 間 令和6年5月24日～9月30日 委 託 料 836千円										完了	速やかに農業用施設の災害復旧査定を受験し、補助金交付申請を行った。
2 農業用施設災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、工事を実施。 工 事 期 間 令和6年5月7日～令和7年3月28日 工事請負費 44,416千円（77件）										継続	速やかに農業用施設の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できるように努めた。引き続き、復旧工事を行う。
（繰越明許費 63,510 千円） ・ 事 業 名 農業用施設災害復旧の設計及び工事 ・ 完 了 時 期 令和8年3月											

事業名	農地災害復旧費（繰越明許）	（ 11款 災害復旧費 2項 農林水産業施設災害復旧費 1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度	令和6年度	令和7年度	特記事項（決算規模の変動要因等）	
			27,865 【27,866】			
財 源 内 訳	分担金		1,393			
	国庫補助金		2,785			
	市債		15,400			
	一般財源		8,287			
主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農地災害復旧工事【大雨】 令和5年7月12日及び13日の大雨に伴う災害復旧として、工事を実施した。 工事期間 令和6年5月8日～令和7年3月25日 工事請負費 27,865千円（23件）					完了	速やかに農地の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できるように努めた。

事業名	農地災害復旧費	（ 11款 災害復旧費 2項 農林水産業施設災害復旧費 1目 農林水産業災害復旧費 ）	決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度	令和6年度	令和7年度	特記事項（決算規模の変動要因等）	
		6,974 【34,779】	1,943 【2,646】	【0】		
財 源 内 訳	分担金	0	97			
	市債	4,500	400			
	一般財源	2,474	1,446			
主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 農業用施設災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、工事を実施した。 工事期間 令和6年5月29日～令和7年3月25日 工事請負費 1,943千円（6件）					継続	速やかに農業用施設の災害復旧工事を実施し、安心して営農活動を継続できるように努めた。引き続き、復旧工事を行う。
（繰越明許費 703 千円） ・事業名 農地災害復旧工事 ・完了時期 令和8年3月						

事業名	水産業施設災害復旧費	(11款 災害復旧費 2項 農林水産業施設災害復旧費 1目 農林水産業災害復旧費)	決算書	126 ページ	担当部課	産業経済部農林水産課
決算額【予算額】		令和5年度	令和6年度	令和7年度	特記事項（決算規模の変動要因等）	
			32,542 【68,453】			
財 源 内 訳	市債		14,600			
	一般財源		17,942			
主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 新湊漁港（東地区）トイレ合併処理浄化槽等災害復旧事業【地震】 令和6年能登半島地震で被災したトイレの合併処理浄化槽等の復旧工事を実施した。 工 事 期 間 令和6年7月26日～令和7年1月31日 工事請負費 32,452千円 （繰越明許費 36,000 千円） ・ 事 業 名 堀岡船溜まり上架施設災害復旧工事 ・ 完 了 時 期 令和7年10月					継 続	速やかに水産業施設の災害復旧工事を実施した。引き続き、復旧工事を行う。

事業名	土木災害復旧費（繰越明許）	(11款 災害復旧費 3項 土木施設災害復旧費 1目 土木災害復旧費)	決算書	127 ページ	担当部課	都市整備部道路課・建築住宅課
決算額【予算額】		令和5年度	令和6年度	令和7年度	特記事項（決算規模の変動要因等）	
			298,278 【506,997】			
財 源 内 訳	国庫補助金		63,175			
	県負担金		12,218			
	市債		197,000			
	一般財源		25,885			
主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 令和5年7月12日、13日豪雨災害復旧【国2/3、市債】 【大雨】 ・ 市道復旧箇所数 9件					完 了	豪雨災害で被災した市道の本復旧工事を実施した。
2 令和6年能登半島地震災害復旧【国75.1%、市債】 【地震】 ・ 市道橋梁災害復旧予備設計 1件 ・ 市道復旧箇所数 227件 ・ 住家の応急修理事業					継 続	能登半島地震で被災した市道の復旧工事及び家屋の応急修理事業を実施した。 引き続き、復旧事業を行う。
(事故繰越 36,997 千円) ・ 事業名 市道七美中野海老江七軒線外道路災害復旧（その2）工事 外 ・ 完了時期 令和7年7月						

事業名		土木災害復旧費		(11款 災害復旧費 3項 土木施設災害復旧費 1目 土木災害復旧費)		決算書		127 ページ		担当部課		都市整備部道路課・建築住宅課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				95,999	【603,002】	203,357	【518,090】		【423,000】				
財 源 内 訳	国庫補助金		6,417		134,737					令和5年7月豪雨、令和6年能登半島地震の調査設計業務及び災害復旧工事を行ったことによる。			
	県負担金		0		10,114								
	市債		77,600		56,400								
	一般財源		11,982		2,106								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
令和6年能登半島地震災害復旧 1 市道災害復旧【国75.1%、市債】 【地震】 ・ 市道新湊294号線外2路線道路災害復旧測量設計業務委託 外10件 108,298千円 ・ 市道復旧箇所数 5件										継続	能登半島地震で被災した市道の復旧工事を実施した。 引き続き、復旧工事を行う。		
2 住宅の応急修理【県10/10】 【地震】 ・ 部分修理 準半壊 343千円以下 11件 半壊以上 706千円以下 11件										継続	引き続き、住宅の応急修理（部分修理）対応を行っていく（工事完了期限は令和7年10月31日とする。）		
3 液状化被害を受けた港町地区の土質調査 【地震】 ・ 港町地内土質調査外業務委託 1件 11,913千円										継続	引き続き、港町地区の液状化対策を進めていく。（令和11年度 完了予定） なお、今後は宅地液状化防止事業費において当該事業を実施する。		
(繰越明許費 313,556 千円) ・ 事業名 市道新湊64号線外4路線道路災害復旧工事 外 ・ 完了時期 令和8年3月													

事業名	教育施設災害復旧費	(11款 災害復旧費 4項 文教施設災害復旧費 1目 文教施設災害復旧費)	決算書	127 ページ	担当部課	教育委員会学校教育課
決算額【予算額】		令和5年度	令和6年度	令和7年度	特記事項（決算規模の変動要因等）	
			4,015 【4,125】			
財 源 内 訳	国庫負担金		2,020			
	市債		1,800			
	一般財源		195			
主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 大門中学校エレベーター棟災害復旧工事【地震】 令和6年能登半島地震で被災したエレベーター棟の復旧工事を実施した。 工期 令和6年11月5日～令和7年3月28日 契約額 4,015千円					完了	エレベーター棟の復旧工事により、教育環境の改善を図った。

事業名	体育施設災害復旧費	(11款 災害復旧費 4項 文教施設災害復旧費 1目 文教施設災害復旧費)	決算書	127 ページ	担当部課	教育委員会生涯学習・スポーツ課
決算額【予算額】		令和5年度	令和6年度	令和7年度	特記事項（決算規模の変動要因等）	
			212,080 【569,000】			
財 源 内 訳	寄附金		10,000			
	一般財源		202,080			
主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 フットボールセンター災害復旧工事【国2/3】【地震】 令和6年能登半島地震に伴う災害復旧として、工事を実施した。 工期 令和6年8月30日～令和7年5月30日 契約額 530,200千円					継続	速やかに災害復旧工事を実施した。 引き続き、復旧工事を行う。
（繰越明許費 356,920 千円） ・事業名 フットボールセンター災害復旧工事 ・完了時期 令和7年5月						

12 款 公 債 費

事業名	公債費元金償還費			(12款 公債費		1項 公債費		1目 元金		)	決算書	128 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			5,779,240	【5,779,240】	5,763,376	【5,763,377】		【4,771,924】						
財 源 内 訳	使用料		65,581		15,805									
	一般財源		5,713,659		5,747,571									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 繰上償還の実施 公的資金の繰上償還を実施し、財政の一層の健全化を図った。 ・ 公的資金繰上 1,079,903千円 ・ 市債繰上償還による利子負担軽減額 7,041千円														

事業名	公債費利子償還費			(12款 公債費		1項 公債費		2目 利子		)	決算書	128 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
				238,583	【240,611】	217,427	【217,561】		【241,614】					
財 源 内 訳	一般財源		238,583		217,427									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 利子														
・ 長期借入金利子 215,588千円														
・ 基金繰替運用利子 1,839千円														

事業名	公債諸費			(12款 公債費	1項 公債費	3目 公債諸費	) 決算書	128 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			15,876	【22,006】	5,826	【14,294】		【11】		
財 源 内 訳	一般財源		15,876		5,826					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 補償金										
・ 公的資金繰上償還に伴う補償金 5,826千円										

13 款 予 備 費

事業名	予備費			(13款 予備費		1項 予備費		1目 予備費		) 決算書	128 ページ	担当部課	財務管理部財政課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			0	【46,764】	0	【15,732】		【100,000】					
財 源 内 訳													
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 充当先													
(1) 能登半島地震災害対応													
・ 課税総務費 (被害認定調査事業委託) 1,568千円													
・ 災害弔慰金 (災害援護資金貸付金) 1,700千円													
・ 土木災害復旧費 (港町土質（ボーリング）調査委託) 13,090千円													
(2) その他													
・ 自立支援給付費 (自立支援給付) 13,936千円													
・ 除雪対策費 (除雪費) 51,094千円 等													

※参考:人件費の状況

令和6年度職員人件費決算額の前年度比較(2・3・4節)

(単位:人、千円)

		職員数	給 料	職員手当等	児童手当 除く手当	児童	共済費	人件費合計	給与費(児童手当除)
一般会計	R6年度	664	2,535,232	1,484,985	1,441,540	43,445	1,161,833	5,182,050	3,976,772
	R5年度	647	2,372,723	1,384,378	1,346,678	37,700	1,079,091	4,836,192	3,719,401
	差 額	17	162,509	100,607	94,862	5,745	82,742	345,858	257,371
うち特別職	R6年度	3	28,200	11,527	11,527	0	16,353	56,080	39,727
	R5年度	3	28,200	11,362	11,362	0	16,341	55,903	39,562
	差 額	0	0	165	165	0	12	177	165
うち一般職	R6年度	661	2,507,032	1,473,458	1,430,013	43,445	1,145,480	5,125,970	3,937,045
	R5年度	644	2,344,523	1,373,016	1,335,316	37,700	1,062,750	4,780,289	3,679,839
	差 額	17	162,509	100,442	94,697	5,745	82,730	345,681	257,206

※ 決算額の百円単位を四捨五入して千円単位に変更。ただし、合計額を一致させるために一部の項目において調整を実施。

(2) 国民健康保険事業特別会計決算の状況

① 歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)
1 国民健康保険税	1,354,871	1,403,791	48,920	103.6
2 使用料及び手数料	500	585	85	117.0
3 国庫支出金	6,438	6,438	0	100.0
4 県支出金	5,713,409	5,303,706	▲ 409,703	92.8
5 財産収入	450	451	1	100.2
6 繰入金	496,434	486,973	▲ 9,461	98.1
7 繰越金	110,247	110,246	▲ 1	100.0
8 諸収入	10,854	14,159	3,305	130.4
合 計	7,693,203	7,326,350	▲ 366,853	95.2

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
1,403,883	▲ 92
534	51
282	6,156
5,710,333	▲ 406,627
45	406
512,544	▲ 25,571
54,888	55,358
12,112	2,047
7,694,621	▲ 368,271

② 歳出の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A－B)	執行率 (B／A)
1 総務費	110,289	102,355	7,934	92.8
2 保険給付費	5,571,737	5,127,468	444,269	92.0
3 国民健康保険事業費納付金	1,717,119	1,717,118	1	100.0
4 財政安定化基金拠出金	1	0	1	0.0
5 保健事業費	97,937	82,074	15,863	83.8
6 基金積立金	120,165	120,165	0	100.0
7 公債費	50	0	50	0.0
8 諸支出金	46,548	45,776	772	98.3
9 予備費	29,357	0	29,357	0.0
合 計	7,693,203	7,194,954	498,249	93.5

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
98,280	4,075
5,529,057	▲ 401,589
1,807,053	▲ 89,935
0	0
81,641	433
54,933	65,232
0	0
13,412	32,364
0	0
7,584,376	▲ 389,422

※ 歳入総額7,326,350千円－歳出総額7,194,954千円－翌年度へ繰越すべき財源0千円＝実質収支131,396千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)	区 分	内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款	国 民 健 康 保 険 税	1,354,871	1,403,791	48,920	103.6	6款	繰 入 金	496,434	486,973	▲ 9,461	98.1
1項	国 民 健 康 保 険 税	1,354,871	1,403,791	48,920	103.6	1項	他 会 計 繰 入 金	496,434	486,973	▲ 9,461	98.1
1目	一 般 被 保 険 者 国 民 健 康 保 険 税	1,354,626	1,403,248	48,622	103.6	1目	一 般 会 計 繰 入 金	496,434	486,973	▲ 9,461	98.1
	医 療 給 付 費 分 現 年 課 税 分	890,210	913,953	23,743	102.7		保 険 基 盤 安 定 繰 入 金 (保 険 税 軽 減 分)	220,392	220,392	0	100.0
	後 期 高 齢 者 支 援 金 分 現 年 課 税 分	323,076	332,509	9,433	102.9		保 険 基 盤 安 定 繰 入 金 (保 険 者 支 援 分)	124,245	124,245	0	100.0
	介 護 納 付 金 分 現 年 課 税 分	93,329	96,153	2,824	103.0		未 就 学 児 均 等 割 保 険 税 繰 入 金	2,442	2,442	0	100.0
	医 療 給 付 費 分 滞 納 繰 越 分	35,412	42,762	7,350	120.8		職 員 給 与 費 等 繰 入 金	94,473	92,387	▲ 2,086	97.8
	後 期 高 齢 者 支 援 金 分 滞 納 繰 越 分	8,610	12,222	3,612	141.9		産 前 産 後 保 険 税 繰 入 金	825	824	▲ 1	99.9
	介 護 納 付 金 分 滞 納 繰 越 分	3,989	5,649	1,660	141.6		出 産 育 児 一 時 金 等 繰 入 金	15,000	7,630	▲ 7,370	50.9
2目	退 職 被 保 険 者 等 国 民 健 康 保 険 税	245	543	298	221.5		財 政 安 定 化 支 援 事 業 繰 入 金	28,501	28,501	0	100.0
	医 療 給 付 費 分 滞 納 繰 越 分	218	460	242	210.8		そ の 他 一 般 会 計 繰 入 金	10,556	10,553	▲ 3	100.0
	後 期 高 齢 者 支 援 金 分 滞 納 繰 越 分	15	43	28	288.7	7款	繰 越 金	110,247	110,246	▲ 1	100.0
	介 護 納 付 金 分 滞 納 繰 越 分	12	40	28	333.0	1項	繰 越 金	110,247	110,246	▲ 1	100.0
2款	使 用 料 及 び 手 数 料	500	585	85	117.0	1目	そ の 他 繰 越 金	110,247	110,246	▲ 1	100.0
1項	手 数 料	500	585	85	117.0	8款	諸 収 入	10,854	14,159	3,305	130.4
1目	督 促 手 数 料	500	585	85	117.0	1項	延 滞 金 、 加 算 金 及 び 過 料	6,500	10,635	4,135	163.6
3款	国 庫 支 出 金	6,438	6,438	0	100.0	1目	延 滞 金	6,500	10,635	4,135	163.6
1項	国 庫 補 助 金	6,438	6,438	0	100.0		一 般 被 保 険 者 延 滞 金	6,494	10,627	4,133	163.6
1目	災 害 臨 時 特 例 補 助 金	1,905	1,905	0	100.0		退 職 被 保 険 者 等 延 滞 金	6	8	2	135.8
2目	社 会 保 障 ・ 税 番 号 制 度 シ ス テ ム 整 備 費 補 助 金	4,533	4,533	0	100.0	2項	預 金 利 子	1	0	▲ 1	0.0
4款	県 支 出 金	5,713,409	5,303,706	▲ 409,703	92.8	1目	預 金 利 子	1	0	▲ 1	0.0
1項	県 負 担 金	5,713,408	5,303,706	▲ 409,702	92.8	3項	貸 付 金 元 利 収 入	450	0	▲ 450	0.0
1目	保 険 給 付 費 等 交 付 金	5,713,408	5,303,706	▲ 409,702	92.8	1目	貸 付 金 元 利 収 入	450	0	▲ 450	0.0
	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (普 通 交 付 金)	5,556,737	5,139,102	▲ 417,635	92.5	4項	雑 入	3,903	3,524	▲ 379	90.3
	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (特 別 交 付 金)	156,671	164,604	7,933	105.1	1目	滞 納 処 分 費	1	0	▲ 1	0.0
3項	財 政 安 定 化 基 金 交 付 金	1	0	▲ 1	0.0	2目	一 般 被 保 険 者 第 三 者 納 付 金	3,900	3,175	▲ 725	81.4
1目	財 政 安 定 化 基 金 交 付 金	1	0	▲ 1	0.0	3目	一 般 被 保 険 者 返 納 金	1	333	332	33,255.3
5款	財 産 収 入	450	451	1	100.2	4目	雑 入	1	17	16	1,664.1
1項	財 産 運 用 収 入	450	451	1	100.6		合 計	7,693,203	7,326,350	▲ 366,853	95.2
1目	利 子 及 び 配 当 金	450	451	1	100.6						

事業名	国民健康保険運営協議会費		(1款 総務費		3項 運営協議会費		1目 運営協議会費		) 決算書	142 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度			特記事項（決算規模の変動要因等）		
			163	【181】	154	【181】		【181】				
財 源 内 訳	県負担金		63		63							
	繰入金		100		91							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 国民健康保険運営協議会 県から示された納付金及び標準保険料率を基に、本市の国民健康保険税率や財政調整基金の活用など国民健康保険事業の運営に関する審議を行うため、国民健康保険運営協議会を開催した。 ・ 委員 12人 ・ 開催回数 2回（令和6年8月21日、令和7年2月5日）										継続	本市の国保事業の現状や課題等について、運営協議会委員に説明し情報共有するとともに、検討項目に対する審議を行った。	

事業名	趣旨普及費			(1款 総務費		4項 趣旨普及費		1目 趣旨普及費		)	決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
			721	【772】	774	【778】		【1,007】						
財 源 内 訳	県負担金		721		774									
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 趣旨普及事業 国民健康保険制度や事業内容等について周知を図るため、被保険者に対して、被保険者証の更新時や加入時に分かりやすいパンフレットを配付し、制度に対する理解を図った。												継続	被保険者に対し、被保険者証更新時や加入時にパンフレットを配付した。 今後も引き続き、国保制度の周知を図っていく。	

事業名		医療費適正化特別対策事業費				(1款 総務費 5項 医療費適正化特別対策事業費 1目 医療費適正化特別対策事業費)		決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			4,645	【7,556】	6,335	【7,431】		【8,471】			
財 源 内 訳	県負担金		4,645		6,335						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 レセプト点検等委託事業 診療報酬等の適正な給付を確保するために、レセプトの資格・内容を点検し、疑義があるものについては、再審査の申出を行った。 ・ 点検、再審査件数 2,736件 （令和5年度 2,527件）										継続	疑義該当レセプトを効率的に抽出するなど、より効果的に実施していく。
2 医療費通知事業 日頃の健康保持や医療の適正受診に対する認識を深めるため、被保険者に対して、2か月ごとに医療費通知を送付した。 ・ 発送件数 46,494件 （令和5年度 48,560件）										継続	被保険者数の減少により、件数も減少している。 今後も継続し、医療の適正受診に対する意識啓発を図っていく。
3 後発医薬品差額通知事業 被保険者の自己負担額の軽減や、後発医薬品の利用促進を図るため、後発医薬品差額通知を発送した。 ・ 発送件数 140件 （令和5年度 362件） また、被保険者証の更新時に後発医薬品希望表示用シールを同封した。										継続	年2回、後発医薬品差額通知を送付した。 今後も継続し、被保険者の自己負担の軽減や後発医薬品の利用促進を図っていく。

事業名		一般被保険者療養給付費		(2款 保険給付費 1項 療養諸費		1目 一般被保険者療養給付費)		決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			4,706,061 【4,902,784】		4,363,001 【4,731,778】				【4,307,926】		
財 源 内 訳	国庫補助金		89		1,905				療養給付費の減による。		
	県負担金		4,705,972		4,361,096						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 一般被保険者療養給付費 一般被保険者に係る現物給付（診療、投薬、注射、手術、処置、病院への入院など）									継 続	被保険者数の減少に伴い、療養給 付費総額も減少した。	
年度	療養給付費	1人当たり療養給付費	平均被保険者数								
令和5年度	4,706,061千円	324,064円	14,522人								
令和6年度	4,363,001千円	318,607円	13,694人								

事業名		一般被保険者療養費		(2款 保険給付費 1項 療養諸費		2目 一般被保険者療養費)		決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				53,552	【73,984】	52,499	【60,544】		【53,316】		
財 源 内 訳	県負担金		53,552		52,499						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 一般被保険者療養費											
一般被保険者に係る現金給付（療養に要した費用を一旦支払い、事後に保険者が現金で支給するもの）											
年度		療養費		1人当たり療養費		平均被保険者数		継続 被保険者数の減少に伴い、療養費総額も減少したが、一人当たり療養費は伸びている。			
令和5年度		53,552千円		3,688円		14,522人					
令和6年度		52,499千円		3,833円		13,694人					

事業名	審査支払手数料		(2款 保険給付費 1項 療養諸費		3目 審査支払手数料)		決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			12,994	【14,628】	12,358	【14,628】		【13,992】		
財 源 内 訳	県負担金		12,994		12,358					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 レセプト審査支払手数料 1件当たり53円									継 続	被保険者数の減少に伴い、審査件数が減少している。
年度	レセプト審査件数	金額								
令和5年度	245,170件	12,994千円								
令和6年度	233,173件	12,358千円								

事業名	一般被保険者高額療養費			(2款 保険給付費 2項 高額療養費		1目 一般被保険者高額療養費)		決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			737,905	【759,457】	684,728	【736,976】		【692,249】			
財 源 内 訳	県負担金		737,905		684,728				高額療養費の減による。		
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 一般被保険者高額療養費 一般被保険者に係る高額療養費									継 続	被保険者数の減少に伴い高額療養費総額も減少した。1人当たり高額療養費は、概ね横ばい傾向にある。	
年度	高額療養費	1人当たり高額療養費	平均被保険者数								
令和5年度	737,905千円	50,813円	14,522人								
令和6年度	684,728千円	50,002円	13,694人								

事業名	一般被保険者高額介護合算療養費										(2款 保険給付費 2項 高額療養費		2目 一般被保険者高額介護合算療養費)		決算書	143 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課			
決算額【予算額】			令和5年度				令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）						
			386		【800】		461		【800】				【800】								
財 源 内 訳	県負担金		386				461														
主な事業内容・成果																	評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 一般被保険者高額介護合算療養費																	継続 医療費が高額になった世帯に介護保険受給者がいる場合、限度額を超えた分を給付している。 年度により給付額に増減があるが、引き続き給付していく。				
一般被保険者に係る高額介護合算療養費																					
年度		高額介護合算療養費																			
令和5年度		386千円																			
令和6年度		461千円																			

事業名		出産育児一時金		(2款 保険給付費 4項 出産育児諸費 1目 出産育児一時金)		決算書		144 ページ		担当部課		福祉保健部保険年金課										
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）												
				15,184 【25,000】		11,445 【22,500】								【18,000】								
財 源 内 訳	県負担金		4,869		3,815																	
	繰入金		10,122		7,630																	
	国庫補助金		193		0																	
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）												
1 出産育児一時金 被保険者が出産した場合に、その世帯主に対して支給するもの。 <table><tr><td>年度</td><td>件数</td><td>金額</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>30件</td><td>15,184千円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>23件</td><td>11,445千円</td></tr></table> 出産育児一時金 令和5年3月31日以前 1件408千円 + 加算額12千円（ ） 令和5年4月1日以降 1件488千円 + 加算額12千円（ ） （ ）産科医療補償制度加入医療機関で出産した場合に加算										年度	件数	金額	令和5年度	30件	15,184千円	令和6年度	23件	11,445千円	継続	少子化の影響により出産育児一時金の申請件数も減少傾向にある。		
年度	件数	金額																				
令和5年度	30件	15,184千円																				
令和6年度	23件	11,445千円																				

事業名		葬祭費		(2款 保険給付費		5項 葬祭諸費		1目 葬祭費		) 決算書		144 ページ		担当部課		福祉保健部保険年金課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）								
				2,970 【4,200】		2,970 【4,200】												【3,900】
財 源 内 訳	県負担金			2,970			2,970											
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 葬祭費 被保険者が死亡した場合、その葬祭を行うものに対して、葬祭費を支給するもの。 1件 30千円												継 続	被保険者の高齢化が進んでいるものの、平均寿命の延伸等もあり、75歳未満での死亡件数はほぼ横ばいである。（75歳から後期高齢者医療へ移行）					
年度		件数		金額														
令和5年度		99件		2,970千円														
令和6年度		99件		2,970千円														

事業名		一般被保険者医療給付費分		(3款 国民健康保険事業費納付金 1項 医療給付費分 1目 一般被保険者医療給付費分)		決算書		144 ページ		担当部課		福祉保健部保険年金課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				1,166,048 【1,166,049】		1,100,378 【1,100,379】							
財 源 内 訳	県負担金		45,635		51,842				医療給付費分の減による。				
	繰入金		259,621		242,040								
	一般財源		860,792		806,496								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 一般被保険者医療給付費分 国民健康保険事業に要する費用に充てるため、県に納入する納付金										継続 本市の一般被保険者医療給付費分は、1人当たり納付金が前年度比2.5%増、被保険者数が7.9%減となり、納付金総額で5.6%の減となった。			
		1人当たり納付金		被保険者数（推計）		納付金計							
令和5年度	射水市	80,506円		14,484人		1,166,048千円							
	県	81,243円											
令和6年度	射水市	82,493円		13,339人		1,100,378千円							
	県	83,257円											

事業名		一般被保険者後期高齢者支援金等分				(3款 国民健康保険事業費納付金 2項 後期高齢者支援金等分 1目 一般被保険者後期高齢者支援金等分)		決算書		144 ページ		担当部課		福祉保健部保険年金課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
				496,516	【496,517】	465,743	【465,744】		【414,860】						
財 源 内 訳	県負担金		54,007		53,993										
	県補助金		11,326		0										
	繰入金		117,608		110,981										
	一般財源		313,575		300,769										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 一般被保険者後期高齢者支援金等分											継続 本市の一般被保険者後期高齢者支援金等分は、1人当たり納付金が前年度比1.8%増、被保険者数が7.9%減となり、納付金総額で6.2%の減となった。				
県において負担する後期高齢者支援金等納付金に充てるため、県に納入する納付金															
		1人当たり納付金	被保険者数（推計）		納付金計										
令和5年度	射水市	34,280円	14,484人		496,516千円										
	県	34,555円													
令和6年度	射水市	34,916円	13,339人		465,743千円										
	県	35,466円													

事業名		介護納付金分		(3款 国民健康保険事業費納付金 3項 介護納付金分 1目 介護納付金分)		決算書		144 ページ		担当部課		福祉保健部保険年金課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				144,488	【144,489】	150,996	【150,996】		【144,447】				
財 源 内 訳	県負担金		16,987		17,093								
	繰入金		36,468		33,861								
	一般財源		91,033		100,042								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 介護納付金分										継 続			
県において負担する介護納付金に充てるため、県に納入する納付金													
		1人当たり納付金	被保険者数（推計）		納付金計								
令和5年度	射水市	35,483円	4,072人		144,488千円								
	県	34,901円											
令和6年度	射水市	37,589円	4,017人		150,996千円								
	県	37,260円											

事業名	保健衛生普及費			(5款 保健事業費 1項 保健事業費		1目 保健衛生普及費)		決算書	145 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課													
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）														
				6,379	【8,791】	7,429	【7,702】		【8,494】															
財 源 内 訳	県負担金		6,379		7,429																			
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）														
1 特定健診未受診者への受診勧奨事業 特定健診未受診者に受診勧奨することで、受診率の向上を図った。 <table><tr><td>年度</td><td>電話＋ハガキ</td><td>ハガキのみ</td><td>勧奨者計</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>—</td><td>8,846人</td><td>8,846人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>—</td><td>8,709人</td><td>8,709人</td></tr></table> 受診勧奨方法 令和4年度まで：電話＋ハガキ 令和5年度から：ハガキのみ										年度	電話＋ハガキ	ハガキのみ	勧奨者計	令和5年度	—	8,846人	8,846人	令和6年度	—	8,709人	8,709人	継続	若年層は日中電話が繋がりにくい等もあり、令和5年度から対象者を複数のパターンに分け、パターン別にハガキの内容を変えて送付する手法に変更した。 受診率の向上につながるよう、引き続き適切な受診勧奨に努めていく。	
年度	電話＋ハガキ	ハガキのみ	勧奨者計																					
令和5年度	—	8,846人	8,846人																					
令和6年度	—	8,709人	8,709人																					
2 健診結果説明会及び健康相談会の開催 特定健診の受診率の向上及び継続的な受診を勧めることで、生活習慣病の予防、医療費適正化を図るため、市内2会場で健診結果説明会及び健康相談会を開催した。 <table><tr><td>年度</td><td>小杉会場参加者</td><td>大島会場参加者</td><td>合計</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>30人</td><td>28人</td><td>58人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>25人</td><td>36人</td><td>61人</td></tr></table>										年度	小杉会場参加者	大島会場参加者	合計	令和5年度	30人	28人	58人	令和6年度	25人	36人	61人	継続	毎回好評であり、継続参加者は多いものの、全体の参加人数は横ばいである。 新規参加者を増やすためにも内容を見直し、広く周知することで参加を呼び掛けていく。	
年度	小杉会場参加者	大島会場参加者	合計																					
令和5年度	30人	28人	58人																					
令和6年度	25人	36人	61人																					
3 若年健診の実施 若いうちから、自分の健康状態を認識し、生活習慣を見直す機会とするため、35歳から39歳までの被保険者を対象とした若年健診を実施した。 <table><tr><td>年度</td><td>対象者数</td><td>受診者数</td><td>受診率</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>417人</td><td>85人</td><td>20.4%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>402人</td><td>94人</td><td>23.4%</td></tr></table>										年度	対象者数	受診者数	受診率	令和5年度	417人	85人	20.4%	令和6年度	402人	94人	23.4%	継続	集団健診でも受診できる機会を設けたが、受診率は横ばいである。 特定健診受診につなげるための重要な事業であり、38、39歳の被保険者へ重点的に、健診期間中の受診勧奨を続けていく。	
年度	対象者数	受診者数	受診率																					
令和5年度	417人	85人	20.4%																					
令和6年度	402人	94人	23.4%																					

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）																							
4 生活習慣病の一次予防の取組 日常生活運動の積み重ねによる運動習慣の定着化を図るため、市内5体育館で「身体すっきり教室」を開催し、生活習慣病の予防に努めた。 <table><tr><th>年度</th><th>開催数</th><th>参加者数(延べ)</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>10回</td><td>155人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>10回</td><td>165人</td></tr></table> ポイントラリー達成者（5回以上参加） 15人 （令和5年度 5回以上参加 15人）					年度	開催数	参加者数(延べ)	令和5年度	10回	155人	令和6年度	10回	165人	継続	運動習慣の定着を図ることで生活習慣病の予防に努めるための重要な事業であるため、引き続き、継続参加を勧奨していく。 また、特定保健指導の対象者には積極的に参加を呼び掛けていく。													
					年度	開催数	参加者数(延べ)																					
					令和5年度	10回	155人																					
					令和6年度	10回	165人																					
5 血圧・血糖コントロール不良者の保健指導 特定健診受診者のうち、医療機関を受診しているが、血圧や血糖の数値が改善されていない被保険者宅を訪問し、保健指導を実施した。 <table><tr><th>年度</th><th>対象者数</th><th>実施者数</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>2,523人</td><td>800人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2,391人</td><td>633人</td></tr></table>					年度	対象者数	実施者数	令和5年度	2,523人	800人	令和6年度	2,391人	633人	継続	県の国保ヘルスアップ支援事業を活用し、県栄養士会から派遣を受けているが、保健師等他の専門職の確保が課題である。 引き続き、専門職の確保に努め、保健指導を実施していく。													
					年度	対象者数	実施者数																					
					令和5年度	2,523人	800人																					
					令和6年度	2,391人	633人																					
6 多受診者等への受診指導 重複受診、頻回受診、重複服薬者に対し、訪問により受診指導を実施した。 ・ 重複受診 1か月間に同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している者 ・ 頻回受診 1か月間に8回以上受診している者 ・ 重複服薬 1か月間に同系の医薬品が複数の医療機関（薬局）で処方され、その日数合計が60日を超える者 <table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="4">指導実施者</th><th rowspan="2">指導後の 行動変容率</th></tr><tr><th>重複受診</th><th>頻回受診</th><th>重複服薬</th><th>計</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1人</td><td>22人</td><td>7人</td><td>30人</td><td>93.3%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>3人</td><td>17人</td><td>5人</td><td>25人</td><td>100.0%</td></tr></table>					年度	指導実施者				指導後の 行動変容率	重複受診	頻回受診	重複服薬	計	令和5年度	1人	22人	7人	30人	93.3%	令和6年度	3人	17人	5人	25人	100.0%	継続	多受診者等への受診指導は専門業者に委託しており、指導後に高い率で行動変容が見られていることから、効果的な対象者の選定に努めながら、今後も継続して実施していく。
						年度	指導実施者				指導後の 行動変容率																	
					重複受診		頻回受診	重複服薬	計																			
					令和5年度	1人	22人	7人	30人	93.3%																		
					令和6年度	3人	17人	5人	25人	100.0%																		
7 多剤通知事業 多剤併用による薬物有害事象を防ぐことを目的に、多くの薬剤を服用している者に対し、適切な服薬を促す通知書を送付し、薬剤使用の適正化につなげた。 <table><tr><th>年度</th><th>通知件数</th><th>医薬品数改善割合</th></tr><tr><td>令和5年度</td><td>476人</td><td>30.1%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>429人</td><td>25.9%</td></tr></table>					年度	通知件数	医薬品数改善割合	令和5年度	476人	30.1%	令和6年度	429人	25.9%	継続	医師会及び薬剤師会の協力のもと、引き続き、多剤通知事業を実施した。 通知による改善がみられたことから、今後も継続して実施していく。													
					年度	通知件数	医薬品数改善割合																					
					令和5年度	476人	30.1%																					
					令和6年度	429人	25.9%																					

事業名	疾病予防費		(5款 保健事業費		1項 保健事業費		2目 疾病予防費		決算書	145 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																														
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																	
			14,437	【17,859】	13,823	【16,252】		【14,545】																																		
財 源 内 訳	県負担金		6,215		6,440																																					
	一般財源		8,222		7,383																																					
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）																																
1 人間ドック受検費用の助成 疾病の早期発見、早期治療及び健康管理の促進を目的に、被保険者を対象に人間ドック受検費用の助成を行った。 （助成率 6割） <table><tr><td>年度</td><td>受検者数</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>531人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>483人</td></tr></table>										年度	受検者数	令和5年度	531人	令和6年度	483人	継続	人間ドック受検は疾病予防に重要であり、また、特定健診の受診率の向上にもつながるため、一定の効果はあった。 受検者を増やすため、引き続き、周知に努めていく。																									
年度	受検者数																																									
令和5年度	531人																																									
令和6年度	483人																																									
2 糖尿病性腎症重症化予防事業 (1)糖尿病性腎症重症化予防事業（糖尿病未治療者に対する医療機関受診勧奨） 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、特定健診の結果、受診勧奨判定値以上の者に通知書の送付及び訪問をし、医療機関への受診を促した。 <table><tr><td>年度</td><td>実施者数</td><td>受診者数</td><td>受診率</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>15人</td><td>7人</td><td>46.7%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>8人</td><td>3人</td><td>37.5%</td></tr></table> (2)糖尿病治療中断者に対する医療機関受診勧奨 疾病の早期治療、重症化予防につなげるため、糖尿病治療中断者に通知書を送付、訪問するなど、医療機関受診の再開を促した。 <table><tr><td>年度</td><td>対象者数</td><td>受診者数</td><td>受診率</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>11人</td><td>6人</td><td>54.5%</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>8人</td><td>3人</td><td>37.5%</td></tr></table> (3)糖尿病性腎症患者等に対する保健指導 人工透析への移行を防止するため、治療中の糖尿病性腎症患者や糖尿病性腎症の可能性の高い者に対し、進行予防に向けて、医療と連携した保健指導を実施した。 <table><tr><td>年度</td><td>実施者数</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>7人</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>5人</td></tr></table>										年度	実施者数	受診者数	受診率	令和5年度	15人	7人	46.7%	令和6年度	8人	3人	37.5%	年度	対象者数	受診者数	受診率	令和5年度	11人	6人	54.5%	令和6年度	8人	3人	37.5%	年度	実施者数	令和5年度	7人	令和6年度	5人	継続	糖尿病を早期に治療し、人工透析への移行を一人でも多く防ぐための必要な事業であり、医療機関との連携強化を図りながら、引き続き、保健指導を実施していく。	
年度	実施者数	受診者数	受診率																																							
令和5年度	15人	7人	46.7%																																							
令和6年度	8人	3人	37.5%																																							
年度	対象者数	受診者数	受診率																																							
令和5年度	11人	6人	54.5%																																							
令和6年度	8人	3人	37.5%																																							
年度	実施者数																																									
令和5年度	7人																																									
令和6年度	5人																																									

事業名	特定健康診査費事業費			(5款 保健事業費		2項 特定健康診査等事業費		1目 特定健康診査費事業費)		決算書	145 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）				
			57,520 【64,566】		54,169 【61,580】				【58,204】				
財 源 内 訳	県負担金		35,456		32,095								
	繰入金		64		74								
	一般財源		22,000		22,000								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 特定健康診査費事業 糖尿病等の生活習慣病予防に取り組むため、40歳から74歳までの被保険者を対象として、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。 令和6年度は未受診者に対し、集団健診を7回（平日4回、休日3回）実施した。													
指標項目			基準		実績		目標		継続 受診率は、上昇傾向にある。 引き続き、受診率の向上を目指し、医療機関との連携や受診勧奨の手法を工夫するなど、未受診者の受診機会を増やす取組を進めていく。				
			令和3年度		令和5年度		令和9年度						
特定健康診査受診率			47.0%		49.6%		60.0%						
特定健康診査受診率													
年度		対象者数	受診者数	受診率									
令和4年度		10,956人	5,389人	49.2%									
令和5年度		10,337人	5,131人	49.6%									
最新の数値は令和5年度													

事業名		特定保健指導費事業費		(5款 保健事業費		2項 特定健康診査等事業費		2目 特定保健指導費事業費)		決算書		146 ページ		担当部課		福祉保健部保険年金課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度				令和7年度				特記事項（決算規模の変動要因等）			
				3,305【4,366】		6,653【11,953】											
財 源 内 訳	県負担金			3,305		6,653											
主な事業内容・成果													評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 特定保健指導費事業 特定健康診査の結果を基に、リスクの高い該当者を階層化し、生活習慣病予防のための「特定保健指導」を実施し、被保険者の健康保持に努めた。													継続 保健師等専門職の不足により、最新の数値である令和5年度の実施率は下降した。 実施率の向上を図るため、専門職の確保に努めるとともに、委託医療機関における健診の流れから指導に結び付ける方策についても検討していく。				
指標項目			基準		実績		目標										
			令和3年度		令和5年度		令和9年度										
特定保健指導実施率			48.7%		35.4%		60.0%										
特定保健指導実施率																	
年度		対象者数		実施者数		実施率											
令和4年度		586人		238人		40.6%											
令和5年度		608人		215人		35.4%											
最新の数値は令和5年度																	

(3) 後期高齢者医療事業特別会計決算の状況

① 歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)
1 後期高齢者医療保険料	1,148,180	1,151,175	2,995	100.3
2 使用料及び手数料	100	86	▲ 15	86.0
3 繰入金	1,460,497	1,458,532	▲ 1,965	99.9
4 諸収入	38,546	38,292	▲ 254	99.3
5 繰越金	3,035	3,036	1	100.0
合 計	2,650,358	2,651,120	762	100.0

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
1,098,969	52,206
100	▲ 14
1,379,576	78,956
73,419	▲ 35,127
2,973	63
2,555,037	96,083

② 歳出の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A－B)	執行率 (B／A)
1 総務費	42,305	41,157	1,148	97.3
2 後期高齢者医療広域連合納付金	2,606,053	2,605,148	905	100.0
3 諸支出金	2,000	1,474	526	73.7
合 計	2,650,358	2,647,779	2,579	99.9

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
41,219	▲ 62
2,510,125	95,023
658	816
2,552,002	95,777

※ 歳入総額2,651,120千円－歳出総額2,647,779千円－翌年度へ繰越すべき財源0千円＝実質収支3,341千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分		内 容	予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款	後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料		1,148,180	1,151,175	2,995	100.3
	1項	後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料	1,148,180	1,151,175	2,995	100.3
		1目 特 別 徴 収 保 険 料	776,627	777,399	772	100.1
		現 年 度 分 特 別 徴 収 保 険 料	776,627	777,399	772	100.1
		2目 普 通 徴 収 保 険 料	371,553	373,776	2,223	100.6
		現 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	365,436	368,845	3,409	100.9
		滞 納 繰 越 分 普 通 徴 収 保 険 料	2,219	1,435	▲ 785	64.6
		過 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料	3,898	3,496	▲ 402	89.7
2款	使 用 料 及 び 手 数 料		100	86	▲ 15	85.5
	1項	手 数 料	100	86	▲ 15	85.5
		1目 督 促 手 数 料	100	86	▲ 15	85.5
3款	繰 入 金		1,460,497	1,458,532	▲ 1,965	99.9
	1項	一 般 会 計 繰 入 金	1,460,497	1,458,532	▲ 1,965	99.9
		1目 事 務 費 繰 入 金	103,842	102,924	▲ 918	99.1
		2目 保 険 基 盤 安 定 繰 入 金	280,004	280,004	0	100.0
		3目 療 養 給 付 費 繰 入 金	1,060,330	1,060,330	0	100.0
		4目 健 康 診 査 費 繰 入 金	16,321	15,275	▲ 1,046	93.6
4款	諸 収 入		38,546	38,292	▲ 254	99.3
	1項	延 滞 金 、 加 算 金 及 び 過 料	50	66	16	131.4
	2項	償 還 金 及 び 還 付 加 算 金	2,000	1,473	▲ 527	73.7
	3項	受 託 事 業 収 入	1,803	1,776	▲ 27	98.5
	4項	雑 入	34,693	34,978	285	100.8
5款	繰 越 金		3,035	3,036	1	100.0
	1項	繰 越 金	3,035	3,036	1	100.0
合 計			2,650,358	2,651,120	762	100.0

事業名	保健事業費			(	1款 総務費		1項 総務管理費		1目 一般管理費		)	決算書	155 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			4,539	【4,777】	4,822	【5,063】		【5,396】							
財 源 内 訳	繰入金		2,828		3,046										
	諸収入		1,711		1,776										
主な事業内容・成果												評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 健康診査 後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施し、被保険者の健康維持に努めた。												継 続	後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、生活習慣病予防のための健康診査を実施している。 早い段階で体の異変に気付き、早期に対処することは大変重要であり、今後も継続していく。		
年度		対象者数	受診者数	受診率											
令和5年度		15,043人	5,656人	37.6%											
令和6年度		15,664人	6,092人	38.9%											

事業名	後期高齢者医療広域連合納付金				(2款 後期高齢者医療広域連合納付金 11項 後期高齢者医療広域連合納付金 1目 後期高齢者医療広域連合納付金)		決算書	155 ページ	担当部課	福祉保健部保険年金課																								
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）																									
			2,498,731 【2,500,095】		2,592,919 【2,592,992】				【2,685,640】																									
財 源 内 訳	繰入金		1,336,965		1,414,318																													
	諸収入		61,712		25,790																													
	一般財源		1,100,054		1,152,811																													
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																									
1 後期高齢者医療広域連合納付金 後期高齢者医療広域連合が実施する後期高齢者医療に要する費用に充てるため、保険料収入及び一般会計からの繰入金を広域連合に納付した。 (1) 事務費負担金 後期高齢者医療広域連合の事務にかかる費用を高齢者や人口の割合等に応じて市町村に按分したもの。 <table><tr><td>年度</td><td>金額</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>55,361千円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>76,722千円</td></tr></table> (2) 保険料負担金 射水市の被保険者の保険料収入を納付するもの。 <table><tr><td>年度</td><td>金額</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1,099,027千円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1,151,193千円</td></tr></table> (3) 保険基盤安定制度負担金 低所得者や被用者保険の被扶養者であった人に対する保険料の軽減措置を、市と県が補填するもの。 <table><tr><td>年度</td><td>金額</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>269,379千円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>280,004千円</td></tr></table> (4) 療養給付費負担金 療養給付費の市町村の定率公費負担分（1/12）を市町村の医療給付実績に応じて按分したもの。 <table><tr><td>年度</td><td>金額</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>1,074,964千円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1,085,000千円</td></tr></table>									年度	金額	令和5年度	55,361千円	令和6年度	76,722千円	年度	金額	令和5年度	1,099,027千円	令和6年度	1,151,193千円	年度	金額	令和5年度	269,379千円	令和6年度	280,004千円	年度	金額	令和5年度	1,074,964千円	令和6年度	1,085,000千円	継続	被保険者数と医療費が年々増加しており、今後もその傾向は続いていくと考えられる。 保健事業等を実施し、医療費の抑制に努めていく。
年度	金額																																	
令和5年度	55,361千円																																	
令和6年度	76,722千円																																	
年度	金額																																	
令和5年度	1,099,027千円																																	
令和6年度	1,151,193千円																																	
年度	金額																																	
令和5年度	269,379千円																																	
令和6年度	280,004千円																																	
年度	金額																																	
令和5年度	1,074,964千円																																	
令和6年度	1,085,000千円																																	

主な事業内容・成果					評価と今後の方向性（担当課意見）	
＜参考＞後期高齢者医療の状況						
平均被保険者数						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
県	181,570人	188,495人	194,629人	199,999人		
市	14,690人	15,405人	16,131人	16,667人		
医療費						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
県	168,685,853千円	175,914,657千円	185,125,250千円	189,586,731千円		
市	13,162,345千円	13,480,421千円	14,392,374千円	14,913,477千円		
一人当たり医療費						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
県	929,040円/人	933,259円/人	951,170円/人	947,938円/人		
市	896,007円/人	875,068円/人	892,218円/人	894,791円/人		

事業名		後期高齢者医療広域連合補助金		(2款 後期高齢者医療広域連合納付金 1項 後期高齢者医療広域連合納付金 2目 後期高齢者医療広域連合補助金)		決算書		155 ページ		担当部課		福祉保健部保険年金課							
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）									
				11,394 【11,851】		12,229 【13,061】								【12,491】					
財源内訳	繰入金		11,394		12,229														
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）									
1 後期高齢者医療広域連合補助金 後期高齢者医療広域連合が行う後期高齢者を対象とする健康診査に要する費用に充てるため、基準額の3分の1を後期高齢者医療広域連合に補助した。 <table><tr><td>年度</td><td>金額</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>11,394千円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>12,229千円</td></tr></table>										年度	金額	令和5年度	11,394千円	令和6年度	12,229千円	継続	後期高齢者医療広域連合が実施する健康診査に要する費用の補助であり、継続して実施していく。		
年度	金額																		
令和5年度	11,394千円																		
令和6年度	12,229千円																		

(4) 介護保険事業特別会計決算の状況

① 歳入の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (B－A)	収入率 (B／A)
1 保険料	2,136,236	2,139,102	2,866	100.1
2 使用料及び手数料	100	102	2	102.0
3 国庫支出金	2,066,044	2,067,213	1,169	100.1
4 支払基金交付金	2,516,958	2,517,627	669	100.0
5 県支出金	1,324,398	1,326,334	1,936	100.1
6 財産収入	1,225	1,225	0	100.0
7 繰入金	1,596,536	1,494,969	▲ 101,567	93.6
8 繰越金	83,283	83,284	1	100.0
9 諸収入	2,842	4,790	1,948	168.5
合 計	9,727,622	9,634,644	▲ 92,978	99.0

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
2,105,875	33,227
106	▲ 4
2,166,014	▲ 98,801
2,397,860	119,767
1,302,514	23,820
107	1,118
1,477,346	17,623
112,470	▲ 29,186
391	4,399
9,562,684	71,960

② 歳出の状況

(単位：千円、%)

区 分	予算額 A	決算額 B	差引額 (A－B)	執行率 (B／A)
1 総務費	204,904	201,159	3,745	98.2
2 保険給付費	9,088,665	9,010,210	78,455	99.1
3 地域支援事業費	239,181	227,171	12,010	95.0
4 保健福祉事業費	2,869	2,348	521	81.8
5 基金積立金	1,225	1,225	0	100.0
6 公債費	50	0	50	0.0
7 諸支出金	180,856	178,468	2,388	98.7
8 予備費	9,872	0	9,872	0.0
合 計	9,727,622	9,620,581	107,041	98.9

前年度決算額 C	前年度比 (B－C)
239,187	▲ 38,028
8,704,292	305,918
383,348	▲ 156,177
1,611	737
21,200	▲ 19,975
0	0
129,762	48,706
0	0
9,479,400	141,181

※ 歳入総額9,634,644千円－歳出総額9,620,581千円－翌年度へ繰越すべき財源0千円＝実質収支14,063千円

歳入

(単位:千円、%)

区 分 ・ 内 容				予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)	区 分 ・ 内 容				予算額 A	決算額 B	差引額 (B - A)	収入率 (B / A)
1款 保 険 料				2,136,236	2,139,102	2,866	100.1	5款 県 支 出 金				1,324,398	1,326,334	1,936	100.1
1項 介 護 保 険 料				2,136,236	2,139,102	2,866	100.1	1項 県 負 担 金				1,290,459	1,290,459	0	100.0
1目 第 1 号 被 保 険 者 保 険 料				2,136,236	2,139,102	2,866	100.1	1目 介 護 給 付 費 負 担 金				1,290,459	1,290,459	0	100.0
現 年 度 分 特 別 徴 収 保 険 料				1,991,646	1,993,577	1,931	100.1	現 年 度 分 介 護 給 付 費 負 担 金				1,290,459	1,290,459	0	100.0
現 年 度 分 普 通 徴 収 保 険 料				142,784	143,681	897	100.6	2項 県 補 助 金				33,939	35,875	1,936	105.7
滞 納 繰 越 分 普 通 徴 収 保 険 料				1,806	1,844	38	102.1	1目 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)				21,519	23,933	2,414	111.2
2款 使 用 料 及 び 手 数 料				100	102	2	101.7	現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)				21,519	23,933	2,414	111.2
1項 手 数 料				100	102	2	101.7	2目 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)				12,420	11,942	▲ 478	96.1
1目 督 促 手 数 料				100	102	2	101.7	現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)				12,420	11,942	▲ 478	96.1
3款 国 庫 支 出 金				2,066,044	2,067,213	1,169	100.1	6款 財 産 収 入				1,225	1,225	0	100.0
1項 国 庫 負 担 金				1,646,533	1,646,534	1	100.0	1項 財 産 運 用 収 入				1,225	1,225	0	100.0
1目 介 護 給 付 費 負 担 金				1,646,533	1,646,534	1	100.0	1目 利 子 及 び 配 当 金				1,225	1,225	0	100.0
現 年 度 分 介 護 給 付 費 負 担 金				1,646,533	1,646,534	1	100.0	介 護 保 険 財 政 調 整 基 金 運 用 利 子				1,225	1,225	0	100.0
2項 国 庫 補 助 金				419,511	420,679	1,168	100.3	7款 繰 入 金				1,596,536	1,494,969	▲ 101,567	93.6
1目 調 整 交 付 金				328,528	328,689	161	100.0	1項 一 般 会 計 繰 入 金				1,439,136	1,424,969	▲ 14,167	99.0
現 年 度 分 調 整 交 付 金				328,528	328,689	161	100.0	1目 介 護 給 付 費 繰 入 金				1,135,509	1,125,683	▲ 9,826	99.1
2目 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)				34,432	37,146	2,714	107.9	2目 地 域 支 援 事 業 繰 入 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)				21,519	20,767	▲ 752	96.5
現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)				34,432	37,146	2,714	107.9	3目 地 域 支 援 事 業 繰 入 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)				12,420	12,599	179	101.4
3目 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)				24,843	23,167	▲ 1,676	93.3	4目 低 所 得 者 保 険 料 軽 減 繰 入 金				68,188	68,187	▲ 1	100.0
現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (包 括 的 支 援 事 業 ・ 任 意 事 業)				24,843	23,167	▲ 1,676	93.3	現 年 度 分 低 所 得 者 保 険 料 軽 減 繰 入 金				68,065	68,065	0	100.0
4目 保 険 者 機 能 強 化 推 進 交 付 金				8,864	8,864	0	100.0	過 年 度 分 低 所 得 者 保 険 料 軽 減 繰 入 金				123	122	▲ 1	99.3
保 険 者 機 能 強 化 推 進 交 付 金				8,864	8,864	0	100.0	5目 そ の 他 一 般 会 計 繰 入 金 (介 護 保 険 事 業)				201,442	197,679	▲ 3,763	98.1
5目 介 護 保 険 保 険 者 努 力 支 援 交 付 金				18,599	18,599	0	100.0	6目 そ の 他 一 般 会 計 繰 入 金 (地 域 支 援 事 業)				58	54	▲ 4	93.1
介 護 保 険 保 険 者 努 力 支 援 交 付 金				18,599	18,599	0	100.0	2項 基 金 繰 入 金				157,400	70,000	▲ 87,400	44.5
6目 介 護 保 険 シ ス テ ム 改 修 事 業 補 助 金				958	958	0	100.0	1目 介 護 保 険 事 業 財 政 調 整 基 金 繰 入 金				157,400	70,000	▲ 87,400	44.5
介 護 保 険 シ ス テ ム 改 修 事 業 補 助 金				958	958	0	100.0	8款 繰 越 金				83,283	83,284	1	100.0
7目 デ ジ タ ル 田 園 都 市 国 家 構 想 交 付 金				2,364	2,343	▲ 21	99.1	1項 繰 越 金				83,283	83,284	1	100.0
デ ジ タ ル 田 園 都 市 国 家 構 想 交 付 金				2,364	2,343	▲ 21	99.1	前 年 度 繰 越 金				83,283	83,284	1	100.0
9目 介 護 保 険 災 害 等 臨 時 特 例 補 助 金				923	913	▲ 10	98.9	9款 諸 収 入				2,842	4,790	1,948	168.6
介 護 保 険 災 害 等 臨 時 特 例 補 助 金				923	913	▲ 10	98.9	1項 延 滞 金 、 加 算 金 及 び 過 料				1	45	44	4,470.0
4款 支 払 基 金 交 付 金				2,516,958	2,517,627	669	100.0	1目 第 1 号 被 保 険 者 延 滞 金				1	45	44	4,470.0
1項 支 払 基 金 交 付 金				2,516,958	2,517,627	669	100.0	2項 雑 入				2,841	4,746	1,905	167.0
1目 介 護 給 付 費 交 付 金				2,460,630	2,460,631	0	100.0	1目 弁 償 金				1	0	▲ 1	0.0
現 年 度 分 介 護 給 付 費 交 付 金				2,452,045	2,452,045	0	100.0	2目 第 三 者 納 付 金				210	211	1	100.4
過 年 度 分 介 護 給 付 費 交 付 金				8,585	8,586	1	100.0	3目 返 納 金				2,629	4,521	1,892	172.0
2目 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)				56,328	56,996	668	101.2	4目 雑 入				1	14	13	1,352.0
現 年 度 分 地 域 支 援 事 業 交 付 金 (介 護 予 防 ・ 日 常 生 活 支 援 総 合 事 業)				56,328	56,996	668	101.2	合 計				9,727,622	9,634,644	▲ 92,978	99.0

事業名		介護認定審査会事業費		(1 款 総務費		3 項 介護認定審査会費		1 目 介護認定審査会費)		決算書	170 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				9,409	【9,424】	13,915	【14,195】		【11,454】				
財 源 内 訳	国庫補助金		0		2,343					デジタル介護認定審査会事業を実施したことによる。			
	繰入金		9,409		11,572								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 介護認定審査会事業 保健、医療、福祉の専門家から構成された介護認定審査会を開催し、要介護・要支援申請者の審査判定を行った。 ・ 委 員 数 40名（任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日） ・ 合議体数 8 (1) 認定審査会の開催 要介護・要支援申請者の審査判定を行うために、毎週月・水曜日に、それぞれ2合議体が隔週で審査会を開催した。 ・ 開催回数年間 168回 （令和5年度 172回） ・ 審査件数年間 4,782件 （令和5年度 4,834件） (2) 正副委員長会議 審査会運営体制に関する協議を行った。 ・ 開催日 令和7年2月28日 ・ 出席委員数 13人											継続	今後、高齢化率の上昇に伴い、要介護等認定者数の増加が見込まれることから、適正かつ迅速な審査会の実施を継続していく。	
2 デジタル介護認定審査会事業【国1/2】 介護認定事務の効率化を図るため、介護認定審査会資料をデジタル化し、ペーパーレスによる介護認定審査会を実施した。 ・ 総事業費 4,687千円											完了	介護認定審査会資料のデジタル化により、増加すると見込まれる要介護認定者に対してより迅速に介護サービスを提供できる環境を整備した。	

事業名	認定調査事務費			(1 款 総務費		3 項 介護認定審査会費		2 目 認定調査費		) 決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課												
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）															
				29,266	【29,313】	27,501	【28,456】		【30,588】																
財 源 内 訳	繰入金		29,266		27,501					委託事業所での認定調査の実施が減少したことや調査結果報告方法を変更したことにより、委託料が減少したことによる。															
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）														
1 認定調査事務費 要介護等認定申請の際に認定調査及び認定調査員の資質向上を図るために、研修会を実施した。 (1) 認定調査 要介護等認定申請の際に市の職員等が被保険者の自宅を訪問し、心身の状態を調べるために、本人と家族などから行う聞き取り調査を行った。会計年度任用職員が行う調査（直営）と、居宅介護支援事業所や介護保険老人施設等に委託する調査がある。 ・ 調査件数 4,776件（委託1,691件、直営3,085件）（令和5年度 4,911件（委託1,838件、直営3,073件）） (2) 認定調査員研修の実施 認定調査に従事する者及び従事する予定の者が、要介護認定及び要支援認定における公平・公正かつ適正な認定調査を実施するために必要な知識、技能を修得することを目的に研修を行った。 <table><tr><td>区分</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>現任認定調査員研修（市主催）</td><td>令和7年2月14日</td><td>19人</td></tr><tr><td>新任認定調査員研修（eラーニング受講等）</td><td>令和6年4月8日～4月24日</td><td>7人</td></tr><tr><td>現任認定調査員研修（eラーニング受講等）</td><td>令和7年2月28日～3月14日</td><td>9人</td></tr></table> (3) 主治医意見書作成料 要介護認定審査会の審査判定の資料となる主治医意見書作成に関する費用を主治医の医療機関へ支払った。 ・ 支払件数 年間 4,839件 （令和5年度 4,942件） ・ 支払金額 年間 21,939千円 （令和5年度 22,471千円）														区分	開催日	参加者	現任認定調査員研修（市主催）	令和7年2月14日	19人	新任認定調査員研修（eラーニング受講等）	令和6年4月8日～4月24日	7人	現任認定調査員研修（eラーニング受講等）	令和7年2月28日～3月14日	9人
区分	開催日	参加者																							
現任認定調査員研修（市主催）	令和7年2月14日	19人																							
新任認定調査員研修（eラーニング受講等）	令和6年4月8日～4月24日	7人																							
現任認定調査員研修（eラーニング受講等）	令和7年2月28日～3月14日	9人																							
											継続	高齢化率の上昇に伴い、要介護等認定者数の増加が見込まれることから、認定調査員の更なる資質向上を図り、要介護認定の適正化に取り組んでいく。													

事業名	事業計画策定・推進費			(1 款 総務費 4 項 事業計画推進委員会費 1 目 事業計画推進委員会)			決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
				3,589	【3,688】	126	【197】		【3,914】	老人福祉法に基づく「高齢者保健福祉計画」と介護保険法に基づく「介護保険事業計画」を一体的に作成する「高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画策定業務」が完了したことによる。
財 源 内 訳	繰入金		3,589		126					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 事業計画策定・推進費 射水市高齢者保健福祉・介護保険事業計画推進委員会の開催 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の実施状況について報告した。 ・ 委員数 16名 ・ 開催日 令和6年6月27日									継続	高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）に定めた取り組むべき施策について、委員会で協議を行い、施策の実現に取り組んでいく。

事業名		居宅介護サービス費		(2 款 保険給付費 1 項 介護サービス等諸費 1 目 居宅介護サービス費)		決算書		171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課																																
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7度		特記事項（決算規模の変動要因等）																																	
			3,289,059	【3,310,086】	3,358,236	【3,375,675】		【3,434,952】																																		
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	642,798	730,190	613,686	778,986																																				
	国庫補助金		117,379		122,507																																					
	支払基金交付金		884,783		917,113																																					
	県負担金		468,677		480,972																																					
	繰入金		445,232		444,972																																					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）																																	
1 居宅介護サービス費 要介護認定者が生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行った。 <table><tr><th>サービス区分</th><th>年度</th><th>年間延利用者数</th><th>1人当たり給付費/月</th></tr><tr><td rowspan="2">訪問介護</td><td>令和5年度</td><td>7,741人</td><td>84,962円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>7,575人</td><td>93,759円</td></tr><tr><td rowspan="2">通所介護</td><td>令和5年度</td><td>14,815人</td><td>66,058円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>15,016人</td><td>64,430円</td></tr><tr><td rowspan="2">短期入所生活介護</td><td>令和5年度</td><td>4,307人</td><td>85,101円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>4,076人</td><td>86,733円</td></tr><tr><td rowspan="2">居宅介護支援</td><td>令和5年度</td><td>28,355人</td><td>14,838円</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>28,608人</td><td>14,905円</td></tr></table>									サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月	訪問介護	令和5年度	7,741人	84,962円	令和6年度	7,575人	93,759円	通所介護	令和5年度	14,815人	66,058円	令和6年度	15,016人	64,430円	短期入所生活介護	令和5年度	4,307人	85,101円	令和6年度	4,076人	86,733円	居宅介護支援	令和5年度	28,355人	14,838円	令和6年度	28,608人	14,905円	継続	引き続き、自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。
									サービス区分	年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月																														
									訪問介護	令和5年度	7,741人	84,962円																														
										令和6年度	7,575人	93,759円																														
									通所介護	令和5年度	14,815人	66,058円																														
										令和6年度	15,016人	64,430円																														
									短期入所生活介護	令和5年度	4,307人	85,101円																														
										令和6年度	4,076人	86,733円																														
									居宅介護支援	令和5年度	28,355人	14,838円																														
										令和6年度	28,608人	14,905円																														

事業名		介護予防サービス費		(2 款 保険給付費 1 項 介護サービス等諸費 2 目 介護予防サービス費)		決算書		171 ページ		担当部課		福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				137,255	【138,440】	142,332	【143,006】		【144,833】				
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	26,825	30,470	26,010	33,016							
	国庫補助金		4,899		5,192								
	支払基金交付金		36,923		38,870								
	県負担金		19,559		20,385								
	繰入金		18,579		18,859								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 介護予防サービス費 要支援認定者が、生活機能の維持・改善を図り、在宅で自立した日常生活を営むことができるよう必要なサービスの給付を行った。										継 続	引き続き、自立支援・重度化防止を図り、高齢者の在宅生活の継続を支援していく。		
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月									
介護予防通所リハビリテーション	令和5年度	553人	34,102円										
	令和6年度	569人	33,264円										
介護予防短期入所生活介護	令和5年度	125人	36,613円										
	令和6年度	130人	31,148円										
介護予防支援	令和5年度	7,327人	4,504円										
	令和6年度	7,676人	4,593円										

事業名	施設介護サービス費				(2 款 保険給付費 1 項 介護サービス等諸費 3 目 施設介護サービス費)				決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
			2,766,859	【2,779,704】	2,914,796	【2,931,272】		【2,960,316】				
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	540,741	614,259	532,651	676,125						
	国庫補助金		98,745		106,332							
	支払基金交付金		744,306		796,011							
	県負担金		394,265		417,461							
	繰入金		374,543		386,216							
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 施設介護サービス費 在宅での生活が困難な要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事等の介護及びその他の日常生活上の世話、機能訓練、療養上の世話や看護・医学管理下での介護などを行った。										継 続	引き続き、介護や治療の必要性に応じた施設利用を支援していく。	
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月								
介護老人福祉施設		令和5年度	6,341人	266,064円								
		令和6年度	6,595人	271,607円								
介護老人保健施設		令和5年度	2,518人	299,652円								
		令和6年度	2,552人	304,964円								
介護医療院		令和5年度	841人	386,708円								
		令和6年度	882人	391,469円								

事業名		地域密着型介護サービス費		(2 款 保険給付費		1 項 介護サービス等諸費		4 目 地域密着型介護サービス費)		決算書	171 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				2,148,212	【2,151,295】	2,219,509	【2,254,408】		【2,415,680】				
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	419,837	476,915	405,595	514,841							
	国庫補助金		76,665		80,967								
	支払基金交付金		577,885		606,134								
	県負担金		306,112		317,882								
	繰入金		290,798		294,090								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 地域密着型介護サービス費 市内に住民登録がある要介護認定を受けた高齢者等が、地域の特性を生かしたサービスを受けることで住み慣れた地域での生活を続けることができた。											継 続	引き続き、地域のニーズを反映させた地域密着型サービスの提供を進めていく。	
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月									
定期巡回・随時対応型訪問介護看護		令和5年度	267人	165,331円									
		令和6年度	300人	146,947円									
夜間対応型訪問介護		令和5年度	0人	0円									
		令和6年度	9人	17,098円									
地域密着型通所介護		令和5年度	3,682人	67,903円									
		令和6年度	3,602人	68,566円									
認知症対応型通所介護		令和5年度	1,195人	112,208円									
		令和6年度	1,164人	111,435円									
小規模多機能型居宅介護		令和5年度	3,288人	212,054円									
		令和6年度	3,362人	221,307円									
認知症対応型共同生活介護		令和5年度	2,956人	259,304円									
		令和6年度	2,950人	262,720円									
介護予防認知症対応型通所介護		令和5年度	8人	45,801円									
		令和6年度	0人	0円									
介護予防小規模多機能型居宅介護		令和5年度	201人	74,769円									
		令和6年度	216人	75,571円									
介護予防認知症対応型共同生活介護		令和5年度	0人	0円									
		令和6年度	0人	0円									
小規模特別養護老人ホーム		令和5年度	325人	292,002円									
		令和6年度	348人	312,326円									
複合型サービス （看護小規模多機能）		令和5年度	604人	241,608円									
		令和6年度	633人	244,098円									

事業名	特定入所者介護サービス費			(2 款 保険給付費 2 項 特定入所者介護サービス等費 1 目 特定入所者介護サービス費)			決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
				164,997	【165,219】	159,386	【165,521】		【165,016】	
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	32,246	36,631	29,126	36,972				
	国庫補助金		5,889		5,814					
	支払基金交付金		44,385		43,527					
	県負担金		23,511		22,828					
	繰入金		22,335		21,119					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 特定入所者介護サービス費 市町村民税非課税世帯の要介護認定者が一定の条件を満たした場合、申請により介護保険施設等の入所やショートステイを利用した際の食費や居住費を軽減した。									継続	今後も低所得者の支援として事業を継続していく。
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月						
特定入所者介護サービス		令和5年度	6,830人	24,107円						
		令和6年度	6,522人	24,383円						
特例特定入所者介護サービス		令和5年度	13人	16,965円						
		令和6年度	12人	16,656円						
特定入所者介護予防サービス		令和5年度	36人	3,513円						
		令和6年度	45人	3,566円						
特例特定入所者介護予防サービス		令和5年度	0人	0円						
		令和6年度	0人	0円						

事業名		高額介護サービス費		(2 款 保険給付費		3 高額介護サービス等費 1 目 居宅介護サービス費)		決算書		172 ページ		担当部課		福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
				188,502 【188,506】		206,288 【209,106】									
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	36,840	41,850	37,697	47,852									
	国庫補助金		6,727		7,525										
	支払基金交付金		50,708		56,336										
	県負担金		26,861		29,545										
	繰入金		25,516		27,333										
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）				
1 高額介護サービス費 (1) 高額介護・高額介護予防サービス費 同じ月に利用した介護保険の利用者負担の合計（同じ世帯内に複数の利用者がある場合には、世帯合計）が、上限額を超える場合は申請により超えた分を後から支給した。											継続 今後も利用者の負担軽減のため、適切な支給を図っていく。				
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月											
高額介護サービス		令和5年度	14,688人	11,281円											
		令和6年度	15,358人	11,947円											
高額介護予防サービス		令和5年度	86人	495円											
		令和6年度	64人	466円											
(2) 高額医療・高額介護合算サービス費 介護保険と医療保険の両方の負担額が高額になったとき、年間の負担額を合算して限度額を超える場合は申請により超えた分を後から支給した。											継続 今後も利用者の負担軽減のため、適切な支給を図っていく。				
サービス区分		年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月											
高額医療合算介護（予防）サービス		令和5年度	899人	25,320円											
		令和6年度	849人	26,830円											

事業名		審査支払手数料		(2 款 保険給付費 4 項 その他諸費 1 目 審査支払手数料)		決算書		172 ページ		担当部課		福祉保健部介護保険課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				9,409 【9,426】		9,663 【9,677】							
財 源 内 訳	国庫負担金	一般財源	1,839	2,088	1,766	2,241							
	国庫補助金		336		353								
	支払基金交付金		2,531		2,639								
	県負担金		1,341		1,384								
	繰入金		1,274		1,280								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 介護報酬請求明細書審査支払手数料 富山県国民健康保険団体連合会が介護給付費に係る審査支払を行う手数料（1件当たり70円）										継続 富山県国民健康保険団体連合会 は、保険給付を行うための必要な業務（介護給付の資格審査、支給限度額の管理等）を担っており、引き続き、事業を継続していく。			
サービス区分		年間延利用件数											
		令和5年度	令和6年度										
審査支払手数料		134,419件	138,042件										

事業名		一般介護予防事業費		(3款 地域支援事業費 11項 介護予防・日常生活支援総合事業費 1目 一般介護予防事業費)		決算書		172 ページ		担当部課		福祉保健部地域福祉課	
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				34,724 【39,794】		2,503 【3,006】							
財 源 内 訳	国庫補助金		13,374		1,110					重層的支援体制整備事業の開始に伴い、介護保険事業特別会計で実施してきた事業の一部が、一般会計で実施されることとなったことによる。			
	支払基金交付金		9,710		720								
	県補助金		4,496		360								
	繰入金		4,808		313								
	一般財源		2,336		0								
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）			
1 介護予防普及啓発事業 高齢者等を対象に、要介護状態となっても、生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを図るため、介護予防の普及・啓発と介護予防活動の支援を行った。 (1) 介護予防きときと倶楽部 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上、認知症予防等に関する教室を開催し、介護予防に関する正しい知識の普及・啓発に努めた。 ・ 開催回数 26回、延べ参加者数 223人 （令和5年度 開催回数 38回、延べ参加者数 465人） (2) 脳いきいき健康講座 軽度認知障害の疑いのある人、認知症について不安のある人及び家族が相談や受診等、早期に適切な対応ができるよう講座を実施した。 ・ 開催回数 18回、延べ参加者数 297人 （令和5年度 開催回数 17回、延べ参加者数 285人）										継続	引き続き、普及啓発事業を実施し、高齢者の介護予防、認知症予防を推進していく。 また、脳いきいき健康講座の中で、認知機能検診を周知し、軽度認知障害の早期発見、早期対応を行うことで認知症の重症化の予防を図っていく。		

事業名		介護予防・生活支援サービス事業費				(3 款 地域支援事業費 1 項 介護予防・日常生活支援総合事業費 2 目 介護予防・生活支援サービス事業費)		決算書		172 ページ		担当部課		福祉保健部介護保険課		
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
				163,575 【168,208】		163,634 【171,633】				【171,032】						
財 源 内 訳	国庫補助金		52,976		59,929											
	支払基金交付金		46,466		47,077											
	県補助金		21,512		23,573											
	繰入金		20,447		20,454											
	一般財源		22,174		12,601											
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）					
1 介護予防・生活支援サービス事業費																
サービス区分			年度	年間延利用者数	1人当たり給付費/月											
訪問介護相当サービス費			令和5年度	300人	19,970円											
			令和6年度	1,067人	13,721円											
訪問型Aサービス費			令和5年度	885人	12,136円											
			令和6年度	72人	11,249円											
通所介護相当サービス費			令和5年度	5,800人	21,194円											
			令和6年度	5,763人	21,290円											
通所型Aサービス費			令和5年度	607人	10,455円											
			令和6年度	628人	12,019円											
通所型Cサービス費			令和5年度	5人	27,000円											
			令和6年度	35人	26,743円											
介護予防ケアマネジメント費			令和5年度	3,621人	4,523円											
			令和6年度	3,528人	4,549円											
高額総合事業サービス費			令和5年度	107人	1,896円											
			令和6年度	88人	1,614円											
							継続	今後も要支援相当者の介護予防・重度化防止の事業として継続して実施していく。								

事業名		地域ケア推進事業費				(3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 1目 包括的支援事業費)				決算書	172 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）					
		56,407	【57,303】	36,315	【37,272】		【37,924】						
財 源 内 訳	国庫補助金		34,234		21,403			重層的支援体制整備事業の開始に伴い、介護保険事業特別会計で実施してきた事業の一部が、一般会計で実施されることとなったことによる。					
	県補助金		10,942		7,086								
	繰入金		11,231		7,826								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 在宅医療・介護連携推進事業 医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けるため、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、医療機関と介護事業者の連携を図った。 (1) 在宅医療・介護連携推進協議会開催 ・年間2回（令和5年度 年間3回） (2) 在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置 ・相談件数 170件（令和5年度 206件） (3) 市民公開講座の開催 ・参加者 126人 一部事業を（公）射水市医師会に委託している。 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 1,600千円											継続	在宅療養者が安心した生活を送ることを支援する多職種連携支援システム（ICTツール）の活用を推進し、更なる在宅医療・介護連携を図る。また、在宅療養者の看取りや、人生の最終段階の医療・ケアについて考え、話し合い、共有する取組を実施していく。	
2 認知症施策推進事業 認知症の知識の普及・啓発、早期発見・早期対応に向けた体制整備及び認知症高齢者と家族への支援体制の充実を図った。 (1) 認知症初期集中支援チーム設置 訪問・面談延べ件数 18件（令和5年度 9件） 委 託 先 （公）射水市医師会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 1,200千円 (2) 認知症地域支援推進員を各地域包括支援センターに1人配置し、相談会や認知症カフェを開催した。認知症ケアパスを使用し、認知症の進行に合った介護サービスや支援について普及啓発を図った。 委 託 先 （福）射水万葉会、（福）小杉福祉会、（福）大門福祉会、（福）射水市社会福祉協議会 委 託 期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日 委 託 料 31,200千円											継続	地域での認知症の理解を促進し、認知症の方の考えや視点を取り入れながら、認知症の方と家族への支援の充実を図っていく。	

主な事業内容・成果		評価と今後の方向性（担当課意見）	
3 地域ケア会議推進事業 多職種が協働して個別ケースの支援内容を検討する事例検討会を実施した。 ・ 会議実施回数 38回 （令和5年度 34回）		継続	高齢者の自立支援・重度化防止に向け、多職種連携を強化し、引き続き、地域ケア会議を開催していく。

事業名	介護給付等費用適正化事業費（介護保険）（ 3 款 地域支援事業費 2 項 包括的支援事業・任意事業費 2 目 任意事業費 ）				決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）
		4,419	【4,846】	3,389	【3,750】		【3,513】	令和6年3月末で介護給付費通知書の送付を廃止したことによる。
財 源 内 訳	国庫補助金	1,742		1,288				
	県補助金	871		665				
	繰入金	859		660				
	一般財源	947		776				
主な事業内容・成果								評価と今後の方向性（担当課意見）
1 介護支援専門員を配置し、認定調査の事後点検、ケアプランの点検や医療情報との突合・縦覧点検を実施し、介護給付の適正化に取り組んだ。								継続 国の給付費適正化事業の再編に合わせ、費用対効果を見込みづらい介護給付費通知書の送付を廃止した。 介護給付費の適正化を図るため、取組の重点化を図りながら引き続き点検を実施していく。

事業名		介護給付等費用適正化事業費（地域支援）				（ 3款 地域支援事業費 2I項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）				決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）			
				90	【91】	90	【91】		【56】				
財 源 内 訳	国庫補助金		36		34								
	県補助金		18		18								
	繰入金		17		18								
	一般財源		19		20								
主な事業内容・成果											評価と今後の方向性（担当課意見）		
1 居宅・施設ケアプランの点検やサービス事業者を対象とした研修会を開催し、介護給付の適正化を図った。 ・ 開催回数 5回 （令和5年度 5回）											継 続	利用者の自立支援に資する適切なケアプランとなっているか点検を行った。 理学療法士によるケアプラン点検や主任介護支援専門員の研修会を実施し、更に自立支援に資する質の高いケアマネジメントを目指し、介護給付の適正化を図っていく。	

事業名		（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）						決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			1,023	【1,265】	450	【1,120】		【1,219】			
財 源 内 訳	国庫補助金		373		171						
	県補助金		186		88						
	繰入金		164		84						
	諸収入		79		14						
	一般財源		221		93						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 成年後見制度の普及啓発及び利用支援のための相談会の開催、経済的理由や親族不在等の理由で家庭裁判所への申立てができない場合の申立てに係る支援や経済的支援を行った。 ・ 相談会開催回数 12回、相談者数 21人 （令和5年度 開催回数 12回、相談者数 19人） ・ 市長申立て 4件 （令和5年度 4件）										継 続	高齢者が安心して自立した生活を送ることができるよう、成年後見制度の普及啓発及び利用に必要な支援を継続していく。

事業名		（ 3款 地域支援事業費 2項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費 ）						決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
			16,456	【17,327】	18,283	【18,827】		【17,304】			
財 源 内 訳	国庫補助金		6,500		6,970						
	県補助金		3,250		3,592						
	繰入金		3,167		3,520						
	一般財源		3,534		4,201						
	諸収入		5		0						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護用品の支給や家族介護教室の開催等を通じ、在宅で介護する家族のネットワークの形成や身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。 ・ おむつ支給事業実人数 460人 （令和5年度 446人）										縮 小	令和7年8月以降の支給上限額を非課税世帯6,000円、課税世帯4,000円に変更する。

事業名		地域自立生活支援事業費		(3 款 地域支援事業費 2 項 包括的支援事業・任意事業費 2 目 任意事業費)				決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】				令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
				1,251	【1,613】	1,584	【1,875】		【1,993】		
財 源 内 訳	国庫補助金		494		604						
	県補助金		247		311						
	繰入金		241		305						
	一般財源		269		364						
主な事業内容・成果										評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護相談員を介護保険施設等に派遣し、利用者や家族からの相談を受け、事業所との橋渡しをすることにより、質の高い介護サービスの提供に努めた。											
あったか介護サービス相談員活動状況											
区分		相談員数	相談施設数	延べ相談者数							
令和5年度		12人	19施設	274人							
令和6年度		12人	22施設	435人							
										継続	オンライン面会が減り、施設訪問が増えたことで、相談者数が増加した。

事業名	住宅改修支援事業費			(3 款 地域支援事業費 2 項 包括的支援事業・任意事業費 2 目 任意事業費)			決算書	173 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）	
			198	【300】	154	【300】		【300】		
財 源 内 訳	国庫補助金		78		59					
	県補助金		39		30					
	繰入金		38		30					
	一般財源		43		35					
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 居宅介護支援又は介護予防支援を受けていない被保険者が住宅改修費の支給を受けるため、介護支援専門員等が「住宅改修が必要な理由書」を作成した場合において支援を行った。									継 続	適正な住宅改修が行えるよう、引き続き、介護支援専門員による理由書作成を行っていく。
項目		令和5年度	令和6年度							
作成者人数		99人	77人							

事業名		その他事業費		(3款 地域支援事業費 21項 包括的支援事業・任意事業費 2目 任意事業費)		決算書		173 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課					
決算額【予算額】			令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）						
			779	【1,434】	771	【1,307】		【1,259】							
財 源 内 訳	国庫補助金		308		294										
	県補助金		154		151										
	繰入金		150		148										
	一般財源		167		178										
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）						
1 認知症サポーター養成講座 認知症に関する正しい知識の普及のため、サポーター養成講座を開催した。 ・ 実施回数 25回、参加者数 828人（令和5年度 33回、980人）									継続	引き続き、事業所などに講座開催を呼びかけ、認知症に関する知識の普及啓発を更に推進していく。					
											指標項目		基準	実績	目標
													令和4年度	令和6年度	令和9年度
											認知症サポーター養成者累計人数		15,101人	16,909人	20,400人
2 「食」の自立支援 配食みまもりサービス事業 民間活力を導入し、栄養バランスのとれた食事を提供（利用者の希望する食数を配送。弁当実費は利用者負担）するとともに、ひとり暮らし高齢者等の見守り体制の充実を図った。 ・ 実利用者数 24人 （令和5年度 30人）									継続	民間活力を導入した高齢者の食の確保と見守り体制の充実を図っていく。					

事業名		保険者機能強化推進事業費					決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
事業名		(4款 保健福祉事業費 1項 保健福祉事業費 1目 保険者機能強化推進事業費)					決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部地域福祉課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		1,611	【2,252】	2,348	【2,869】		【2,738】			
財 源 内 訳	国庫補助金	1,611		2,348						
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 認知機能検診事業 軽度認知障害（MCI）の疑いのある者を早期に発見し、適切な対応を行うことで、認知症の重症化を予防する。 ・ 受診者数 認知機能テストのみ 57件 （令和5年度 23件） 認知機能テスト・MCIスクリーニング検査 41件 （令和5年度 17件）									継続	検診を促進することにより、軽度認知障害の早期発見、早期治療につなげていく。
2 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業 保険に加入することで、認知症の人や家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境整備を図った。 ・ 加入者数 33人									継続	引き続き、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らし続けられる支援を継続していく。
3 介護用品の支給を通じ、在宅で介護する家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。 ・ おむつ支給事業実人数 29人（地域支援事業（家族介護支援事業）対象外の者）									縮小	令和7年8月以降の支給上限額を非課税世帯6,000円、課税世帯4,000円に変更する。

事業名		介護保険事業財政調整等基金積立金					決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
事業名		(5款 基金積立金 1項 基金積立金 1目 介護保険事業財政調整等基金積立金)					決算書	174 ページ	担当部課	福祉保健部介護保険課
決算額【予算額】		令和5年度		令和6年度		令和7年度		特記事項（決算規模の変動要因等）		
		21,200	【21,200】	1,225	【1,225】		【806】			
財 源 内 訳	一般財源	21,200		1,225				令和6年度報酬改定で給付費が増大したため、基金運用利息以外の積立ができなかったことによる。		
主な事業内容・成果									評価と今後の方向性（担当課意見）	
1 介護保険事業財政調整等基金積立金 ・ 介護保険事業財政調整基金 1,225千円									継続	引き続き、保険給付の適正化に努めるとともに、基金の適切な管理運営に努めていく。

3 財 産 の 状 況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合计数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

3 財産に関する調書

(1) 公有財産

(単位：㎡、千円)

区 分	令和5年度末 現在高	令和6年度中 増減高	令和6年度末 現在高	増減高の内訳
土 地	3,203,622.78	▲ 2,580.68	3,201,042.10	
行政財産	2,615,916.12	▲ 8,218.86	2,607,697.26	消防施設▲39.84、その他の施設▲8,179.02
普通財産	587,706.66	5,638.18	593,344.84	宅地8,555.08、その他▲2,916.90
建 物	392,999.22	62.20	393,061.42	
行政財産	383,377.68	▲ 3,017.15	380,360.53	消防施設（木造）168.1、消防施設（非木造）▲105.9、その他施設（非木造）▲3,079.35
普通財産	9,621.54	3,079.35	12,700.89	非木造3,079.35
有 価 証 券	552,858	0	552,858	
株券等	552,858	0	552,858	
出資による権利	398,932	▲ 16,508	382,424	
出資及び出捐金	398,932	▲ 16,508	382,424	(財)富山県勤労者信用基金協会出捐金▲16,508

(2) 重要物品（80万円以上）

区 分	令和5年度末 現在高	令和6年度中 増減高	令和6年度末 現在高	増減高の内訳
自動車ほか	696点	-6点	690点	受入7点（普通貨物自動車、消防ポンプ車、除雪車等） 払出13点（普通乗用自動車、消防広報車等）

(3) 債権

(単位：千円)

区 分	令和5年度末 現在高 A	令和6年度中増減高		令和6年度末 現在高 A+B-C
		貸 付 額 B	償 還 額 等 C	
鉄道軌道資産取得資金貸付金	53,334	0	0	53,334
奨学金貸付金（保育士等）	2,280	1,680	600	3,360
奨学金貸付金（介護福祉士）	300	480	0	780
母子家庭等小口貸付金	290	0	60	230
災害援護資金貸付金	0	1,700	0	1,700
奨学金貸付金	46,080	6,060	6,746	45,394
学生緊急生活支援貸付金	400	0	400	0
合 計	102,684	9,920	7,806	104,798

(出納整理期間含む)

(4) 基金

(単位：千円)

区 分	令和5年度末 現 在 高 A	令和6年度中増減高		令和6年度末 現 在 高 A+B-C
		積 立 額 B	取 崩 額 C	
財政調整基金	4,603,500	21,645	0	4,625,145
減債基金	1,764,681	164,497	0	1,929,178
公共施設建設等基金	2,102,847	23,475	0	2,126,322
小林與三次基金	45,932	53	0	45,985
福祉振興基金	6,998	8	0	7,006
小杉インターパーク管理基金	96,851	111	900	96,062
合併地域振興基金	2,647,990	2,510	0	2,650,500
ふるさと射水応援基金	315,810	217,695	317,913	215,592
漁業振興基金	66	0	0	66
森林環境保全基金	32,951	12,773	14,017	31,707
新型コロナウイルス感染症対策基金	15,355	18	15,355	18
小 計	11,632,981	442,785	348,185	11,727,581
国民健康保険事業財政調整基金	361,777	120,165	0	481,941
介護保険事業財政調整基金	744,387	1,225	70,000	675,612
小 計	1,106,163	121,389	70,000	1,157,553
合 計	12,739,145	564,174	418,185	12,885,134

(出納整理期間含む)

4 市 債 の 状 況

【数値の記載に当たって】

各区分の数値は、表示単位未満を四捨五入等で記載しており、合計数値及び決算書数値とは一致しないことがある。

4 市債の現況

① 一般会計

(ア) 目的別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和5年度末 現 在 高 A	令和6年度 発行額 B	令和6年度元利償還額		令和6年度末 現 在 高 (A + B - C)
			元金 C	利子	
1 普通債	13,444,321	2,375,800	1,611,609	65,720	14,208,512
(1) 総務債	959,002	114,900	370,442	2,188	703,460
(2) 民生債	242,116	8,000	37,622	673	212,494
(3) 衛生債	2,017,461	927,500	158,052	8,168	2,786,909
(4) 農林水産業債	436,712	107,700	37,957	1,628	506,455
(5) 商工債	8,300	115,900	0	33	124,200
(6) 土木債	2,708,715	274,000	330,752	14,977	2,651,963
(7) 公営住宅債	118,105	45,500	15,805	1,462	147,799
(8) 消防債	441,993	130,300	145,058	914	427,235
(9) 教育債	6,511,919	652,000	515,921	35,677	6,647,998
2 災害復旧債	171,114	517,800	13,314	783	675,600
(1) 農林水産業債	12,700	90,900	0	55	103,600
(2) 土木債	92,114	289,600	13,314	398	368,400
(3) 公営住宅債	1,200	15,400	0	5	16,600
(4) 教育債	0	14,200	0	0	14,200
(5) 衛生債	44,500	100,300	0	235	144,800
(6) 公共施設等債	20,600	7,400	0	90	28,000
3 その他	40,742,180	125,600	4,138,453	149,085	36,729,327
(1) 減収補てん債	64,669	0	9,233	12	55,436
(2) 減税補てん債	50,375	0	25,750	32	24,625
(3) 臨時財政対策債	15,303,782	125,600	1,305,661	28,892	14,123,721
(4) 合併特例事業債	25,323,353	0	2,797,809	120,149	22,525,544
合 計	54,357,615	3,019,200	5,763,376	215,589	51,613,439

(出納整理期間含む)

(イ) 借入先別現在高の状況

(単位：千円)

区 分	令和5年度末 現在高 A	令和6年度 発行額 B	令和6年度 元金償還額 C	令和6年度末 現 在 高 (A + B - C)
1 政府資金	14,002,601	183,700	1,331,547	12,854,753
財政融資資金	13,707,901	183,700	1,267,219	12,624,382
旧郵貯資金	50,375	0	25,750	24,625
旧簡保資金	244,324	0	38,577	205,747
2 地方公共団体金融機構資金	15,228,049	742,400	2,416,112	13,554,337
3 市中銀行	12,673,208	61,600	1,066,096	11,668,712
4 その他の金融機関	11,668,895	1,900,500	872,611	12,696,784
5 共済組合	784,863	131,000	77,010	838,853
合 計	54,357,615	3,019,200	5,763,376	51,613,439

(出納整理期間含む)

参考 令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業一覧（一般会計）

No.	細目名称	事業名	事業概要	総事業費 （実績額）	うち交付金	実施状況	事業の効果	担当課	報告書 ページ
1	庁舎等管理費	射水市指定管理者支援金	指定管理施設における光熱費の高騰分に対し支援を行うもの。	46,707,000円	36,876,860円	指定管理施設（42施設）に対して、光熱費高騰相当分計46,707千円を支援。	エネルギー価格高騰で施設運営経費が増嵩した指定管理者に対して、支援を行うことで、安定的な施設の運営につながった。	公共施設マネジメント推進課	39
2	地域交通対策費	燃料価格高騰対策支援事業費補助金（民間路線バス、タクシー、あいの風とやま鉄道）	燃料価格高騰の影響を受け厳しい経営状況にある交通事業者（民間路線バス、タクシー、あいの風とやま鉄道）を県と協調し支援するもの。	4,117,000円	4,117,000円	燃料価格高騰の影響を受けている民間路線バス事業者（2社）、タクシー事業者（3社）、鉄道会社（1社）に対して、燃料経費高騰分計4,117千円を支援。	燃料価格の高騰により経営に影響が生じた民間路線バス事業者、タクシー事業者、鉄道会社に対して、燃料費を支援したことで、事業継続の一助となった。	生活安全課	67
3	コミュニティバス運行費	燃料価格高騰対策支援事業費補助金（コミュニティバス、のるーと射水）	燃料価格高騰の影響を受け厳しい経営状況にある交通事業者（コミュニティバス、のるーと射水）を県と協調し支援するもの。	1,810,000円	1,810,000円	燃料価格高騰の影響を受けているコミュニティバス・のるーと射水事業者（3社）に対して、燃料経費高騰分計1,810千円を支援。	燃料価格の高騰により経営に影響が生じたコミュニティバス、のるーと射水事業者に対して、燃料費を支援したことで、事業継続の一助となった。	生活安全課	69
4	万葉線対策費	燃料価格高騰対策支援事業費補助金（万葉線）	燃料価格高騰の影響を受け厳しい、経営状況にある交通事業者（万葉線株式会社）を県と協調し支援するもの。	1,134,000円	1,134,000円	燃料価格高騰の影響を受けている万葉線株式会社に、燃料経費高騰分1,134千円を支援。	燃料価格高騰により経営に影響が生じた万葉線株式会社に、燃料費を補助したことで経営を支援し、安全安心な運行の確保につながった。	生活安全課	72
5	万葉線対策費	万葉線安全運行対策支援事業	物価高騰の影響を受ける交通事業者に、維持管理経費の増加分に係る補助金を交付し支援するもの。 物価高騰の影響を受ける交通事業者に、運行に係る経常欠損額に対する補助金を交付し支援するもの。	43,000,000円	27,467,216円	物価高騰の影響を受けている万葉線株式会社に、維持管理経費及び運行に係る経常欠損額等に対する補助として、交付金27,468千円を活用。	物価高騰の影響を受け、採算が悪化している万葉線株式会社に対して、施設、設備の更新・修繕に係る経費を補助したことで経営を支援し、安全安心な運行の確保につながった。	生活安全課	72
6	定額減税補足臨時給付金給付費	定額減税補足臨時給付金給付事業	令和6年度税制改正において納税義務者及び被扶養者1人につき、所得税3万円、住民税1万円を減税する「定額減税」を実施する。所得税又は住民税が定額減税額を下回る納税義務者に対して、その差額分を1万円単位で切り上げて給付するもの。	741,596,379円	741,596,379円	所得税又は住民税が定額減税額を下回る納税義務者に対して、差額計715,010千円を給付。当該納税義務者の経済的負担の軽減に寄与した。	物価高騰の影響が続く中、該当する納税義務者の経済的負担の軽減に寄与した。引き続き、令和7年度の定額減税補足給付金（不足額給付）においても適正な審査と支給に努める。	課税課	79
7	高齢者福祉施設費	社会福祉施設物価高騰対策支援事業補助金（介護福祉施設）	光熱水費や車両燃料費の物価高騰の影響を受けている高齢者施設等や障害者施設等を運営する事業者の負担を軽減し、サービスの質の維持を図ることを目的に支援金を支給するもの。	37,796,800円	37,796,800円	介護福祉サービス等事業所を運営する法人に対し、光熱水費等の高騰影響額計37,797千円を支援。	市内で介護サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営の経費増加分を支援し、サービス提供体制の確保を図った。	介護保険課	92

No.	細目名称	事業名	事業概要	総事業費 (実績額)	うち交付金	実施状況	事業の効果	担当課	報告書 ページ
8	障害者福祉施設支援費	社会福祉施設物価高騰対策支援事業補助金（障害福祉施設）	光熱水費や車両燃料費の物価高騰の影響を受けている高齢者施設等や障害者施設等を運営する事業者の負担を軽減し、サービスの質の維持を図ることを目的に支援金を支給するもの。	5,693,300円	5,693,300円	障がい者福祉サービス等事業所を運営する法人に対し、光熱水費等の高騰影響額計5,694千円を支援。	市内で障がい福祉サービス事業所を運営する法人に対して、物価高騰による施設運営にかかる経費の高騰影響分を支援し、サービス提供体制の安定を図った。	社会福祉課	101
9	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付費（R5からの繰越）	住民税非課税世帯物価高騰臨時給付金	令和5年度住民税非課税世帯を対象に、物価高騰による負担を軽減するため、1世帯当たり7万円を支給するもの。	488,964,102円	488,964,102円	令和5年度住民税非課税世帯（6,874世帯）に対し、1世帯当たり70千円（計481,180千円）を支援。	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページに掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。	社会福祉課	104
10	低所得世帯物価高騰臨時給付金給付費（R5からの繰越）	低所得世帯物価高騰臨時給付金	令和5年度住民税均等割のみ課税世帯及び令和6年度新たに住民税非課税等（住民税非課税及び住民税均等割のみ課税）となる世帯へ1世帯当たり10万円を支給するもの。また、同世帯等への子育て支援として18歳以下の児童1人当たり5万円を支給するもの。	386,661,157円	386,661,157円	低所得世帯等（3,138世帯）に対し、1世帯当たり100千円等（計371,350千円）を支援。	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページに掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。	社会福祉課	102,103
11	非課税世帯物価高騰臨時給付金給付費	非課税世帯物価高騰臨時給付金	令和6年度住民税非課税世帯を対象に、物価高騰による負担を軽減するため、1世帯当たり3万円を支給するもの。また、同世帯等への子育て支援として18歳以下の児童1人当たり2万円を支給するもの。	190,564,478円	190,564,478円	令和6年度住民税非課税世帯（6,049世帯）に対し、1世帯当たり30千円（計181,470千円）を支援。	国の方針に基づき、給付金の支給について広報いみず、ホームページに掲載するとともに、対象の可能性のある世帯へ向けて申請書類を送付し、周知を図った。給付金の支給については、適正な審査に努めながら、速やかに支給することができた。物価高騰の影響が続く中、引き続き、迅速かつ適正な事務に努めながら、物価高騰に対する生活支援を継続して実施する。	社会福祉課	105
12	保育園等管理運営費	給食材料費高騰対策支援事業（公立保育園等）	給食食材料費の高騰に係る経費を市が負担することにより、利用保護者への負担転嫁を回避し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図るもの。	6,086,400円	6,086,400円	公立保育園（対象園児12,680人）に対し、副食費に係る物価高騰分計6,087千円を支援。	給食材料費高騰分の支援を行い、保護者から徴収する副食費への転嫁を回避することで、子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。	子育て支援課	122
13	保育園等運営委託等事業費	給食材料費高騰対策支援事業（民間保育園等）	給食食材料費の高騰に係る経費を市が負担することにより、利用保護者への負担転嫁を回避し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図るもの。	10,897,290円	10,897,290円	民間保育園（対象園児22,747人）に対し、副食費に係る物価高騰分計10,898千円を支援。	給食材料費高騰分の支援を行い、保護者から徴収する副食費への転嫁を回避することで、子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。	子育て支援課	124
14	病院事業会計繰出金	市民病院原油価格・物価高騰対策事業【病院事業会計繰出金】	光熱水費等の高騰による単価増に係る経費について、一般会計から繰出すことにより地域医療を支えるもの。	33,428,300円	24,000,000円	射水市民病院に対し、電気料金等高騰影響額24,000千円を支援した。	365日間、医療機器、空調、照明等を稼働させ、安全・安心・快適な医療体制の提供が図られた。	市民病院経営管理課（財政課）	-

No.	細目名称	事業名	事業概要	総事業費 (実績額)	うち交付金	実施状況	事業の効果	担当課	報告書 ページ
15	農業振興推進費	共同利用施設の燃料費高騰支援	JAI いみず野の共同利用施設における燃料費（灯油）高騰影響額を支援するもの。	182,292円	182,292円	いみず野農業協同組合の共同利用施設における燃料費（灯油）の高騰影響額計182千円を支援した。	1事業者（農業協同組合）に対し補助することで燃料費負担の軽減を図った。	農林水産課	169
16	農業振興推進費	農業用施設電気料金支援事業	県単農業用電気料金高騰支援事業と同様の対象者に同額を支援するもの。 いみず野農業協同組合を通して交付	3,269,000円	3,269,000円	いみず野農業協同組合の共同利用施設及び大規模生産者における乾燥調製に係る電気料金高騰影響額計3,269千円を支援した。	いみず野農業協同組合及び大規模生産者に対し補助することで燃料費負担の軽減を図った。	農林水産課	169
17	畜産振興推進費	飼料価格高騰経営安定緊急支援事業	原油価格の高騰の影響を受けている射水市内の畜産事業者に対し配合飼料の高騰額を補助し、畜産支援を図るもの。配合飼料の高騰額を支援するもの。（畜産事業者 2経営体）	356,000円	356,000円	市内畜産農家（2経営体）における飼料代の高騰影響額計356千円を支援した。	2事業者（畜産事業者）に対し補助することで飼料費負担の軽減を図った。	農林水産課	169
18	海面漁業振興費	漁業共同利用施設支援補助金等	漁協が所有する共同利用施設のR6年度の電気代において、同施設のR4年度の電気代との高騰差額分を補助することで、漁業者の経営安定を支援するもの。	461,019円	461,019円	新湊漁業協同組合が所管する共同利用施設における電気料の高騰影響額計462千円を支援。	1事業者（漁業協同組合）に対し補助することで漁業経営の安定化、事業継続支援を図る。	農林水産課	179
19	海面漁業振興費	漁業燃油価格高騰緊急支援事業	国のセーフティネット構築事業に加入している漁業者が積み立てる部分に対して補助することで、漁業者の経営安定を支援するもの。 補助率：1/8	597,373円	597,373円	新湊漁業協同組合に対し、国のセーフティネット構築事業の拠出積立金に対し計598千円を支援。	1事業者（漁業協同組合）に対し補助することで漁業経営の安定化、事業継続支援を図る。	農林水産課	179
20	海面漁業振興費	養殖飼料代高騰支援事業	R6年度の給餌に係る経費について、R5年度との高騰差額分を補助することで、養殖漁業者の経営安定を補助するもの。	665,000円	665,000円	堀岡養殖漁業協同組合に対し、給餌価格の高騰影響額計665千円を支援。	1事業者（養殖漁業者）に対し補助することで漁業経営の安定化、事業継続支援を図る。	農林水産課	179
21	商工業振興費	射水市生活支援・消費喚起事業補助金	物価高騰対策のため、市民生活支援及び事業者支援のため、射水市商工協議会が実施する生活支援・消費喚起事業を支援するもの。	68,303,944円	68,303,944円	射水市商工協議会が発行するプレミアム額30%の電子商品券に係る事業に対し68,304千円を支援。	30%という高いプレミアム率で、商品券の使用総額は232,754,949円となり、市民生活をはじめ、地域経済の活力回復及び産業振興に寄与した。	商工企業立地課	182
22	観光推進費	市内宿泊施設応援事業	物価高騰に苦しみ宿泊事業者を支援するため、宿泊者が少ない12月に本市への宿泊を促す「宿泊料金半額割（最大）」を実施するもの。（実施主体：射水市観光協会）	6,800,000円	6,800,000円	市内宿泊事業者が実施する割引宿泊プランに係る事業に対し6,800千円を支援した。	冬季の誘客促進を図り、交流人口と消費の拡大につなげた。	観光まちづくり課	191

No.	細目名称	事業名	事業概要	総事業費 (実績額)	うち交付金	実施状況	事業の効果	担当課	報告書 ページ
23	学校給食費（小）	学校給食食料費高騰対策支援事業（小学校）	給食食料費の高騰分（給食費改定額30円）に係る経費を市が負担することにより、保護者への負担転嫁を回避し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図るもの。	24,576,398円	24,576,398円	市内小学校及び給食センターに対し、給食食料購入費に係る物価高騰分計24,577千円を支援。	学校給食費における保護者の負担軽減を図ることができた。	学校教育課	243
24	学校給食費（中）	学校給食食料費高騰対策支援事業（中学校）	給食食料費の高騰分（給食費改定額30円）に係る経費を市が負担することにより、保護者への負担転嫁を回避し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図るもの。	13,132,748円	13,132,748円	市内中学校及び給食センターに対し、給食食料購入費に係る物価高騰分計13,133千円を支援。	学校給食費における保護者の負担軽減を図ることができた。	学校教育課	251
25	幼稚園管理費	給食食料費高騰対策支援事業（幼稚園）	給食食料費の高騰分に係る経費を市が負担することにより、利用保護者への負担転嫁を回避し、子育て世帯への経済的負担の軽減を図るもの。	27,360円	27,360円	公立幼稚園（対象園児57人）に対し、副食費に係る物価高騰分計28千円を支援。	給食食料費高騰分の支援を行い、保護者から徴収する副食費への転嫁を回避することで、子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。	子育て支援課	258